

# 桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事

[illegible]

建築工事特記仕様書			適用	特記事項	適用	特記事項
Ⅰ.工事概要						
1. 工事名称 桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 2. 工事場所 鹿児島市桜ヶ丘二丁目35番地 3. 工事種目 (・新築・増築・改修・その他) 4. 工事期間 令和8年3月6日まで				○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] <div><div>産業廃棄物収集運搬車</div><div>←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</div><div>〇〇株式会社</div><div>←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</div></div> なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。		○ 26. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・蒸蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。
Ⅱ.建築工事仕様				○ 15. 内装仕上りに使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。		○ 27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他の関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。 ○ 28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。 ○ 29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。 ○ 30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。 ○ 31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。 ○ 32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとすること。 ○ 33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。
Ⅲ.一般事項				○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)」があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等の期が残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。		○ 34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。 ○ 35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ○ 36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 ○ 37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。 ○ 38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。 39. 本工事に伴いスラップに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。 ○ 40. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとすること。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査者しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。
○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする ○ 2. 前払金 ※請求することができる ・令和 年度中に請求すること ○ 3. 中間前払金 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前払金が部分払かのいずれかを選択すること。 なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合には、中間前払払は行わない。 2) 中間前払金を受けるための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前払金がなされていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。 ○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。 ○ 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地業土工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.カーテンホル工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事 ○ 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補) (※火災等 ※工事材料等の盗難等 ・その他( )に対応したものを含むこと。) ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、結立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。 7. 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。 ○ 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。				○ 41. 再生資材(再生クラッシュラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。 ○ 42. 法定外労災保険の付保等について 1) 法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 2) 墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。 ○ 43. 営繕工事における週休2日試行工事について 1) 本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。 2) 試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領(令和6年5月7日施行)(以下、「実施要領」という。))」に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 44. 電子納品 1) 本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】(以下、ガイドラインという。))」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R又はDVD-R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。 ○ 45. 架空線の防護措置について 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 ○ 46. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同一額の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。 ○ 47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図面に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。 ○ 48. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1) 受注者の責にやらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3) ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 ○ 49. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。		
○ 9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等 ○ 10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷すること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。 ○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械の使用を有するものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダ (3)ブルドーザ (4)発電発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等」を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき 下請契約における受注者を指導すること。				○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自ら起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ○ 19. 「快適トイレ」の試行について 1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。 2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 3) 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 20. 枠組足場の設置について 枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。 ○ 21. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事で着事前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。 22. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。 23. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逆水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。 ○ 24. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。) ○ 25. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。		○ 50. 公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所に協力をするものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているのを確認のこと。
				株式会社 田代設計工房 一級建築士 第145118号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5-1 A-02 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.B70401

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																													
1 各章共通事項	○ 1. 適用基準等	◎ 建築工事標準詳細図： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 敷地調査共通仕様書： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ◎ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説 ◎ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領： 関東地方建設局営繕部作成	1 各章共通事項	18. 品質計画	建築基準法により定められた風速 $V_0$ (※38・) 地表面粗度区分：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 適用工種：コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事・防水工事 ・石工事・屋根及びとい工事・金属工事	6 コンクリート工事	○ 1. 一般事項	コンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類 (6.2.1) 気乾単位容積質量による種類 ◎ 普通コンクリート・軽量コンクリート (6.2.1) 設計基準強度( $F_c$ ) (6.2.2) <table><tr><th rowspan="2">種別</th><th colspan="7">普通コンクリートの設計基準強度 <math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</th></tr><tr><th>15</th><th>18</th><th>21</th><th>24</th><th>27</th><th>30</th><th>36</th></tr><tr><td>部品</td><td colspan="7">土間</td></tr></table> 軽量コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )・15・18・21・24・27・( ) (6.2.2) ※ 構造体強度補正值(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6.3.2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 $\theta$ の範囲(℃) $0 \leq \theta < 8$ $8 \leq \theta$ (6.3.2) <table><tr><td colspan="2">構造体強度補正值(N/mm<sup>2</sup>)</td><td>6</td><td>3</td></tr></table>	種別	普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )							15	18	21	24	27	30	36	部品	土間							構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> )		6	3																																																		
	種別	普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																			
		15		18	21		24	27	30	36																																																																											
	部品	土間																																																																																			
	構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> )			6	3																																																																																
	2. 電気保安技術者	※ 適用する (1.3.3)		○ 2. コンクリートの品質	普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 2.3t/m <sup>3</sup> 程度 (6.2.3) スランブ (6.2.4) <table><tr><td>打込み箇所</td><td>基礎、基礎梁、土間スラブ</td><td>柱、梁、スラブ、壁</td></tr><tr><td>所要スランブ(cm)</td><td>※ 15・18・</td><td>※ 18・</td></tr></table> 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6.2.5(1)・( ) (6.2.5) 合板使用打直し仕上り種別 (6.2.5)(表6.8.2) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th><th>J A S 種 別</th><th>合板厚さ</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>・ A種</td><td></td><td>※ 表面加工品</td><td>・ B-C</td><td>※ 12・15</td><td>※ 有・無</td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td><td>・ 表面加工品</td><td>※ B-C</td><td>※ 12・15</td><td>・ 有 ※ 無</td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td><td>・ 表面加工品</td><td>※ B-C</td><td>※ 12・15</td><td>・ 有 ※ 無</td></tr></table> 平たんさ ※表6.2.5・( ) (6.2.5)		打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スランブ(cm)	※ 15・18・	※ 18・	種別	適用箇所	J A S 種 別	合板厚さ	塗 装	・ A種		※ 表面加工品	・ B-C	※ 12・15	※ 有・無	・ B種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12・15	・ 有 ※ 無	・ C種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12・15	・ 有 ※ 無																																																		
	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ			柱、梁、スラブ、壁																																																																																
	所要スランブ(cm)	※ 15・18・			※ 18・																																																																																
	種別	適用箇所			J A S 種 別		合板厚さ	塗 装																																																																													
	・ A種				※ 表面加工品		・ B-C	※ 12・15	※ 有・無																																																																												
・ B種		・ 表面加工品	※ B-C		※ 12・15	・ 有 ※ 無																																																																															
・ C種		・ 表面加工品	※ B-C		※ 12・15	・ 有 ※ 無																																																																															
3. 施工条件	(1.3.5)	○ 3. コンクリートの材料	セメント ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種・( ) (6.3.1)(表6.3.1) ・( ) (適用箇所：) ・普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210ポルトランドセメントに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。 骨材 フェロニックススラグ骨材及び鋼スラグ細骨材 (・使用する・使用しない) アルカリシリカ反応性区分 ※ A・B (6.3.1) 混和材料・混和剤(・AE剤・AE減水剤・高性能AE減水剤・) (6.3.1) ・混和材(・フライアッシュⅠ種・フライアッシュⅡ種・高炉スラグ微粉末・コンクリート用膨張材・) (6.3.1) <table><tr><td>水和熱(J/g)</td><td>7日 352以下 28日 402以下</td></tr><tr><td>全アルカリ(%)</td><td>0.75以下</td></tr><tr><td>塩 素(%)</td><td>0.02以下</td></tr></table>		水和熱(J/g)	7日 352以下 28日 402以下	全アルカリ(%)	0.75以下	塩 素(%)	0.02以下																																																																											
水和熱(J/g)	7日 352以下 28日 402以下																																																																																				
全アルカリ(%)	0.75以下																																																																																				
塩 素(%)	0.02以下																																																																																				
4. 技能士	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)・コンクリート圧送施工・型枠施工 ◎とび・ブロック建築 (1.5.2) ・鉄工(・構造物鉄工作業・製缶作業)・エーメル・パネル施工・石材施工(石張り作業) ◎ 防水施工(◎ウレタノム系塗膜防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業・合成ゴム系シート防水工事作業 ・アスファルト防水工事作業・アクリルゴム系塗装防水工事作業)・タイル張り・建築大工・かわらぶき ・建築板金(内外装板金作業) ◎左官 ◎サッシ施工 ◎ガラス施工・カーテンウォール施工 ◎ 建具製作(◎木製建具手加工作業・アルミ製室内建具製作作業・木製建具 機械加工作業) ◎ 内装仕上り施工(◎ボード仕上り工事作業 ◎鋼製下地工事作業 ◎プラスチック系床仕上り工事作業 ・カーペット系床仕上り工事作業) ◎塗装(建築塗装作業) ◎畳製作・表装・造園 ・熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事作業) ◎樹脂接着剤注入施工		2 仮設工事	○ 1. 監督員事務所	※ 設ける(規模：◎1号(10㎡程度)・2号(20㎡程度)・3号(35㎡程度)・4号(65㎡程度) (2.3.1) ・5号(100㎡程度)・設けない ・仮設便所・工事用電話・設置する備品等の種類及び数量(監督員との協議による) 仕上りは下表を標準とする。 <table><tr><th>部位等</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁、天井</td><td>合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table>	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り	屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	7 鉄骨工事	○ 2. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ◎ 利用できる (※ 有償・無償) 構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ臨時給水の申請を行い、水道メーターを設置すること。																																																																					
部位等	仕 上 げ																																																																																				
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																																				
内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り																																																																																				
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																				
○ 5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、(1.1.4)工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。 また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 (ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)		○ 3. 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない・利用できる (※ 有償・無償)																																																																																	
○ 6. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。 建設工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	○ 4. 敷地調査	平板、周辺設備マンホール等の取り合い。																																																																																		
		○ 5. その他	※表示板の大きさ等： ※下図による。 設置位置は監督員との協議による。また、取付けは、強風等に対し安全な工法とする。 (参考例) <table><tr><td>市章 150×150程度</td><td>シボルマーク 150×150程度以上</td></tr><tr><td colspan="2"><div>工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</div><div>発注者 鹿児島市長</div><div>設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</div><div>監理者 鹿児島市○○局○○部○○課</div><div>施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</div><div>工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日</div></td></tr><tr><td>○ 7. 特別な材料の工法</td><td>建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボ-ドの有無を明記するとともに、せつこうボ-ドが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。</td><td>3 土工事</td><td>1. 埋戻し及び盛土</td><td>種別・A種 ※B種・C種・D種 (3.2.3)(表3.2.1) 各層厚さ ※300mm程度ごとに締め固める</td></tr><tr><td>○ 8. 発生材の処理等</td><td>建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボ-ドの有無を明記するとともに、せつこうボ-ドが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。</td><td>4 地業工事</td><td>2. 地 均 し</td><td>工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。</td></tr><tr><td>○ 9. 施工図等の取扱い</td><td>施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。</td><td rowspan="3">5 鉄筋工事</td><td>○ 3. 建設発生土の処理</td><td>※(隣二保建設)処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)</td></tr><tr><td>○ 10. 設備工事との取合い</td><td>施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。</td><td>4. 山 留 め</td><td>・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)</td></tr><tr><td>○ 11. 完成図等</td><td>・ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ i) データ提出媒体：「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式： CADデータ (国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕業務編〕」のCADデータ交換標準に対応したもの) 及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上りについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式)・取扱い説明書 部数部 (建設戸数+2戸分)</td><td>○ 1. 砂 利 地 業</td><td>材料 ◎ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込碎石 厚さ ※ 60 ・ ( ) (4.6.2) 再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</td></tr><tr><td rowspan="10">13. 竣工写真</td><td rowspan="10">竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)</td><td rowspan="10">○ 14. 既存建物との取合い</td><td rowspan="10">○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定</td><td rowspan="10">5 鉄筋工事</td><td>○ 2. 砂 地 業</td><td>厚さ ※ 30 ・ ( 50 ) (4.6.3)</td></tr><tr><td>3. 捨コンクリート地業</td><td>厚さ ※ 50 ・ ( ) (4.6.2)(4.6.4)</td></tr><tr><td>○ 4. 床 下 防 湿 層</td><td>施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・ ( ) 厚さ ※ 0.15 ・ ( ) 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がり、は、250mm程度とする。</td></tr><tr><td>○ 1. 鉄 筋 の 種 類</td><td>※ JIS G 3112 ・ JIS 3117 (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名(mm)</th></tr><tr><td>◎ SD295</td><td>D16以下</td></tr><tr><td>・ SD345</td><td>D19以上</td></tr><tr><td>・ SD390</td><td>D29以下</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>・高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工： ( ) ) ※ 図面による</td></tr><tr><td>2. 溶 接 金 網</td><td>・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径： ※ 図示による (5.2.2)</td></tr><tr><td>○ 3. 継 手 及 び 定 着</td><td>柱及び梁の主筋 ( ※ D19以上 ・ ) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 ( ※ D16以下 ・ ) ※ 重ね継手 ・ ( )</td></tr><tr><td>○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</td><td>かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5.3.6)による・構造特記仕様書による・図示による ・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table></td></tr><tr><td>5. 帯 筋</td><td>形の種別 ・ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2.2)</td></tr><tr><td>6. 最上階柱頭補強</td><td>※ 行う ・ 行わない</td></tr><tr><td>7. 壁開口部の補強</td><td>一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※ B形 ・ 図示</td></tr><tr><td>8. 土間コンクリート補強</td><td>補強箇所 ・ 土間 ・ 犬走り ・ ( )</td></tr><tr><td>9. 梁貫通孔の補強形式</td><td>補強形式 ※ H形 ・ (別図7.1)(表7.1-3)</td></tr><tr><td>10. 圧接完了後の試験</td><td>検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 (5.4.10)</td></tr><tr><td>○ 11. 各 部 配 筋</td><td>図示のないものは、各部配筋参考図による。</td></tr><tr><td>○ 16. 部分使用</td><td>◎ 有 (部分使用の場所等 階段及び一部廊下)</td><td rowspan="3">株式会社 田代設計工房 一級建築士 第145118号 田代 昌弘</td><td colspan="2" rowspan="3">桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5-2 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401</td></tr><tr><td>○ 17. 指定部分</td><td>・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	市章 150×150程度	シボルマーク 150×150程度以上	<div>工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</div> <div>発注者 鹿児島市長</div> <div>設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</div> <div>監理者 鹿児島市○○局○○部○○課</div> <div>施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</div> <div>工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日</div>		○ 7. 特別な材料の工法	建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボ-ドの有無を明記するとともに、せつこうボ-ドが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	3 土工事	1. 埋戻し及び盛土	種別・A種 ※B種・C種・D種 (3.2.3)(表3.2.1) 各層厚さ ※300mm程度ごとに締め固める	○ 8. 発生材の処理等		建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボ-ドの有無を明記するとともに、せつこうボ-ドが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	4 地業工事	2. 地 均 し	工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。	○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	5 鉄筋工事	○ 3. 建設発生土の処理	※(隣二保建設)処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)	○ 10. 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。	4. 山 留 め	・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)	○ 11. 完成図等	・ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ i) データ提出媒体：「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式： CADデータ (国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕業務編〕」のCADデータ交換標準に対応したもの) 及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上りについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式)・取扱い説明書 部数部 (建設戸数+2戸分)	○ 1. 砂 利 地 業	材料 ◎ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込碎石 厚さ ※ 60 ・ ( ) (4.6.2) 再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。	13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)	○ 14. 既存建物との取合い	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	5 鉄筋工事	○ 2. 砂 地 業	厚さ ※ 30 ・ ( 50 ) (4.6.3)	3. 捨コンクリート地業	厚さ ※ 50 ・ ( ) (4.6.2)(4.6.4)	○ 4. 床 下 防 湿 層	施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・ ( ) 厚さ ※ 0.15 ・ ( ) 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がり、は、250mm程度とする。	○ 1. 鉄 筋 の 種 類	※ JIS G 3112 ・ JIS 3117 (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名(mm)</th></tr><tr><td>◎ SD295</td><td>D16以下</td></tr><tr><td>・ SD345</td><td>D19以上</td></tr><tr><td>・ SD390</td><td>D29以下</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table> ・高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工： ( ) ) ※ 図面による	種類の記号	呼び名(mm)	◎ SD295	D16以下	・ SD345	D19以上	・ SD390	D29以下	・		2. 溶 接 金 網	・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径： ※ 図示による (5.2.2)	○ 3. 継 手 及 び 定 着	柱及び梁の主筋 ( ※ D19以上 ・ ) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 ( ※ D16以下 ・ ) ※ 重ね継手 ・ ( )	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5.3.6)による・構造特記仕様書による・図示による ・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)			5. 帯 筋	形の種別 ・ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2.2)	6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない	7. 壁開口部の補強	一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※ B形 ・ 図示	8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ・ 土間 ・ 犬走り ・ ( )	9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ H形 ・ (別図7.1)(表7.1-3)	10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 (5.4.10)	○ 11. 各 部 配 筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。	○ 16. 部分使用	◎ 有 (部分使用の場所等 階段及び一部廊下)	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第145118号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5-2 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401		○ 17. 指定部分	・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)
市章 150×150程度	シボルマーク 150×150程度以上																																																																																				
<div>工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</div> <div>発注者 鹿児島市長</div> <div>設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</div> <div>監理者 鹿児島市○○局○○部○○課</div> <div>施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</div> <div>工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日</div>																																																																																					
○ 7. 特別な材料の工法	建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボ-ドの有無を明記するとともに、せつこうボ-ドが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	3 土工事	1. 埋戻し及び盛土	種別・A種 ※B種・C種・D種 (3.2.3)(表3.2.1) 各層厚さ ※300mm程度ごとに締め固める																																																																																	
○ 8. 発生材の処理等	建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボ-ドの有無を明記するとともに、せつこうボ-ドが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	4 地業工事	2. 地 均 し	工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。																																																																																	
○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	5 鉄筋工事	○ 3. 建設発生土の処理	※(隣二保建設)処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)																																																																																	
○ 10. 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。		4. 山 留 め	・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)																																																																																	
○ 11. 完成図等	・ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ i) データ提出媒体：「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式： CADデータ (国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕業務編〕」のCADデータ交換標準に対応したもの) 及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上りについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式)・取扱い説明書 部数部 (建設戸数+2戸分)		○ 1. 砂 利 地 業	材料 ◎ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込碎石 厚さ ※ 60 ・ ( ) (4.6.2) 再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。																																																																																	
13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)	○ 14. 既存建物との取合い	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	5 鉄筋工事	○ 2. 砂 地 業	厚さ ※ 30 ・ ( 50 ) (4.6.3)																																																																															
					3. 捨コンクリート地業	厚さ ※ 50 ・ ( ) (4.6.2)(4.6.4)																																																																															
					○ 4. 床 下 防 湿 層	施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・ ( ) 厚さ ※ 0.15 ・ ( ) 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がり、は、250mm程度とする。																																																																															
					○ 1. 鉄 筋 の 種 類	※ JIS G 3112 ・ JIS 3117 (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名(mm)</th></tr><tr><td>◎ SD295</td><td>D16以下</td></tr><tr><td>・ SD345</td><td>D19以上</td></tr><tr><td>・ SD390</td><td>D29以下</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table> ・高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工： ( ) ) ※ 図面による	種類の記号	呼び名(mm)	◎ SD295	D16以下	・ SD345	D19以上	・ SD390	D29以下	・																																																																						
					種類の記号	呼び名(mm)																																																																															
					◎ SD295	D16以下																																																																															
					・ SD345	D19以上																																																																															
					・ SD390	D29以下																																																																															
					・																																																																																
					2. 溶 接 金 網	・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径： ※ 図示による (5.2.2)																																																																															
○ 3. 継 手 及 び 定 着	柱及び梁の主筋 ( ※ D19以上 ・ ) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 ( ※ D16以下 ・ ) ※ 重ね継手 ・ ( )																																																																																				
○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5.3.6)による・構造特記仕様書による・図示による ・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																																																																																		
施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																																																																																				
5. 帯 筋	形の種別 ・ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2.2)																																																																																				
6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない																																																																																				
7. 壁開口部の補強	一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※ B形 ・ 図示																																																																																				
8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ・ 土間 ・ 犬走り ・ ( )																																																																																				
9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ H形 ・ (別図7.1)(表7.1-3)																																																																																				
10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 (5.4.10)																																																																																				
○ 11. 各 部 配 筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。																																																																																				
○ 16. 部分使用	◎ 有 (部分使用の場所等 階段及び一部廊下)	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第145118号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5-2 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401																																																																																		
○ 17. 指定部分	・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)																																																																																				

章		適用		項目		特記事項		章		適用		項目		特記事項																																				
7 鉄骨 工事	4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形                      ・K形                      ・(                      ) (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による                      ・(                      ) (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 (                      ) (7. 6. 12) 溶接部の試験 ※ 外観試験 (a)(                      ) (b)(                      ) ※ 超音波探傷試験 ※行う AOQL(工場溶接) ※ 4.0%                      ・2.5% 検査水準 ※第6水準                      ・(                      )							11 タ イ ル 工 事	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁( ※ 表11. 1. 1                      ・ 図示による) 屋内(                      ) 寸法 ※ 9. 7. 3                      ・(                      )			12 木 工 事	○ 2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※ 行う(範囲:                      )                      ・ 行わない 木材処理 ※ 行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く) )                      ・ 行わない 防蟻・防蟻処理                      ・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理                      (12. 3. 1) ○ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 防虫処理                      ・ 行う ※ 行わない                      (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。																																		
	○ 5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲(                      ) (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲(                      ) 種別 鋼製スリープ内面( ※ A種                      ・ B種 ) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 (                      ) (7. 8. 4)					○ 3. 材 料	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状・寸法</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th><th>役物</th><th>色</th></tr><tr><td>昇降口2</td><td></td><td>・ 有                      ○ 無</td><td>○ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ○ 無</td><td>○ 標準                      ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 標準                      ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 標準                      ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 有                      ・ 無</td><td>・ 標準                      ・ 特注</td></tr></table> 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) タイル試験張り ( ・ 実施する ・ 実施しない)                      タイル見本焼き( ・ 実施する ・ 実施しない)			施工箇所	形状・寸法	耐凍害性		耐滑り性	役物	色	昇降口2		・ 有                      ○ 無	○ 有                      ・ 無	・ 有                      ○ 無	○ 標準                      ・ 特注			・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 標準                      ・ 特注			・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 標準                      ・ 特注			・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 標準                      ・ 特注	○ 4. セメントモルタルによる タ イ ル 張 り	・ 既調合モルタル(                      ) (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ ( ・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗) ) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 (                      )                      ・(                      ) 工法 (                      )                      ・(                      )			○ 5. 有 機 系 接 着 剤 に    よ    る タ イ ル 張 り	・ 外装タイルにおける目地詰め ( ・ 行う ・ 行わない ) (11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ ( ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 ) (11. 3. 5)			
	施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色																																												
	昇降口2		・ 有                      ○ 無	○ 有                      ・ 無	・ 有                      ○ 無	○ 標準                      ・ 特注																																												
			・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 標準                      ・ 特注																																												
			・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 標準                      ・ 特注																																												
			・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 有                      ・ 無	・ 標準                      ・ 特注																																												
	6. 耐 火 被 覆	種類 (                      ) (7. 9. 2) 材料 (                      ) 工法 (                      ) 耐火性能(                      ) (7. 9. 3)					○ 1. 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が (12. 2. 1) 難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 (                      )地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとす。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたものの 指定部分                      ・ 構造材全て                      ○ その他(下地材、造作材(巾木、額縁、建具枠、見切縁)) 含水率 構造材 ※ 20%以下とする。 下地材 ※ A種                      ・ B種 造作材 ※ A種                      ・ B種			12 I 1 軸 組 構 法 (壁 構 造 系) 工 事	3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※ 木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 ( ※ 図示                      ・(                      ) ) ※ 木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト ( ※ 図示                      ・(                      ) ) ・ せん断力を受けるボルト ( ※ 図示                      ・(                      ) ) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木構仕5章各節の規定による。 ・(                      ) ※ 構造金物は2マーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																																					
	○ 7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による                      ・(                      ) (7. 10. 2) アンカーボルト                      ・ 構造用アンカーボルト                      形状(                      )寸法(                      ) (7. 10. 3) ・ アンカーフレーム                      形状(                      )寸法(                      ) ・ 建方用アンカーボルト                      保持及び埋込工法( ・ A種 ※ B種                      ・ C種 ) (表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法                      工法(※ A種                      ・ B種 ) 厚さ(                      )					4. 仕 口 及 び 継 手 の 工 法	※ 「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号) 木構仕(5. 4. 2) による。																																										
	○ 8. 軽 量 形 鋼	ボルト接合 ※ 普通ボルト接合                      ・(                      ) (7. 11. 2)					1. 共 通 事 項	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木構仕(5. 1. 1) 部材寸法、その他 木構仕(5. 2. 2) 柱                      :                      (                      120*120                      ) @ 950 間柱                      :                      (                      120*60                      ) @ 455 胴縁                      :                      (                      13*45                      ) @ 455 木摺                      :                      (                      13*75                      ) @ 455 天井 吊木受                      :                      (                      45*120～150                      ) @ 950 吊木                      :                      (                      45*45                      ) @ 950 野縁受                      :                      (                      45*45                      ) @ 950 野縁                      :                      (                      45*45                      ) @ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。																																										
9. 溶 融 亜 鉛 め っ き 工 法	亜鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><th>亜鉛めっき種別</th><th>材 料</th><th>適 用 部 位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr></table> 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ・ プラスト処理                      ・(                      ) (7. 12. 5)			亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種		最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類				2. 木 材	部材寸法、その他 柱                      :                      (                      120*120                      ) @ 950 間柱                      :                      (                      120*60                      ) @ 455 胴縁                      :                      (                      13*45                      ) @ 455 木摺                      :                      (                      13*75                      ) @ 455 天井 吊木受                      :                      (                      45*120～150                      ) @ 950 吊木                      :                      (                      45*45                      ) @ 950 野縁受                      :                      (                      45*45                      ) @ 950 野縁                      :                      (                      45*45                      ) @ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。																														
亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位																																																
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																																	
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																																	
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																																	
8 コン クリ ー ト ブ ロ ッ ク 工 事	1. 補 強 コ ン ク リ ー ト フ ロ ッ ク 造	ブロックの種類 (                      ) (8. 2. 2) モジュール呼び寸法(                      ) 正味厚さ (                      ) 各部の配筋 ※ 図示による (8. 2. 5)					3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※ 木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 ( ※ 図示                      ・(                      ) ) ※ 木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト ( ※ 図示                      ・(                      ) ) ・ せん断力を受けるボルト ( ※ 図示                      ・(                      ) ) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木構仕5章各節の規定による。 ・(                      ) ※ 構造金物は2マーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																																										
	2. コ ン ク リ ー ト フ ロ ッ ク 帳 壁 及 び 塀	ブロックの種類 ※ 表 8. 3. 1 (8. 3. 2) 配筋 (8. 3. 4) <table><tr><th>縦 筋</th><th>横 筋</th><th>開口補強筋(縦横)</th><th>端部補強筋</th></tr><tr><td>D10－400@</td><td>D10－400@</td><td>1－D13</td><td>1－D13</td></tr></table>			縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋	D10－400@	D10－400@		1－D13	1－D13			4. 仕 口 及 び 継 手 の 工 法	※ 「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号) 木構仕(5. 4. 2) による。																																	
	縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																														
	D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13																																														
	3. A L C パ ネ ル	壁鉄筋の継手(                      ) 定着(                      ) 末端部折り曲げ形状(                      ) (8. 4. 2) 区分(                      )単位荷重(                      )厚さ(                      )幅(                      )長さ(                      ) (8. 4. 2) 耐火性能(                      ) (8. 4. 3) 外壁パネル構法 構法の種別:( ・ A種 ・ B種 )工法(                      )目地幅(                      ) (8. 4. 3) 耐火目地材(                      ) (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:( ・ A種 ・ B種 )工法(                      )目地幅(                      ) (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:( ・ B種 ・ C種 ) (8. 5. 4)					1. 長 尺 金 属 板 葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) <table><tr><th>屋根葺き形式</th><th>材 種 (板・コイル)</th><th>表 面 処 理</th><th>板厚(mm)</th></tr><tr><td>・ 心木なし瓦葺葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</td><td>・ フッソ樹脂塗装</td><td>※ 0.4                      ・ 0.5</td></tr><tr><td>・ 立て平葺</td><td>・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)</td><td>・ 亜鉛めっき塗装</td><td>・ 0.6                      ・ 0.8</td></tr><tr><td>・ 横葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</td><td>・ 焼付塗装</td><td>・ 0.8                      ・ 1.0</td></tr><tr><td></td><td>・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</td><td></td><td>・ 1.2                      ・</td></tr><tr><td></td><td>・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鼻隠し・ケラバ</td><td></td><td></td><td>※ 0.6</td></tr></table> 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類 表面                      ・ 1類                      ・ 2類                      ・ 3類 裏面                      ・ 1類                      ・ 2類                      ・(                      ) めっき付着量                      ・(                      ) 下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940                      ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め                      ・ つかみ込み納め                      ・ けらば納め			屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)	・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・ フッソ樹脂塗装	※ 0.4                      ・ 0.5	・ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6                      ・ 0.8	・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8                      ・ 1.0		・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・ 1.2                      ・		・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)			・ 鼻隠し・ケラバ			※ 0.6												
	屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)																																														
	・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・ フッソ樹脂塗装	※ 0.4                      ・ 0.5																																														
	・ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6                      ・ 0.8																																														
	・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8                      ・ 1.0																																														
		・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・ 1.2                      ・																																														
	・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)																																																	
・ 鼻隠し・ケラバ			※ 0.6																																															
4. 押 出 成 形 セ メ ン ト 板	種類(                      )形状(                      )厚さ(                      )幅(                      ) (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:( ・ A種 ・ B種 )工法(                      )目地幅(                      ) (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:( ・ B種 ・ C種 ) (8. 5. 4)					2. 折 板 葺	材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm)                      ・ 0.6                      ・ 0.8 ) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm)                      ・                      ) 寸法 山高 (                      )mm 山ピッチ (                      )mm 形式 ※ 重ね形                      ・ はぜ締め形                      ・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による 軒先面戸板 ※ 有り                      ・ 無し 断熱材張り ( 種別:                      厚さ:                      防火性能:                      ) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による																																											
9 防 水 工 事	1. 合 成 高 分 子 系 ル ー フ ィ ン グ シ ー ト 防 水	工程種別 適用箇所 仕上げ塗料塗り 厚 さ ・ S－F1                      ・ カラー                      ・ シルバー ※ 1.2mm                      ・ ・ S－F2                                                                ※ 1.5mm                      ・ ・ S－M1                      ・ カラー                      ・ シルバー ※ 1.5mm                      ・ ・ S－M2                                                                ※ 1.5mm                      ・ 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4) 可塑性移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート                      ・(                      )					3. と い	とい (13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等 ※ 図示による 外部縦どい受け金物 ※ ステンレス製                      ・ 鋼製(亜鉛めっき)                      (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※ 図示による																																										
	○ 2. 塗 膜 防 水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr><tr><td>○ X-2 (密着工法)</td><td>※ 屋根 ○階段室底</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 工程種別 施工箇所 備 考 ・ Y-1                      地下外壁 ・ Y-2                      屋内                      保護層                      ・ 適用する                      ・ 適用しない			工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根		○ X-2 (密着工法)	※ 屋根 ○階段室底				4. 保 証 書 及 び 期 間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																	
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																																
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根																																																	
○ X-2 (密着工法)	※ 屋根 ○階段室底																																																	
10 石 工 事	1. 共 通 事 項	石の割付け・(                      )・図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・ 監督員と協議                      ・ 図示による (10. 1. 5) ワックスの使用 ・ 使用する ・ 使用しない					株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5－3 鹿児島市建設局建築部建築課		A－04																																							
	2. 材 料	テラゾ (10. 2. 1) 種類及び大きさ ※ 大理石(15～12mm)                      ・(                      ) テラゾブロック 形状                      ・ 平物                      ・ 役物 仕上げ面                      ・ 片面                      ・ 両面 寸法 ( 図示による ) 表面仕上げ                      ・ 粗磨き                      ・ 水磨き                      ・ 本磨き																																																



14  
金属工事

○ 1. 一般事項

あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・実施する ・実施しない (14. 1. 3)

○ 2. 表面処理

・ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)

種 類	施 工 箇 所
・ AB－1種(無着色)	
・ AB－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ AC－1種(無着色)	
・ AC－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BA－1種(無着色)	
・ BA－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
※BB－1種(無着色)	アルミ建具
・ BB－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BC－1種(無着色)	
・ BC－2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ C種	

陽極酸化皮膜着色方法 ※二次電解着色 (色合: ) ・ ( )

・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4)

表面処理方法	種 類	施 工 箇 所
溶融亜鉛めっき	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	
	・ D種	
電気亜鉛めっき	・ E種	
	・ F種	

○ 3. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋内 ※19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1)

屋外 ・ 19形 ※25形

・ 野縁受、吊ボルト及びピンサート間隔(屋外) ( ) (14. 4. 3)(表14. 4. 2)

・ 野縁の間隔(屋外) ( )

・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ・ ( ) (14. 4. 4)

・ 天井ふところが1.5m以上の補強方法 ※図示による ・ ( )

・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による ・ ( )

○ 4. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)

種 類	部 材	施 工 箇 所
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ	
・ 65形	・ スタッド ・ ランナ	
・ 90形	・ スタッド ・ ランナ	
◎ 100形 ◎ スタッド ◎ ランナ		

5. 金属成形板張り

形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理 (14.2.1～3、表14.2.1～2による)
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			
	・ ロール	・			
・ パネル形	※ プレス				

伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)

6. アルミニウム製 笠 木

種 類	表 面 処 理	備 考
・ 250形	・ AB－1種 ・ AB－2種 ・ AC－1種 ・ AC－2種	・ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による
・ 300形	・ BA－1種 ・ BA－2種 ※ BB－1種 ・ BB－2種	
・ 350形	・ BC－1種 ・ BC－2種 ・ C種	

※工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること

15  
左官工事

○ 1. モルタル塗り

材料  
モルタル ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料(材料は監督員の承諾による) (15. 3. 2)

防水モルタルの防水剤

製造所(監督員の承諾を得るものとする)。

・既製目地材 形状( )

○ 2. 仕上塗材仕上げ

材料  
JIS A 6909(建築用仕上塗材) (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
◎ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
	・ 複層塗材RE	耐候性 ※ 耐候形3種
	・ 防水形複層塗材E	上塗材
		溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系
		樹 脂 ※アクリル系
		外 観 ※つやあり ・ つやなし
		・ メタリック
◎ 可とう形改修用仕上塗材	◎ 可とう形改修塗材E	◎ ゆず肌、ローラー、シリコン系

16  
建具工事

○ 1. アルミニウム製 建 具

(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1,2)

種 別	外 部 に 面 する 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)
※ 普通ドア	◎ A種 ・ B種		※ 70 ・
※ セット、サッシ	・ C種		※ 100 ・ 図示
	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 70
・ 防音ドアセット	遮音性の等級( )		
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級( )		
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級( )		
表面処理(表14.2.1による)	※ BB-1種 ・	※ AC-1種 ・	

網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)

製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

17  
内装工事

○ 2. 鋼 製 建 具

(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)

種 別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼 板 類 の 厚 さ
・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S－4 ・ S－5	※表16. 4. 2による
	・ 適用しない	・ S－6 ・	・ 適用しない
・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S－4 ・ S－5	※表16. 4. 2による
以外の建具	・ 適用しない	・ S－6 ・	・ 適用しない

製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

3. ステンレス製建具

材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3)

表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4)

曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)

製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

○ 4. 木 製 建 具

建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 ・ C種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1)

かまち戸の樹種 かまち ( ) 鍍板 ( )

ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙

枠 ◎ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( )

くつずり ◎ ステンレス製(HL仕上げ) ・ ( )

フラッシュ戸 表面板の厚さ ※表16.7.6 ・ ( ) (16. 7. 3)

見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ・ ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3)

戸ふすま( ※ 30mm ・ ) 紙張り障子( ※ 30mm ・ )

○ 5. 建 具 用 金 物

※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1)

マスターキー ※ 製作する ◎ 製作しない (16. 8. 4)

鍵箱 ※ 必要 ( 組用) ◎ 不要

6. 重量シャッター

(16. 11. 2～5)

種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式(手動併用)	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置
・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	・ 上部手動式	※ 有	
・ 屋内用防火シャッター				
・ 防煙シャッター				

7. 軽量シャッター

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2)

耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・

スラットの材質 ※ 塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ ( ) (16. 12. 3)

スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)

○ 8. ガ ラ ス

JIS規格品 (16. 14. 2)

※ 材料、厚みは図示による

○ 9. ガ ラ ス 留 め 材

アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3)

・ ガasket(グレイジングチャンネル形)(窓に適用)

鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)

木製建具 ※ シーリング(SR-1)

JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5)

表面形状( ) 呼び寸法( ) 厚さ( )

壁用金属枠及び補強材 ( )

力骨

材 質	寸 法	形 状
※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋
・	・	・

シーリング材( )

金属製化粧カバー 材質( ) 寸法( ) 形状( )

ガラスブロックの目地幅の寸法

平積み ※ 8～15mm ・ ( )

曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ( )

伸縮調整目地位置 ※ 6m以下 ・ ( )

目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ( )

○ 10. ガラスブロック積み

(16. 14. 5)

表面形状( ) 呼び寸法( ) 厚さ( )

壁用金属枠及び補強材 ( )

力骨

18  
塗装工事

○ 1. 材 料

※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。

○ 2. 素 地 ご し ら え

◎ 木部 不透明塗料塗り ( ※ A種 ・ B種 ) (18. 2. 2)(表 18. 2. 1)

透明塗料塗り ( ・ A種 ※ B種 )

◎ 鉄鋼面 ( ・ A種 ・ B種 ※ C種 ) (18. 2. 3)(表 18. 2. 2)

(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)

・ 亜鉛めっき鋼面 ( ・ A種 ・ B種 ) (18. 2. 4)(表 18. 2. 3)

◎ モルタル及びせっこうプラスター面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 5)(表 18. 2. 4)

・ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 6)(表 18. 2. 5)

(耐候性塗料塗り(DP)、2液形ホリウレタンエマル塗り、アクリリコン樹脂エマル塗り、常温乾燥形ふっ素エマル塗りについては、表18. 2. 6による)

◎ せっこうボード及びその他ボード面 継目処理工法 ( ※ A種 ・ B種 ) (18. 2. 7)(表 18. 2. 7)

その他 ( ・ A種 ※ B種 )

○ 3. 塗 料 塗 り

◎ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表 18. 3. 1～6)

下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別
鉄鋼面	SOP	※ A種
	EP-G	・ A種 ※ B種
	1回目	※ C種
	2・3回目	※ D種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※ A種 ・ B種
	EP-G	※ C種
	DP	※ B種

◎ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗料種類 ※ 1種 ・ 2種 (18. 4. 2)

木部塗り種別 (屋外) ※ A種 ・ B種 (18. 4. 3)

(屋内) ・ A種 ※ B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)

鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 4. 4)

◎ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表 18. 5. 1)

塗り種別 ・ A種 ※ B種

・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表 18. 6. 1)

塗り種別 ・ A種 ※ B種

19  
内装工事

○ 1. ビニル床シート、  
ビニル床タイル及び  
ゴム床タイル張り

接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン  
不検出のもので、水性形のものとする。  
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。

ビニル床シート

種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考
※ FS	◎ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	◎ 防滑性ビニル床シート
・	◎ 模様	・	・ 突付け	・

ビニル床タイル

種 類	色柄	厚さ(mm)	備考
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル
・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3	
・ コンポジションビニル床タイル(KT)			

特殊機能床材

帯電防止床シート又は床タイル 種類( ) 性能( ) 厚さ( )

視覚障害者用床タイル 種類( ) 形状( )

耐動荷重性床シート 種類( ) 厚さ( )

ビニル幅木 厚さ( ※ 1.5mm以上 ・ ) 高さ( ※ 60mm ) ◎ 75mm 種類 ( )

ゴム床タイル 種類( ) 厚さ( ) 色柄( ) 寸法( )

下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル( )  
ゴム床タイル( )

2. カーペット敷き

・ 織じゅうたん 種別 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ) 織り方( ) (19. 3. 2～3)(表19. 3. 1～2)

バイル形状 ( ・ カットバイル ・ ループバイル ・ )

帯電性(人体帯電圧 ※ 3kV以下 ・ )

・ タフテッドカーペット バイル形状 ( ・ カットバイル ・ ループバイル ・ )

バイル長( ) 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kV以下 ・ )

工法 ( ・ グリッパ ・ 全面接着 )

・ タイルカーペット 種類 ( ※ 第1種 ・ ) バイル形状( ※ ループバイル ・ )

寸法 ( ※ 500mm角 ・ ) 総厚さ( ※ 6.5mm ・ )

平場敷き方 ( ※ 市松敷き ・ )

階段敷き方 ( ※ 模様流し ・ )

下敷き材 ( ※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・ )

取付け用付属品 見切り 材質( ) 種類( ) 形状( )

押え金物 材質( ) 種類( ) 形状( )

3. 合成樹脂塗床

(19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8)

材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )
・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 厚膜流しのペ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )
		・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )

4. フローリング張り

(19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5)

工 法	フローリング種類	寸 法 等	樹 種
※ 釘留め工法 (接着剤併用)	単層	※ フローリングボード	表19. 5. 1
	複合	・ A種	表19. 5. 2
		・ B種	
	◎ C種	表19. 5. 3	
・ 直張り工法	単層	※ フローリングボード	表19. 5. 4
	複合	・ A種	表19. 5. 5
		・ B種	
	・ C種	表19. 5. 6	

○ 5. 畳 敷 き

畳の種類 (和室) ・ A種 ・ B種 ◎ C種 (19. 6. 2)(表 19. 6. 1)

・ D種 ( ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N )

(柔道場) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )

株式会社 田代設計工房

一級建築士 第 145118 号

田代 昌弘

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

建築工事特記仕様書 5－4

鹿児島市建設局建築部建築課

A－05

Ver.B70401

章		適用		項 目		特 記 事 項		章		適用		項 目		特 記 事 項		章		適用		項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
19 内 装 工 事	○	6. せっこうボード、 その他ボード及び 合 板 張 り		せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5)										○		6. 階 段 滑 り 止 め		材種 ※ SUS ・ ( ) (20. 2. 7) 形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし 両端フラットエンド ・ 無 ※ 有 幅(mm) ・ 35 ※ 40 取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
														○		7. 床 目 地 棒		(20. 2. 8) 床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 ・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 H 型 (幅40 内外厚さ2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
														○		8. 黒 板 及 び ホ 白 イ ト ホ ー ト		(20. 2. 9) <table><tr><td></td><td>種 類</td><td>寸 法(mm)</td><td>色 彩</td><td>備 考</td></tr><tr><td>○ 黒板</td><td>※ 研出し</td><td></td><td>※ 緑 ・ 黒</td><td>※ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td></tr><tr><td>○ 焼付け</td><td></td><td></td><td>※ 緑 ・ 黒</td><td></td></tr><tr><td>・ ホワイトボード</td><td>※ ほうろう白板</td><td></td><td>※ 白</td><td>・ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 白</td><td></td></tr></table> 黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。 (製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)											種 類	寸 法(mm)	色 彩	備 考	○ 黒板	※ 研出し		※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け	○ 焼付け			※ 緑 ・ 黒		・ ホワイトボード	※ ほうろう白板		※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け				※ 白																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			種 類	寸 法(mm)	色 彩	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		○ 黒板	※ 研出し		※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		○ 焼付け			※ 緑 ・ 黒																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・ ホワイトボード	※ ほうろう白板		※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					※ 白																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
														9.		鏡		厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10) ・ 対人衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・ ) ・ 無し ○ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20. 2. 11) ○ 室名表示 ※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
														○		10. 表 示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
														11. ブ ラ イ ンド		(20. 2. 13) <table><tr><td></td><td>形 式</td><td>スラットの材種</td><td>開 閉 方 式</td><td>スラットの幅 (mm)</td><td>ヘッドボックス及びボトムレール</td></tr><tr><td>・ 横形</td><td>※ アルミニウム合金</td><td>※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td><td>※ 25 ・</td><td>※ 鋼製</td></tr><tr><td>・ 縦形</td><td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td><td>※ 2本操作コード式</td><td>・ 80 ・ 100</td><td></td></tr></table>											形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール	・ 横形	※ アルミニウム合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製	・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ 横形	※ アルミニウム合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
												○		12. カー テ ン 及 び カーテンレール		レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ ( ) (20. 2. 16) (表 20. 2. 1) 材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ) ・ ステンレス製 工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
												21 排 水 工 事		1. 屋 外 雨 水 排 水		材料 ※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
														2. 縁 石 及 び 側 溝		材料 ※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事	○	7. 壁 紙 張 り		(19. 8. 2～3) <table><tr><th rowspan="2">施 工 箇 所</th><th colspan="5">壁 紙 の 種 類</th><th colspan="2" rowspan="2">防火性能の級別</th><th colspan="2" rowspan="2">素地ごしらえ</th></tr><tr><th>紙</th><th>織 物</th><th>ビニル</th><th>化学繊維</th><th>無 機 質</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※ 1級</td><td>・ 級</td><td>・ A種</td><td>※ B種</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※ 1級</td><td>・ 級</td><td>・ A種</td><td>※ B種</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※ 1級</td><td>・ 級</td><td>・ A種</td><td>※ B種</td></tr></table>										施 工 箇 所	壁 紙 の 種 類					防火性能の級別		素地ごしらえ		紙	織 物	ビニル	化学繊維	無 機 質		・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種		・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種		・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種			22 舗 装 工 事		1. 路 盤		・ 厚さ: ※ 図面による (22. 3. 2) ・ 材料: ※ 再生クラッシャーラン RC-40 ・ クラッシャーラン C-40 ・ 図面による (22. 3. 3) 再生クラッシャーランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		施 工 箇 所	壁 紙 の 種 類					防火性能の級別		素地ごしらえ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			紙	織 物	ビニル	化学繊維	無 機 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																2. アスファルト舗装		(22. 4. 2) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による ・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ( ) ・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3) ・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ ( ) (22. 4. 4) ・ 切り取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6) ・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																3. コンクリート舗装		(22. 5. 2) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 5. 3) ・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる ・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ ( ) ・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																4. 透 水 性 アスファルト 舗 装		・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 7. 2) ・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																5. ブ ロ ッ ク 系 舗 装		(22. 8. 1) ・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22. 8. 2) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による ・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
														6. 砂 利 敷 き		(22. 9. 2) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による ・ 種別: ・ A種 ・ B種 再生クラッシャーランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事	○	1. フリーアクセス フロア		(20. 2. 2) 床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ 表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル ( ・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ ) 床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・ 寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・ 適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・ (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・ (最上階) ※ 1.0以上 ・ 耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・ 空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( ) コンセント開口 適用室 ( ) コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。 試験方法は、JIS A 1450 (フリーアクセスフロア試験方法)による。 特記以外の仕様は製造所の仕様とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

外壁改修工事特記仕様書

I. 外 壁 仕 上 塗 材 除 去 工 事

1. 分 析 状 況

- 既存仕上塗材における石綿含有の有無
- ・ 未調査(以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。) 調査箇所( 計〇か所)
  - 調査済
    - ・ 有 【使用箇所】 外壁・上裏:( ) 庇の天端・見付:( )
    - 無

2. 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁における浮き、欠損、爆裂、ひび割れ、の劣化改修工事に先立ち行う石綿含有仕上塗材の除去工事に適用する。

3. 法 令 等 の 遵 守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。  
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員のしやすい箇所に掲示すること。また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

4. 事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

5. 施 工 計 画

除去作業に先立ち、施工計画書(除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等)を作成して監督員に提出すること。  
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。  
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

6. 除 去 作 業

1) 共通事項

- ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
- ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。
- ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
- ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
- ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
- ⑥ 除去完了後、作業箇所及びその周辺(ベランダ内部を含む)をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
- ⑦ 除去した仕上塗材及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

2) 除去作業

- ① 除去工法は、以下の石綿障害予防規則第6 条の2第2 項ただし書きに基づく隔離養生及び湿潤化と同等以上の効果を有すること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
  - 剥離剤併用手工具ケレン工法
  - ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、 適正条件を確認してから本施工すること。

II. 一 般 事 項

1. 適 用 範 囲

本特記の範囲は、設計図書に示した外壁のうちコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁を対象とし、これらの浮き、欠損、爆裂、ひび割れの劣化を改修する工事に適用する。その他の仕上げ外壁については、監督員と協議し、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)に基づき施工する。

※ 仕上塗材が石綿含有の場合は、各工法において下線部分を遵守すること。

2. 打診調査及び調査報告書

外壁の改修範囲については、施工前に建築仕上診断技術者(ビルディングドクター)による全面打診調査を行い、その結果に基づき、数量表及び図面(A3サイズ紙とJW-CADデータ)で構成する「調査報告書」を作成し、監督員に提出すること。

なお、調査にあたってはマーキングを行い、監督員の打診検査後、全ての改修箇所について番号を表示すること。

3. 検 査

施工数量調査のマーキング後、監督員による打診検査を受けること。また、外壁改修完了後は吹付工事前に監督員の完了検査を受けること。  
なお、施工中に、設計図書に明示のない箇所又は判断出来ない箇所が発見された場合は、監督員と協議を行い、施工すること。

4. 試 験

ポリマーセメントモルタル充填工法による改修箇所のうち監督員の指示する箇所について、表面引張り試験を監督員立会いのうえ実施し、その試験成績書を完成書類に添付すること。

5. 工 事 施 工

浮き部、ひび割れ部の樹脂注入工事に際しては、樹脂接着剤注入施工技能士を1名以上選任し、当該工事作業中自ら作業をするとともに他の技能者の作業指導を行い、施工品質の向上に努めるものとする。左官、塗装工事は技能士を適用する。

6. 施 工 報 告 書

改修工事完了後、施工数量表及び施工図面(A3)で構成する「施工報告書」を作成し、完成書類に添付すること。

7. 工 事 写 真

改修工事を行った部分については、工程(工法・状態別に各2ヶ所)、完了後の写真を提出すること。  
工事写真はすべてカラーとし、サイズはL版程度とする。  
※ 撮影箇所及び方法等は、監督員と協議の上、決定すること。

8. 電子ファイリングデータ

- 1) 提出データ : 施工報告書、工事写真(完了後)
  - 2) データ提出媒体: データ提出用は、「CD-R」または「DVD-R」とする。
  - 3) データ保存形式: 図面データは、国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」の標準形式とする。  
写真データは、JPEG(写真帳等にまとめる場合はPDF)とする。
- ※ 原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。

9. 保 証 書

改修工事の施工については、保証書(3年)を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。  
※ マーキング、調査報告書、施工報告書、完成写真に付与する番号(面毎の通し番号)は統一すること。

III. 特 記 事 項

1. ポリマーセメントモルタル充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放しの欠損、爆裂の改修で全ての部位に適用し、モルタル塗り仕上げ面の欠損、爆裂、落下の恐れのある浮き(※1)の補修で下記の部位に適用する。ただし、0. 25㎡未満で塗厚が30mmを超える場合は、監督員と協議の上、工法を決定すること。

イ) パラペット      ロ) 庇鼻      ハ) 窓面台及び笠木      ニ) 揚裏      ホ) 全ての部位の爆裂部  
ヘ) 柱壁、だき、まぐさの0. 25㎡未満の部分

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(補修範囲及び周囲5cm部分)

② 材 料

- 1) ポリマーセメントモルタルは、合成ゴム系、アクリル系とし既調合とする。なお、製品については次の品質基準に適合するものとする。  
曲げ強さ: 6N/mm㎡、 圧縮強さ: 20N/mm㎡、 接着強さ: 1N/mm㎡
- 2) 被着面に塗布するプライマーは、ポリマーセメントモルタルの製造所の指定する製品とし、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。
- 3) 防錆材等は、製造所の指定する製品とする。
- 4) 鉄筋及びコンクリート面に塗布する防錆材等は、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

③ 工 法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督職員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 4) プライマーを被着面に刷毛を用いて塗布する。
- 5) 各層の塗り厚は7mm程度とし、養生期間は1週間以上とする。ただし、製造所の仕様等により期間を短縮する場合は、資料を監督員に提出し承諾を受けること。
- 6) ポリマーセメントモルタルの面積が0. 25㎡以上で塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、ポリマーセメントモルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてからポリマーセメントモルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 表面は金コテ又は刷毛引き仕上げとする。
- 8) 各層とも急激な乾燥を避け、適切に養生する。
- 9) 各工程に伴う作業は、製造所の仕様を準用する。

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

2. モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の欠損、落下の恐れのある浮き(※1)の改修で下記の部位及び他工法により施工ができない部分に適用する。

イ) 柱壁、だき、まぐさの0. 25㎡以上の部分      ロ) 庇天端

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(改修範囲及び周囲5cm部分)

② 材 料

- 1) ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト用の混和材料は、JIS A 6203(セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂)の規格に適合したもので監督員の承諾を受けたものとする。
- 2) 保水剤は、メチルセルロースの類とし、使用量等の資料を監督員に提出し承諾を受けること。

③ 工 法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。
- 4) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 5) コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト(1mm程度、保水剤使用)又は、製造所の指定する吸水調整材を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。
- 6) モルタルの塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから接着剤混入モルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 現場調査ポリマーセメントモルタルの調査は、公共建築改修工事標準仕様書「4. 4. 9」による。
- 8) 各層の塗厚は、7mm程度とし、下塗りの養生期間は2週間以上とること。(中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可)

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

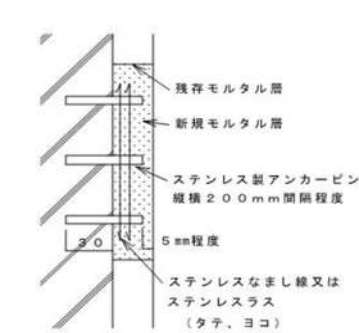


図-2 塗厚が25mmを超える場合



図-1 鉄筋露出の場合(ポリマーセメントモルタル充填工法)

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事		
外壁改修工事特記仕様書(1)		A-07
鹿児島市建設局建築部建築課		

Ver.B70401



3. アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面で落下の恐れのない(※2)浮き部に適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂は、JISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。  
2) アンカーピンの材質は、ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーを用いて浮き部を確認し、チョーク等で明示の上、注入範囲について監督員と協議すること。  
2) 浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般部分(壁面等)は16本/㎡、指定部分(揚裏、パラペット)は25本/㎡、狭幅部は幅中央に5本/㎡とする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする。  
3) 穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約2mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に30mm程度の深さに達するまで行う。穿孔後は、十分孔内を清掃して、接着の妨げとなる切粉等を除去する。(清掃は電気ブロー器具同等以上の清掃器具を使用すること。)  
**※石綿含有仕上塗材の穿孔にあたっては、粉じん飛散防止のため、水循環式ドリル又は集じん装置(HEPAフィルター)ドリル使用とすること。**  
4) アンカーピン固定用エポキシ樹脂を手動式注入器を用い、注入口の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔1箇所当たり25mlとする。  
5) アンカーピンを挿入孔最深部まで挿入し、パテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。  
6) 注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し、清掃する。

④ 確認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する。

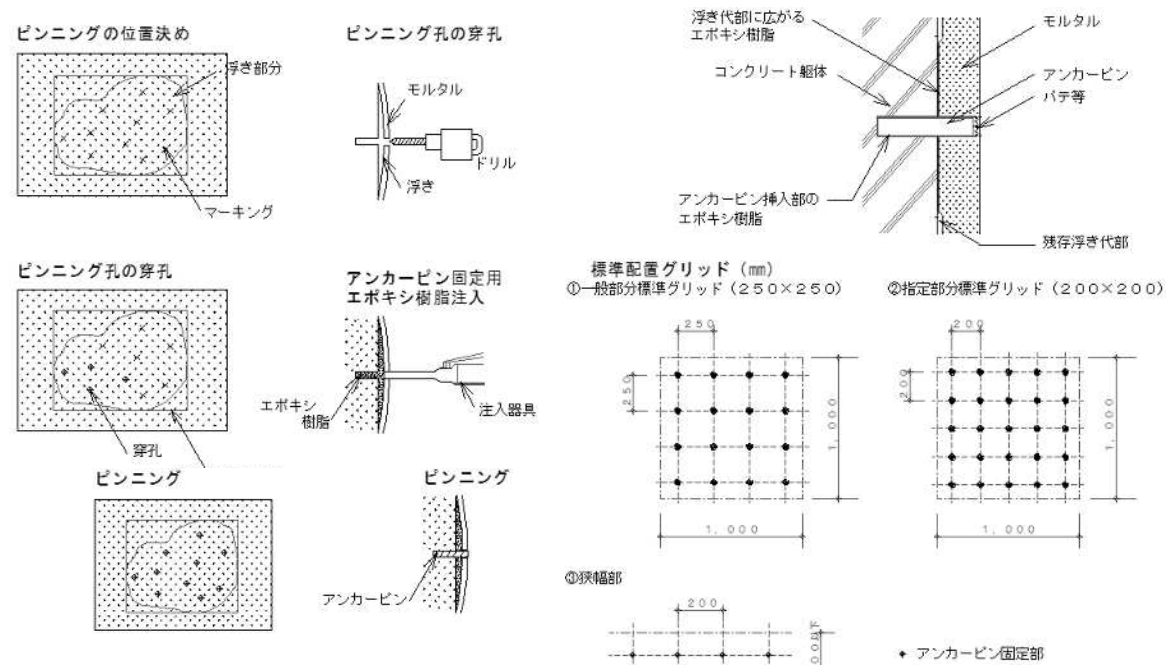


図-3 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

4. 防水モルタル塗替工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面の改修で監督員の指定する部分。

**※改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(改修範囲及び周囲5cm部分)**

② 材料

防水剤は、JISA1404に適合するものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。  
2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。  
3) コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。  
4) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。  
5) コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト(1mm程度 保水剤使用)を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。  
6) 防水モルタルの塗厚が厚い(厚さ25mmを超える)場合は、防水モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから防水モルタル塗りを行う。  
ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。  
7) 防水モルタルの調合は、防水剤製造所の仕様による。  
8) 各層の塗厚は、15mm以下とし、下塗りの養生期間は2週間以上とすること。(中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可)

④ 確認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

5. 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が、0.2～1.0mm以下のひび割れ部について適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂はJISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。  
2) シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、既存の塗材、塗料等又は新規の塗材、塗料等に支障のないものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを除去し、清掃する。  
**※石綿含有仕上塗材の清掃にあたっては、粉じん飛散防止のため、飛散の恐れがあるワイヤブラシ等によるケレンは行わないこと。**  
**※コケ等汚れにより清掃が困難な場合は、監督員と協議を行い、改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。**  
2) 注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う。  
3) 注入孔間隔は250mm程度とする。  
4) 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。  
5) 混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、パネ、空気圧等により注入圧を0.4N/mm<sup>2</sup>以下として注入する。  
6) 注入時は、台座やシール部からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。なお、注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生をする。  
7) エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を適切な方法で撤去し、清掃を行う。

④ 確認

注入時の確認は一つ上の注入器具から漏出することを確認する。注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する。

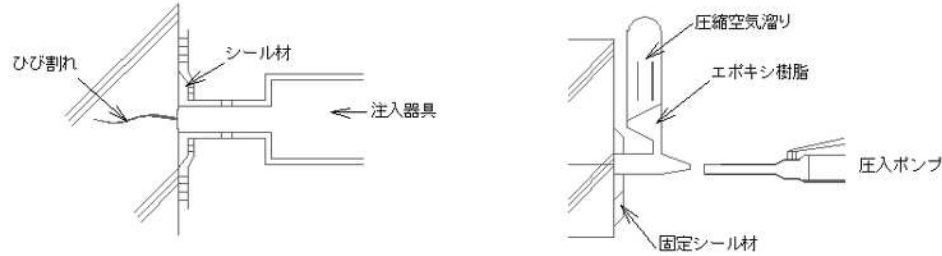


図-4 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

6. Uカットシーリング材充填工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が1.0mmを超え、かつ挙動されるひび割れ部をUカットシーリング用材を充填しポリマーセメントモルタルを塗り込む場合に適用する。

**※改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(ひび割れ沿いの幅5cm部分)**

② 材料

- 1) シーリング材は、JISA5758(建築用シーリング材)に適合するものとする。  
2) プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体(塗装してある場合は塗料)に適したものとする。  
3) バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製でシーリング材と接着しないものとし、使用箇所に適した形状で大きさが目地幅より2mm程度広いものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れ状況について確認し、補修範囲について監督員と協議すること。  
2) ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。  
3) Uカット溝内部に付着している切片、粉塵等はワイヤーブラシ、はけ等で除去する。  
4) 被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。  
5) プライマー塗布後、ごみ・ほこり等が付着した場合又は当日充填が出来ない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。  
6) プライマー塗布後、シーリング材を隅々まで行きわたるようにコーキングガンノズルをUカット溝に当て、加圧しながら空隙、打残しがないように充填し、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填し、充填後はへらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。  
7) ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

④ 確認

シーリング材の充填状況を目視により確認する。

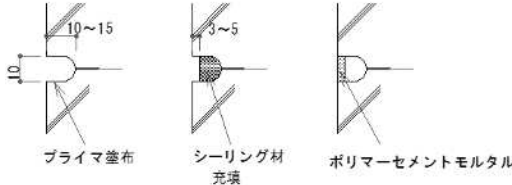


図-5 Uカットシーリング材充填工法

7. その他

① 以下の場合については、監督員と協議の上工法を決定すること。

- イ) 構造耐力に関するコンクリートの劣化ある場合  
ロ) 漏水がある場合  
ハ) その他、施工方法について、判断出来ない箇所が発見された場合

② 発注時の外壁改修数量は推計値によるものである。

③ **石綿含有仕上塗材の高圧洗浄にあたっては、粉じん飛散防止のため、高圧水洗工法(15MPa以下)とすること。**

※1 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのあるモルタル浮き

※2 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのないモルタル浮き

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

外壁改修工事特記仕様書(2)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-08



□ 敷地・建物概要

工事名：桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事  
地名地番：鹿児島市桜ヶ丘二丁目35番地  
道路：42条 1 項 1 号道路  
主要用途：小学校  
構造/階数：鉄筋コンクリート造 4 階建て  
工事種目：長寿命化改良工事（※設備工事は別途）  
改良面積：2 期－1351.29㎡  
用途地域：第一種低層住居専用地域  
防火地域：法22条地域  
備考：大規模の修繕、大規模の模様替えには該当せず

□ 工事概要(今回工事範囲)

○ 長寿命化改良工事

外 部：外壁改修工事

内 部：内装(床・壁・天井・各下地)の改修工事

内部間仕切り壁、家具等の改修工事

教室―廊下間の間仕切り壁の改修工事(木製間仕切に改修)

○ 環境対策工事

内 部：窓ガラスの遮熱化…全面窓のガラスの取替え  
(アタッチメント付ペアガラスの採用)

□ 工事区分（電気設備、給排水設備は別途工事）

工事項目		建築工事	電気設備 工事	給排水・機械 設備工事	冷房設備 工事
1	仮囲い	○			
2	仮設仕切壁	○			
3	外部仮設足場	○			
4	外壁改修・塗装	○			
5	室内仕切壁	○			
6	天井改修	○			
7	天井点検口	○			
8	天井点検口・埋込天井開口補強	○			
9	流し台（ＢＬタイプ）	○			
10	1 階土間ハツリ・復旧	○			
11	衛生器具面台	○			
12	屋上防水（昇降口）	○			
13	衛生器具（補強裏板共）			○	
14	水栓類			○	
15	給湯器（リモコン無し）			○	
16	発信機・表示灯		○		
17	分電盤類撤去後の穴埋め補修		○		
18	シャワーユニット（排水トラップ共）	○			
19	シャワーユニット用換気扇	○			
20	シャワーユニット用ダクト			○	
21	シャワーユニット用シャワー水栓	○			
22	天井換気設備			○	
23	壁掛換気設備		○		
24	既設配管撤去後の配管貫通部穴埋め		○	○	○
25	屋外配管用土間及びアスファルトハツリ・復旧		○	○	○

◎内装仕上塗材等の除去について

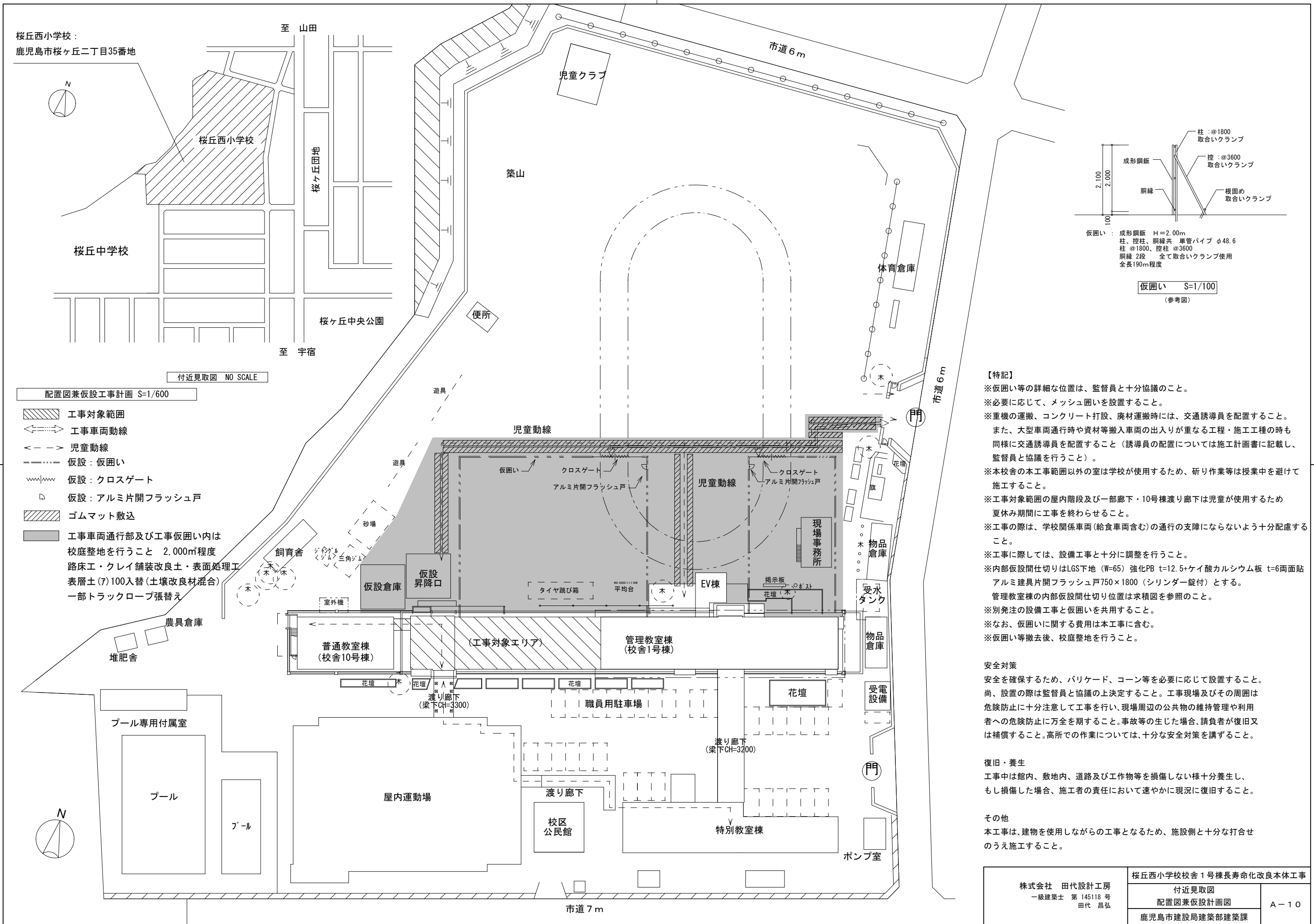
1. 分析状況  
既存仕上塗材における石綿含有の有無
- ・ 未調査（以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。  
石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）  
調査箇所（計 箇所）
  - ・ 調査済  
○ 有 【使用箇所】 内壁ＡＥＰ塗装（下地調整材）部  
※使用箇所のとりこわし及び改修工事に先立ち、石綿含有仕上塗材の除去工事を行うこと。
  - ・ 無
2. 法令等の遵守  
大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。  
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。  
また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。
3. 事前調査  
除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。
4. 施工計画  
除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出すること。  
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。  
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。
5. 除去作業
- 1) 共通事項
- ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
  - ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。
  - ③ 作業を行う作業場所を、それ以外の作業を行う作業場所からビニールシート等で隔離し、立入禁止措置を講ずること。
  - ④ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
  - ⑤ 隔離の解除に当たっては、あらかじめ隔離空間の内部をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
  - ⑥ 除去した仕上・下地塗材及び養生材、保護具等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。
- 2) 除去作業
- ① 除去工法は、以下の 処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
    - ・剥離剤併用手工具ケレン工法
    - ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
  - ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。
6. その他  
石綿含有仕上塗材等の除去作業中は、石綿粉塵濃度を測定すること。

□防火材料・不燃材料等一覧表

名称	品質・規格・寸法など	認定番号
1 時間耐火間仕切り壁	LGS(W=100)下地 下張り：強化石膏ボード t=12.5 上張り：ケイ酸カルシウム板 t=6.0	FP060NP-0384
不燃材料・準不燃材料		
ケイ酸カルシウム板	t=6.0 （無石綿）	NM-2773（同等品以上）
石膏ボード（不燃）	t=12.5	NM-8619（同等品以上）
石膏ボード（準不燃）	t=9.5	QM-9828（同等品以上）
耐水石膏ボード（準不燃）	t=9.5、t=12.5	QM-9826（同等品以上）
強化石膏ボード（不燃）	t=12.5	NM-8615（同等品以上）
塗料	EP、EPG、VE、SOP	基材同等 第0001号

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事	
工事概要・工事区分 石綿含有材建材撤去特記仕様書	A－O 9
鹿児島市建設局建築部建築課	



【特記】

- ※仮囲い等の詳細な位置は、監督員と十分協議のこと。
- ※必要に応じて、メッシュ囲いを設置すること。
- ※重機の運搬、コンクリート打設、廃材運搬時には、交通誘導員を配置すること。
- また、大型車両通行時や資材等搬入車両の出入りが重なる工程・施工工程の時も同様に交通誘導員を配置すること（誘導員の配置については施工計画書に記載し、監督員と協議を行うこと）。
- ※本校舎の本工事範囲以外の室は学校が使用するため、斫り作業等は授業中を避けて施工すること。
- ※工事対象範囲の屋内階段及び一部廊下・10号棟渡り廊下は児童が使用するため夏休み期間に工事を終わらせること。
- ※工事の際は、学校関係車両（給食車両含む）の通行の支障にならないよう十分配慮すること。
- ※工事に際しては、設備工事と十分に調整を行うこと。
- ※内部仮設間仕切りはLGS下地（W=65）強化PB t=12.5+ケイ酸カルシウム板 t=6両面貼アルミ建具片開フラッシュ戸750×1800（シリンドー錠付）とする。
- 管理教室棟の内部仮設間仕切り位置は求積図を参照のこと。
- ※別発注の設備工事と仮囲いを共用すること。
- ※なお、仮囲いに関する費用は本工事に含む。
- ※仮囲い等撤去後、校庭整地を行うこと。

安全対策

安全を確保するため、バリケード、コーン等を必要に応じて設置すること。  
尚、設置の際は監督員と協議の上決定すること。工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意して工事を行い、現場周辺の公共物の維持管理や利用者への危険防止に万全を期すること。事故等の生じた場合、請負者が復旧又は補償すること。高所での作業については、十分な安全対策を講ずること。

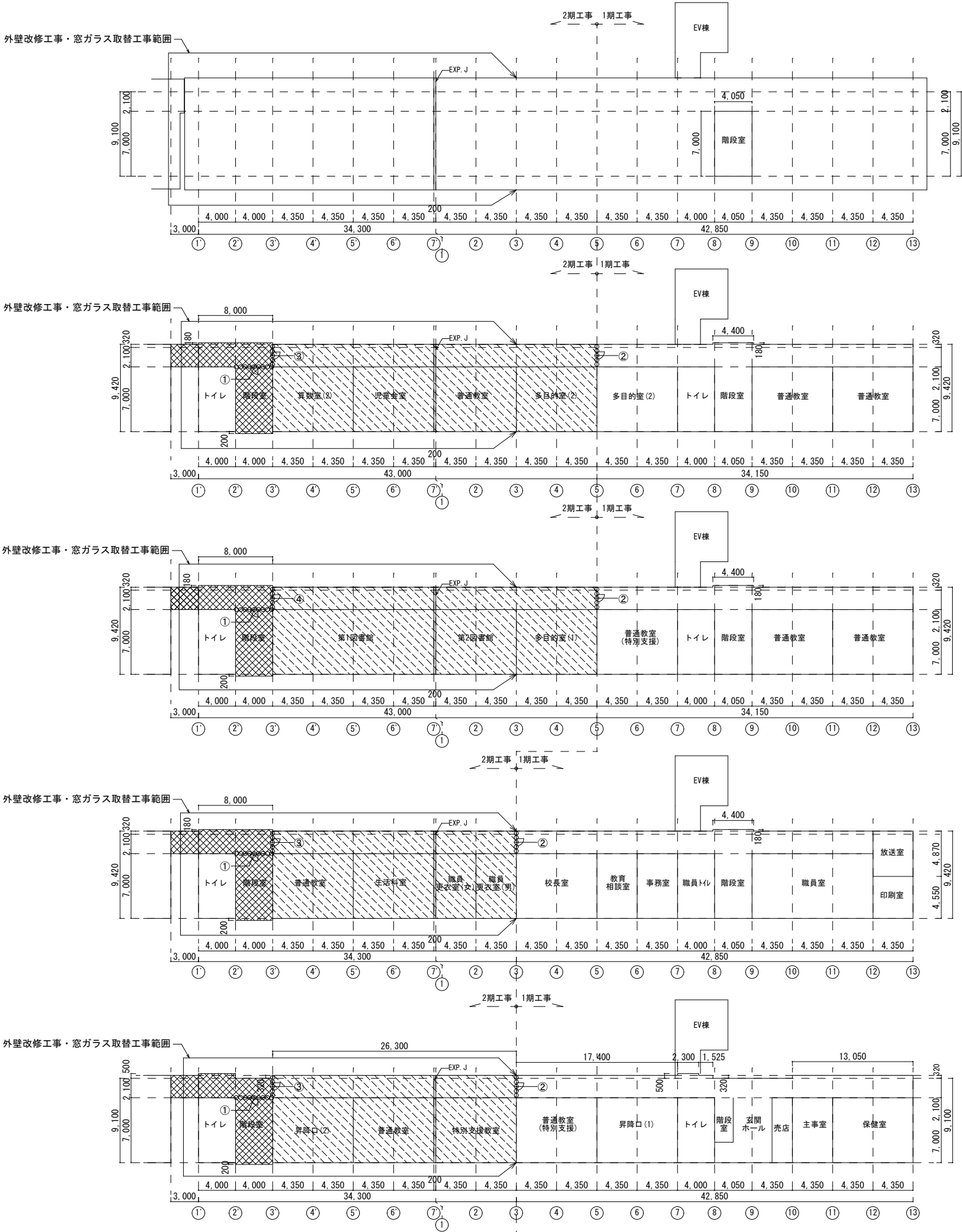
復旧・養生

工事中は館内、敷地内、道路及び工作物等を損傷しない様十分養生し、もし損傷した場合、施工者の責任において速やかに現況に復旧すること。

その他

本工事は、建物を使用しながらの工事となるため、施設側と十分な打合せのうえ施工すること。

株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事	
	付近見取図	A-10
	配置図兼仮設計画図	
鹿児島市建設局建築部建築課		



PH階平面図 S=1/500

4階平面図 S=1/500

3階平面図 S=1/500

2階平面図 S=1/500

1階平面図 S=1/500

床面積		
2期工事		
PH階	内部改修床面積	m <sup>2</sup>
	PH階床面積	—
4階	内部改修床面積	m <sup>2</sup>
	43.00 × 9.42	405.060
	4.00 × 0.20	0.800
	8.00 × 0.18	1.440
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
	4階床面積	379.300
3階	内部改修床面積	m <sup>2</sup>
	43.00 × 9.42	405.060
	4.00 × 0.20	0.800
	8.00 × 0.18	1.440
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
	3階床面積	379.300
2階	内部改修床面積	m <sup>2</sup>
	34.30 × 9.42	323.106
	4.00 × 0.20	0.800
	8.00 × 0.18	1.440
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
	2階床面積	297.346
1階	内部改修床面積	m <sup>2</sup>
	34.30 × 9.10	312.130
	4.00 × 0.50	2.000
	4.00 × 0.20	0.800
	26.30 × 0.32	8.416
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
	1階床面積	295.346
	床面積合計	1351.292
床面積		1351.29
< 凡例 >		
<div>内部改修工事範囲</div> <div>内部改修工事範囲 (夏休み等工事)</div> <div>【内部仮設間仕切】 仕様 (両面仕上げ) LGS下地 (W=65) 強化PB t=12.5+ケイ酸カルシウム板 t=6.0(両面) アルミ製片開きフラッシュ戸 750×1,800程度(鍵付) 設置時期：①：8月まで、②8月から、③2学期以降 ※工事内容に応じ、適切に組み替えを行うこと</div> <div>※X1'~X3通りの外壁改修工事及び外壁面のガラス交換については、2期工事で行う</div>		
株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
求積図 (2期工事)		A - 1 1
鹿児島市建設局建築部建築課		

□外部仕上表				
	構造	屋根	外壁・巾木	軒裏
改修後	管理教室棟	RC造	—	外壁：既存高圧水洗浄(15MPa)の上、シリコン系可とう形改修塗材E 巾木：既存高圧水洗浄(15MPa)の上、DP塗(ポリウレタン樹脂)
				軒裏：既存高圧水洗浄(15MPa)の上、アクリル系軒天用仕上塗材
				縦樋：素地ごしらえ(RC種)の上、DP塗(ポリウレタン樹脂)

□内部仕上表								
階	改修の前後	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考
1 階	改修前	昇降口(2) X3'~X5'	ビニル床シートt=2.0(ノンスリップタイプ) 一部、モザイクタイル(50角)	モザイクタイル張り 木製巾木 OP塗装 H=90 モルタル巾木 SOP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 CL塗装 北面・南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	3,000 (一部2,690)	児童用下足入、傘立て、掲示板、すのこ、掃除用具入、アルミカーテンボックス
	改修後	昇降口(2) X3'~X5'	既存撤去後、アンダーレイシートt5.0 + 防滑性ビニル床シート t=2.0 一部、既存タイル撤去後、土間コンクリート増し打ちの上 モルタル下地、100角磁器質タイル	モルタル巾木 EPG塗装 H=90 ビニル巾木 H=75	既存下地調整の上 EPG塗装 RC部(教室間)：木胴縁下地新設、PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0の上、EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装	3,000 (一部2,680)	児童用下足入、傘立て、掲示板、ステンレス床見切り、掃除用具入、
	改修前	普通教室 X5'~X7'	ビニル床シート t=2.0	木製巾木 OP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	3,050	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 地図掛けレール、アルミカーテンボックス(Wレール)
	改修後	普通教室 X5'~X7'	既存撤去後下地調整の上、 アンダーレイシートt=5.0+ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 耐震補強部：(壁)既存ケイカル板下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)既存ケイカル板の上 杉板t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)
	改修前	特別支援教室 (たんぼぼ2) X1-X3	木床組下地、構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、畳敷きt=55 トイレ：ビニル床シートt=2.0	木製巾木 OP塗装 H=70 トイレ： 木製巾木 OSCL塗装 H=75	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 間仕切壁：t=4.0 T1シナベニヤ目透かし貼 OSCL塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装 トイレ：LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、間仕切り壁、 地図掛けレール、流し台・鏡(設備工事)、面台、シャワーユニット、 洋式トイレ(設備工事)、畳下収納、吊りカーテンレール、木製カーテンボックス(Wレール)
	改修後	特別支援教室 X1-X3	既存撤去後下地調整の上、 アンダーレイシートt=5.0+ビニル床シートt=2.0(木目調)  ※トイレ部分各仕上については、平面詳細図参照のこと。	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 間仕切部(トイレ)：(壁)LGS(W=100)下地(ｸﾞﾗｽｸｰﾙ24kg/m3充填)、PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 耐震補強部：(壁)既存ケイカル板下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)既存ケイカル板の上 杉板t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)木胴縁下地新設+PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、シャワーユニット、流し台(BLタイプ)、整理棚、 面台、アルミカーテンボックス(Wレール)、吊りカーテンレール
	改修前	倉庫 (階段下)	モルタルコテ押え	—	モルタル金コテ押え	モルタル刷毛引	—	
	改修後	倉庫 (階段下)	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	改修前	普通教室 X3'~X5'	ビニル床シート t=2.0	木製巾木 OP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	3,050	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 地図掛けレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺
	改修後	普通教室 X3'~X5'	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺
2 階	改修前	生活科室 X5'~X7'	ビニル床シート t=2.0	木製巾木 OP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	3,060	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 地図掛けレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺
	改修後	生活科室 X5'~X7'	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺
	改修前	職員更衣室 (女) X1-X2	木床組下地、構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 踏込：複合ビニル床シート t=2.8 休憩室：木床組下地、構造用合板t=12.0+畳敷き(一部板畳) 押入：木床組下地、シナベニヤ張りt=5.5 脱衣室：木床組下地、構造用合板t=12.0二重張り 複合ビニルシートt=2.8	木製巾木 CL塗装 H=100	LGS下地、(廊下側のみケイカル板二重貼りの上) PB t=12.5+ビニルクロス貼り 休憩室：シナベニヤ目透かし貼 t=5.5 CL塗装 (脱衣室側)LGS下地、PB t=9.5+シナベニヤ目透かし貼 t=5.5 CL塗装 (更衣室(男)側)LGS下地、ケイカル板二重貼り+シナベニヤ目透かし貼 t=5.5 CL塗装 押入：LGS下地、PB t=9.5+シナベニヤ貼 t=4.0 (更衣室(男)側)LGS下地、ケイカル板二重貼り+シナベニヤ貼 t=4.0 脱衣室：LGS下地、ケイカル板 t=8.0目透かし張り EPG塗装 (更衣室(男)側)LGS下地、ケイカル二重貼り+ケイカル板 t=5.0目透かし張り EPG塗装	軽天地下 化粧PB t=9.5 休憩室：化粧PB t=9.5(極目) 押入：木組下地 シナベニヤ t=4.0 脱衣室：軽天地下 浴室用硬質成型板 梁(天井裏)：モルタルコテ押え AEP塗装	2,600 (2,300) (2,400)	室名札、洗面台(設備工事)、シャワーユニット、更衣用カーテンレール、 収納棚、木製カーテンボックス(Sレール)、落下防止手摺(木製)
	改修後	職員更衣室 (女) X1-X2	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0  ※脱衣室部分各仕上については、平面詳細図参照のこと。	ビニル巾木 H=75	間仕切部(廊下側)：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 間仕切部(更衣室(男)側)：LGS(W=100)下地(ｸﾞﾗｽｸｰﾙ24kg/m3充填)、 強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 間仕切部(脱衣室間)：LGS(W=100)下地(ｸﾞﾗｽｸｰﾙ24kg/m3充填)、PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 RC部(外壁側)：既存下地調整、PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 RC部(D面)：PB t=9.5(直張工法)+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	2,680	室名札、吊りカーテンレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、洗面台(設備工事)、 脱衣棚、落下防止手摺、棚、枕棚、シャワーユニット

※床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。	※室・教室・廊下間の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし、スラブ下まで達せしめる。	※ケイカル板：ケイ酸カルシウム板	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
※防滑性ビニル床シート：フラットタイプ(粒子入り)	※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去の上施工すること。			外部仕上表・内部仕上表(1)	A－1 2
※腰壁杉板張り：杉羽目板 t=12.0(本実)縦張り	※4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。				
※昇降口・外部ポーチの100角磁器質タイルはノンスリップタイルとする。	※階段上裏、内壁、梁型は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。			鹿児島市建設局建築部建築課	

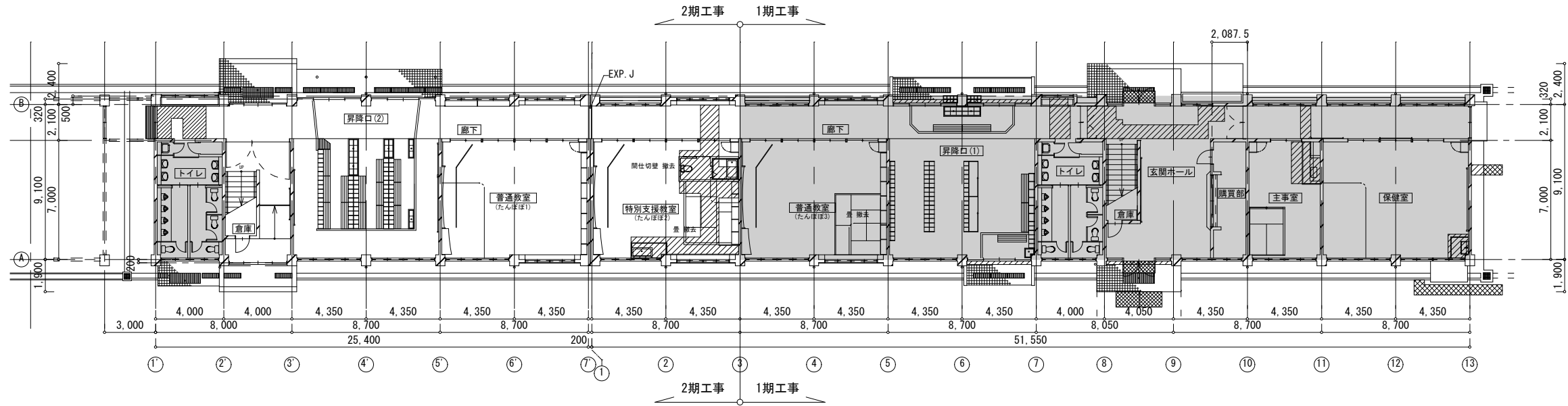


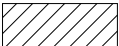
階	改修の 前後	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考		
2 階	改修前	職員更衣室 (男) X2-X3	木床組下地、構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 踏込：複合ビニル床シート t=2.8 休憩室：木床組下地、構造用合板t=12.0+畳敷き(一部板畳) 押入：木床組下地、シナベニヤ張りt=5.5 脱衣室：木床組下地、構造用合板t=12.0二重張り 複合ビニルシートt=2.8	木製巾木 CL塗装 H=100	LGS下地、(廊下側のみケイカル板二重貼りの上) PB t=12.5+ビニルクロス貼り 休憩室：シナベニヤ目透かし貼 t=5.5 CL塗装 (脱衣室側)LGS下地、PB t=9.5+シナベニヤ目透かし貼 t=5.5 CL塗装 (更衣室(女)側)LGS下地、ケイカル板二重貼り+シナベニヤ目透かし貼 t=5.5 CL塗装 押入：LGS下地、PB t=9.5+シナベニヤ貼 t=4.0 (更衣室(女)側)LGS下地、ケイカル板二重貼り+シナベニヤ貼 t=4.0 脱衣室：LGS下地、ケイカル板 t=8.0目透かし張り EPG塗装 (更衣室(女)側)LGS下地、ケイカル二重貼り+ケイカル板 t=5.0目透かし張り EPG塗装	軽天下地 化粧PB t=9.5 休憩室：化粧PB t=9.5(柱目) 押入：木組下地 シナベニヤ t=4.0 脱衣室：軽天下地 浴室用硬質成型板 梁(天井裏)：モルタルコテ押え AEP塗装	2,600 (2,300) (2,400)	室名札、洗面台(設備工事)、シャワーユニット、更衣用カーテンレール、 収納棚、木製カーテンボックス(Sレール)、落下防止手摺(木製)		
	改修後	職員更衣室 (男) X2-X3	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0  ※脱衣室部分各仕上については、平面詳細図参照のこと。	ビニル巾木 H=75	間仕切部(廊下側)：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 間仕切部(A面)：既存LGS(W=65)下地(ｸﾞﾗｽｸﾞ-#24kg/m3充填)、 強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 間仕切部(更衣室(女)側)：LGS(W=100)下地(ｸﾞﾗｽｸﾞ-#24kg/m3充填)、 強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 間仕切部(脱衣室間)：LGS(W=100)下地(ｸﾞﾗｽｸﾞ-#24kg/m3充填)、PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 RC部(外壁側)：既存下地調整、 PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	2,680	室名札、吊りカーテンレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、洗面台(設備工事)、 脱衣棚、落下防止手摺、棚、枕棚		
3 階	改修前	第1図書室 X3'-X7'	木床組下地、構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、畳敷 t=55 洗し部：構造用合板t=12.0二重張りの上、複合ビニル床シート t=2.8	ビニル巾木 H=90 木製巾木 SOP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 SOP塗装 南面：モルタル金コテ押え EPG塗装 流し部：CB積みt100の上、100角タイル張り	軽天下地 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え EPG塗装(+AEP塗装)	2,950	室名札、掃除用具入、掲示板、書棚、窓下書棚、洗面器・鏡(設備工事)、面台、 地図掛けレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	第1図書館 X3'-X7'	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調) 一部、置き畳(可動式畳寄せ)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁新設の上、掲示板 RC部(外壁側)：(壁)掲示板 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、掃除用具入、掲示板、本棚、棚、カウンター、洗面器(設備工事)、面台、 アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺、ホワイトボード		
	改修前	普通教室 (たんぼぼ4) X1-X3	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、畳敷きt=55	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、落下防止手摺、 地図掛けレール、吊りカーテンレール、木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)、		
	改修後	第2図書館 X1-X3	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 耐震補強部：(壁)既存ケイカル板下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)既存ケイカル板の上 杉板t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺		
	改修前	多目的室(1) (たんぼぼ5) X3-X5	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、置き畳t=55	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、間仕切り壁、 地図掛けレール、吊りカーテンレール、木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)、 落下防止手摺		
	改修後	多目的室(1) X3-X5	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺		
4 階	改修前	算数室(2) X3'-X5'	木床組下地、構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=80	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 地図掛けレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	算数室 X3'-X5'	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺		
	改修前	児童会室 X5'-X7'	ビニル床シート t=2.0	木製巾木 OP塗装 H=80	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	3,050	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 地図掛けレール、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	児童会室 X5'-X7'	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺		
	改修前	普通教室 X1-X3	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、畳敷きt=55	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、落下防止手摺、 地図掛けレール、吊りカーテンレール、木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)		
	改修後	普通教室 X1-X3	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗装替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺		
※床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。			※室・教室・廊下間の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし、スラブ下まで達せしめる。			※ケイカル板：ケイ酸カルシウム板		株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
※防滑性ビニル床シート：フラットタイプ(粒子入り)			※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去の上施工すること。						内部仕上表(2)	
※腰壁杉板張り：杉羽目板 t=12.0(本実)縦張り			※4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。						A－13	
※昇降口・外部ボーチの100角磁器質タイルはノンスリップタイルとする。			※階段上裏、内壁、梁型は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。						鹿児島市建設局建築部建築課	


階	改修の 前後	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考
4 階	改修前	算数室(1) X3-X5	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除具入、児童用ロッカー、給食用ロッカー、落下防止手摺、 教師用ロッカー、木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)
	改修後	多目的室(2) X3-X5	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法)の上、EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(張替え・枠塗替え)、掲示板(張替え・新設)、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺
共通	改修前	廊下	ポリウレタン塗床 ビニル床シート(ノンスリップタイプ)t=2.0	モルタルコテ押え AEP塗装 H=90 木製巾木 H=90 ビニル巾木 H=75	モルタル金コテ押え AEP塗装 南面：ベニヤ t=5.5 目透かし貼 OP塗装 耐震補強部：LGS下地、ケイカル板t=8.0の上、EPG塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 一部ジブトーンt=9.0	2,690	ステンレス流し・汚水流し、面台、消火栓、ステンレス床見切り、掲示板、 収納棚、雑巾がけ、中央区分線、避難用フック(3・4階)
	改修後	廊下	既存撤去後,アンダーレイシートt5.0 + 防滑性ビニル床シート t=2.0(1階) 既存撤去後,防滑性ビニル床シート t=2.0(2～4階)	モルタル巾木 EPG塗装 H=90 ビニル巾木 H=75	RC部：既存塗膜撤去後、下地調整の上 EPG塗装 間仕切部：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5の上、ケイカル板 t=6.0mm EPG塗装 耐震補強部：既存下地調整の上、EPG塗替	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	2,680 (一部2,690)	ステンレス流し・汚水流し(既存のまま)、消火栓(設備工事)、掲示板、面台、 消火器ボックス、ステンレス床見切り、収納棚、雑巾がけ、中央区分線、 避難用フック(3・4階)
	改修前	西側階段	ポリウレタン塗床	モルタルコテ押え AEP塗装	モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 ジブトーンt=9.0 段裏：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	—	ビニル製手すり、掲示板
	改修後	西側階段	既存撤去後下地調整の上、防滑性ビニル床シートt=2.0 段鼻：ステンレスノンスリップ	モルタル巾木 既存下地調整の上、 EPG塗装	既存下地調整の上 EPG塗装	上裏：EPG塗装吹付 4階：LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	—	ビニル製手すり(既存のまま)、掲示板

※床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。	※室・教室・廊下間の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし、スラブ下まで達せしめる。	※ケイカル板：ケイ酸カルシウム板	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
※防滑性ビニル床シート：フラットタイプ(粒子入り)	※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去の上施工すること。			内部仕上表(3)	A－14
※腰壁杉板張り：杉羽目板 t=12.0(本実)縦張り	※4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。			鹿児島市建設局建築部建築課	
※昇降口・外部ポーチの100角磁器質タイルはノンスリップタイルとする。	※階段上裏、内壁、梁型は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。				

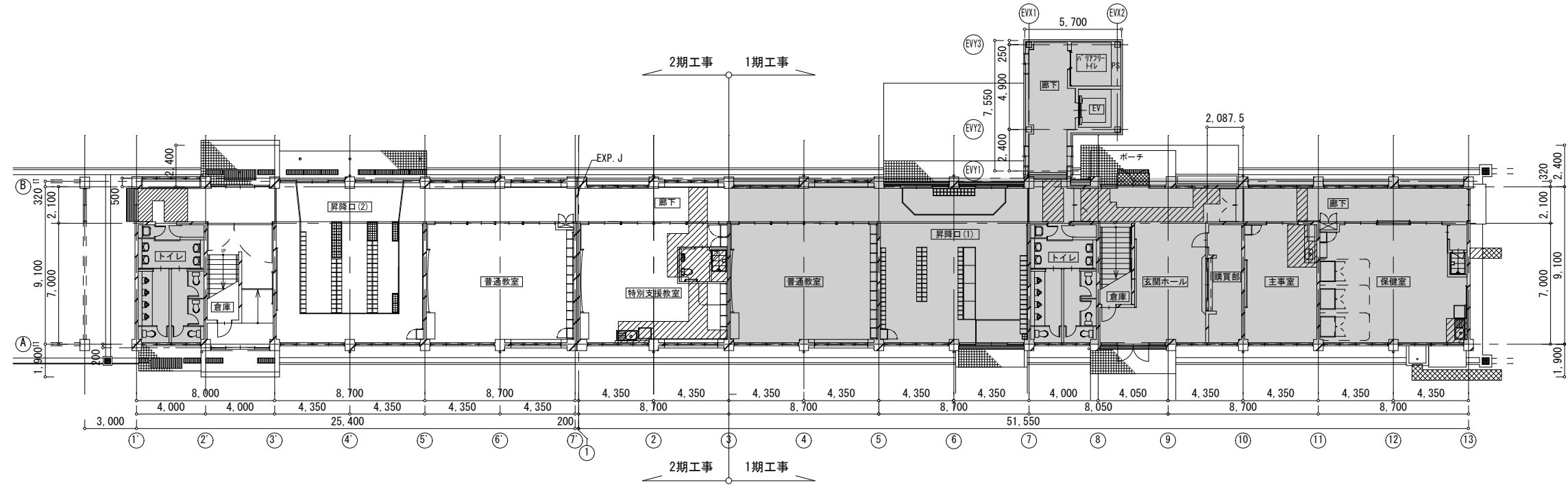
改修前 1階平面図 S=1/300





 土間スラブt=110研り範囲 (D10@300 シングル・ﾀﾞﾌﾞﾙ共)

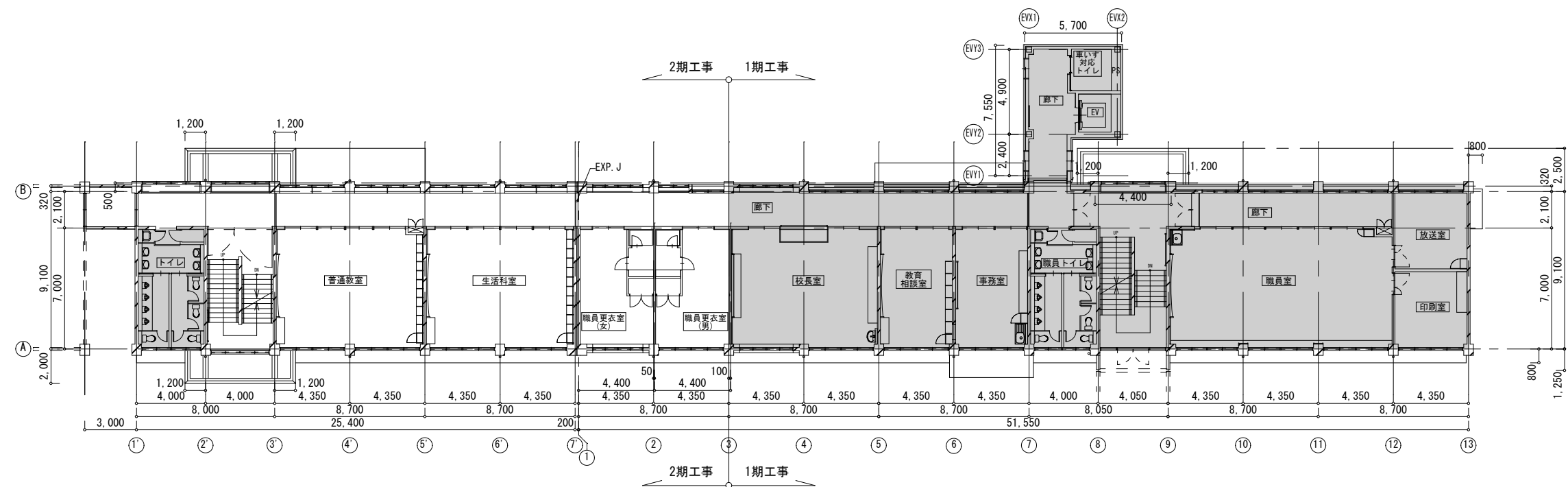
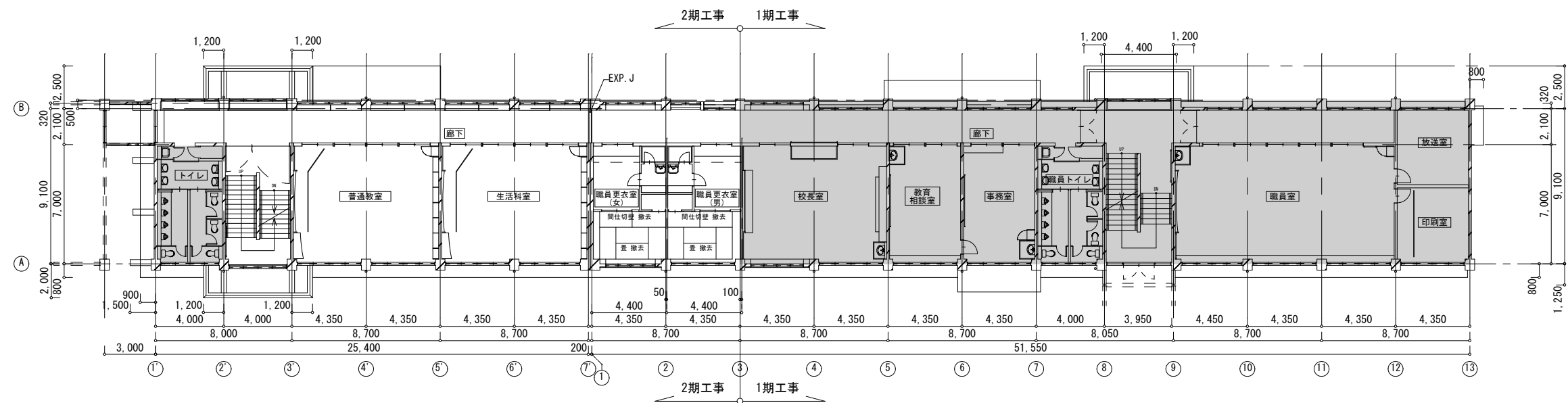
 工事対象外

改修後 1階平面図 S=1/300



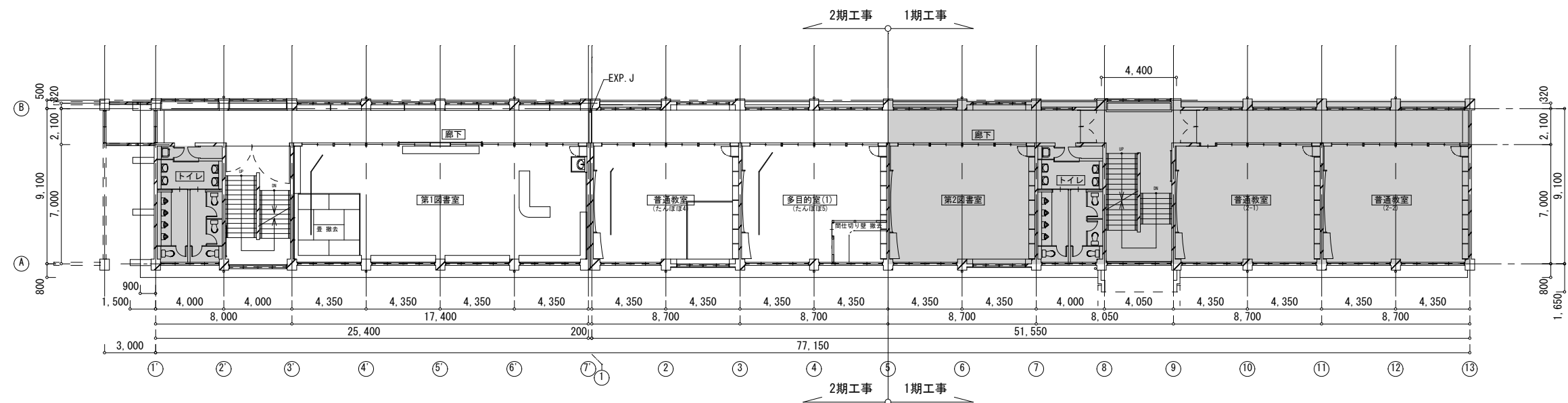
 土間新設範囲

 工事対象外



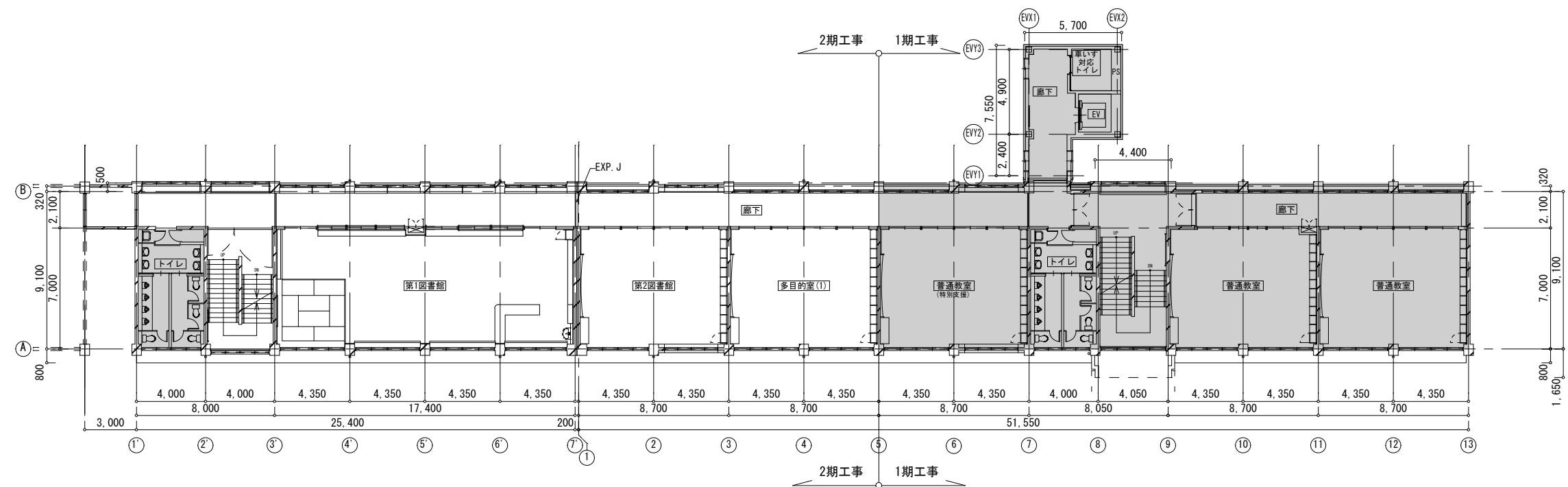


改修前 3階平面図 S=1/300



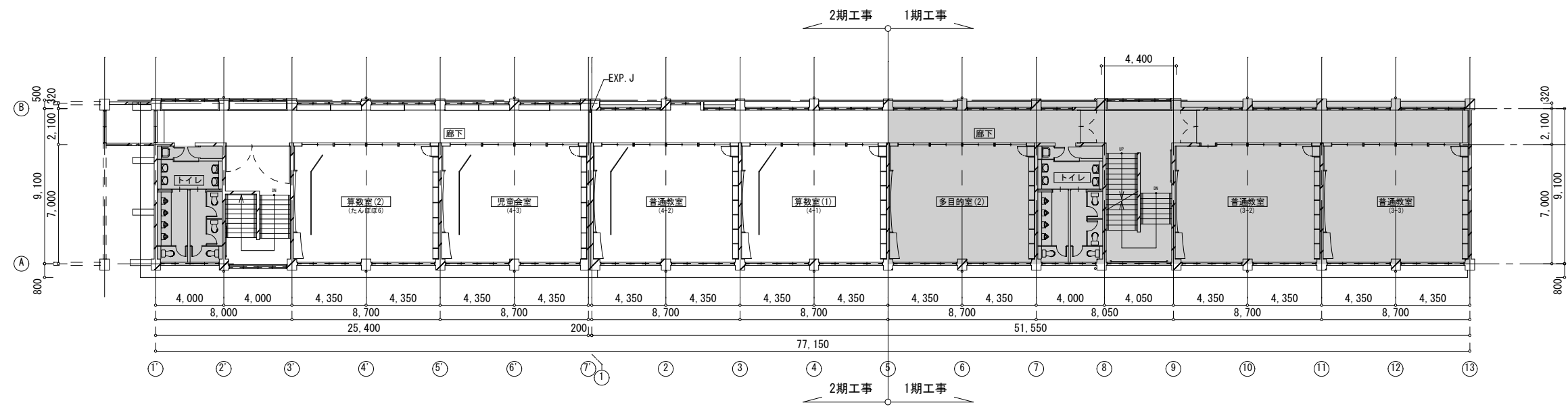
工事対象外

改修後 3階平面図 S=1/300

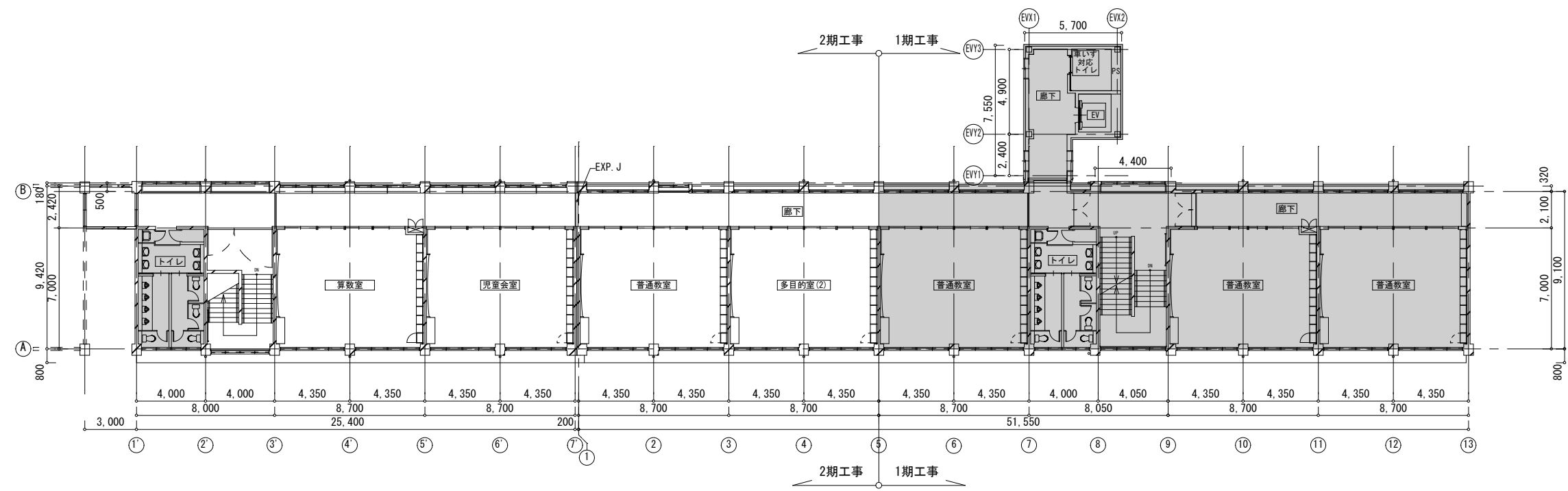


工事対象外

改修前 4階平面図 S=1/300

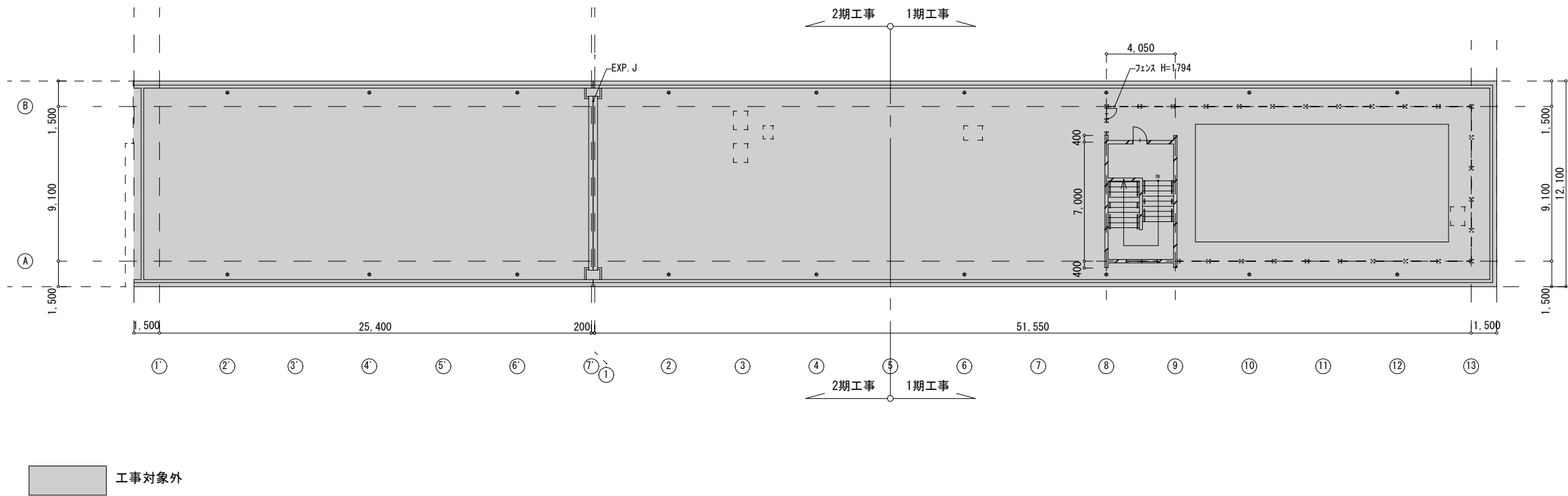


改修後 4階平面図 S=1/300

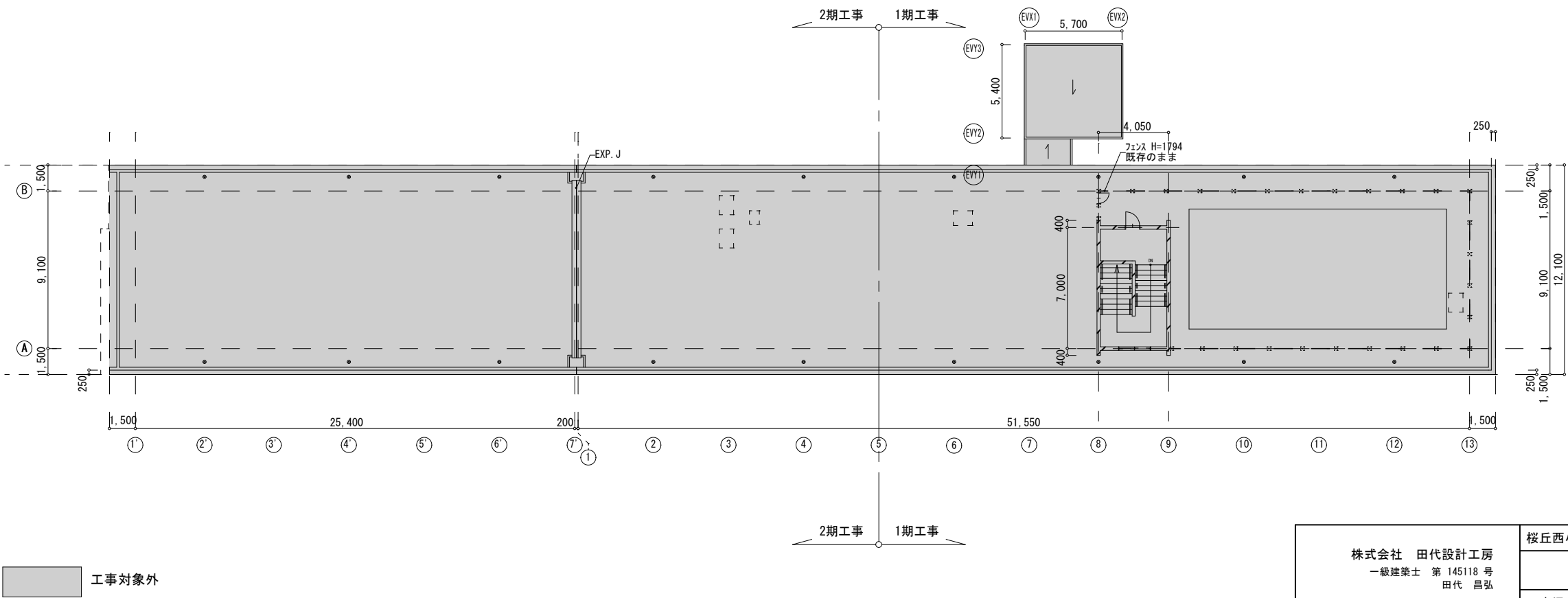


株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

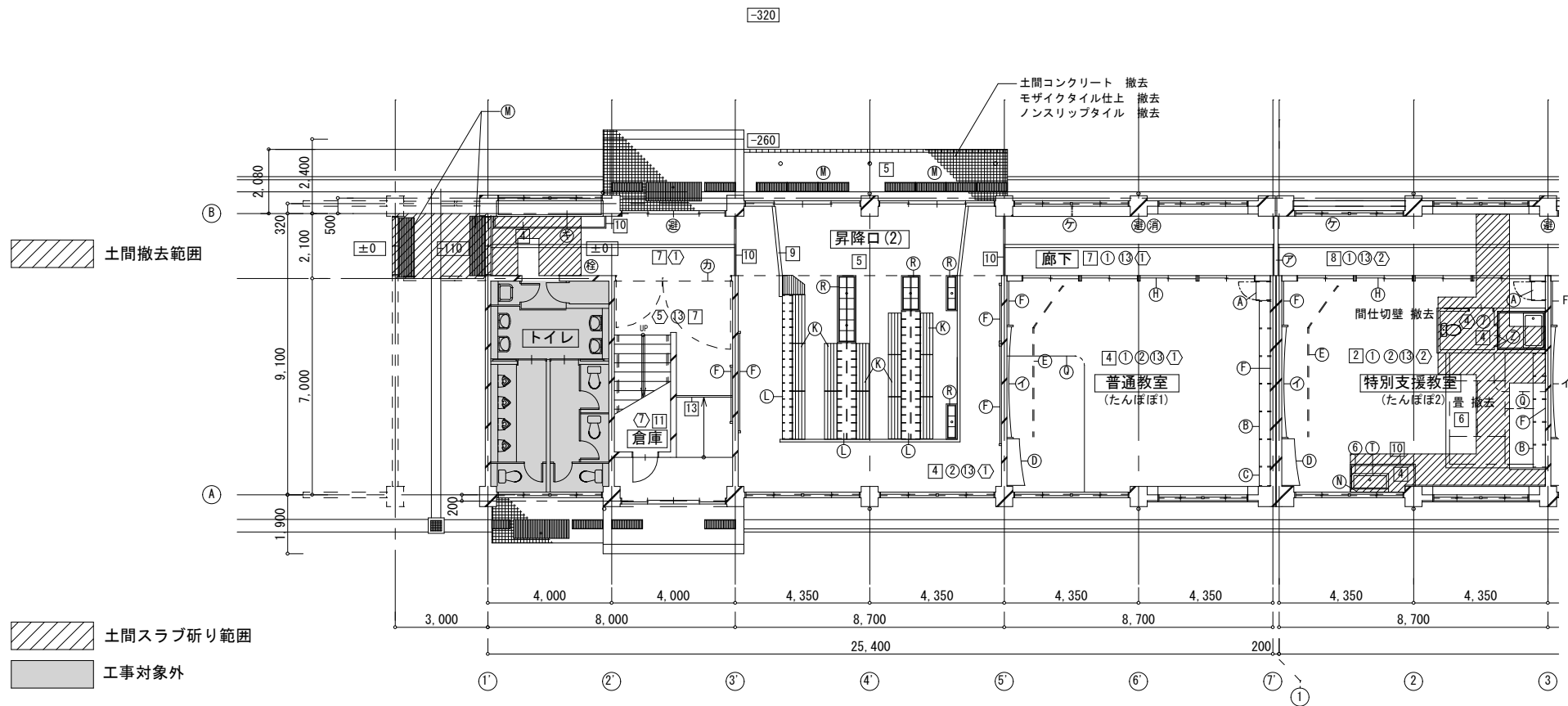
改修前 R階平面図 S=1/300



改修後 R階平面図 S=1/300

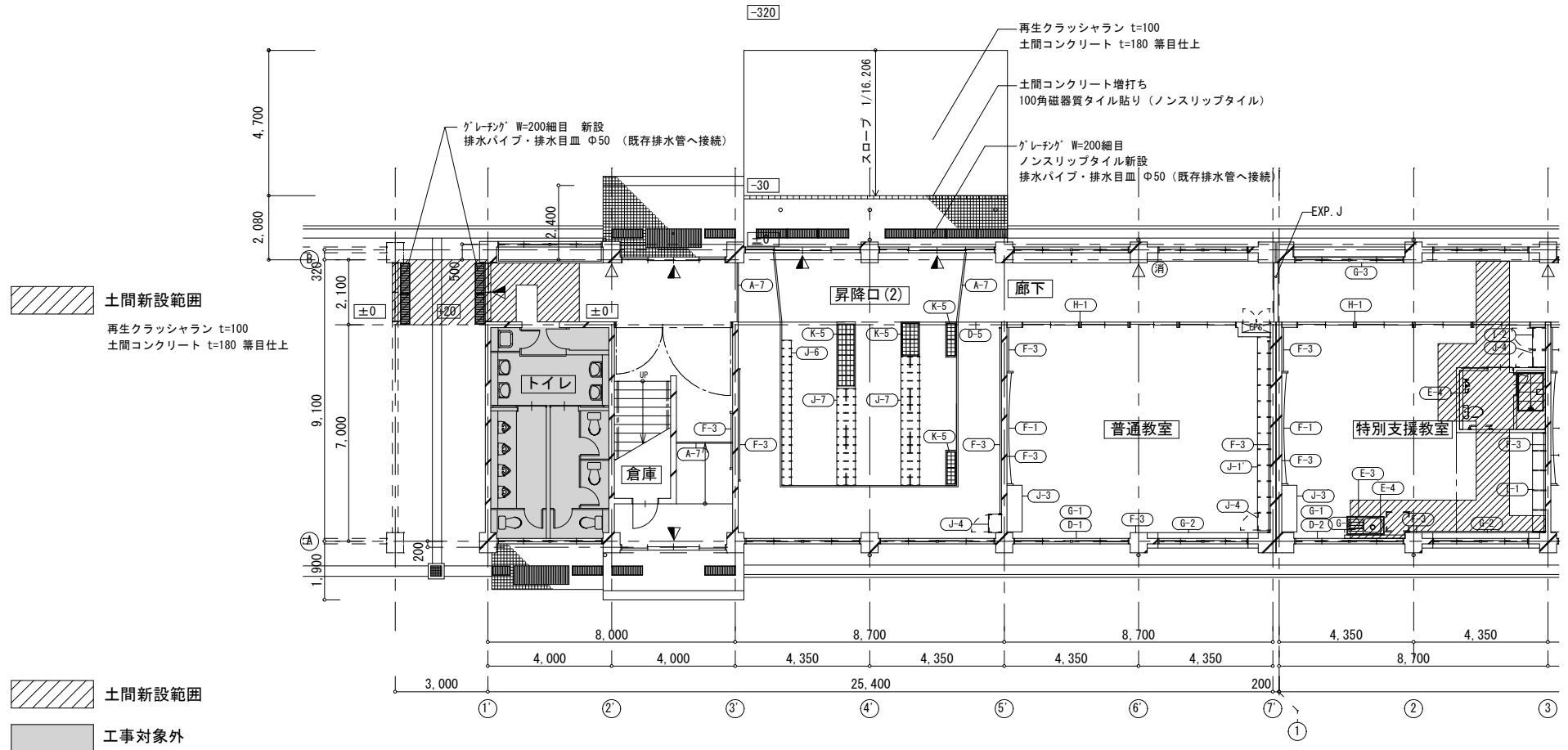


改修前 1階平面図 S=1/200



番号	部分名称	番号	部分名称
1	床: モザイクパーケット	A	掃除具入
2	床: 集成材フローリング(木床組共)	B	児童用ロッカー
3	床: 集成材フローリング(t12構造用合板下地)	C	給食用ロッカー
4	床: 長尺塩ビシート t=2.0	D	教師用ロッカー
5	床: モザイクタイル	E	地図掛けレール
6	床: 畳(木床組共)	F	掲示板
7	床: 塗床	G	洗面台・洗面器
8	床: 長尺塩ビシート(中央部ライン張り分け)	H	木製学校間仕切(木建具共)
9	床: 人造石	I	鋼製建具
10	床: ステンレス床見切り	J	アルミ製建具
11	床: モルタルコテ押え(既存のまま)	K	木製スノコ
12	床: シナベニヤ t=5.5	L	下足棚
13	床: 人造石	M	鋼製マット・グレーチング
1	壁: ベニヤ目透かし貼(木胴縁下地撤去) 木軸組	N	面台
2	壁: ベニヤ目透かし貼(木胴縁下地撤去) RC躯体	O	流し台
3	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼(寒冷紗下地) 木軸組	P	本棚
4	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼(寒冷紗下地) RC躯体	Q	吊りカーテンレール(カーテン用)
5	壁: ビニルクロス貼(PB下地)	R	傘立て
6	壁: タイル(モルタル下地撤去)	S	棚(書棚・収納棚)
7	壁: シナベニヤ目透かし貼	T	ステンレス流し
8	壁: ケイ酸カルシウム板 目透かし貼	U	鋼製スロープ
9	壁: プリント合板 t=4.0(木胴縁下地撤去) 木軸組	V	飾り棚
10	壁: プリント合板 t=4.0(木胴縁下地撤去) RC躯体	W	カウンター
11	壁: ショージ銘木合板 t=5.5(木胴縁下地撤去) 軽天下地	X	行事黒板・ホワイトボード
12	壁: ショージ銘木合板 t=5.5(木胴縁下地撤去) RC躯体	Y	木製手摺
13	壁: AEP塗装 RC躯体	Z	シャワユニット
1	天井: t=9.0 ジブトーン貼(軽天下地共)	1	既存避難誘導標識位置を示す
2	天井: t=9.0 岩綿吸音板(軽天下地共)	2	EXP.J(床・壁・天井)
3	天井: 着色ヒル石吹付(PB下地)	3	曲面黒板(張替え) 木枠
4	天井: t=9.0 化粧石膏ボード(軽天下地共)	4	掲示板(張替え) 木枠
5	天井: モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	5	行事黒板(張替え) 木枠
6	天井: モルタル刷毛引 シリカ系リシン吹付	6	手摺(塗替え)
7	天井: モルタル刷毛引(既存のまま)	7	防火戸(塗替え)
8	天井: シナベニヤ目透かし貼 t=4.0	8	ステンレス流し(既存のまま)
9	天井: 浴室用硬質成型板(軽天下地共)	9	シャッター(塗替え)
		10	棚(塗替え)
		11	既存消火器位置を示す
		12	既存屋内消火栓位置を示す
		13	既存フック位置を示す
		14	既存避難器具位置を示す

改修後 1階平面図 S=1/200



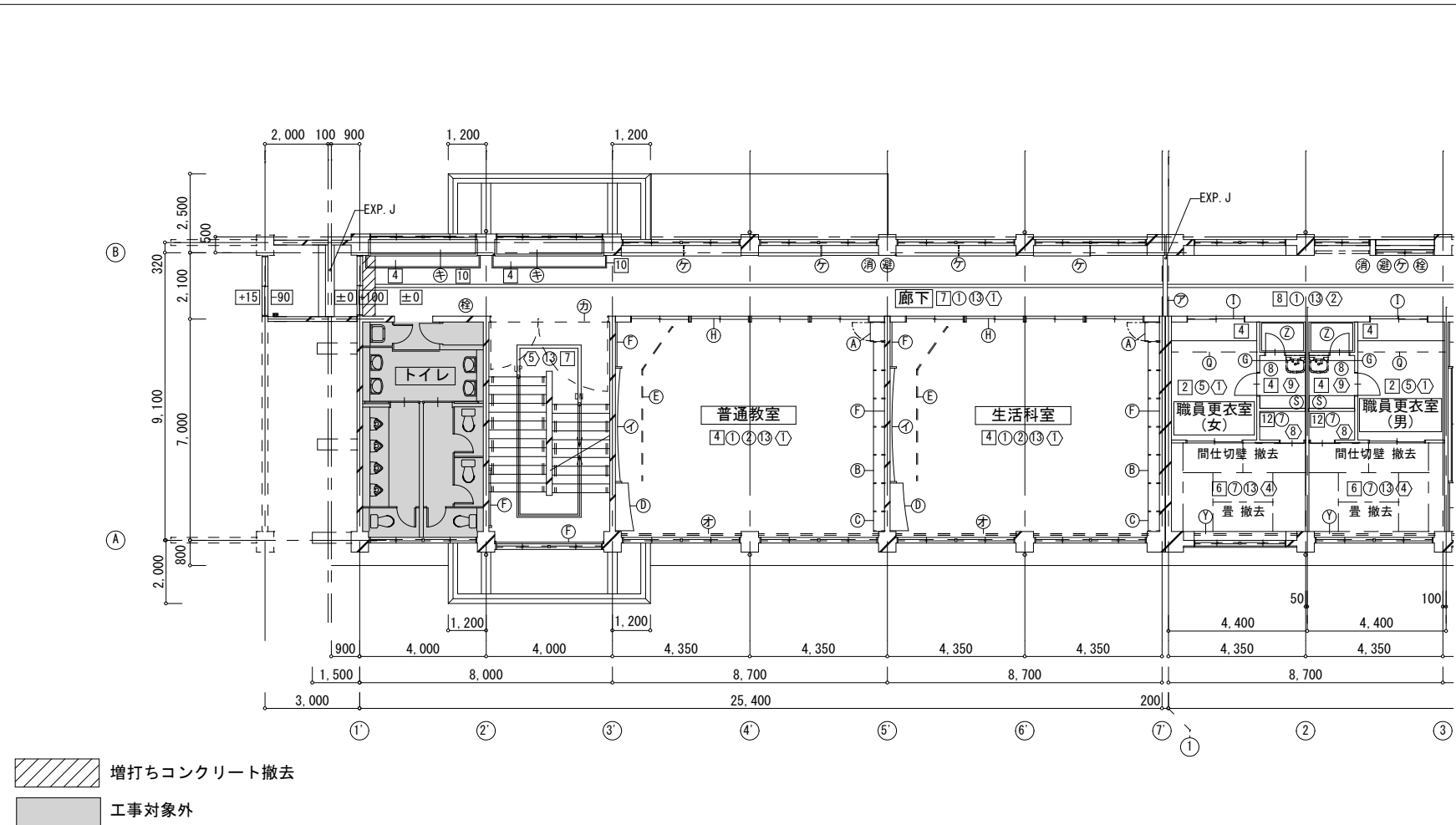
部分名称	部分名称	部分名称
A-7 ステンレス床見切り	H-1 室名札	J-17 書棚(職員室)
A-11 コーナー床見切り(シート巻上)	I-1 児童用ロッカー(特別支援)	J-18 布団収納棚
B-1 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	I-2 整理棚(特別支援)	J-19 薬品庫
B-2 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	J-1 児童用ロッカー	J-20 吊戸棚
B-3 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※放送室	J-1' 児童用ロッカー	J-21 脱衣棚
B-4 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※主事室・事務室・更衣室	J-2 児童用ロッカー(教育相談室)	J-22 書棚
B-5 天井下がり部分	J-3 教師用ロッカー	J-23 書棚
E-1 流し台(BLタイプ) W900	J-4 掃除用具入	
E-2 流し台+コンロ台(BLタイプ) W2,200	J-5 児童用下足入	K-3 可動式置寄せ
E-3 流し台(BLタイプ) W1200	J-6 児童用下足入	K-5 傘立て
E-4 ライニング面台	J-7 児童用下足入	
E-5 足洗い場	J-8 教師・来客用下足入	
F-1 曲面黒板(既存張替え)	J-9 飾り棚	M-1 落下防止手摺 既存流用
F-2 行事黒板(既存張替え)	J-10 校長室棚	M-2 落下防止手摺 既存流用
F-3 掲示板(新設)	J-11 書棚	M-3 落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
F-4 掲示板(既存張替え)	J-12 棚(図書棚)	M-4 落下防止手摺 新設
F-5 平面黒板(新設)	J-13 本棚(高書架)	
F-6 曲面黒板(新設)	J-14 本棚(低書架)	
G-1 木製額縁取替	J-15 本棚(低書架)	
G-2 教室フック取付用窓下枠	J-16 図書館カウンター	7 既存フックのまま
G-3 廊下フック取付用窓下枠		

符号	名 称	備 考
▲	避難誘導標識(避難口用 防火戸用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識(避難口用 サッシ中横用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 FL+1,000以下(避難通路用 壁付)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
消	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール(102×240)

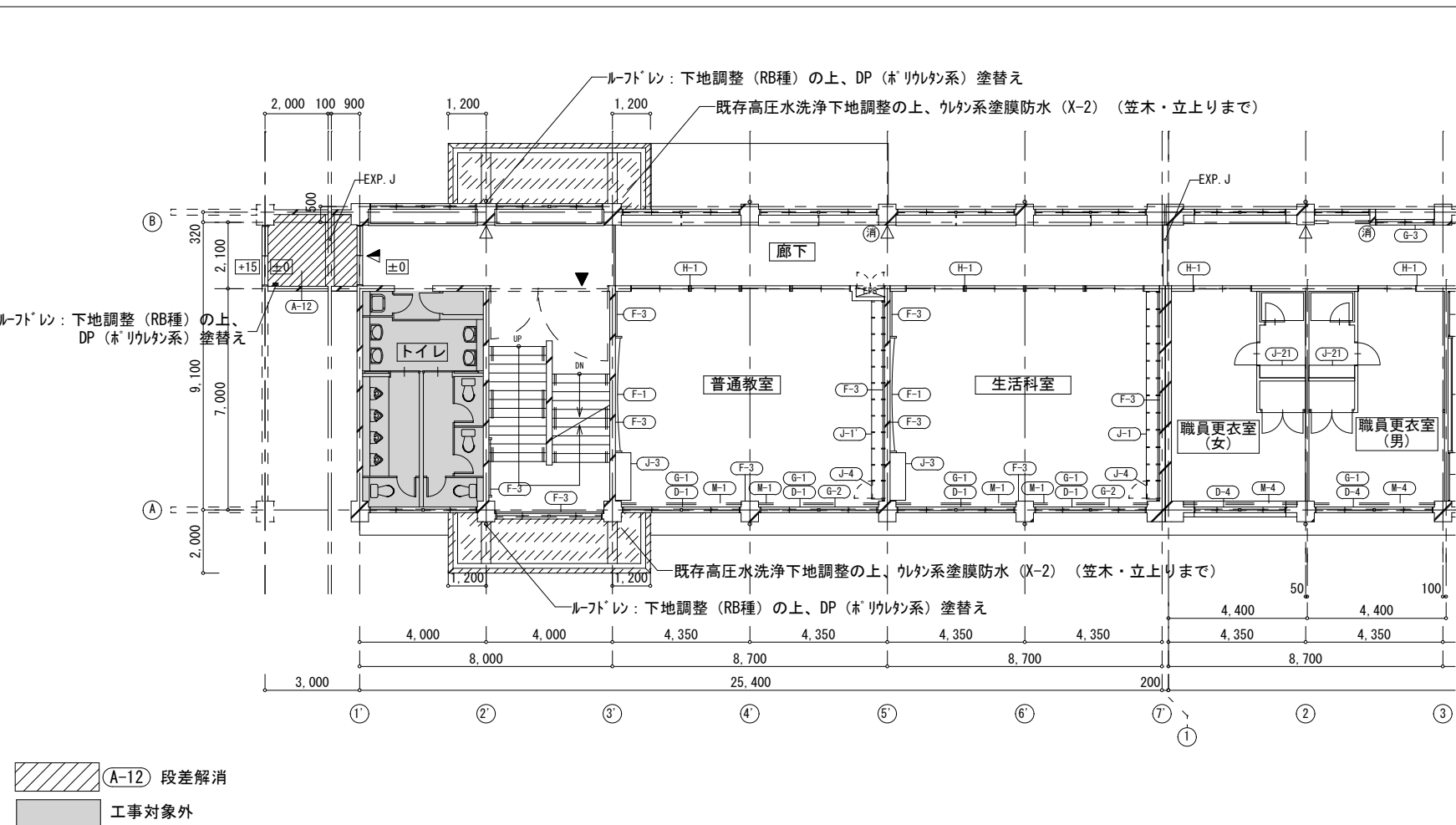
※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。  
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。



改修前 2階平面図 S=1/200



改修後 2階平面図 S=1/200



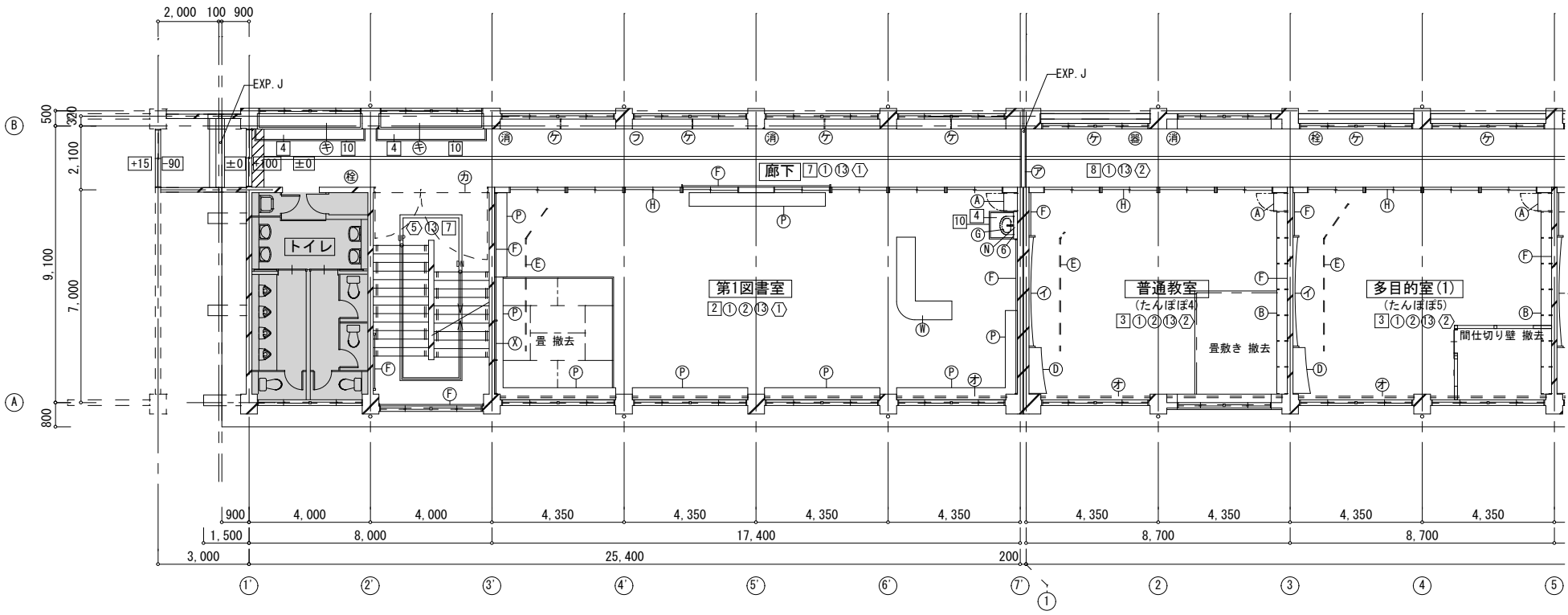
番号	部分名称	番号	部分名称
1	床: モザイクパーケット	A	掃除具入
2	床: 集成材フローリング(木床組共)	B	児童用ロッカー
3	床: 集成材フローリング(t12構造用合板下地)	C	給食用ロッカー
4	床: 長尺塩ビシート t=2.0	D	教師用ロッカー
5	床: モザイクタイル	E	地図掛けレール
6	床: 畳(木床組共)	F	掲示板
7	床: 塗床	G	洗面台・洗面器
8	床: 長尺塩ビシート(中央部ライン張り分け)	H	木製学校間仕切(木建具共)
9	床: 人造石	I	鋼製建具
10	床: ステンレス床見切り	J	アルミ製建具
11	床: モルタルコテ押え(既存のまま)	K	木製スノコ
12	床: シナベニヤ t=5.5	L	下足棚
13	床: 人造石	M	鋼製マット・グレーティング
1	壁: ベニヤ目透かし貼(木胴縁下地撤去) 木軸組	N	面台
2	壁: ベニヤ目透かし貼(木胴縁下地撤去) RC躯体	O	流し台
3	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼(寒冷紗下地) 木軸組	P	本棚
4	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼(寒冷紗下地) RC躯体	Q	吊りカーテンレール(カーテンレール)
5	壁: ビニルクロス貼(PB下地)	R	傘立て
6	壁: タイル(モルタル下地撤去)	S	棚(書棚・収納棚)
7	壁: シナベニヤ目透かし貼	T	ステンレス流し
8	壁: ケイ酸カルシウム板 目透かし貼	U	鋼製スロープ
9	壁: プリント合板 t=4.0(木胴縁下地撤去) 木軸組	V	飾り棚
10	壁: プリント合板 t=4.0(木胴縁下地撤去) RC躯体	W	カウンター
11	壁: ショージ銘木合板 t=5.5(木胴縁下地撤去) 軽天下地	X	行事黒板・ホワイトボード
12	壁: ショージ銘木合板 t=5.5(木胴縁下地撤去) RC躯体	Y	木製手摺
13	壁: AEP塗装 RC躯体	Z	シャワーユニット
1	天井: t=9.0 ジブトーン貼(軽天下地共)	1	既存避難誘導標識位置を示す
2	天井: t=9.0 岩綿吸音板(軽天下地共)	2	EXP.J(床・壁・天井)
3	天井: 着色ヒル石吹付(PB下地)	3	曲面黒板(張替え) 木枠
4	天井: t=9.0 化粧石膏ボード(軽天下地共)	4	掲示板(張替え) 木枠
5	天井: モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	5	行事黒板(張替え) 木枠
6	天井: モルタル刷毛引 シリカ系リシン吹付	6	手摺(塗替え)
7	天井: モルタル刷毛引(既存のまま)	7	防火戸(塗替え)
8	天井: シナベニヤ目透かし貼 t=4.0	8	ステンレス流し(既存のまま)
9	天井: 浴室用硬質成型板(軽天下地共)	9	シャッター(塗替え)
		10	棚(塗替え)
		11	既存消火器位置を示す
		12	既存屋内消火栓位置を示す
		13	既存フック位置を示す
		14	既存避難器具位置を示す

部分名称	部分名称	部分名称
A-7 ステンレス床見切り	H-1 室名札	J-17 書棚(職員室)
A-12 段差解消	I-1 児童用ロッカー(特別支援)	J-18 布団収納棚
B-1 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	I-2 整理棚(特別支援)	J-19 薬品庫
B-2 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	J-1 児童用ロッカー	J-20 吊戸棚
B-3 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※放送室	J-1' 児童用ロッカー	J-21 脱衣棚
B-4 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※主事室・印刷室・事務室・更衣室	J-2 児童用ロッカー(教育相談室)	J-22 書棚
B-5 天井下がり部分	J-3 教師用ロッカー	J-23 書棚
	J-4 掃除用具入	
	J-5 児童用下足入	
	J-6 児童用下足入	K-3 可動式置寄せ
E-1 流し台(BLタイプ) W900	J-7 児童用下足入	K-5 傘立て
E-2 流し台+コンロ台(BLタイプ) W2,200	J-8 教師・来客用下足入	
E-3 流し台(BLタイプ) W1200	J-9 飾り棚	M-1 落下防止手摺 既存流用
E-4 ライニング面台	J-10 校長室棚	M-2 落下防止手摺 既存流用
E-5 足洗い場	J-11 書棚	M-3 落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
	J-12 棚(図書館)	M-4 落下防止手摺 新設
F-1 曲面黒板(既存張替え)	J-13 本棚(高書架)	
F-2 行事黒板(既存張替え)	J-14 本棚(低書架)	
F-3 掲示板(新設)	J-15 本棚(低書架)	
F-4 掲示板(既存張替え)	J-16 図書館カウンター	7 既存フックのまま
F-5 平面黒板(新設)		
F-6 曲面黒板(新設)		
G-1 木製額縁取替		
G-2 教室フック取付用意下枠		
G-3 廊下フック取付用意下枠		

符号	名 称	備 考
▲	避難誘導標識(避難口用 防火戸用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識(避難口用 サッシ中横用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 FL+1,000以下(避難通路用 壁付)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
消	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール(102×240)

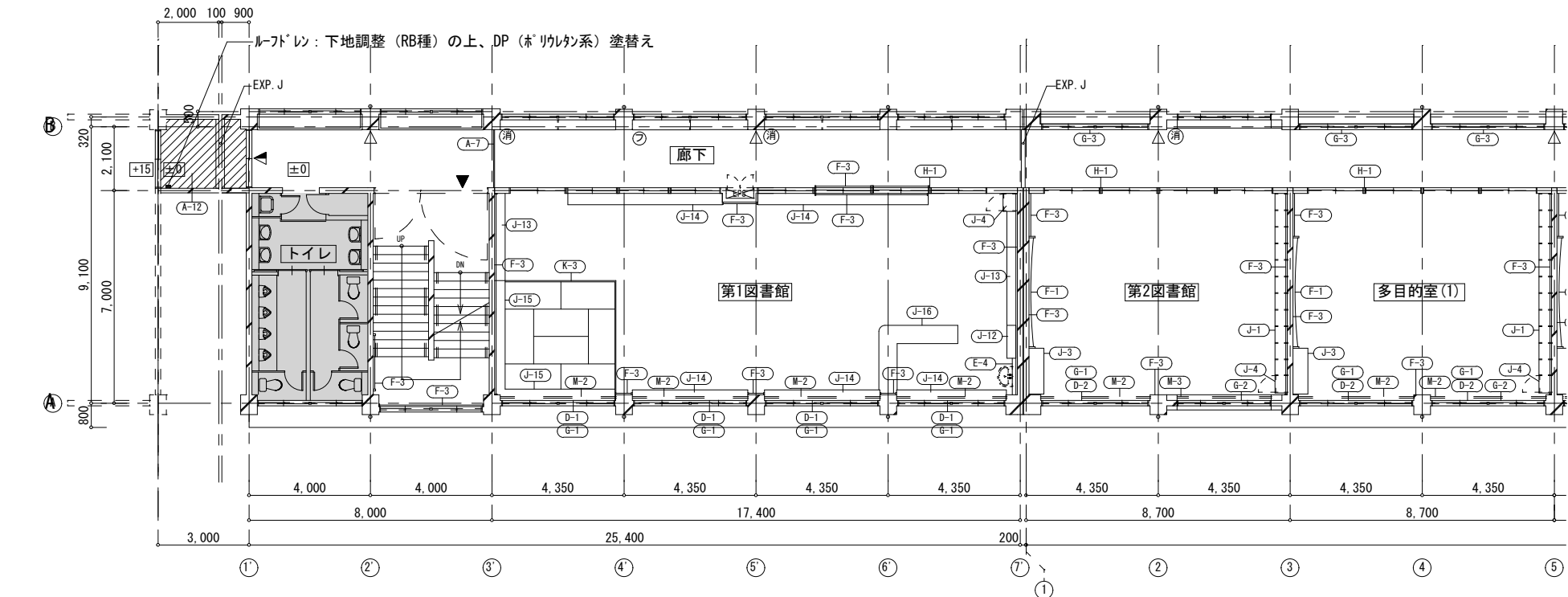
※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。  
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。

改修前 3階平面図 S=1/200



増打ちコンクリート撤去  
工事対象外

改修後 3階平面図 S=1/200



(A-12) 段差解消  
工事対象外

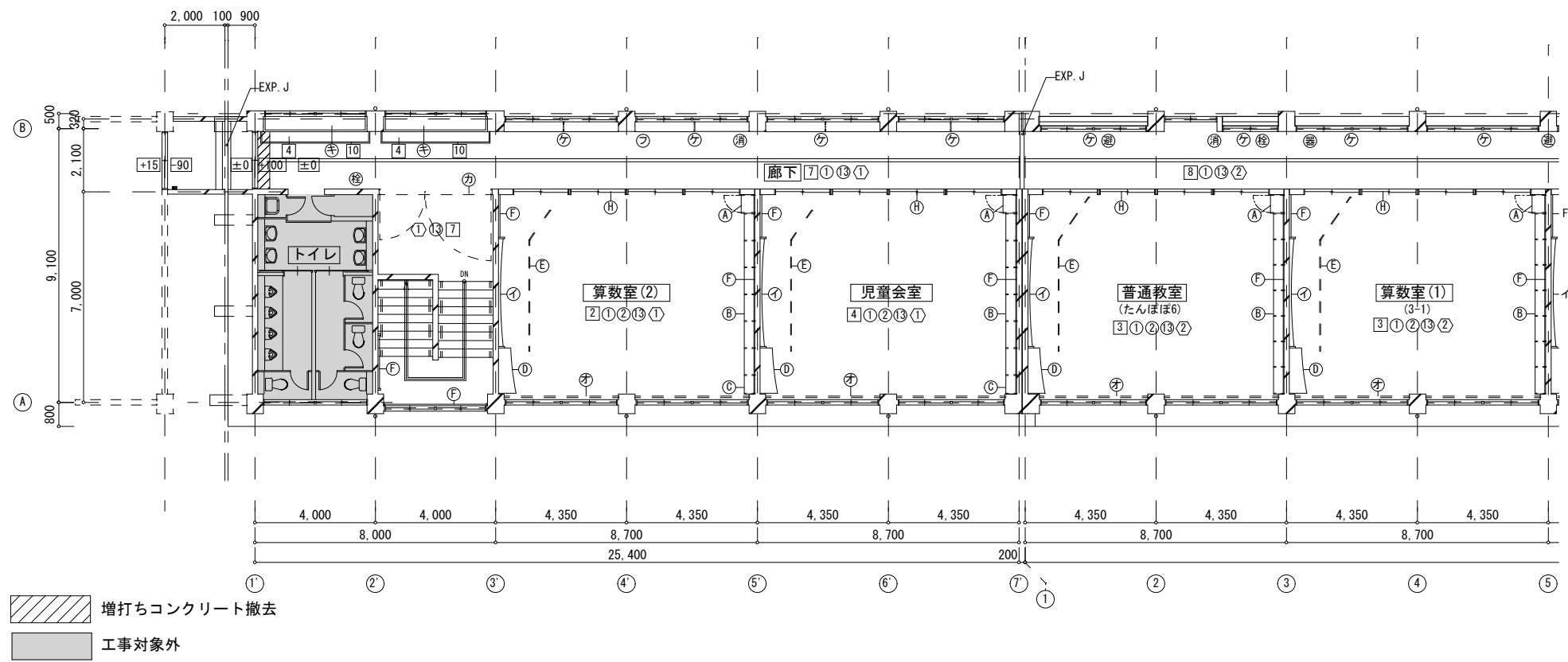
番号	部分名称	番号	部分名称
1	床: モザイクパーケット	A	掃除具入
2	床: 集成材フローリング (木床組共)	B	児童用ロッカー
3	床: 集成材フローリング (t12構造用合板下地)	C	給食用ロッカー
4	床: 長尺塩ビシート t=2.0	D	教師用ロッカー
5	床: モザイクタイル	E	地図掛けレール
6	床: 畳 (木床組共)	F	掲示板
7	床: 塗装床	G	洗面台・洗面器
8	床: 長尺塩ビシート (中央部ライン張り分け)	H	木製学校間仕切 (木建具共)
9	床: 人造石板	I	鋼製建具
10	床: ステンレス床見切り	J	アルミ製建具
11	床: モルタルコテ押え (既存のまま)	K	木製スノコ
12	床: シナベニヤ t=5.5	L	下足棚
13	床: 人造石	M	鋼製マット・グレーティング
1	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) 木軸組	N	面台
2	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) RC躯体	O	流し台
3	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) 木軸組	P	本棚
4	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) RC躯体	Q	吊りカーテンレール (ホリレール)
5	壁: ビニルクロス貼 (PB下地)	R	傘立て
6	壁: タイル (モルタル下地撤去)	S	棚 (書棚・収納棚)
7	壁: シナベニヤ目透かし貼	T	ステンレス流し
8	壁: ケイ酸カルシウム板 目透かし貼	U	鋼製スロープ
9	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) 木軸組	V	飾り棚
10	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) RC躯体	W	カウンター
11	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) 軽天下地	X	行事黒板・ホワイトボード
12	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) RC躯体	Y	木製手摺
13	壁: AEP塗装 RC躯体	Z	シャワーユニット
1	天井: t=9.0 ジブトーン貼 (軽天下地共)	廻	既存避難誘導標識位置を示す
2	天井: t=9.0 岩綿吸音板 (軽天下地共)	ア	EXP. J (床・壁・天井)
3	天井: 着色ヒル石吹付 (PB下地)	イ	曲面黒板 (張替え) 木枠
4	天井: t=9.0 化粧石膏ボード (軽天下地共)	ウ	掲示板 (張替え) 木枠
5	天井: モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	エ	行事黒板 (張替え) 木枠
6	天井: モルタル刷毛引 シリカ系リシン吹付	オ	手摺 (塗替え)
7	天井: モルタル刷毛引 (既存のまま)	カ	防火戸 (塗替え)
8	天井: シナベニヤ目透かし貼 t=4.0	キ	ステンレス流し (既存のまま)
9	天井: 浴室用硬質成型板 (軽天下地共)	ク	シャッター (塗替え)
		ケ	棚 (塗替え)
		消	既存消火器位置を示す
		検	既存屋内消火栓位置を示す
		フ	既存フック位置を示す
		器	既存避難器具位置を示す

部分名称	部分名称	部分名称
(A-7) ステンレス床見切り	(H-1) 室名札	(J-17) 書棚(職員室)
(A-12) 段差解消	(I-1) 児童用ロッカー(特別支援)	(J-18) 布団収納棚
(D-1) アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	(I-2) 整理棚(特別支援)	(J-19) 薬品庫
(D-2) アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	(J-1) 児童用ロッカー	(J-20) 吊戸棚
(D-3) アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※放送室	(J-1') 児童用ロッカー	(J-21) 脱衣棚
(D-4) アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※主事室・印刷室・事務室・更衣室	(J-2) 児童用ロッカー(教育相談室)	(J-22) 書棚
(D-5) 天井下がり部分	(J-3) 教師用ロッカー	(J-23) 書棚
	(J-4) 掃除用具入	
	(J-5) 児童用下足入	
	(J-6) 児童用下足入	(K-3) 可動式置寄せ
(E-1) 流し台(BLタイプ) W900	(J-7) 児童用下足入	(K-5) 傘立て
(E-2) 流し台+コンロ台(BLタイプ) W2,200	(J-8) 教師・来客用下足入	
(E-3) 流し台(BLタイプ) W1200	(J-9) 飾り棚	(M-1) 落下防止手摺 既存流用
(E-4) ライニング面台	(J-10) 校長室棚	(M-2) 落下防止手摺 既存流用
(E-5) 足洗い場	(J-11) 書棚	(M-3) 落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
	(J-12) 棚(図書館)	(M-4) 落下防止手摺 新設
(F-1) 曲面黒板(既存張替え)	(J-13) 本棚(高書架)	
(F-2) 行事黒板(既存張替え)	(J-14) 本棚(低書架)	
(F-3) 掲示板(新設)	(J-15) 本棚(低書架)	
(F-4) 掲示板(既存張替え)	(J-16) 図書館カウンター	㊦ 既存フックのまま
(F-5) 平面黒板(新設)		
(F-6) 曲面黒板(新設)		
(G-1) 木製額縁取替		
(G-2) 教室フック取付用窓下枠		
(G-3) 廊下フック取付用窓下枠		

符号	名 称	備 考
▲	避難誘導標識 (避難口用 防火戸用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識 (避難口用 サッシ中横用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 FL+1,000以下 (避難通路用 壁付)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
消	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール (102×240)

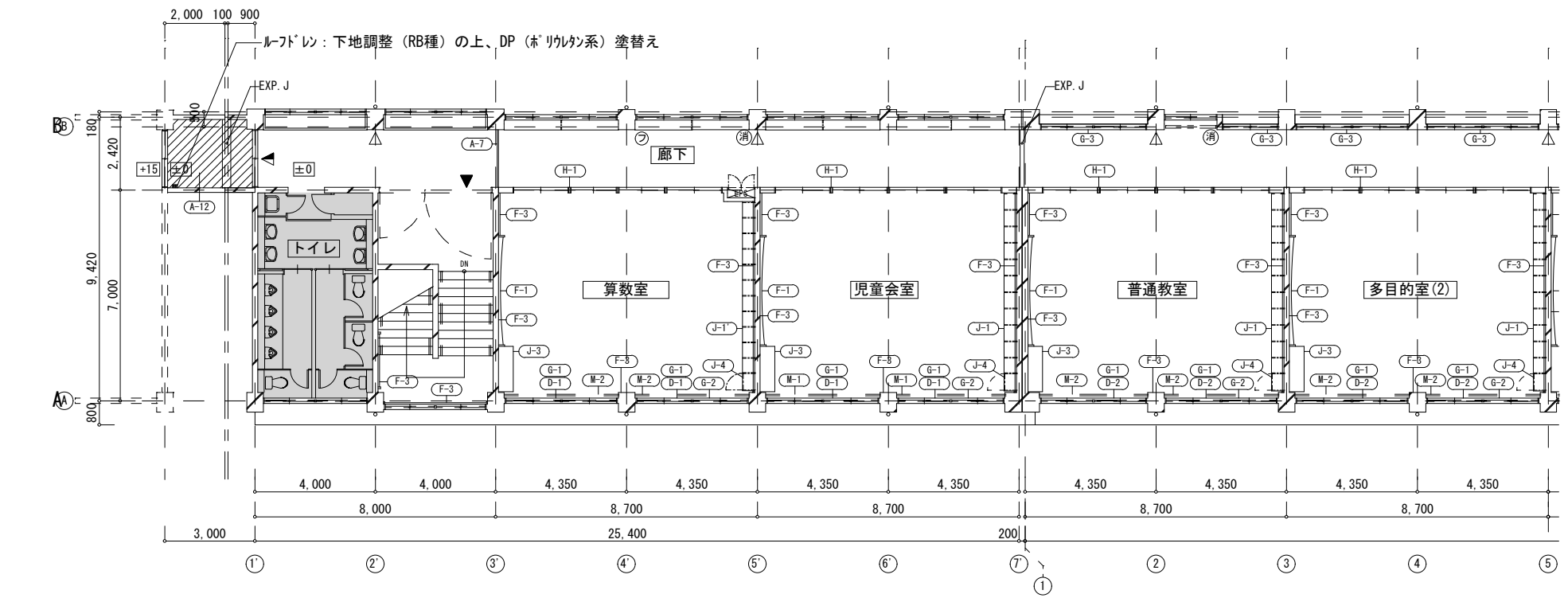
※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。  
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。

改修前 4階平面図 S=1/200



撤去	番号	部分名称	撤去	番号	部分名称
	1	床: モザイクパーケット		A	掃除具入
	2	床: 集成材フローリング (木床組共)		B	児童用ロッカー
	3	床: 集成材フローリング (t12構造用合板下地)		C	給食用ロッカー
	4	床: 長尺塩ビシート t=2.0		D	教師用ロッカー
	5	床: モザイクタイル		E	地図掛けレール
	6	床: 畳 (木床組共)		F	掲示板
	7	床: 塗床		G	洗面台・洗面器
	8	床: 長尺塩ビシート (中央部ライン張り分け)		H	木製学校間仕切 (木建具共)
	9	床: 人造石		I	鋼製建具
	10	床: ステンレス床見切り		J	アルミ製建具
	11	床: モルタルコテ押え (既存のまま)		K	木製スノコ
	12	床: シナベニヤ t=5.5		L	下足棚
	13	床: 人造石		M	鋼製マット・グレーチング
				N	面台
	1	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) 木軸組		O	流し台
	2	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) RC躯体		P	本棚
	3	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) 木軸組		Q	吊りカーテンレール (ホリレール)
	4	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) RC躯体		R	傘立て
	5	壁: ビニルクロス貼 (PB下地)		S	棚 (書棚・収納棚)
	6	壁: タイル (モルタル下地撤去)		T	ステンレス流し
	7	壁: シナベニヤ目透かし貼		U	鋼製スロープ
	8	壁: ケイ酸カルシウム板 目透かし貼		V	飾り棚
	9	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) 木軸組		W	カウンター
	10	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) RC躯体		X	行事黒板・ホワイトボード
	11	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) 軽天下地		Y	木製手摺
	12	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) RC躯体		Z	シャワーユニット
	13	壁: AEP塗装 RC躯体		廻	既存避難誘導標識位置を示す
				ア	EXP. J (床・壁・天井)
	1	天井: t=9.0 ジプトーン貼 (軽天下地共)		イ	曲面黒板 (張替え) 木枠
	2	天井: t=9.0 岩綿吸音板 (軽天下地共)		ウ	掲示板 (張替え) 木枠
	3	天井: 着色ヒル石吹付 (PB下地)		エ	行事黒板 (張替え) 木枠
	4	天井: t=9.0 化粧石膏ボード (軽天下地共)		オ	手摺 (塗替え)
	5	天井: モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付		カ	防火戸 (塗替え)
	6	天井: モルタル刷毛引 シリカ系リシン吹付		キ	ステンレス流し (既存のまま)
	7	天井: モルタル刷毛引 (既存のまま)		ク	シャッター (塗替え)
	8	天井: シナベニヤ目透かし貼 t=4.0		ケ	棚 (塗替え)
	9	天井: 浴室用硬質成型板 (軽天下地共)		消	既存消火器位置を示す
				栓	既存屋内消火栓位置を示す
				フ	既存フック位置を示す
				器	既存避難器具位置を示す

改修後 4階平面図 S=1/200



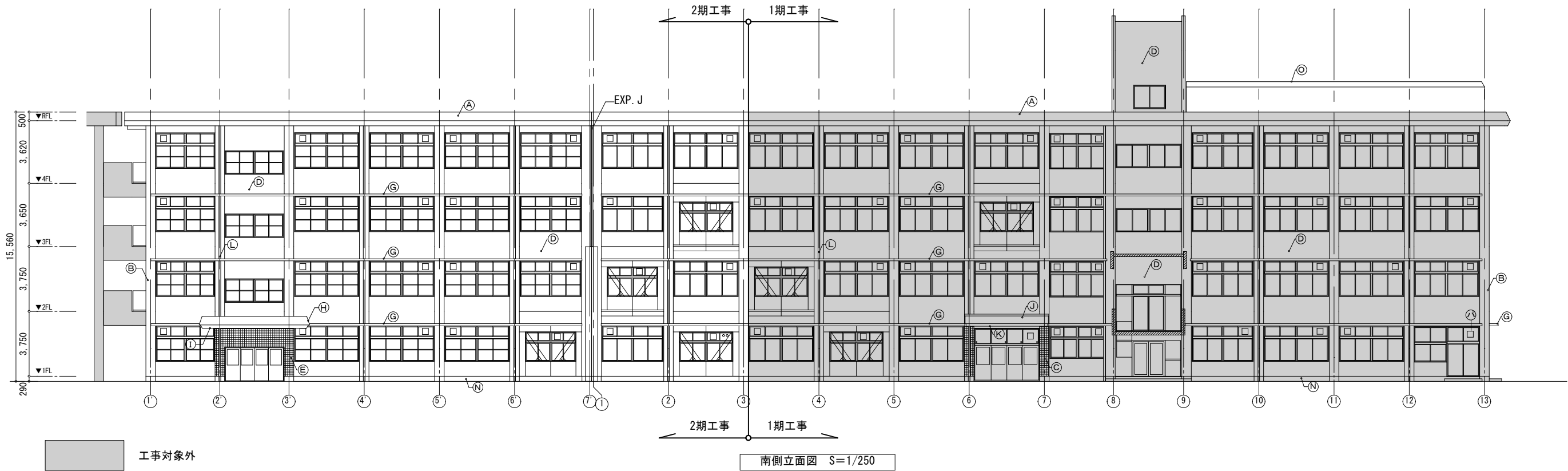
部分名称	部分名称	部分名称
A-7 ステンレス床見切り	H-1 室名札	J-17 書棚(職員室)
A-12 段差解消	I-1 児童用ロッカー(特別支援)	J-18 布団収納棚
	I-2 整理棚(特別支援)	J-19 薬品庫
D-1 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	J-1 児童用ロッカー	J-20 吊戸棚
D-2 アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	J-1' 児童用ロッカー	J-21 脱衣棚
D-3 7A2製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※放送室	J-2 児童用ロッカー(教育相談室)	J-22 書棚
D-4 アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設)※主事室・印刷室・事務室・更衣室	J-3 教師用ロッカー	J-23 書棚
D-5 天井下がり部分	J-4 掃除具入	
	J-5 児童用下足入	
	J-6 児童用下足入	K-3 可動式置寄せ
E-1 流し台(BLタイプ) W900	J-7 児童用下足入	K-5 傘立て
E-2 流し台+コンロ台(BLタイプ) W2,200	J-8 教師・来客用下足入	
E-3 流し台(BLタイプ) W1200	J-9 飾り棚	M-1 落下防止手摺 既存流用
E-4 ライニング面台	J-10 校長室棚	M-2 落下防止手摺 既存流用
E-5 足洗い場	J-11 書棚	M-3 落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
	J-12 棚(図書館)	M-4 落下防止手摺 新設
F-1 曲面黒板(既存張替え)	J-13 本棚(高書架)	
F-2 行事黒板(既存張替え)	J-14 本棚(低書架)	
F-3 掲示板(新設)	J-15 本棚(低書架)	
F-4 掲示板(既存張替え)	J-16 図書館カウンター	フ 既存フックのまま
F-5 平面黒板(新設)		
F-6 曲面黒板(新設)		
G-1 木製額縁取替		
G-2 教室フック取付用窓下枠		
G-3 廊下フック取付用窓下枠		

符号	名 称	備 考
▲	避難誘導標識 (避難口用 防火戸用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識 (避難口用 サッシ中横用)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 FL+1,000以下 (避難通路用 壁付)	消防認定品 アクリル樹脂 t=5.0
消	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール (102×240)

※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。  
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。

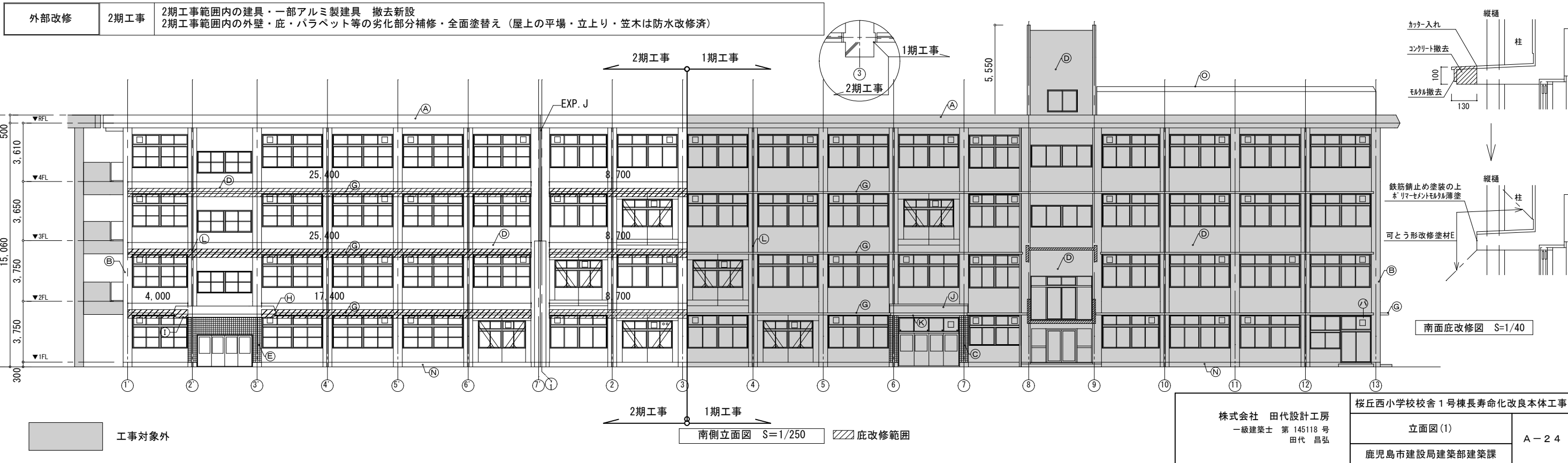
改修前

(A) パラペット：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	(B) 柱型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	(C) 柱型：47角モザイクタイル貼	(D) 壁：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	(E) 壁：47角モザイクタイル貼
(F) 梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	(G) 庇：(天端・鼻)防水モルタルコテ押え、(下端)モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付	(H) 庇鼻(玄関庇)：モルタル刷毛引きエポキシ吹付タイルローラー押え	(I) 軒天(玄関庇)：ビニトップスバンドレル	(J) 庇鼻(玄関庇)：カラーアルミパネル張り(焼付塗装)
(K) 軒天(玄関庇)：アルミスバンドレル	(L) 縦樋：VU 100φ硬質塩化ビニールパイプ据金物	(M) 面台：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	(N) 巾木：モルタルコテ押え	(O) PCフェンス：H=1,500+忍び返し付き
(P) 鉄骨柱：OP塗装				



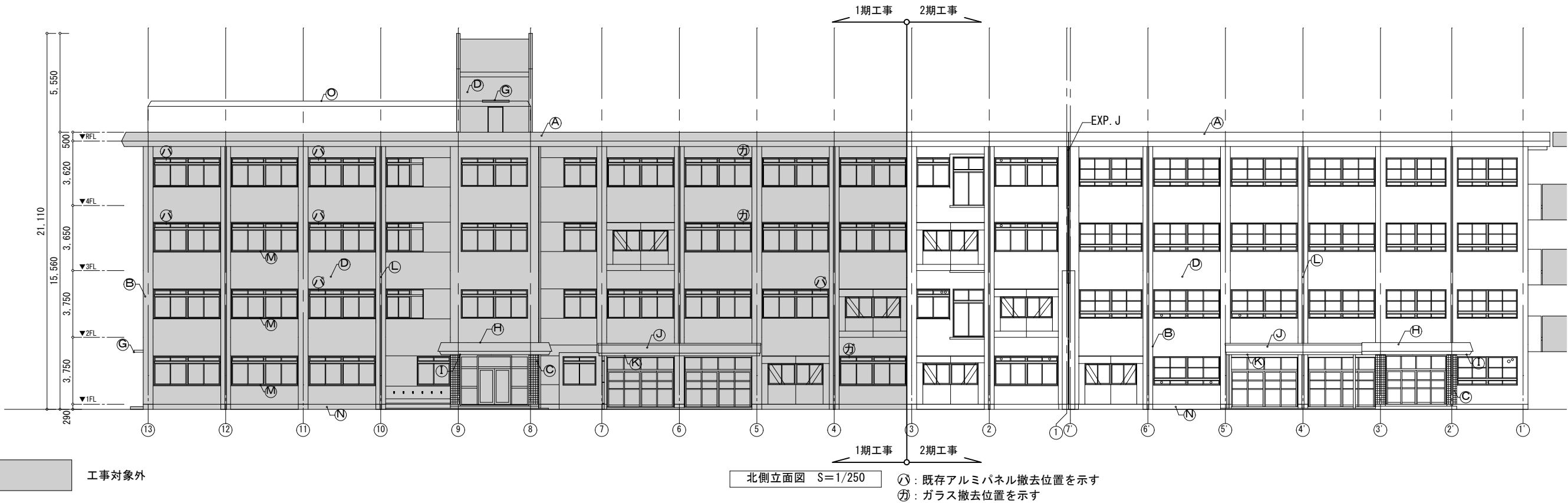
改修後

(A) パラペット：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	(B) 柱型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	(C) 柱型(タイル)：既存高圧水洗浄	(D) 壁：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	(E) 壁(タイル)：既存高圧水洗浄の上、DP塗装
(F) 梁型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	(G) 庇：(天端・鼻・下端)既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	(H) 庇鼻(玄関庇)：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	(I) 軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	(J) 庇鼻(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装
(K) 軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	(L) 縦樋：既存地下調整の上 DP(ポリウレタン)塗替え、据み金物：既存のまま	(M) 面台：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	(N) 巾木：既存高圧水洗浄の上 DP塗装	(O) PCフェンス：既存のまま
(P) 鉄骨柱：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装				



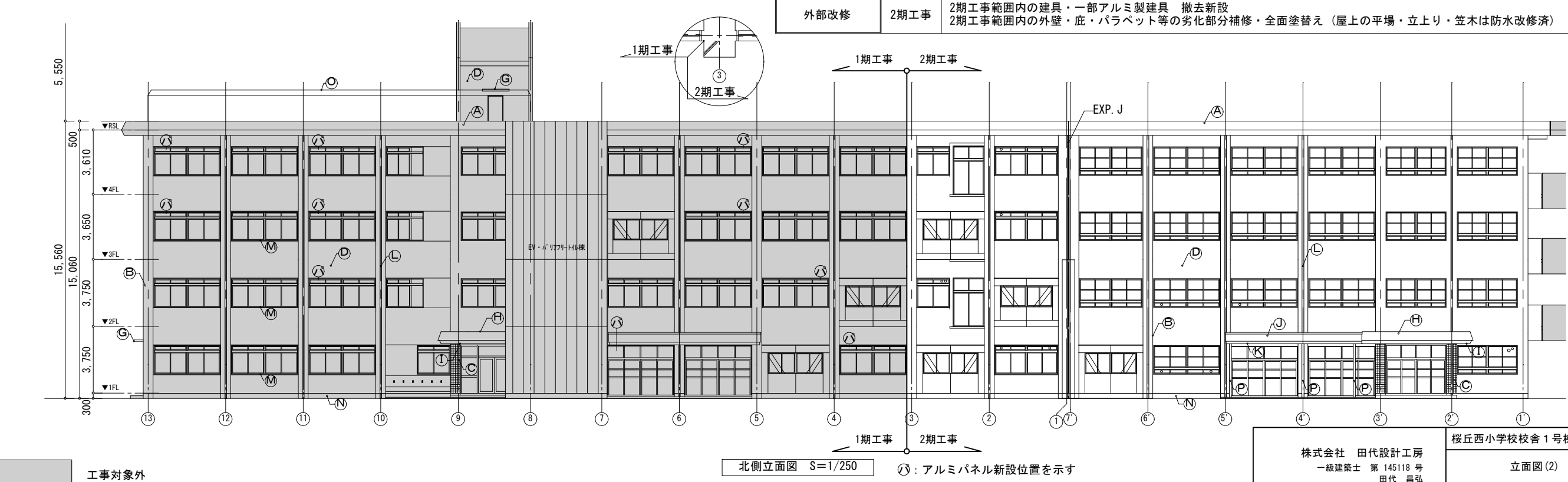
改修前

Ⓐ	パラペット：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓑ	柱型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓒ	柱型：47角モザイクタイル貼	Ⓓ	壁：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓔ	壁：47角モザイクタイル貼
Ⓕ	梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓖ	庇：(天端・鼻)防水モルタルコテ押え、(下端)モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：モルタル刷毛引きエポキシ吹付タイルローラー押え	Ⓙ	軒天(玄関庇)：ビニトップスバンドレル	⓫	庇鼻(玄関庇)：カラーアルミパネル張り(焼付塗装)
Ⓚ	軒天(玄関庇)：アルミスバンドレル	Ⓖ	縦樋：VU 100φ硬質塩化ビニールパイプVP据金物	Ⓜ	面台：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓝ	巾木：モルタルコテ押え	⓬	PCフェンス：H=1,500+忍び返し付き
Ⓟ	鉄骨柱：OP塗装								



改修後

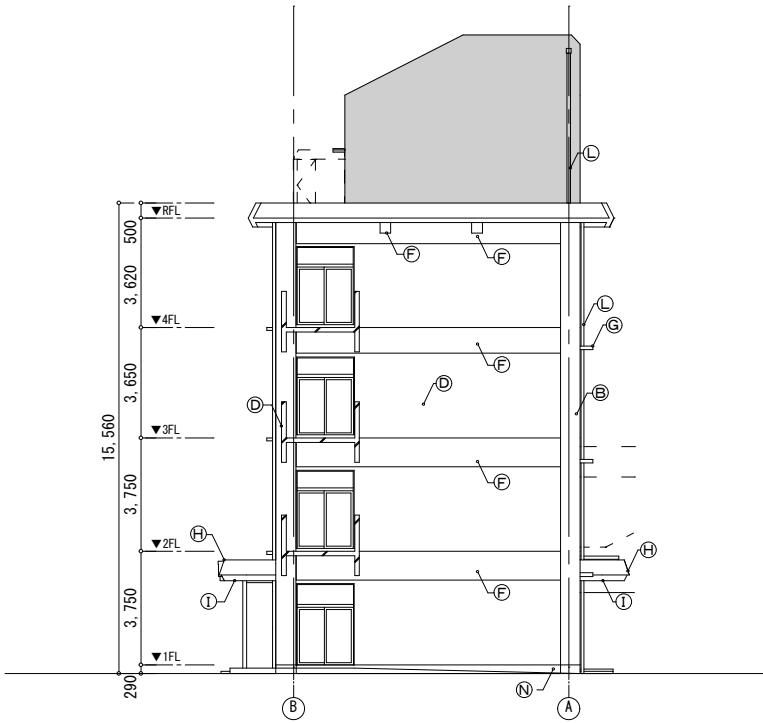
Ⓐ	パラペット：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓑ	柱型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓒ	柱型(タイル)：既存高圧水洗浄	Ⓓ	壁：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓔ	壁(タイル)：既存高圧水洗浄の上、DP塗装
Ⓕ	梁型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓖ	庇：(天端・鼻・下端)既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓙ	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	⓫	庇鼻(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装
Ⓚ	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓖ	縦樋：既存地下調整の上 DP(ポリウレタン)塗替え、据み金物：既存のまま	Ⓜ	面台：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓝ	巾木：既存高圧水洗浄の上 DP塗装	⓬	PCフェンス：既存のまま
Ⓟ	鉄骨柱：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装								



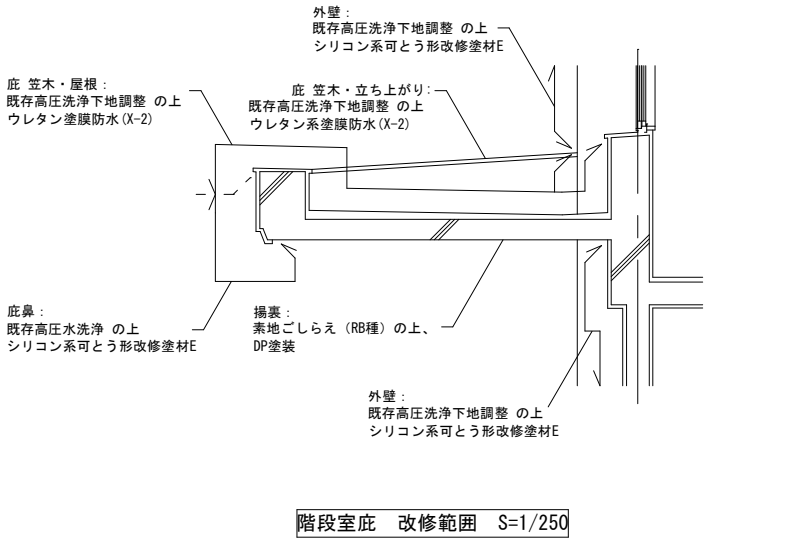
株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

改修前

Ⓐ	パラベット：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓑ	柱型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓒ	柱型：47角モザイクタイル貼	Ⓓ	壁：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付
Ⓔ	壁：47角モザイクタイル貼	Ⓕ	梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓖ	庇：(天端・鼻)防水モルタルコテ押え、(下端)モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：モルタル刷毛引きエポキシ吹付タイルローラー押え
①	軒天(玄関庇)：ピノトップスバンドレル	②	庇鼻(玄関庇)：カラーアルミパネル張り(焼付塗装)	Ⓚ	軒天(玄関庇)：アルミスバンドレル t=0.8	Ⓛ	壁樋：VU 100φ硬質塩化ビニールパイプVP掘金物
Ⓜ	面台：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓝ	巾木：モルタルコテ押え	⓬	PCフェンス：H=1,500+忍び返し付き	Ⓧ	鉄骨柱：DP塗装



西側立面図 S=1/250 (2期工事)



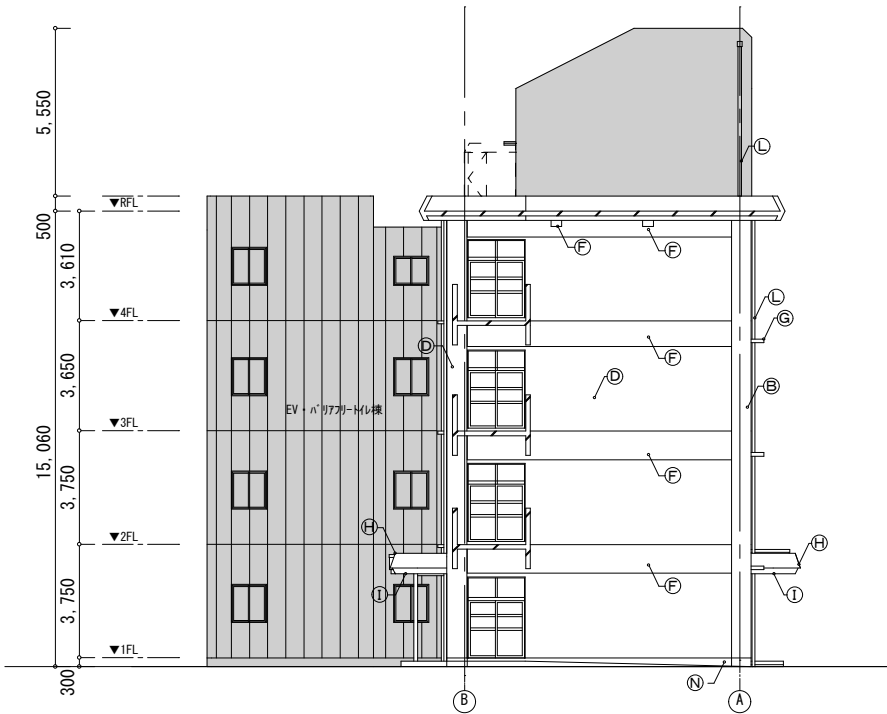
階段室庇 改修範囲 S=1/250

工事対象外

改修後

Ⓐ	パラベット：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓑ	柱型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓒ	柱型(タイル)：既存高圧水洗浄	Ⓓ	壁：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
Ⓔ	壁(タイル)：既存高圧水洗浄の上、DP塗装	Ⓕ	梁型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓖ	庇：(天端・鼻・下端)既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
①	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	②	庇鼻(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓚ	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓛ	壁樋：既存下地調整の上 DP(ポリウレタン)塗替え、掘み金物：既存のまま
Ⓜ	面台：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓝ	巾木：既存高圧水洗浄の上 DP塗装	⓬	PCフェンス：既存のまま	Ⓧ	鉄骨柱：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装

外部改修	2期工事	2期工事範囲内の建具・一部アルミ製建具 撤去新設 2期工事範囲内の外壁・庇・パラベット等の劣化部分補修・全面塗替え(屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済)
------	------	--



西側立面図 S=1/250 (2期工事)

工事対象外

外壁改修工事 概要

- ①外壁改修
- ・外壁仕上げの不良箇所(浮き部、ひび割れ等)について、特記仕様書に基づく工法にて改修を行うこと。

< 外壁改修工事工法一覧表 >

工 法	部 位	数量(推計値)
ポリマーセメントモルタル充填工法(PBL)	爆裂部 柱壁	18.1 m
アクリルリシン吹付部分工法(AR)	浮き部	871 本
自動式低圧工法(AR)	ひび割れ部	45.4 m

※施工数量は上表に依らず、全面打診調査後、監督員と協議の上決定するものとし、設計変更の対象とする。

- ②防水改修(シーリング打替)
- ・既存建具廻りシーリング打替 (MS-2)10×10
  - ・耐震補強部アルミパネル周囲シーリング打替 (MS-2)15×10
  - ・打継・誘発目地シーリング打替 (PU-2)20×10

- ③塗装改修
- ・既存高圧水洗浄(15MPa)の上、仕上げ材塗り

部 位		塗 装 種 別
壁・柱	一般	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
梁	一般・天端	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
	上裏	※1 シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
巾木	一般	DP塗(C-2種)
開口部	だき・面台	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
	まぐさ	※1
パラベット	笠木	既存のまま
	立上り	内部 既存のまま
		外部 シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
		返し・上裏 アクリル系軒天用仕上塗材
庇	天端・鼻	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
	上裏	アクリル系軒天用仕上塗材

※1 庇、パラベット上裏等と一体となっている場合は、庇、パラベット上裏等の仕様による。  
※2 既存がモルタル仕上げ等(塗装なし)及びタイル仕上の場合は、塗装は行わないものとする。

- ・縦樋：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗
- ※外部配管等について、塗膜が劣化している場合は、監督員に報告すること。  
なお、電線類は養生し塗装しない。
- ・昇降口鉄部見え掛かり：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗
- ※アルミパネル・上裏・屋根銅板・鉄骨柱

- ③その他
- ※既設樋の樋受け金物について、腐食又は外れている等、安全上支障のある場合は、監督員に報告すること。

※定置する足場は、別契約の関連する工事の関係者にも使用させること。  
なお、設置・撤去時期については、調整を図ること。

庇防水工事 概要

- ①階段室北側・南側庇 防水改修
- ・屋根面：  
高圧水洗浄(15MPa)、下地調整(ポリマーセメントモルタル)の上、ウレタン系塗膜防水(X-2)
  - ・笠木・立ち上がり：  
高圧水洗浄(15MPa)、下地調整(ポリマーセメントモルタル)の上、ウレタン系塗膜防水(X-2)
  - ・その他：  
塗膜防水の端部納まり及び重ね幅 Wについては、主材料製造所の仕様とすること。

□ 特記事項

※外部配管などについて、塗膜が劣化している場合は監督員に報告すること。  
なお、電線類は養生し塗装しない。

※施工年月日、施工会社、連絡先、工法を記入したプレートを設置すること。(A4版程度)

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

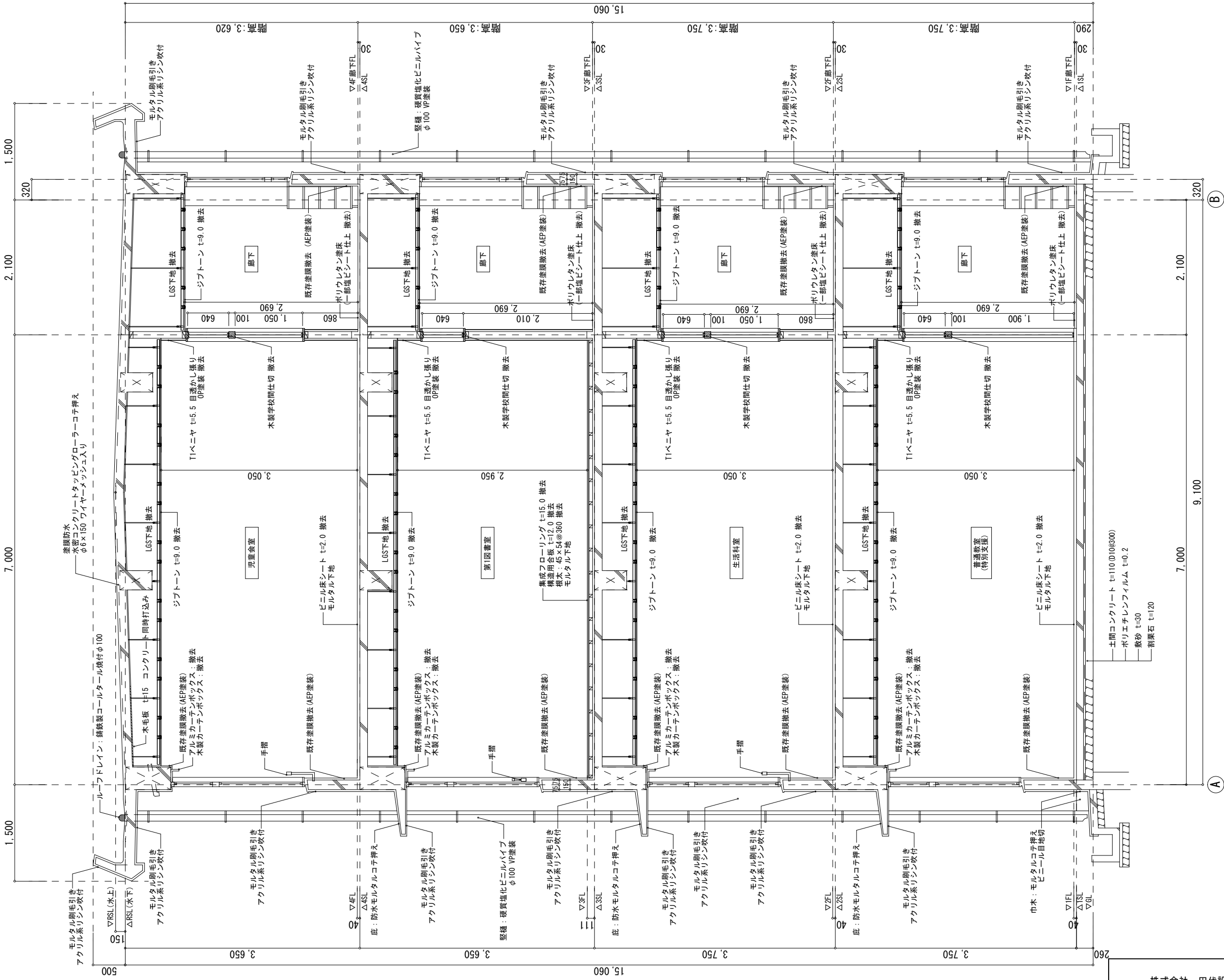
桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事

立面図(3)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-26

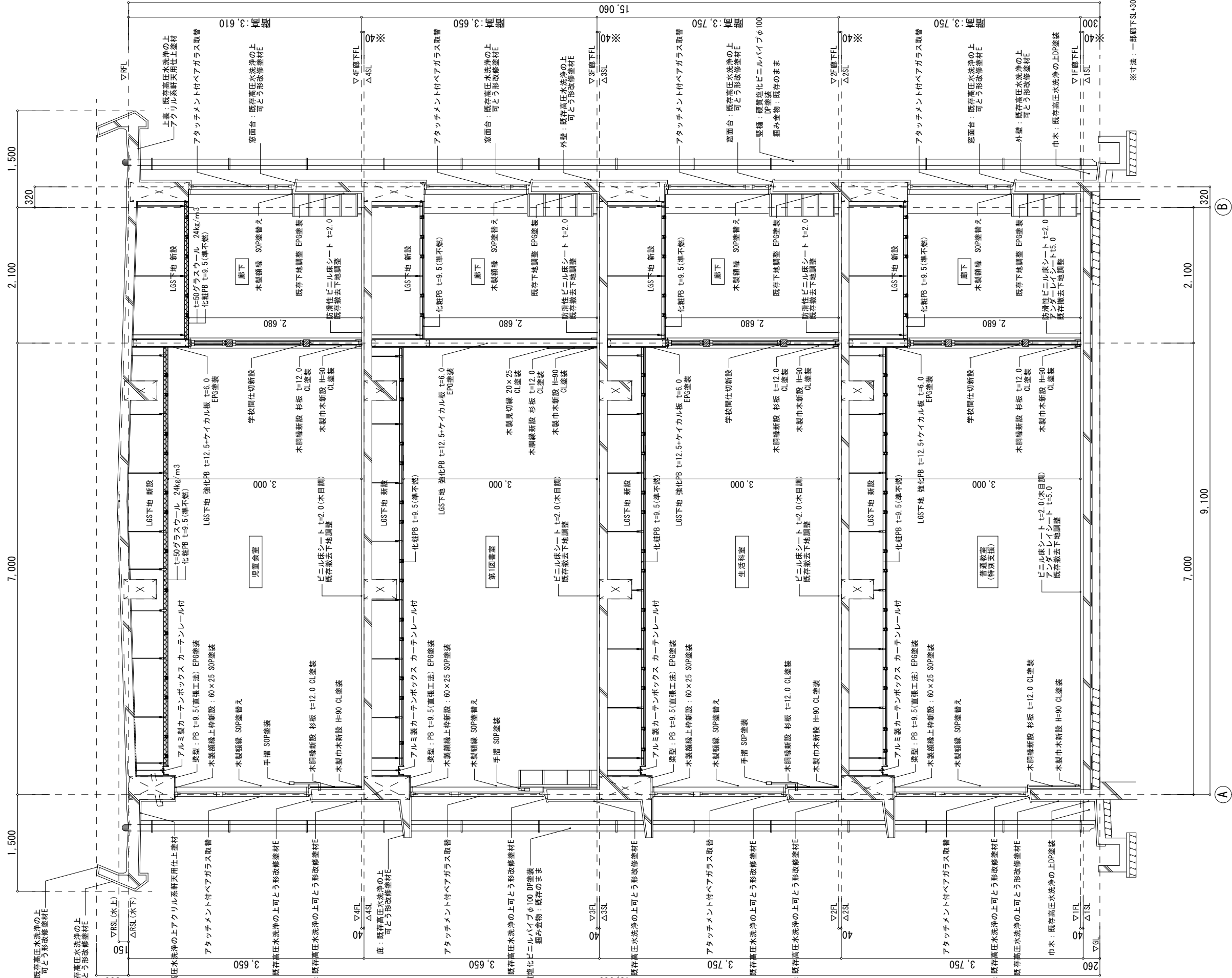




巾木部詳細図 (1/40)

断面詳細図 S=1/60

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘



株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

改修前

西側階段

1階平面詳細図 S=1/100

2階平面詳細図 S=1/100

改修後

西側階段

1階平面詳細図 S=1/100

2階平面詳細図 S=1/100

室名	西側階段 (1階・2階)	
天井	下地	モルタル刷毛引き
	仕上	アクリルリシン吹付
壁	下地	モルタルコテ押え
	仕上	AEP塗装
巾木	下地	モルタルコテ押え
	仕上	AEP塗装
床	下地	コンクリート
	踏面	ポリウレタン塗床
	蹴上	モルタルコテ押えAEP塗装
手摺壁	段鼻	ステンレスノンスリップ (足付)
	仕上	モルタルコテ押え (AEP塗装)
備考	撤去	揭示板
	既存流用	塩ビ製手すり (壁付)

※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

室名	西側階段 (1階・2階)	
天井	下地	モルタル刷毛引きの上アクリルリシン吹付
	仕上	EPG塗装吹付
壁	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
巾木	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
床	下地	既存下地調整 (+アンダーレイシートt=5.0※1Fのみ)
	※蹴上部分	既存下地調整
	仕上	防滑性ビニル床シート貼 t=2.0
段鼻	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
手摺壁	段鼻	人造石研出し (既存のまま)
	撤去	揭示板
備考	新設	揭示板
	既存流用	塩ビ製手すり (壁付)

※床改修にあたっては、防火戸の開閉に支障がないように調整すること

株式会社 田代設計工房

一級建築士 第 145118 号

田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事

西側階段 1階・2階平面詳細図

鹿児島市建設局建築部建築課

A-29

改修前

西側階段

3階平面詳細図 S=1/100

4階平面詳細図 S=1/100

室名	西側階段(3階)	
天井	下地	モルタル刷毛引き
	仕上	アクリルリシン吹付
壁	下地	モルタルコテ押え
	仕上	AEP塗装
巾木	下地	モルタルコテ押え
	仕上	AEP塗装
床	下地	コンクリート
	踏面	ポリウレタン塗床
	蹴上	モルタルコテ押えAEP塗装
	段鼻	ステンレスノンスリップ(足付)
手摺壁	仕上	モルタルコテ押え(AEP塗装)
	笠木	人造石研出し
備考	撤去	揭示板
	既存流用	塩ビ製手すり(壁付)

※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

改修後

西側階段

3階平面詳細図 S=1/100

4階平面詳細図 S=1/100

室名	西側階段(3階)	
天井	下地	モルタル刷毛引きの上アクリルリシン吹付
	仕上	EPG塗装吹付
壁	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
巾木	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
床	下地	既存下地調整
	※蹴上部分：既存下地調整	
	仕上	防滑性ビニル床シート貼 t=2.0
	段鼻	ステンレスノンスリップ
手摺壁	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
笠木	人造石研出し(既存のまま)	
	新設	揭示板
備考	既存流用	塩ビ製手すり(壁付)

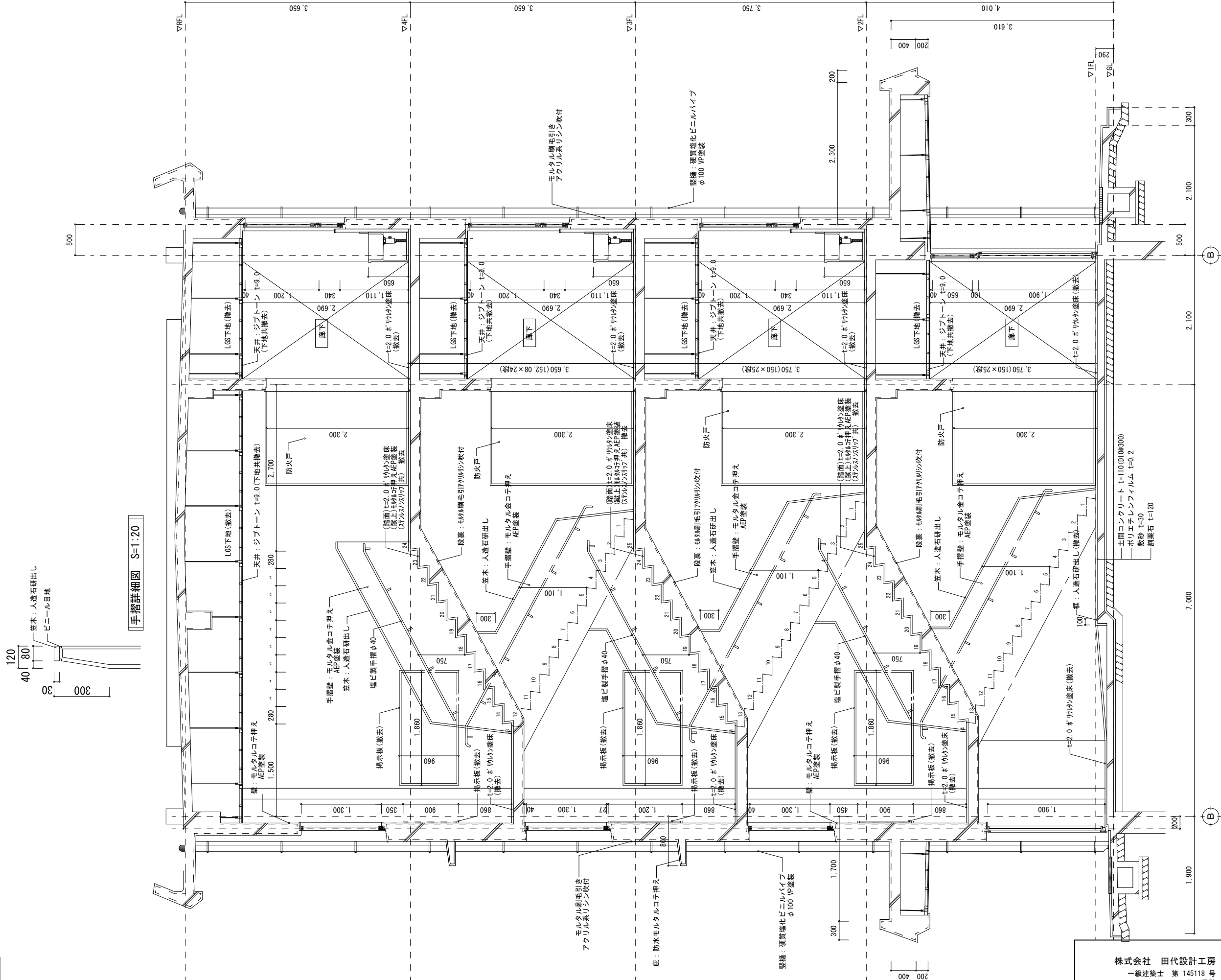
※床改修にあたっては、防火戸の開閉に支障がないように調整すること

室名	西側階段(4階)	
天井	下地	LGS下地撤去・新設(グラスウール24kg/m2、片面アルミ箔)
	仕上	(4階)化粧PB t=9.5(準不燃)
壁	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
巾木	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
床	下地	既存下地調整
	※蹴上部分：既存下地調整	
	仕上	防滑性ビニル床シート貼 t=2.0
	段鼻	ステンレスノンスリップ
手摺壁	下地	既存下地調整
	仕上	EPG塗装
笠木	人造石研出し(既存のまま)	
	新設	揭示板
備考	既存流用	塩ビ製手すり(壁付)

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

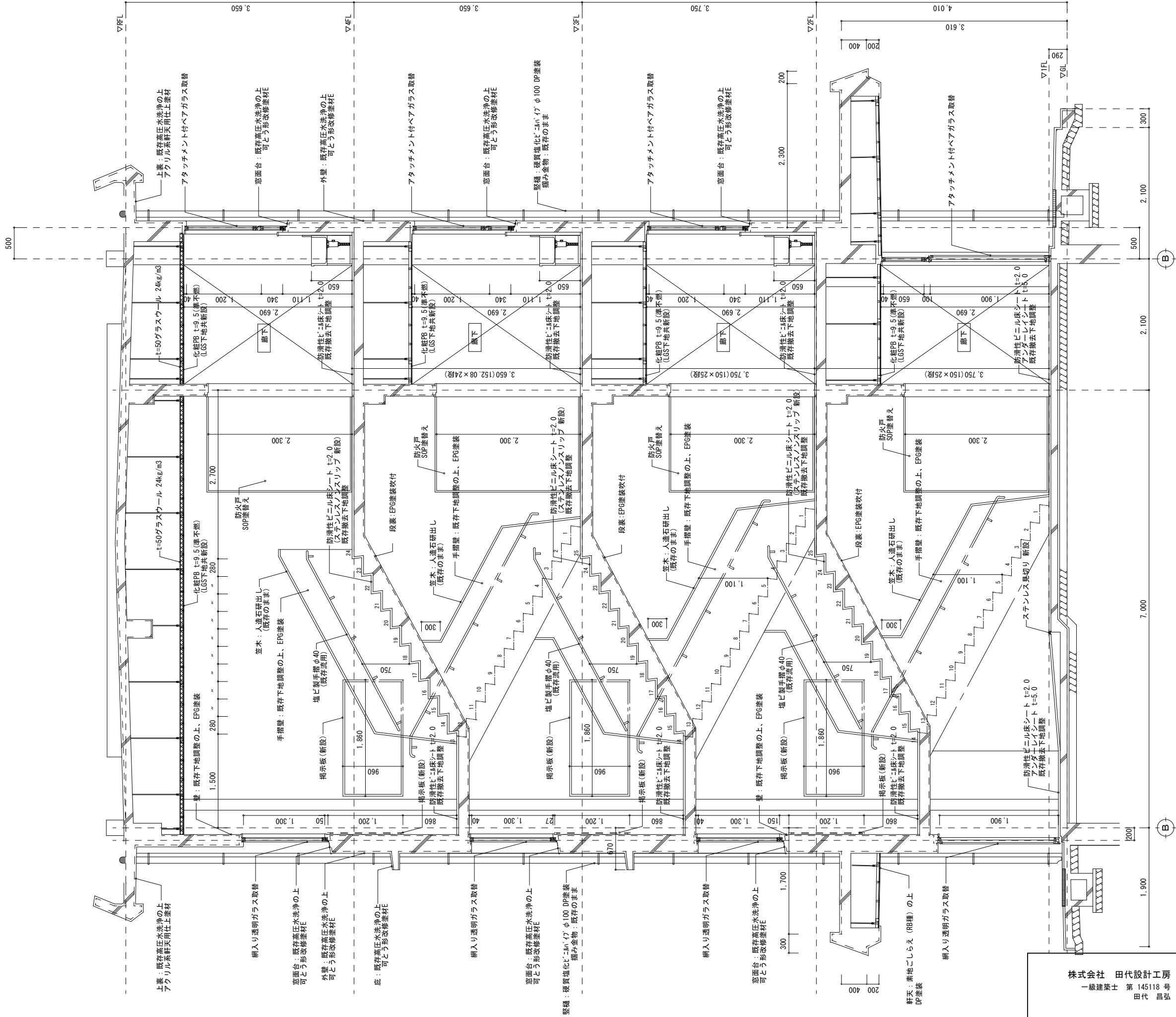
桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事  
西側階段 3階・4階平面詳細図  
鹿児島市建設局建築部建築課

A-30



断面詳細図 S=1/60

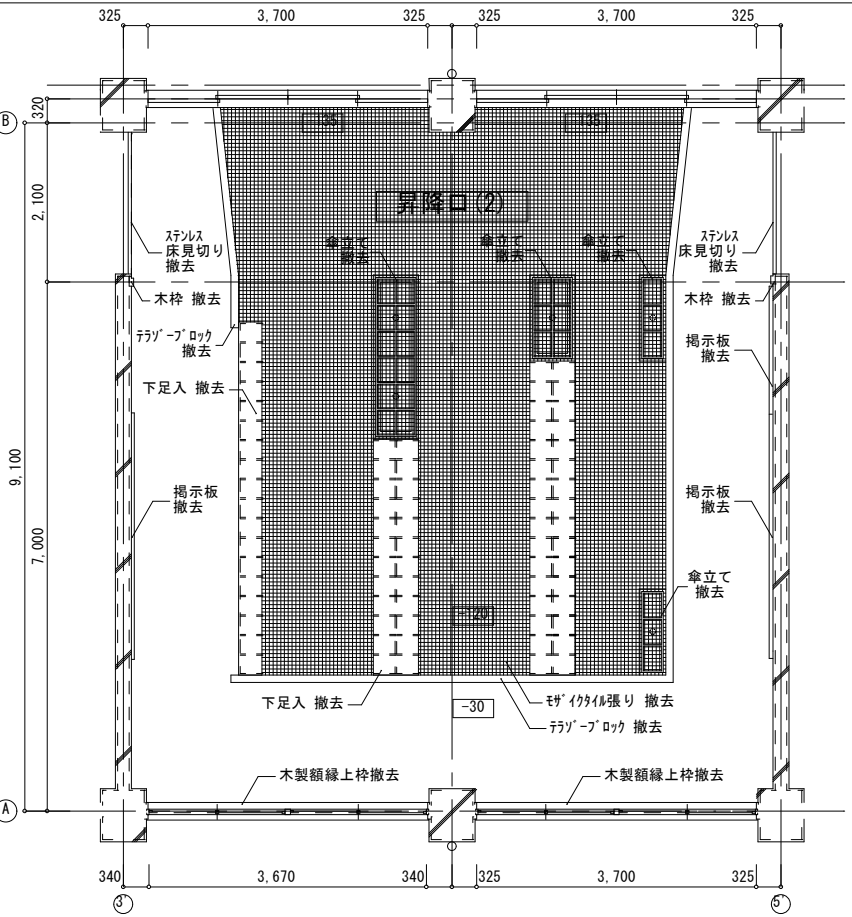
株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 14519 号  
田代 昌弘



株式会社 田代設計工房  
〒815-0811 広島県 田代  
坂建築士

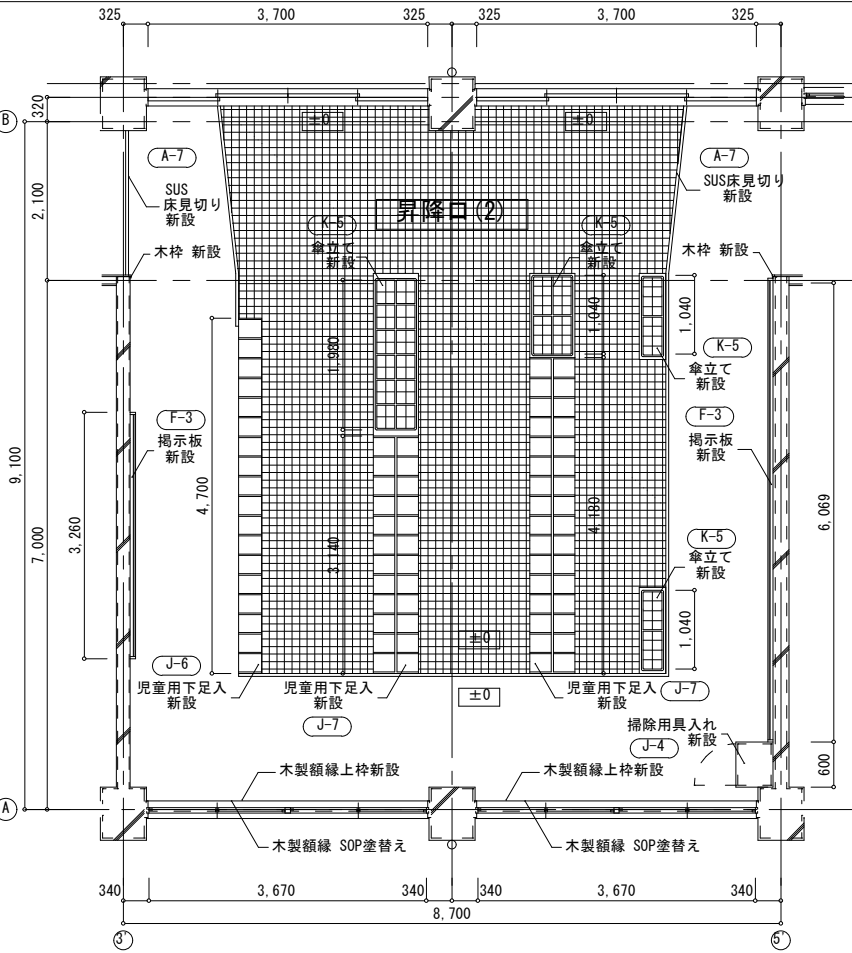


改修前 平面詳細図 昇降口(2)



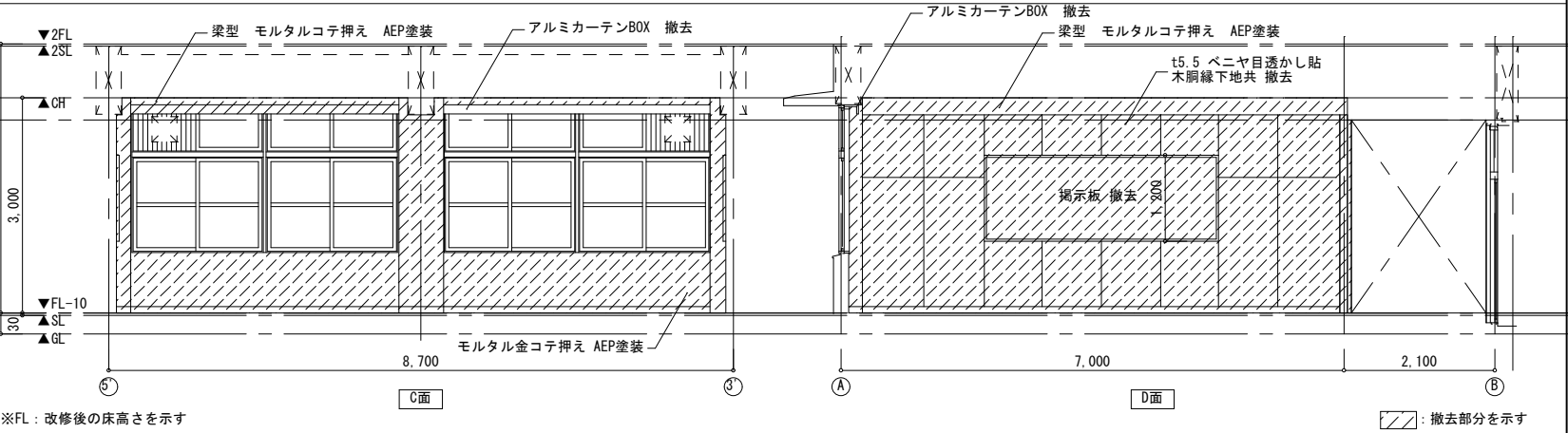
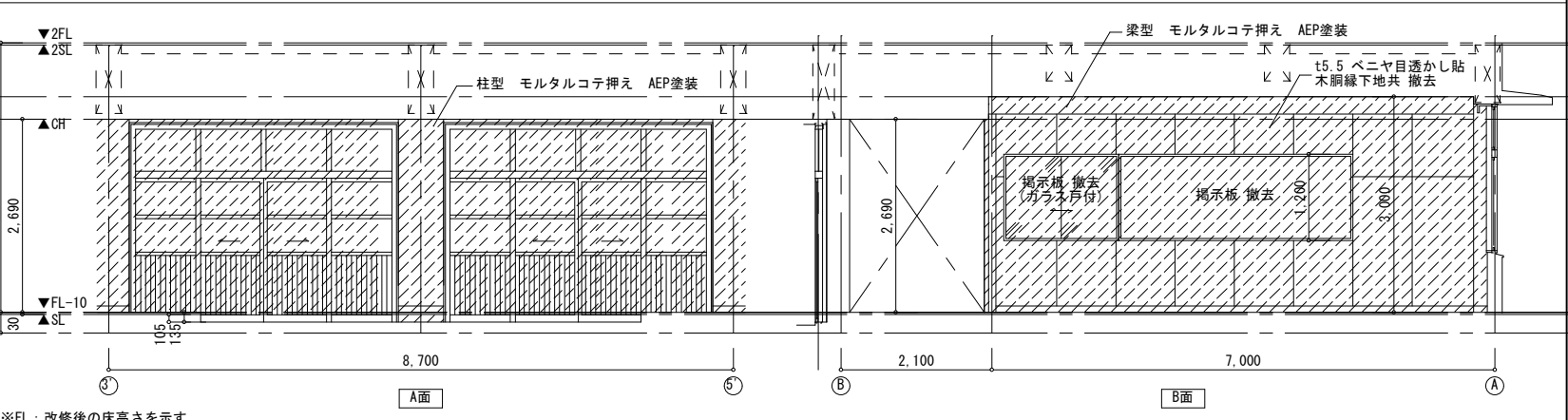
室名	昇降口(2)
天井	仕上 t=9.0 ジブトーン貼 (撤去) 下地 軽天地下 (撤去)
壁	仕上 A・C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 B・D面 掲示板 ※木脚縁下地共撤去 木脚縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木脚縁下地共撤去 柱・梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去
床	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 ※撤去 下地 モザイクタイル張り ※撤去 モルタルコテ押え下地 土間コンクリート (ワイヤメッシュ150×150×6)
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去

改修後 平面詳細図 昇降口(2)

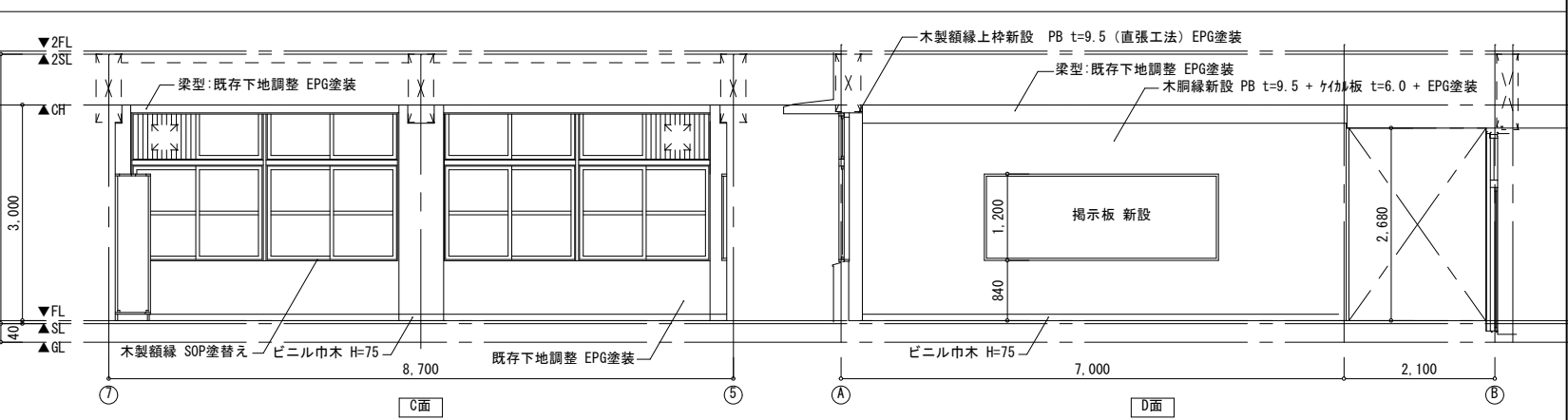
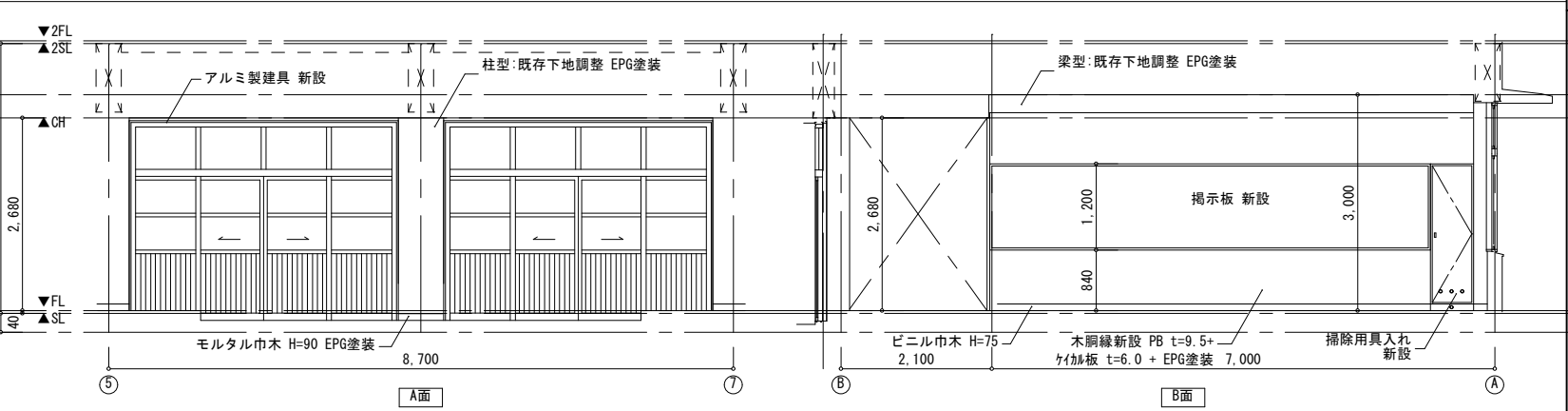


室名	昇降口(2)
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A・C面 既存下地調整 EPG塗装 B・D面 掲示板 木脚縁新設 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 柱・梁型 既存下地調整 EPG塗装
巾木	仕上 ビニル巾木 H=75 モルタル巾木 H=90 EPG塗装
床	仕上 アンダーレイシート t=5.0 + 防滑性ビニル床シート t=2.0 一部：土間コンクリート増し打ちの上、 モルタル下地 100角磁器質タイル 下地 既存下地調整
備考	

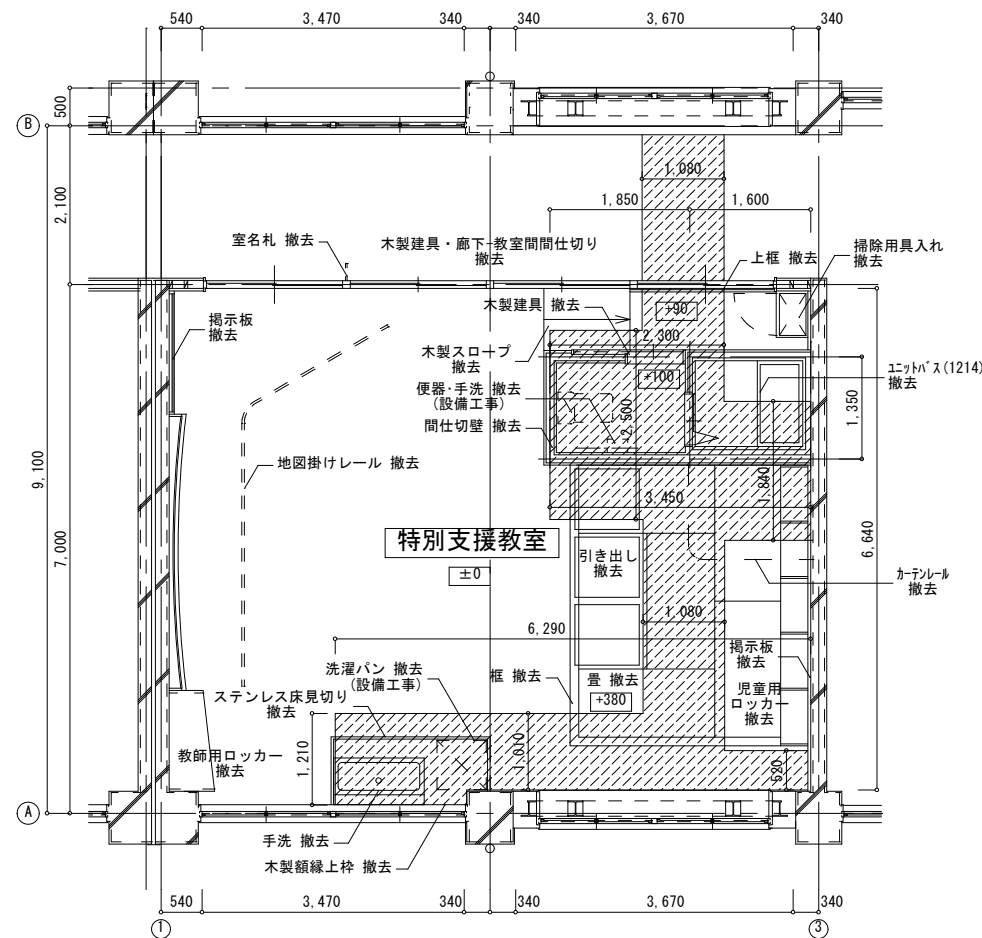
改修前 展開図 昇降口(2)



改修後 展開図 昇降口(2)



改修前 平面詳細図 X1-X3 (1階) 特別支援教室



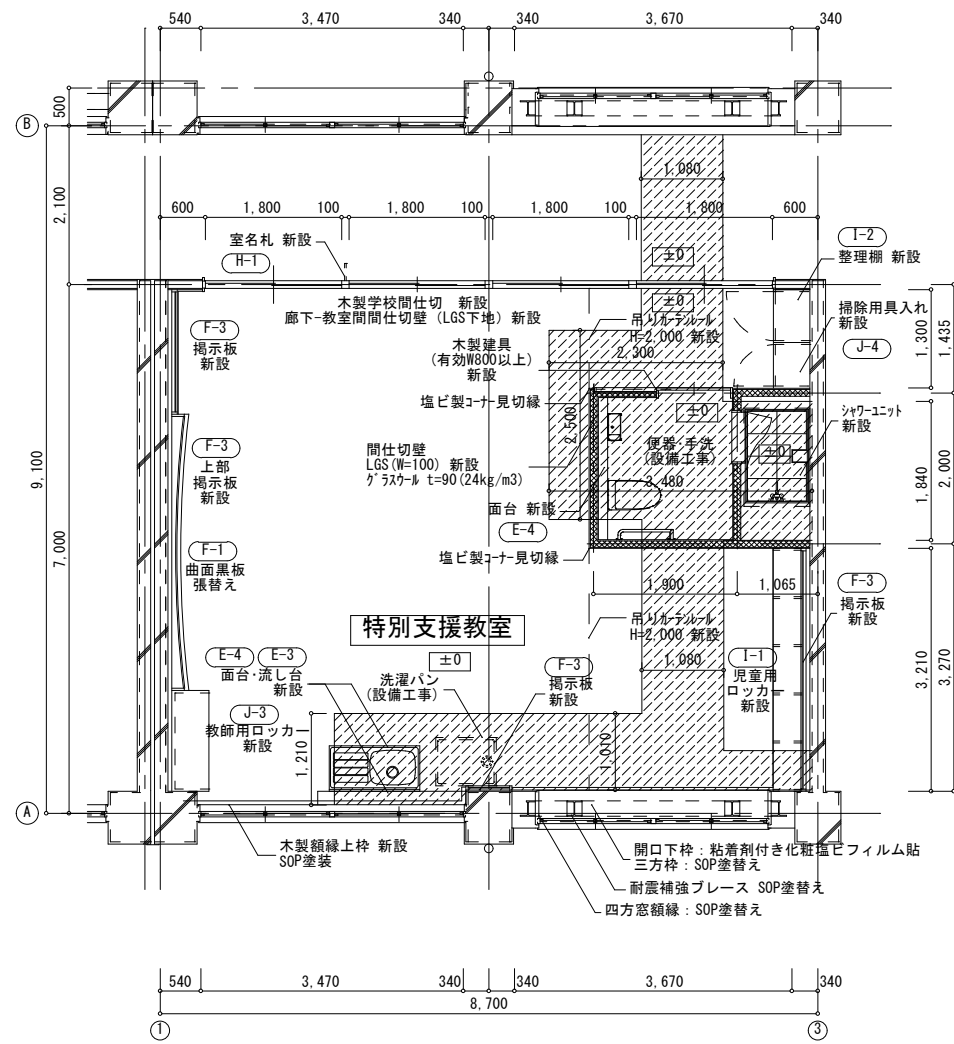
：既存土間撤去範囲 土間コンクリート t=110 砕り (D10-φ300 シングル・タテヨコ共)



室名	特別支援教室	
天井	仕上	t=9.0 岩綿吸音板 (撤去)
	下地	軽天下地 (撤去)
壁	A面	木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去
	B面	揭示板 ※木脚縁下地共撤去
	C面	モルタル金コテ押え AEP塗装
	D面	LGS下地 t=8.0 ケイカル板EPG塗装 (耐震補強部)
巾木	仕上	木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
	床	仕上 t=15.0 集成フローリング ※撤去 一部: t=55.0 畳 ※撤去
床	下地	t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 合板 木床組下地 ※撤去
	備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

室名	特別支援教室 (トイレ部分)	
天井	仕上	化粧PB t=9.5 (撤去)
	下地	軽天下地 (撤去)
壁	仕上	A~D面 (壁) t=4.0 シタベニヤ目透かし貼 OSCL塗 ※木下地共撤去
	巾木	仕上 木製巾木 H=75 OSCL塗装 ※撤去
床	仕上	ビニル床シート t=2.0 ※撤去
	下地	t=12.0 合板 (乾式床組 H=100) ※撤去
備考		

改修後 平面詳細図 X1-X3 (1階) 特別支援教室



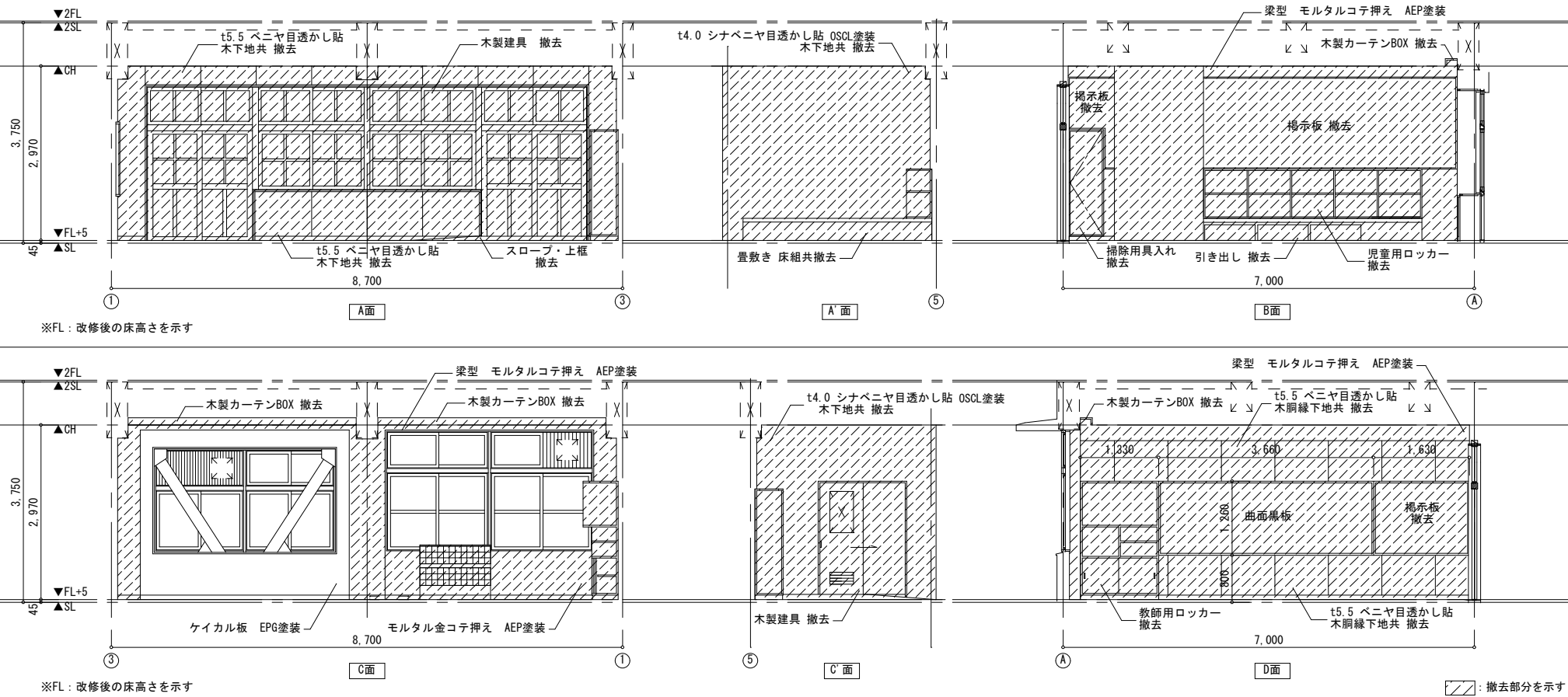
：【新設土間範囲】 土間コンクリート t=120 (18-15-20) (D10-φ250 タテヨコ共)  
ポリエチレンシート t=0.15  
砂敷き t=30  
再生クラッシャーラン t=100



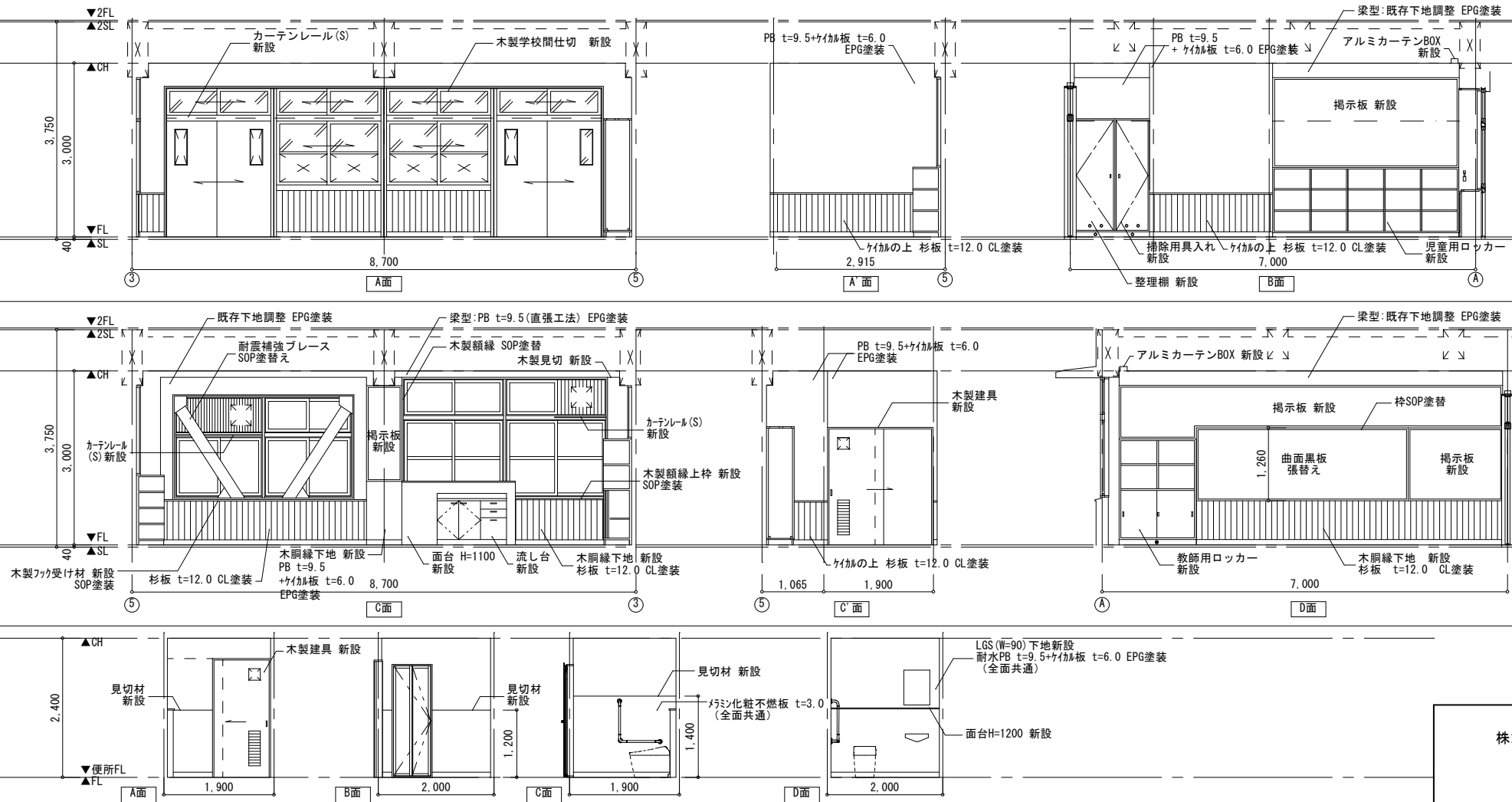
室名	特別支援教室	
天井	仕上	化粧PB t=9.5 (準不燃)
	下地	LGS下地
壁	仕上	A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装
		B面 木脚縁新設 揭示板
		C面 (壁) 木脚縁新設+PB t=9.5 +ケイカル板 t=6.0 EPG塗装
		(腰壁) 木脚縁新設+杉板 t=12.0 CL塗装 (耐震補強部 壁) 既存ケイカル板下地調整 EPG塗装 (耐震補強部 腰壁) 既存ケイカル板+杉板 t=12.0 CL塗装
巾木	仕上	D面 (壁) 木脚縁新設 揭示板・黒板 (腰壁) 木脚縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装
	床	トイレ外部 (A・B・C面) LGS下地 (ｸﾞﾗｽｸｰﾙ24kg/m3充填) PB t=9.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装
備考	梁型・柱型	既存下地調整 EPG塗装
	梁型 (外壁側)	PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装

室名	特別支援教室 (トイレ部分)	
天井	仕上	化粧PB t=9.5 (不燃)
	下地	LGS下地
壁	仕上	A~D面 (壁) LGS下地 (W=100) 耐水PB t=9.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 (W=100) 耐水PB t=9.5 + ケイカル板 t=6.0 + フラン不燃化粧板 t=3.0
	巾木	仕上 ビニル床シート巻上 H=100
床	仕上	アンダーレイシート t=5.0 抗菌性ビニル床シート (トイレ用) t=2.0
	下地	土間コンクリート
備考	※LGS壁内部:ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (24kg/m3) 充填	

改修前 展開図 X1-X3 (1階) 特別支援教室



改修後 展開図 X1-X3 (1階) 特別支援教室

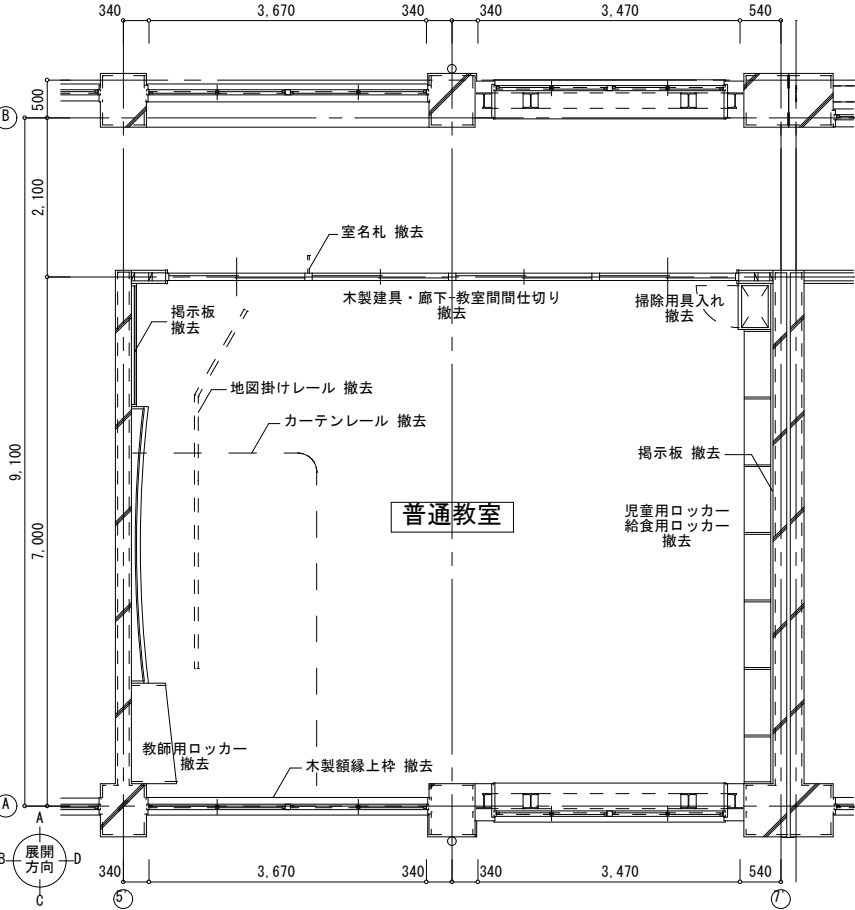


トイレ部分

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

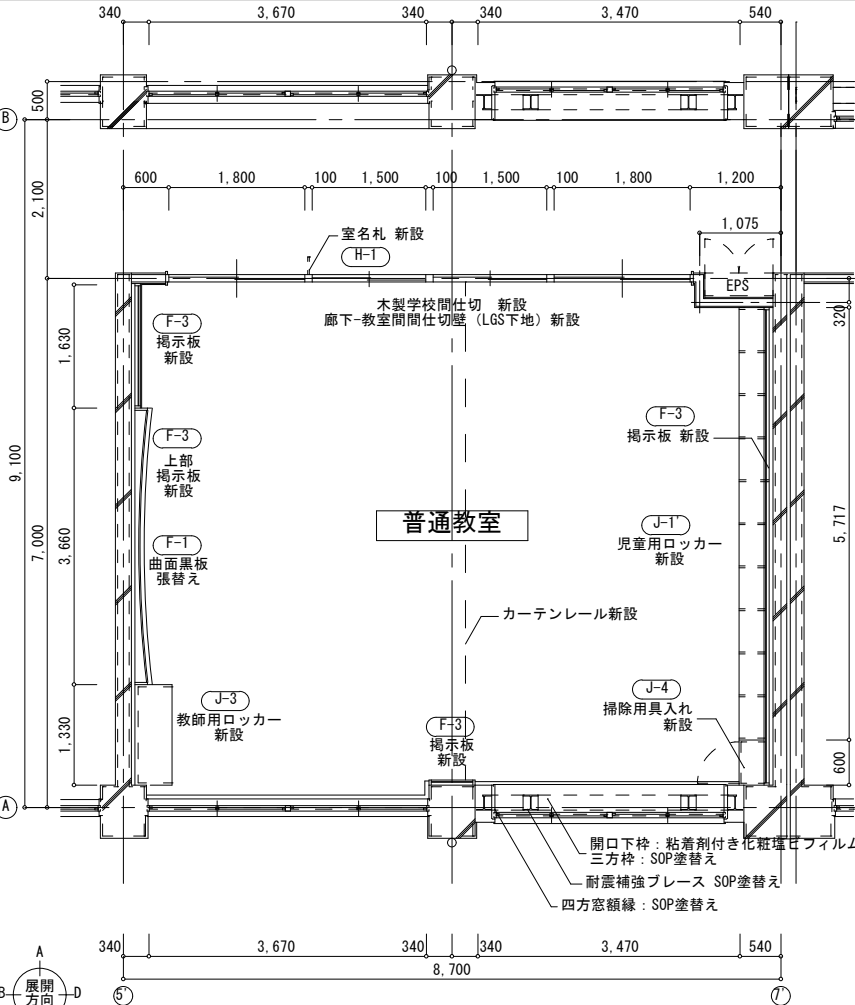
桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事  
X1-X3 (1階) 特別支援教室  
展開図(改修前・改修後)  
鹿児島市建設局建築部建築課

改修前 平面詳細図 X5'-X7' (1階) 普通教室



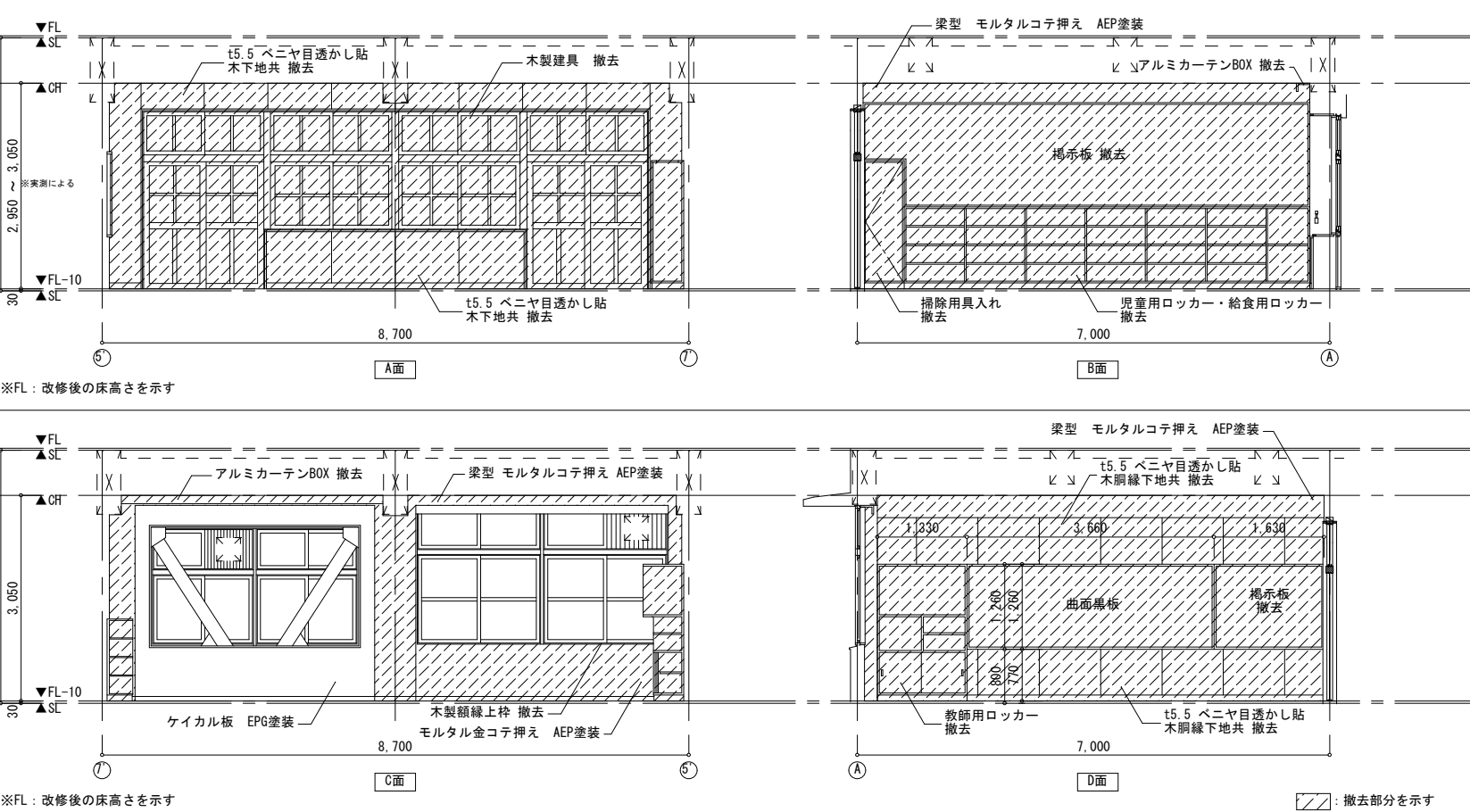
室名	普通教室
天井	仕上 t=9.0 ジブトーン貼 (撤去) 下地 軽天地下地 (撤去)
壁	仕上 A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 LGS下地 t=8.0 ケイカル板EPG塗装 (耐震補強部) D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 ※撤去 下地 モルタルコテ押え下地
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

改修後 平面詳細図 X5'-X7' (1階) 普通教室 (耐震補強ブレース・EPS付)

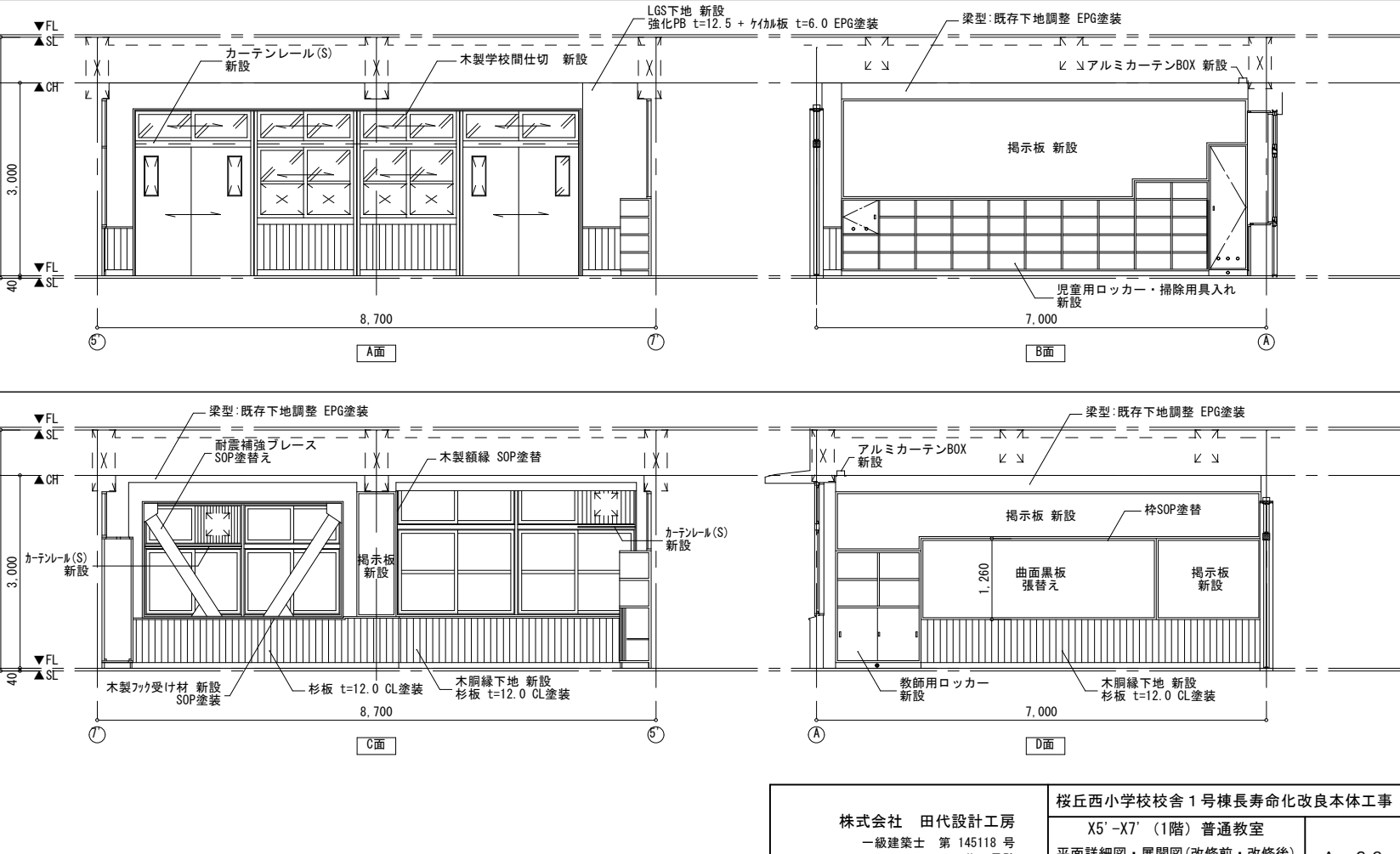


室名	普通教室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (EPS部含む) (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木胴縁新設 掲示板 (EPS部) (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設+杉板 t=12.0 CL塗装 (耐震補強部 壁) 既存ケイカル板下地調整 EPG塗装 (耐震補強部 腰壁) 既存ケイカル板+杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 掲示板・黑板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 アンダーレイシート t=5.0 + ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存床用: 曲面黑板 (張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと

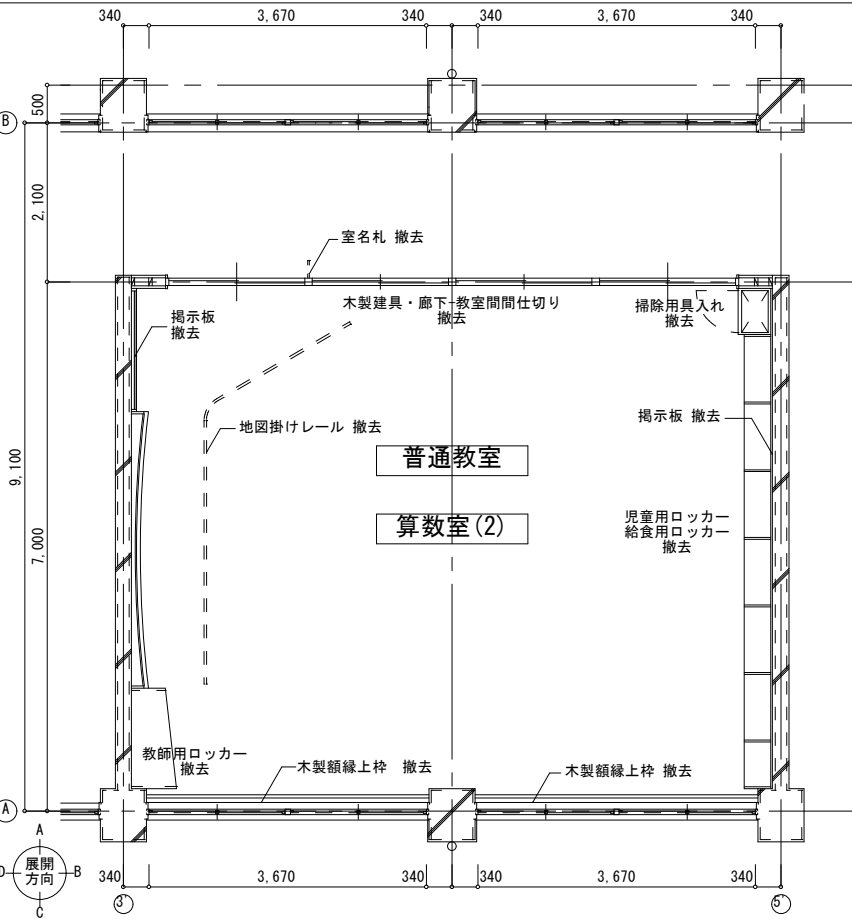
改修前 展開図 X5'-X7' (1階) 普通教室



改修後 展開図 X5'-X7' (1階) 普通教室 (耐震補強ブレース・EPS付)

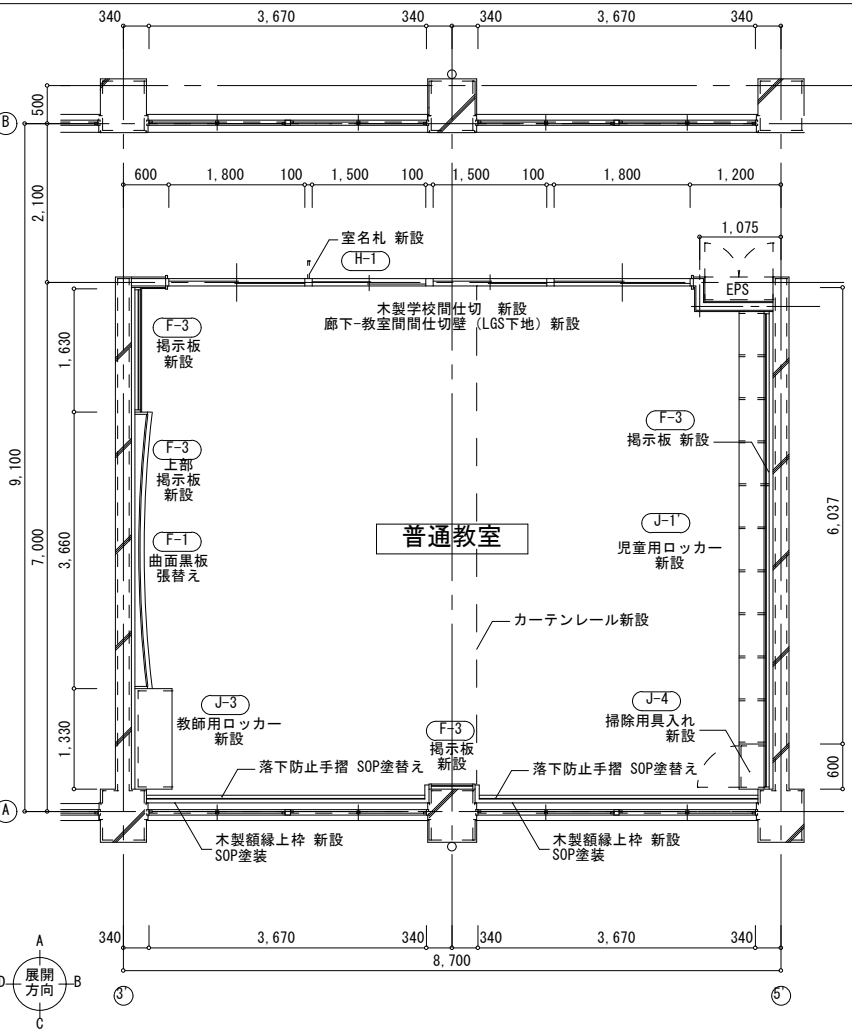


改修前 平面詳細図 X3'-X5' (2・4階) 普通教室



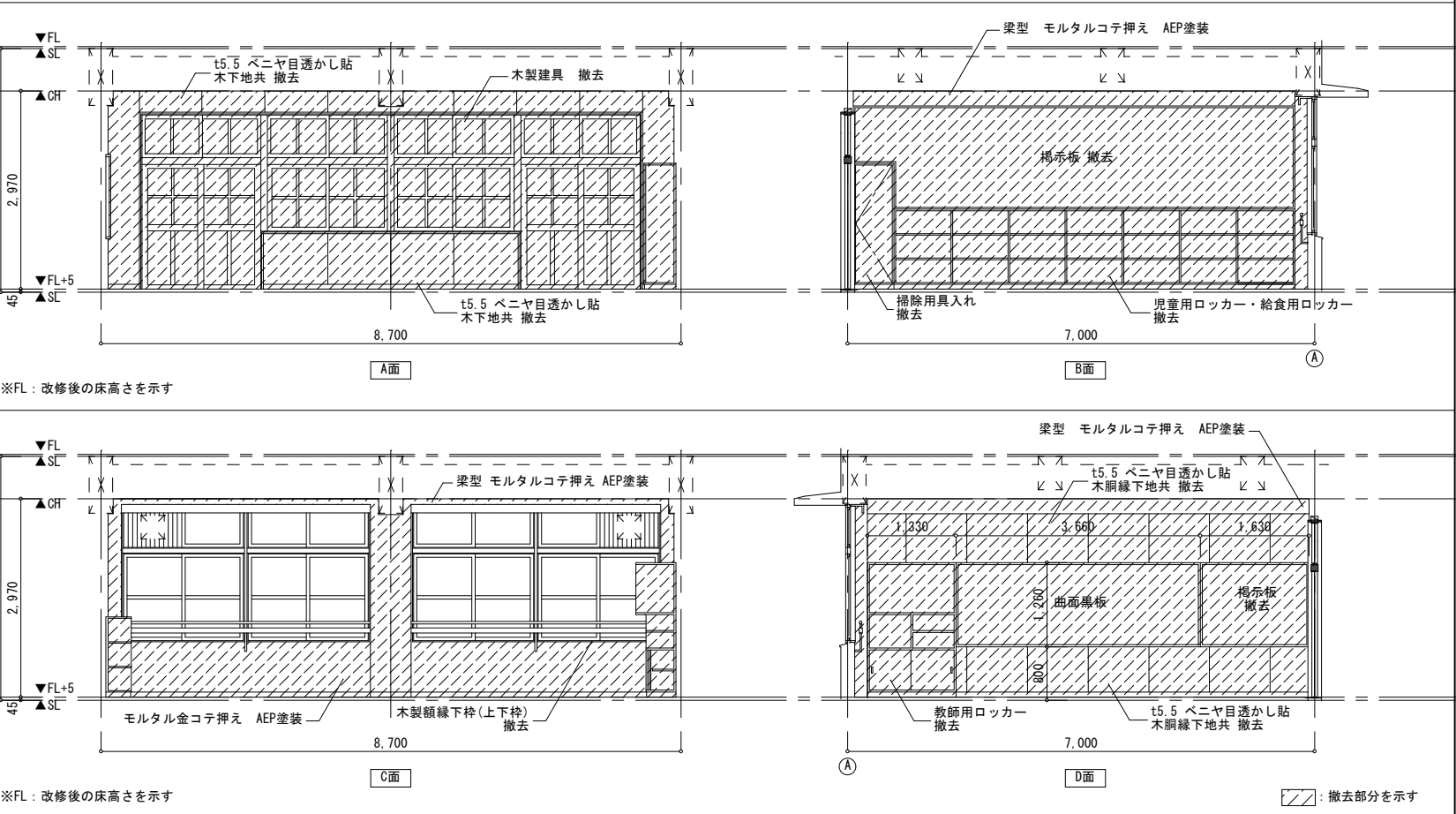
室名	普通教室
天井	仕上 t=9.0 ジブトーン貼 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 2階 ビニル床シート t=2.0 ※撤去 4階 t=15.0 集成フローリング ｸﾗﾌﾝ2回塗り ※撤去 下地 2階 モルタルコテ押え下地 4階 t=2.0 クッションシート張の上、t=12.0 合板 木床組下地 ※撤去
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去

改修後 平面詳細図 X3'-X5' (2・4階) 普通教室 (EPS付)

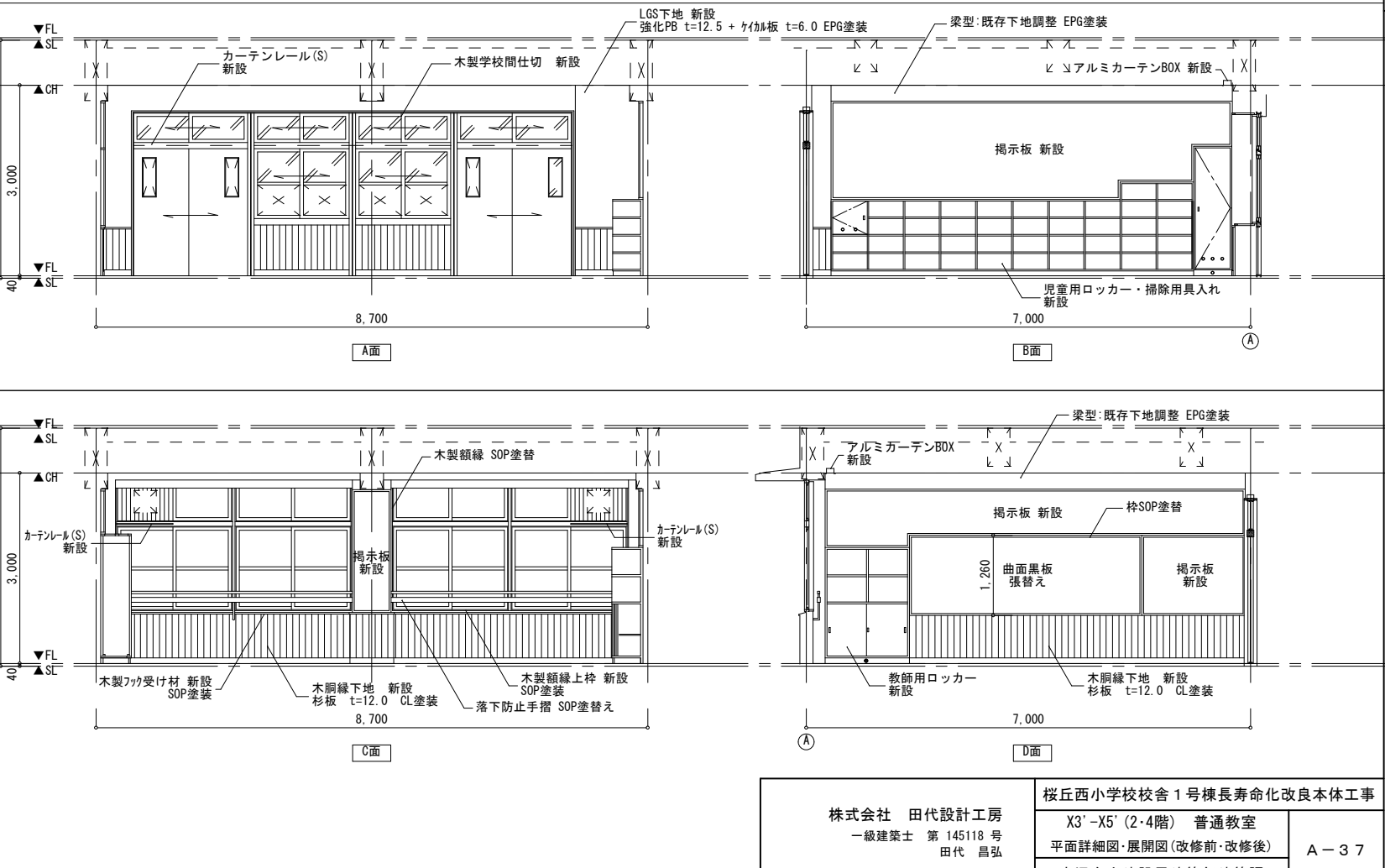


室名	普通教室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (EPS部含む) (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ｷｬﾙﾌﾞ t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ｷｬﾙﾌﾞ t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木胴縁新設 掲示板 (EPS部) (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ｷｬﾙﾌﾞ t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ｷｬﾙﾌﾞ t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設+杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 掲示板・黒板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁はスラブ下まで達せしめること ※既存床用: 曲面黒板 (張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと

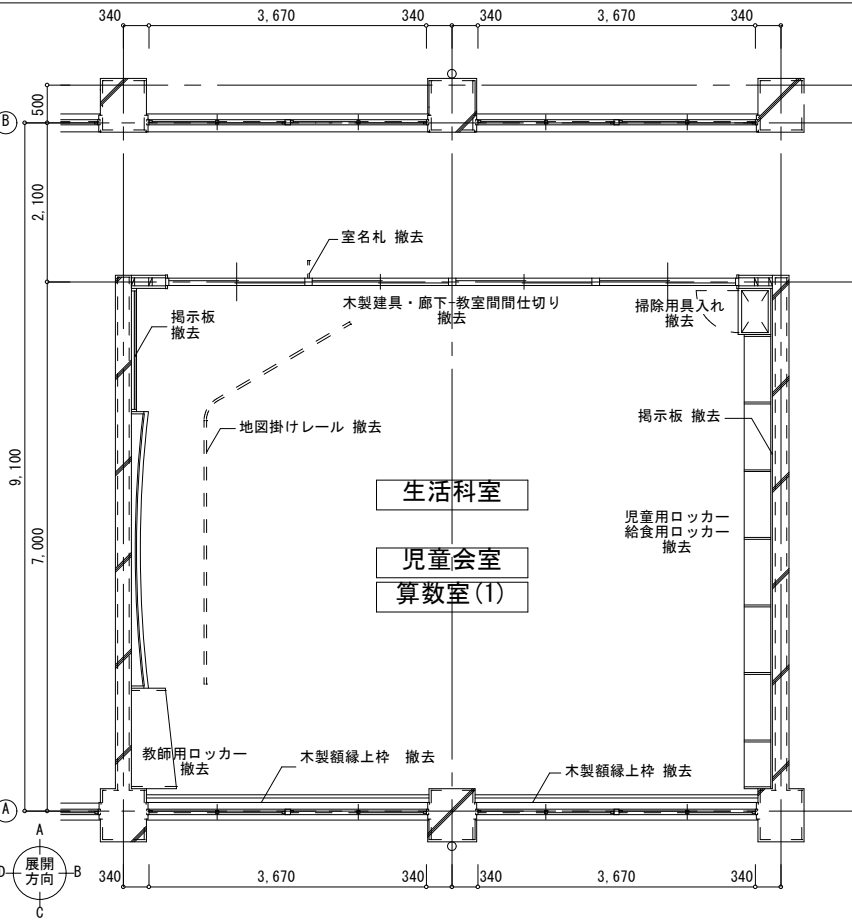
改修前 展開図 X3'-X5' (2・4階) 普通教室



改修後 展開図 X3'-X5' (2・4階) 普通教室 (EPS付)

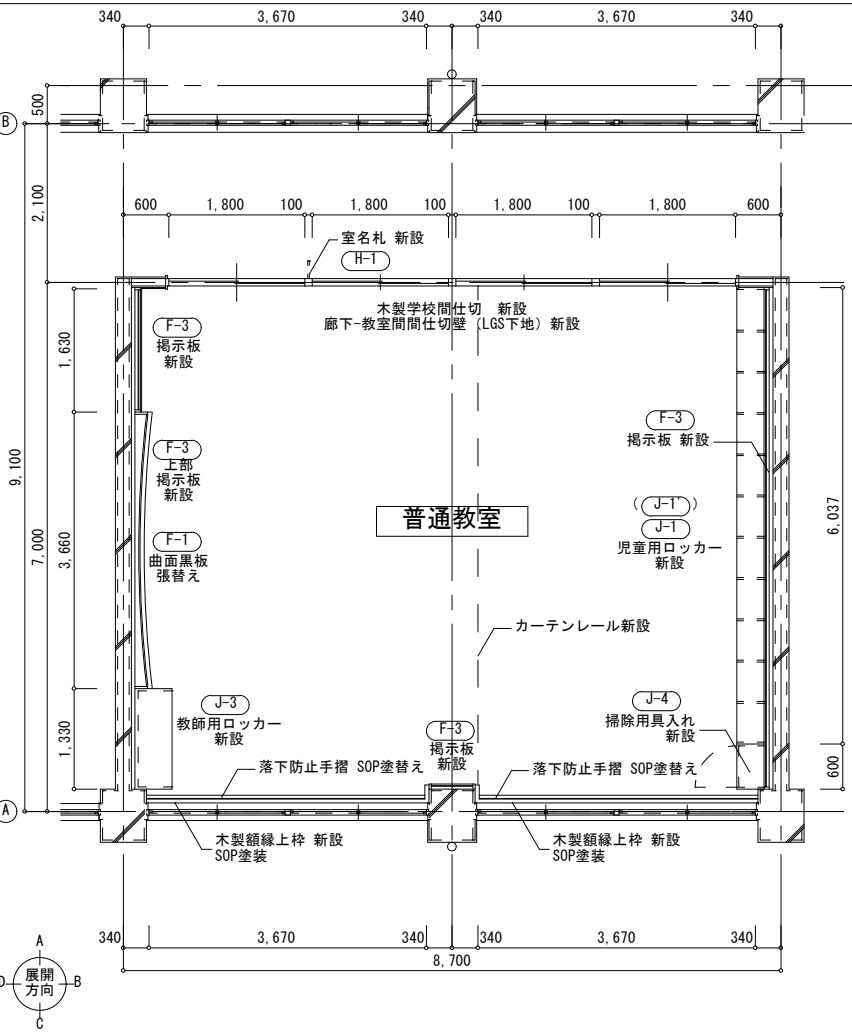


改修前 平面詳細図 X5'-X7' (2・4階) X1-X3(4階)X3-X5(4階) 普通教室



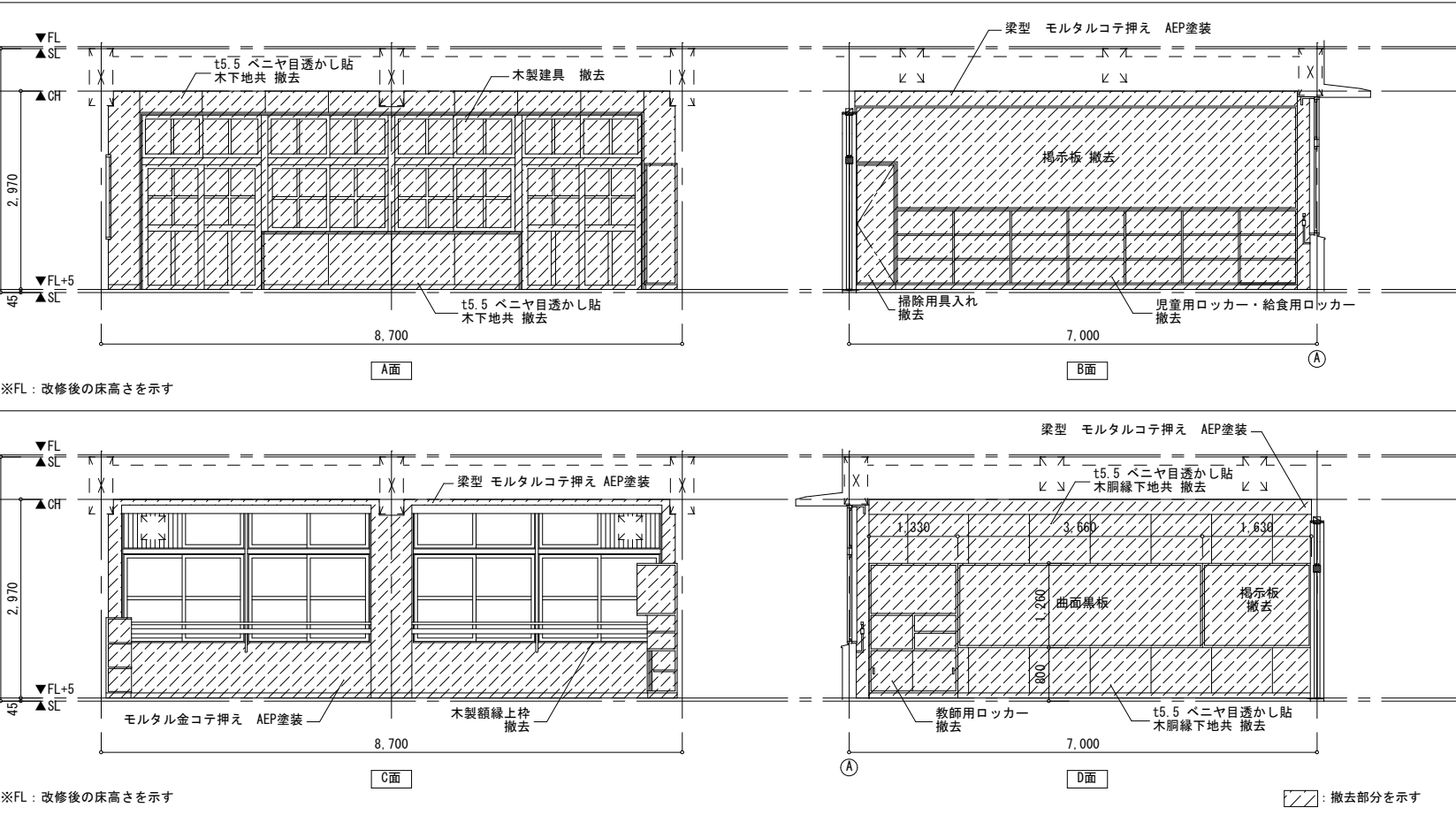
室名	普通教室
天井	仕上 t=9.0 ジブトーン貼 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 揭示板 ※木胴縁下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 ※X5'-X7' (2・4階) ビニル床シート t=2.0 ※撤去 ※X1-X3(4階)、X3-X5(4階) t=15.0 集成フローリング ウレタン2回塗り ※撤去 下地 ※X5'-X7' (2・4階) モルタルコテ押え下地 ※X1-X3(4階)、X3-X5(4階) t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 合板 ※撤去
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去 ・木製カーテンBOX撤去 (X1-X3 (4階) X3-X5 (4階)) ・7&ミカーテンBOX撤去 (X5'-X7' (2・4階))

改修後 平面詳細図 X5'-X7' (2・4階) X1-X3(4階)X3-X5(4階) 普通教室

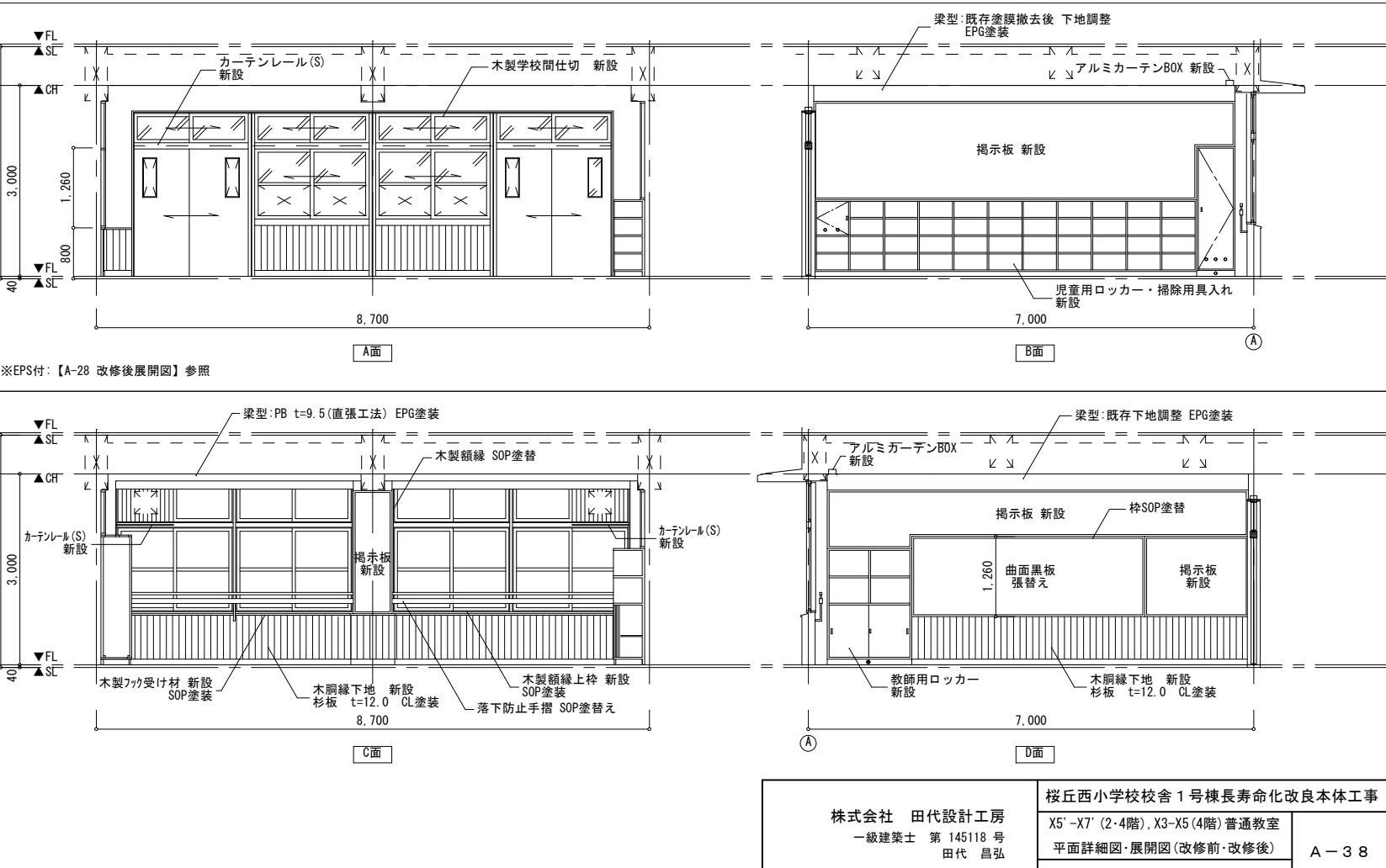


室名	普通教室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケーブル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケーブル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木胴縁新設 揭示板 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設+杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 揭示板・黒板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用: 曲面黒板 (張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと

改修前 展開図 X5'-X7' (2・4階) X1-X3(4階)X3-X5(4階) 普通教室

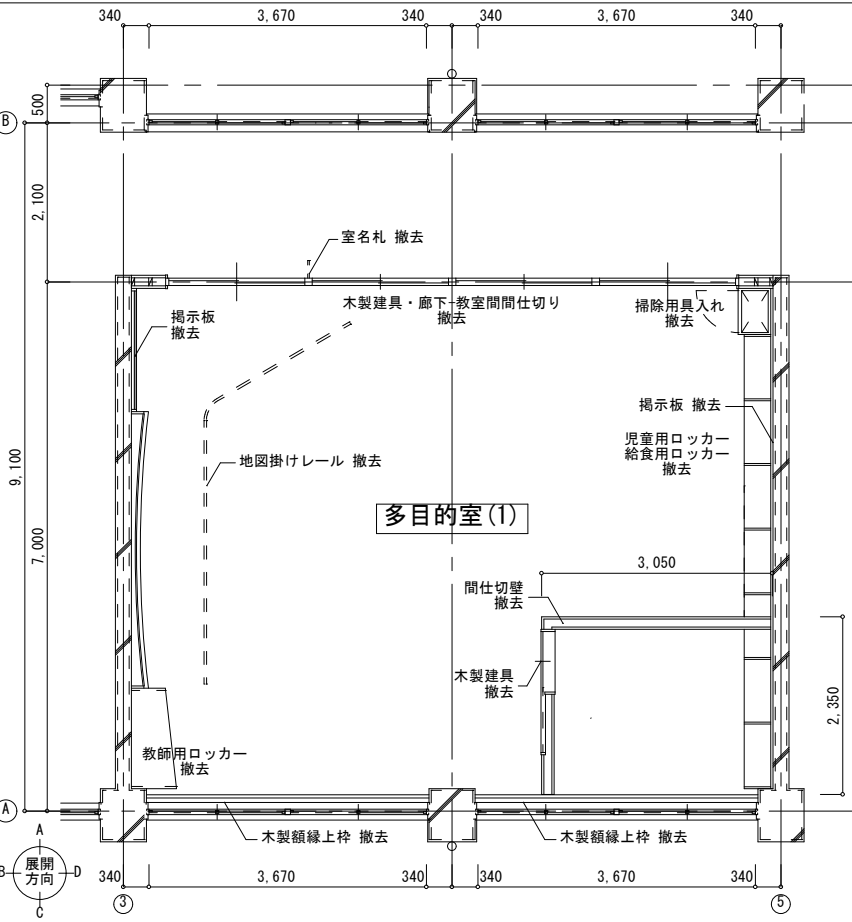


改修後 展開図 X5'-X7' (2・4階) X1-X3(4階)X3-X5(4階) 普通教室



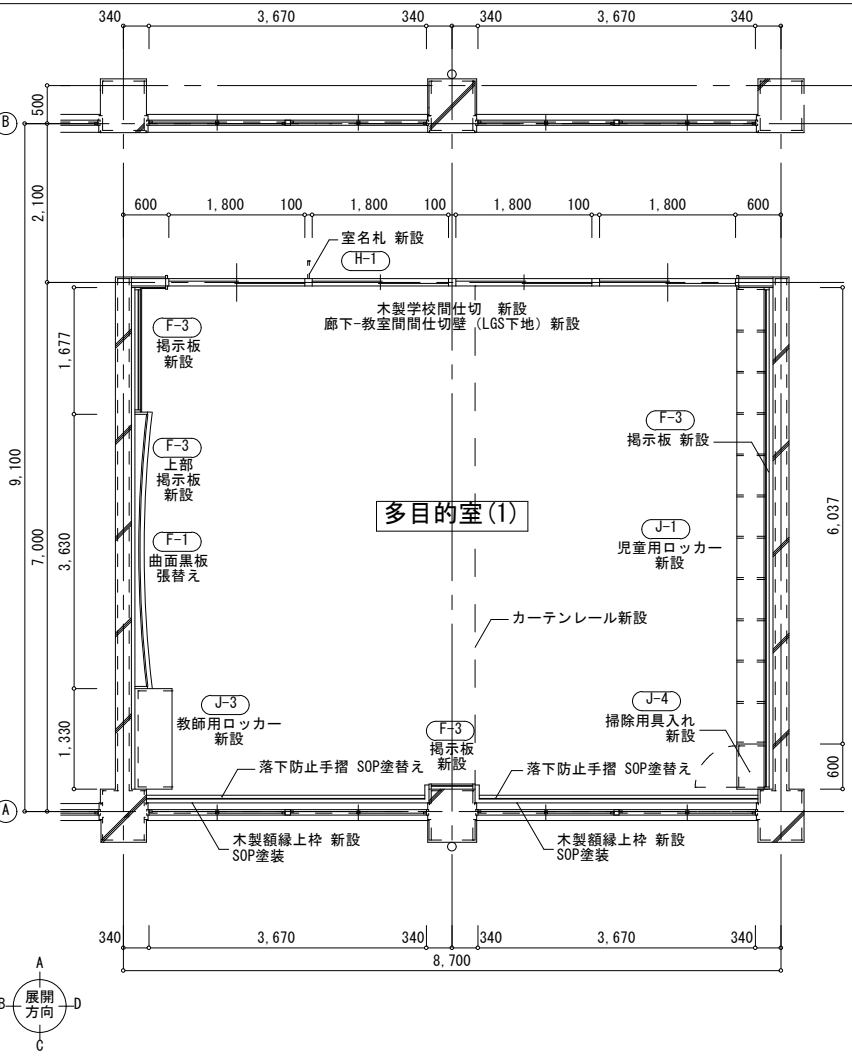


改修前 平面詳細図 X3-X5 (3階) 普通教室



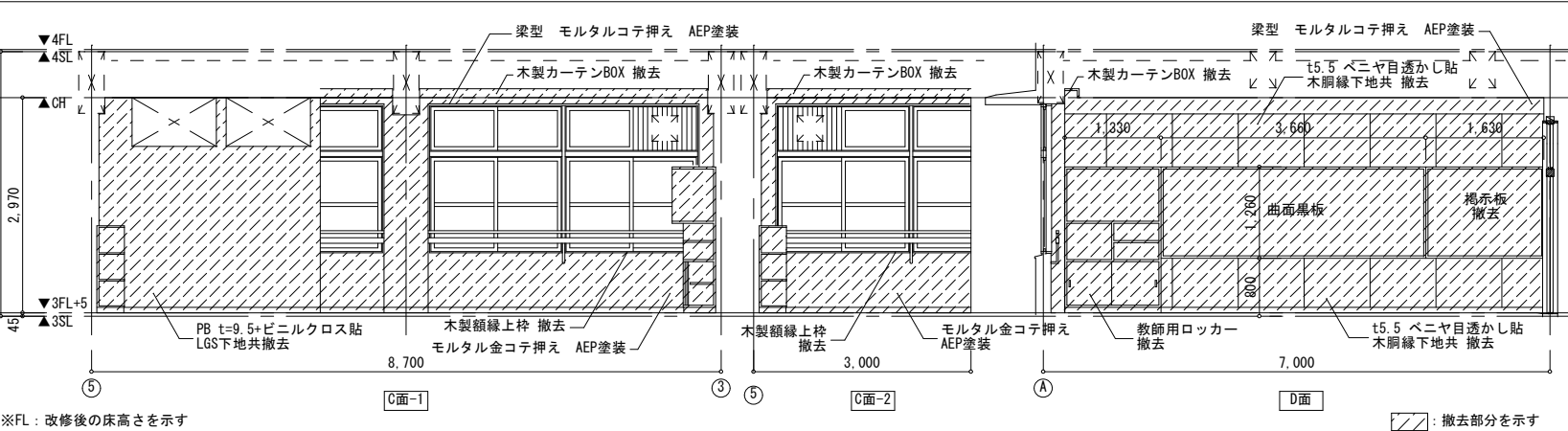
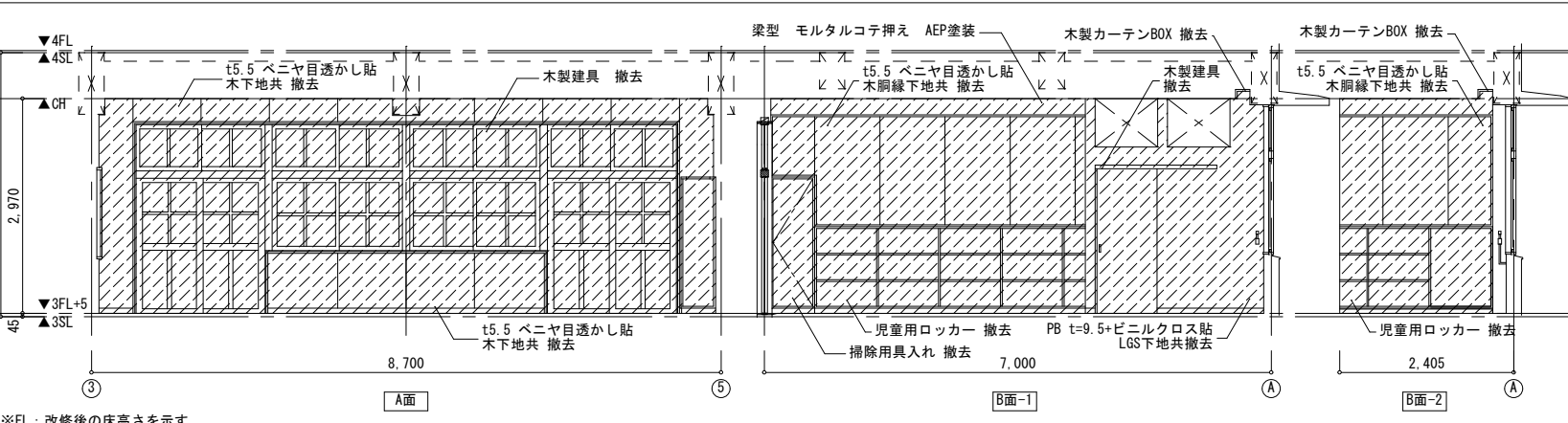
室名	多目的室(1)
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 LGS下地 PB t=9.5 + ビニルクロス貼 ※LGS下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 LGS下地 PB t=9.5 + ビニルクロス貼 ※LGS下地共撤去 D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 t=15.0 集成フローリング クレ2回塗り ※撤去 下地 t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 合板 ※撤去
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

改修後 平面詳細図 X3-X5 (3階) 普通教室

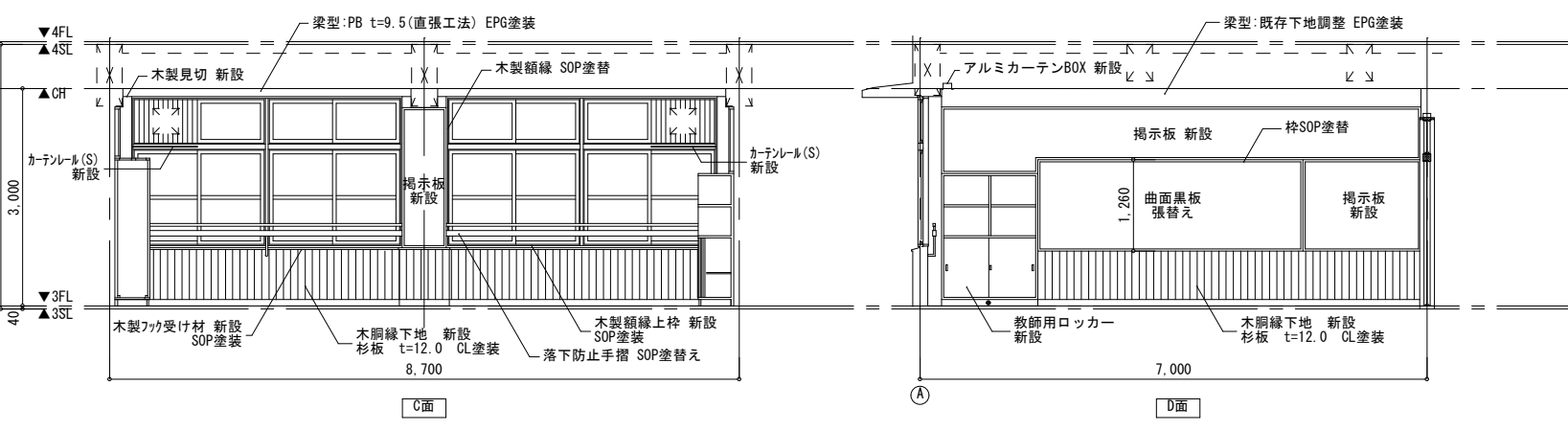
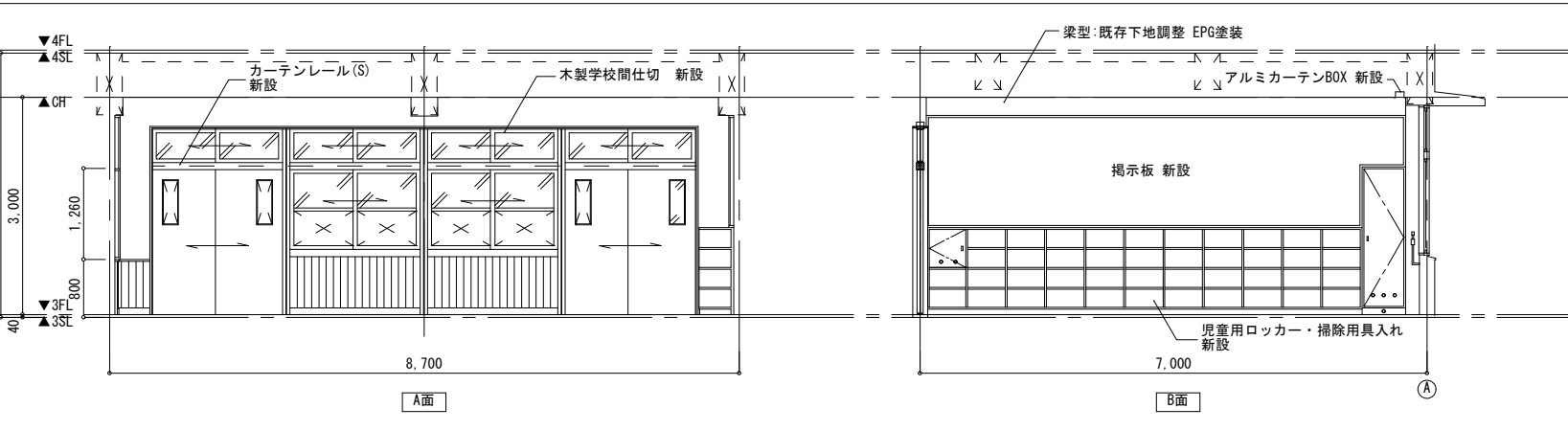


室名	普通教室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケパル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケパル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木胴縁新設 掲示板 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設+杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 掲示板・黒板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用: 曲面黒板 (張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと

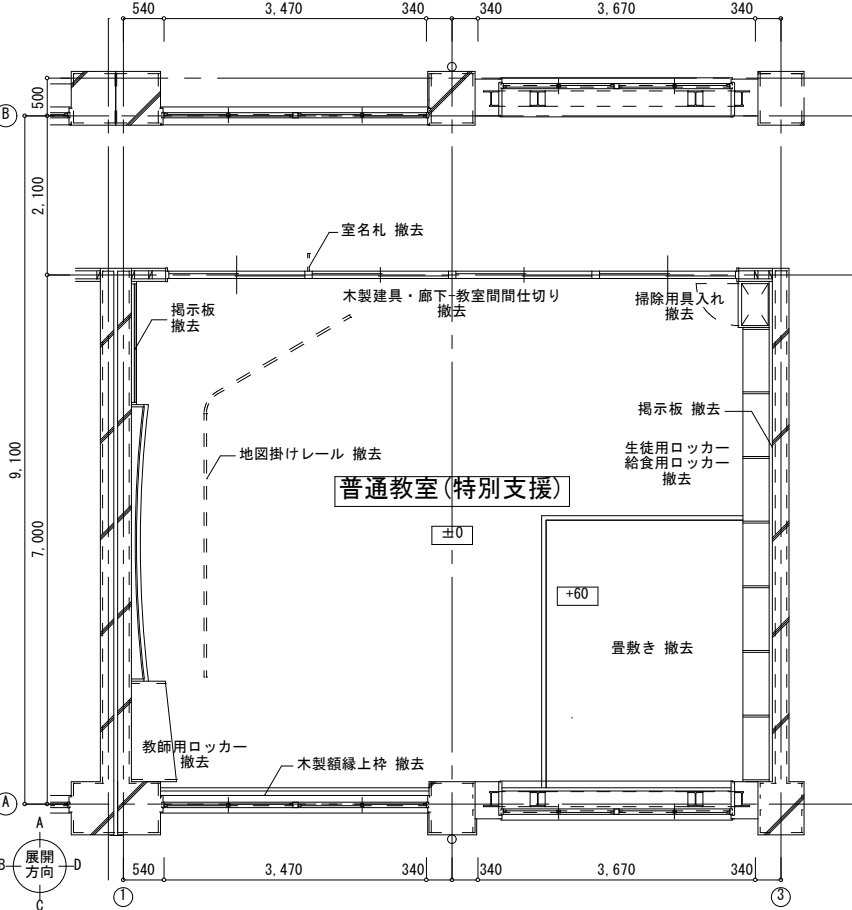
改修前 展開図 X3-X5 (3階) 普通教室



改修後 展開図 X3-X5 (3階) 普通教室

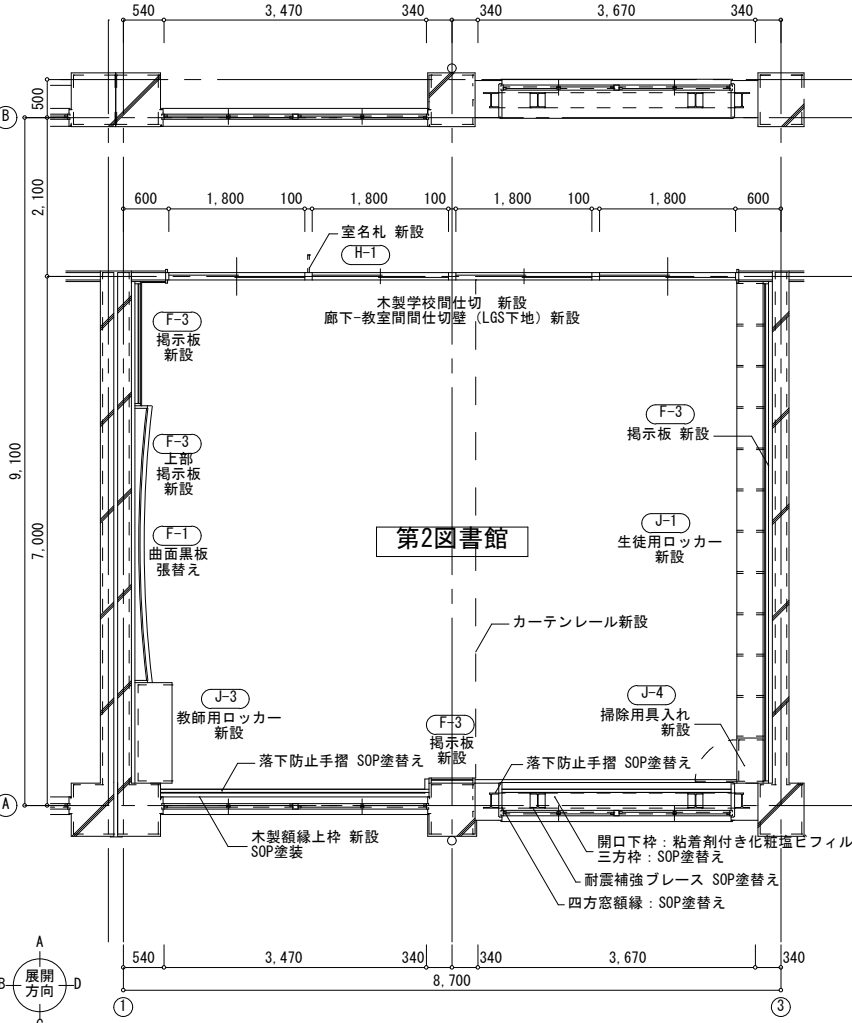


改修前 平面詳細図 X1-X3 (3階) 普通教室 (特別支援)



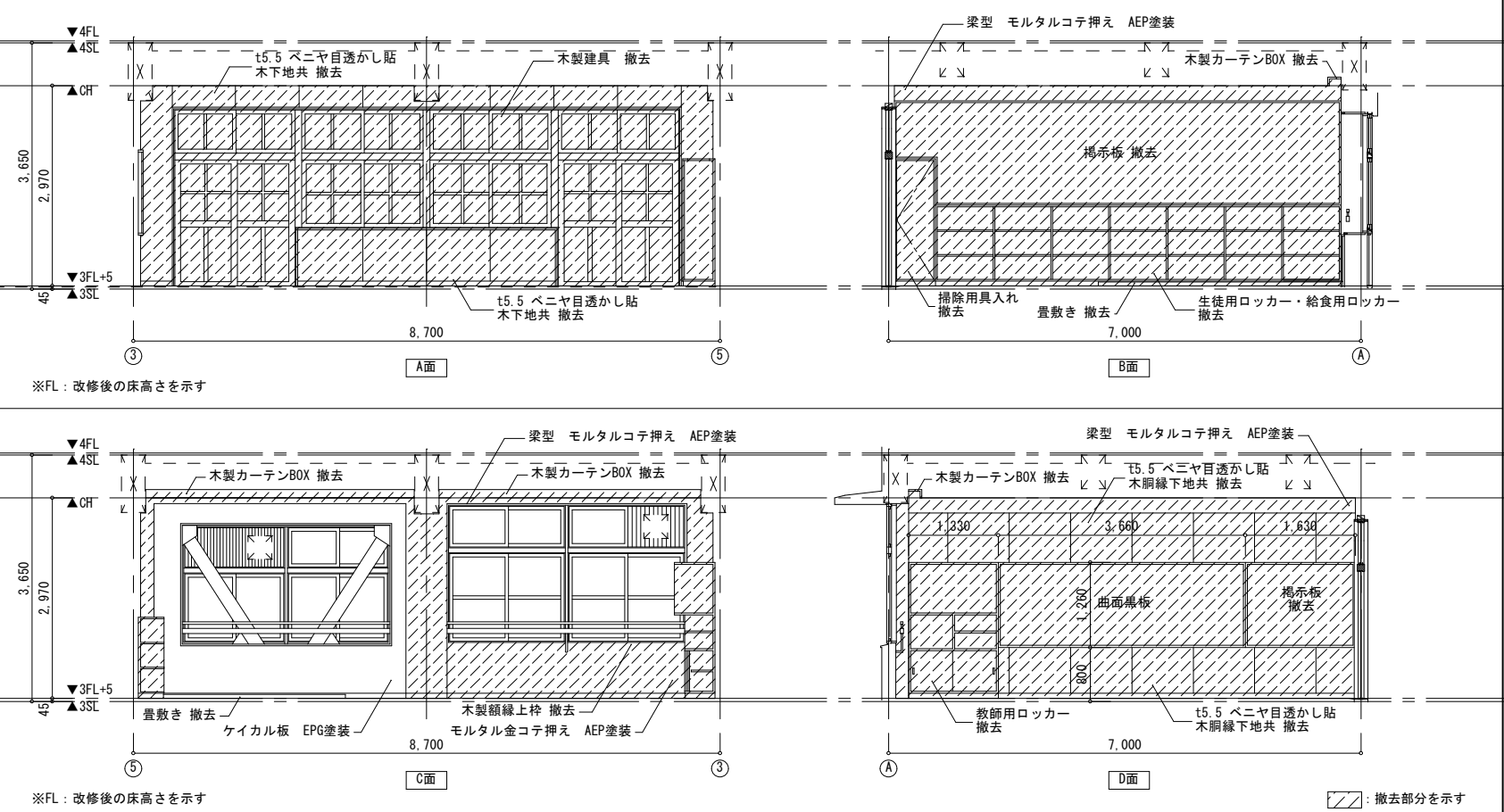
室名	普通教室 (特別支援)
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 LGS下地 t=8.0 ケイカル板EPG塗装 (耐震壁部) D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 t=15.0 集成フローリング カルキ2回塗り ※撤去 一部: t=55.0 畳敷 ※撤去 下地 t=2.0 クッションシート張の上、t=12.0 合板 ※撤去
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

改修後 平面詳細図 X1-X3 (3階) 第2図書館 (耐震補強ブレース付)

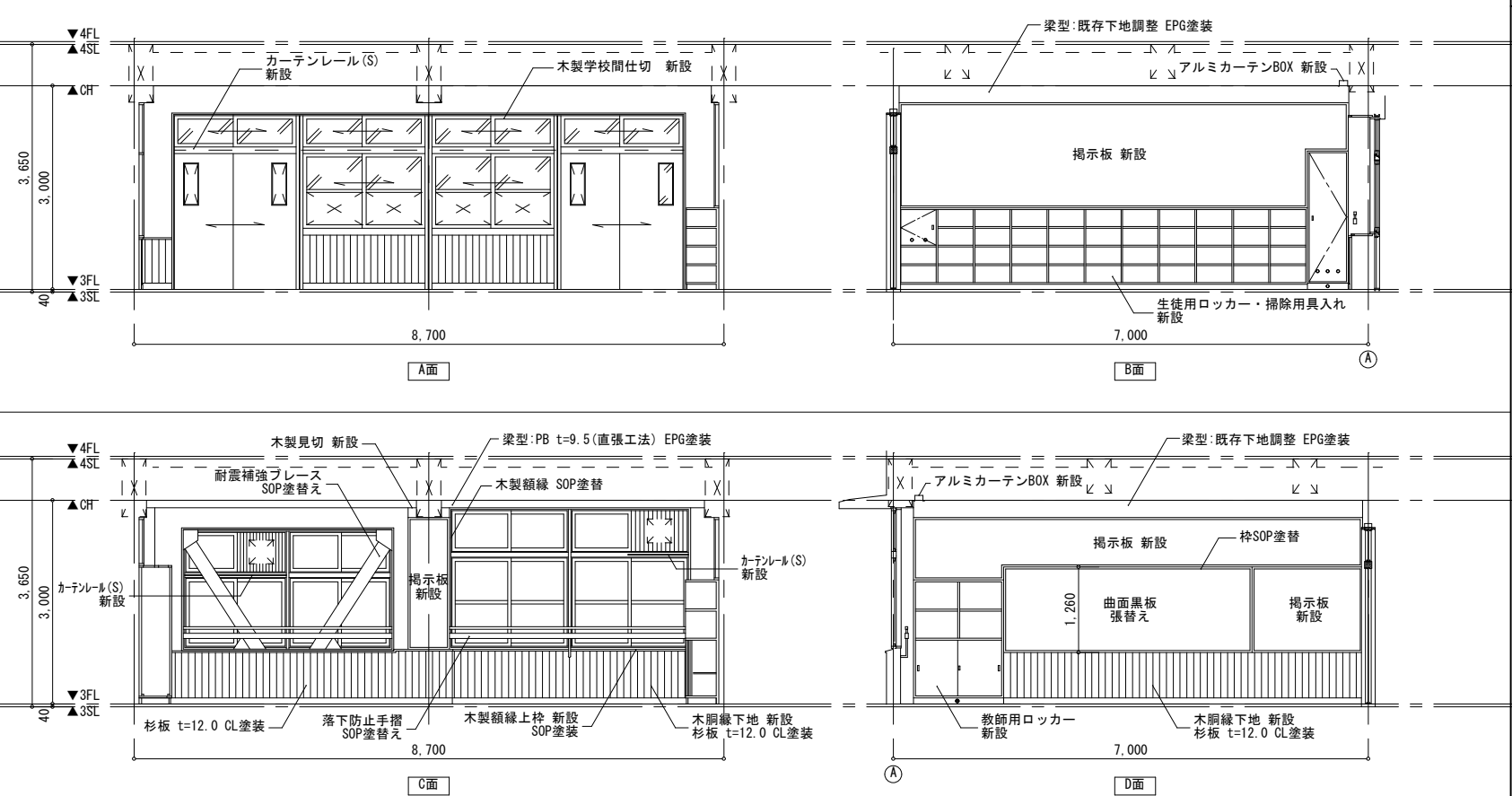


室名	普通教室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木胴縁新設 掲示板 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設+杉板 t=12.0 CL塗装 (耐震補強部 壁) 既存ケイカル板下地調整 EPG塗装 (耐震補強部 腰壁) 既存ケイカル板 + 杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 掲示板・黒板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切り壁はスラブ下まで達せしめること ※既存床用: 曲面黒板 (張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと

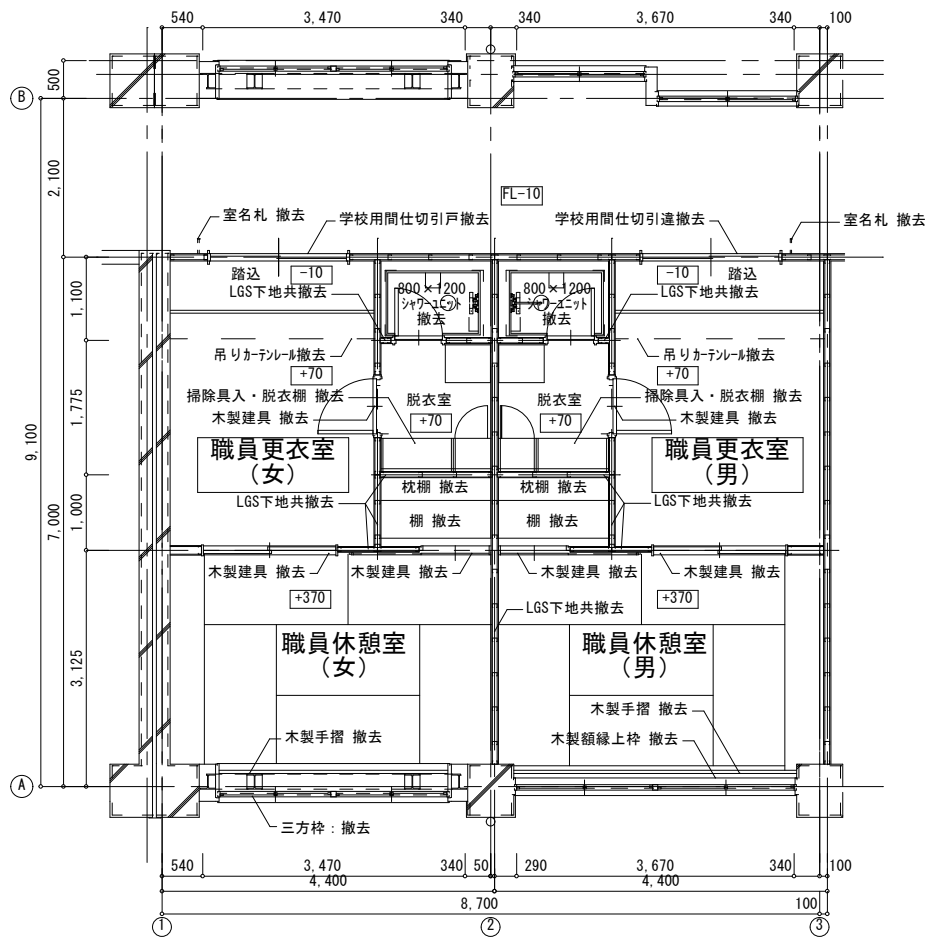
改修前 展開図 X1-X3 (3階) 普通教室 (特別支援)



改修後 展開図 X1-X3 (3階) 第2図書館 (耐震補強ブレース付)



改修前 平面詳細図 職員更衣室（女）(男)

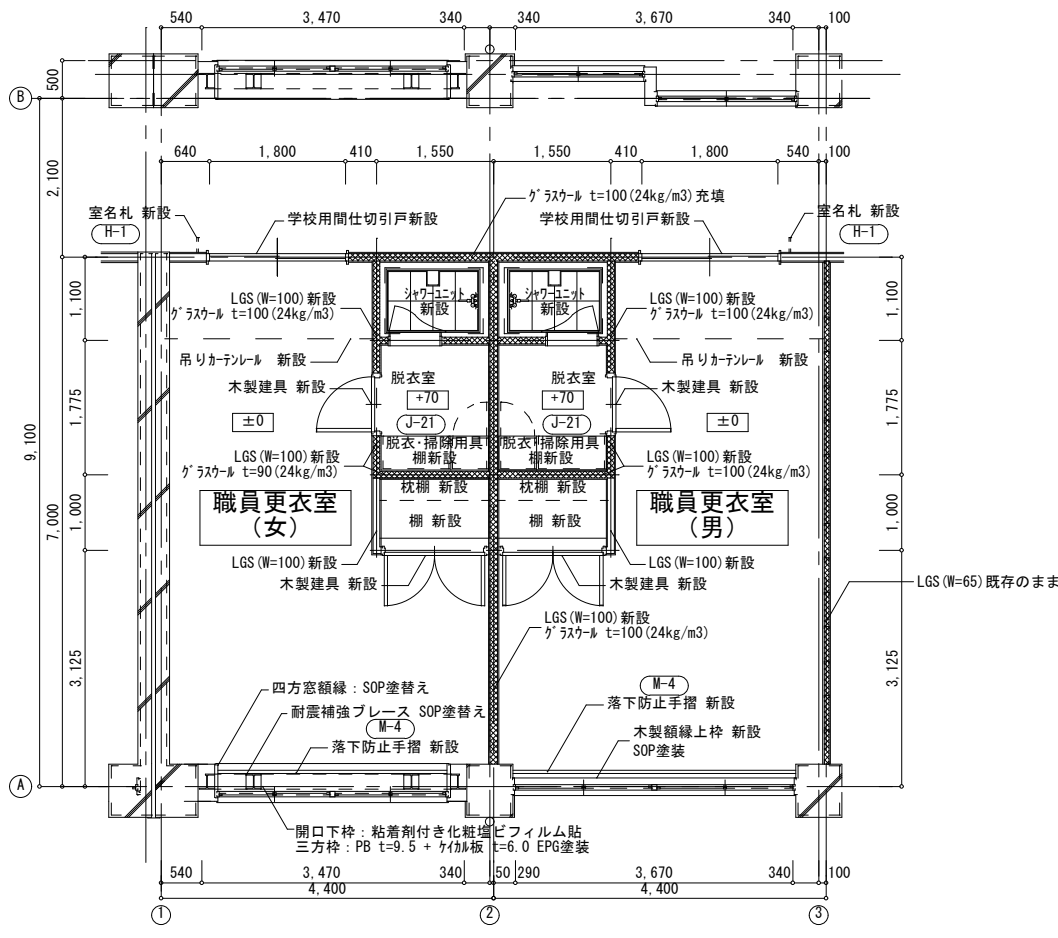


室名 職員更衣室（女）	
天井	仕上 t=9.0 ジブト・化粧PB*・ド（柾目）（撤去） 下地 軽天下地（撤去）
壁	仕上 A面（職員更衣室） LGS下地 ケイ化板2重貼 t=8.0 + PB t=12.5 + ビニルクロス貼 ※LGS下地共撤去 B・C面（職員更衣室） LGS下地 PB t=12.5 + ビニルクロス貼 ※LGS下地共撤去 D面（職員更衣室） PB t=12.5 + ビニルクロス貼 ※木脚縁下地共撤去 A・C・D面（脱衣室） LGS下地 ケイ化板目透し貼 t=8.0 + EPG塗 ※LGS下地共撤去 B面（脱衣室） LGS下地 ケイ化板二重貼 t=8.0（両面） ケイ化板目透し貼 t=5.0 EPG塗 梁下まで ※LGS下地共撤去 A面（職員休憩室） LGS下地 PB t=9.5 + シェ*目透 t=5.5 + CL塗 ※LGS下地共撤去 B面（職員休憩室） LGS下地 ケイ化板二重貼 t=8.0（両面） ケイ化板目透し貼 t=5.0 EPG塗 梁下まで ※LGS下地共撤去 C面（職員休憩室） シェ*目透 t=5.5 + CL塗 ※撤去 D面（職員休憩室） シェ*目透 t=5.5 + CL塗 ※木脚縁下地共撤去 A・C・D面（押入） LGS下地 PB t=9.5 + シェ*目透 t=4.0 B面（押入） LGS下地 ケイ化板二重貼 t=8.0 シェ*目透 t=4.0 柱・梁（天井裏） モルタル金コテ押え AEP塗装

室名 職員更衣室（男）	
天井	仕上 t=9.0 ジブト・化粧PB*・ド（柾目）（撤去） 下地 軽天下地（撤去）
壁	仕上 A面（職員更衣室） LGS下地 ケイ化板2重貼 t=8.0 + PB t=12.5 + ビニルクロス貼 ※LGS下地共撤去 B面（職員更衣室） LGS下地 PB t=12.5 + ビニルクロス貼 ※撤去 C・D面（職員更衣室） LGS下地 PB t=12.5 + ビニルクロス貼 ※LGS下地共撤去 A・B・C面（脱衣室） LGS下地 ケイ化板目透し貼 t=8.0 + EPG塗 ※LGS下地共撤去 D面（脱衣室） LGS下地 ケイ化板二重貼 t=8.0（両面） ケイ化板目透し貼 t=5.0 EPG塗 梁下まで ※LGS下地共撤去 A面（職員休憩室） LGS下地 PB t=9.5 + シェ*目透 t=5.5 + CL塗 ※LGS下地共撤去 B面（職員休憩室） LGS下地 PB t=9.5 + シェ*目透 t=5.5 + CL塗 ※撤去 C面（職員休憩室） シェ*目透 t=5.5 + CL塗 ※木脚縁下地共撤去 D面（職員休憩室） LGS下地 ケイ化板二重貼 t=8.0（両面） ケイ化板目透し貼 t=5.0 EPG塗 梁下まで ※LGS下地共撤去 A・B・C面（押入） LGS下地 PB t=9.5 + シェ*目透 t=4.0 D面（押入） LGS下地 ケイ化板二重貼 t=8.0 シェ*目透 t=4.0 柱・梁（天井裏） モルタル金コテ押え AEP塗装

室名 職員更衣室（男女共）	
巾木	仕上 木製巾木 H=75 CL塗 ※撤去
床	（職員更衣室） t=15.0 集成フローリング ウレタン3回塗り （職員休憩室） t=55.0 畳敷 一部板張 （脱衣室） t=2.8 ビニルシート貼 ※撤去
	（職員更衣室・脱衣室） 根太の上コンパネ下地 t=12.0 ※撤去
	（職員休憩室） 土台 + 束 + 大引 + 根太 + コンパネ下地 t=15.0 ※撤去
	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去 ※床、LGS壁下地（X3通りを除く）、シャワーユニット、棚、共に全撤去

改修後 平面詳細図 職員更衣室（女）(男)



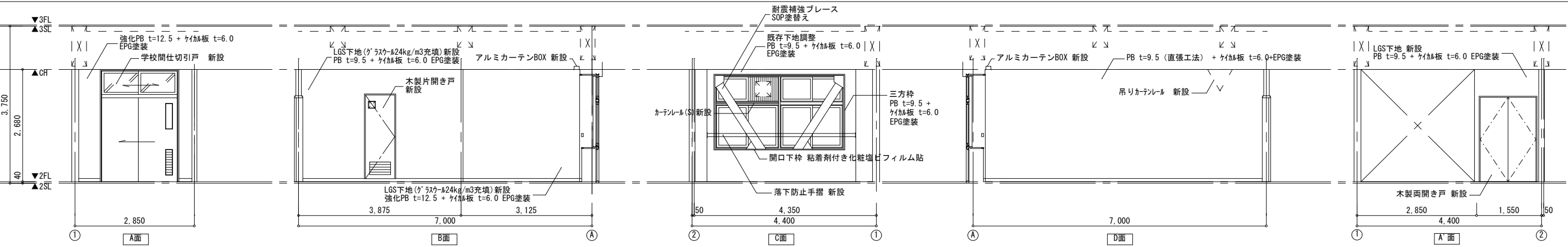
室名 職員更衣室（女）	
天井	仕上 化粧PB t=9.5（準不燃） 下地 LGS下地
壁	仕上 （職員更衣室）A面 LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （職員更衣室）B面 LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （職員更衣室）C面 既存下地調整 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （職員更衣室）D面 PB t=9.5（直張工法） + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （脱衣室外部）B面 LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （収納外部）A面 LGS下地 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 脱衣室（A・C・D面） LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 耐水PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 脱衣室（B面） LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 収納（A・C・D面） LGS下地 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 収納（B面） LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装

室名 職員更衣室（男）	
天井	仕上 化粧PB t=9.5（準不燃） 下地 LGS下地
壁	仕上 （職員更衣室）A面 LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （職員更衣室）B面 LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （職員更衣室）C面 既存下地調整 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （職員更衣室）D面 LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （脱衣室外部）D面 LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 （収納外部）A面 LGS下地 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 脱衣室（A・B・C面） LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 耐水PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 脱衣室（D面） LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 収納（A・B・C面） LGS下地 PB t=9.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装 収納（D面） LGS下地（ケラ*ル（24kg/m3）充填） 強化PB t=12.5 + ケイ化板 t=6.0 EPG塗装

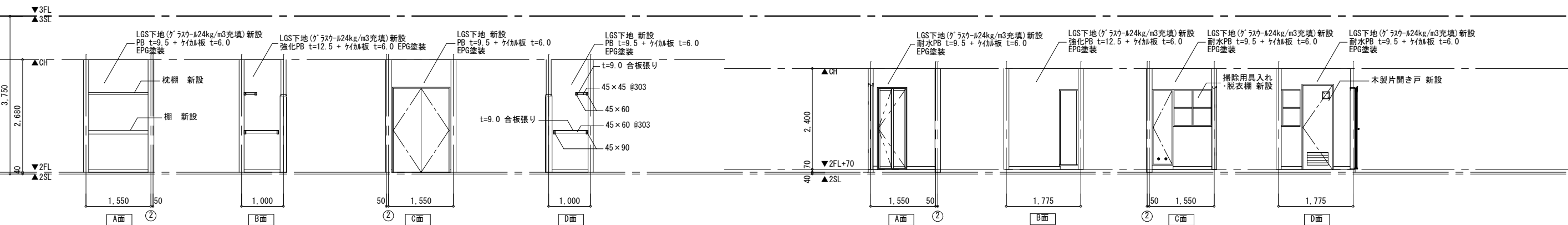
室名 職員更衣室（男女共）	
巾木	仕上 ビニル巾木 H=75 下地 LGS下地
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切り壁はスラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと ※脱衣室・シャ*ル*ル内はケラ*ル（24kg/m3）充填、ス*下まで達せしめること ※シャ*ユニット：0812シャ*セット、手摺照明器具（LED）、石鹸置棚換気扇（天井付）、他付属品一式

改修前 展開図 職員更衣室 (女)(男)

改修後 展開図 職員更衣室 (女)(男)

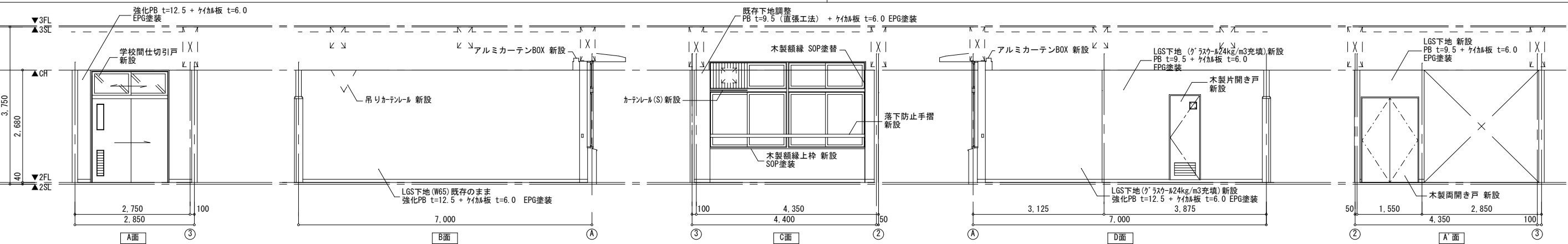


職員更衣室（女）

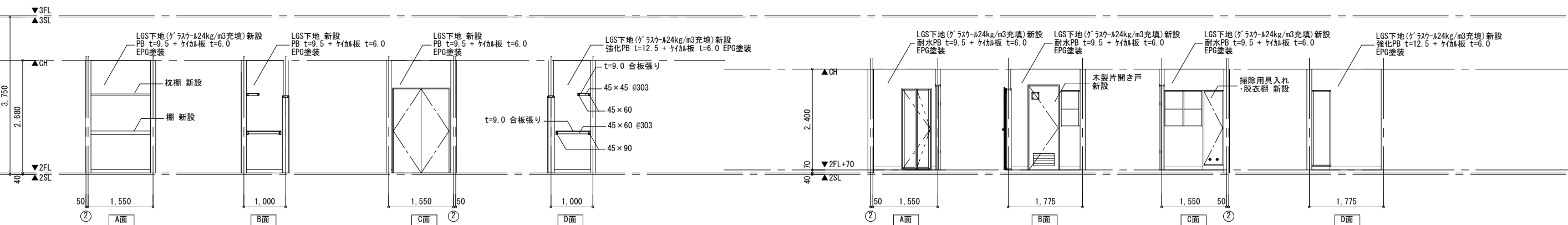


收納 (女)

脱衣室 (女)



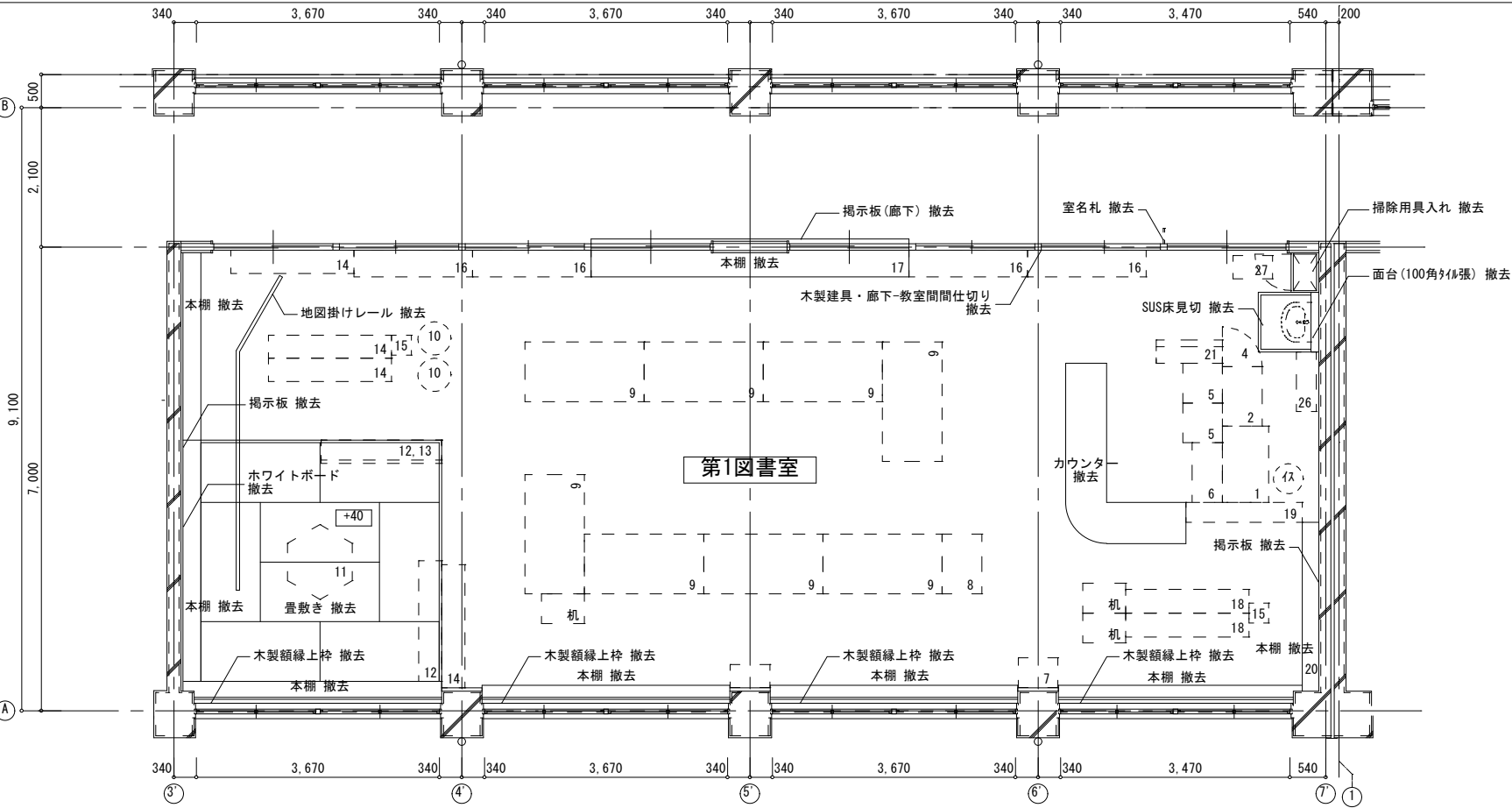
職員更衣室（男）



收納（男）

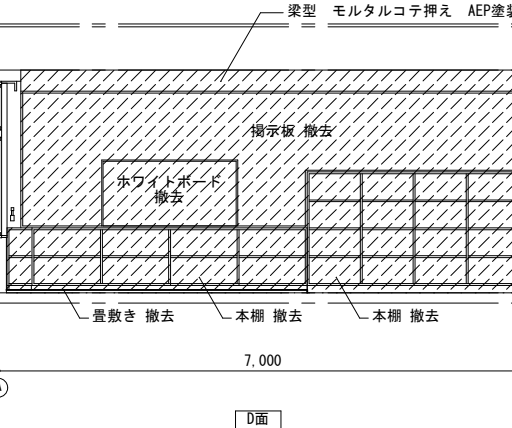
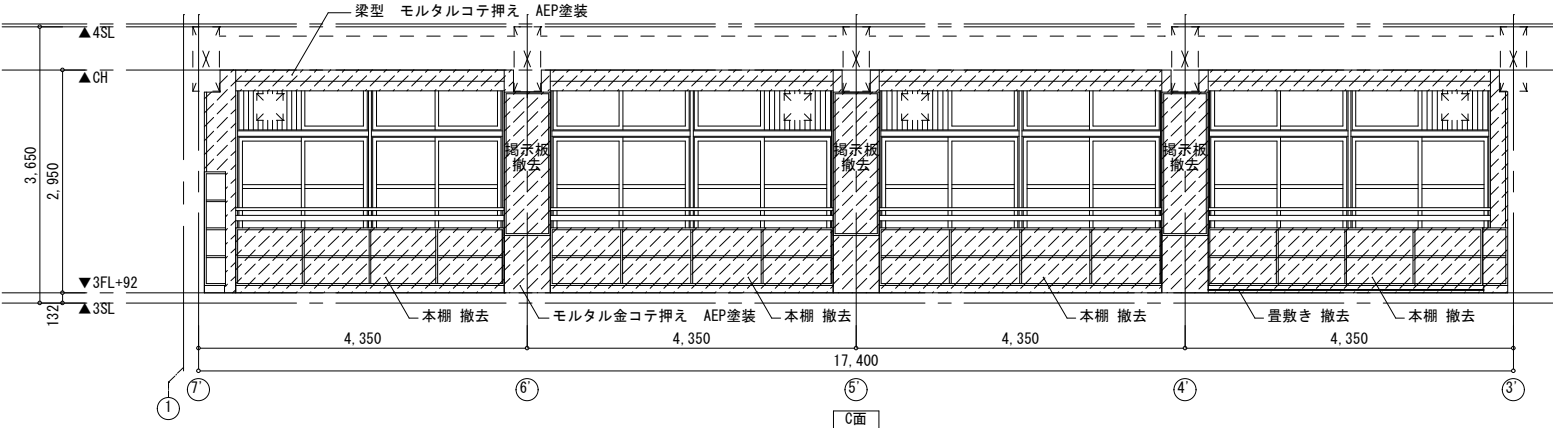
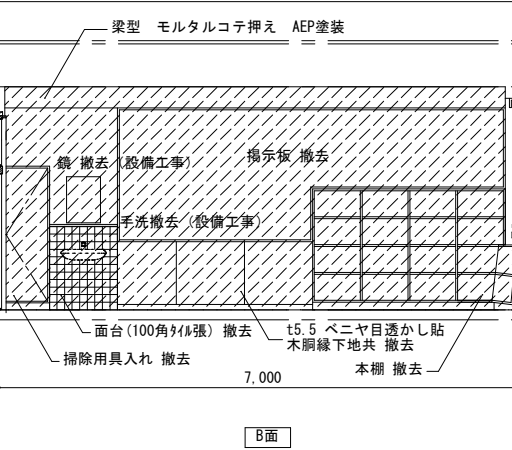
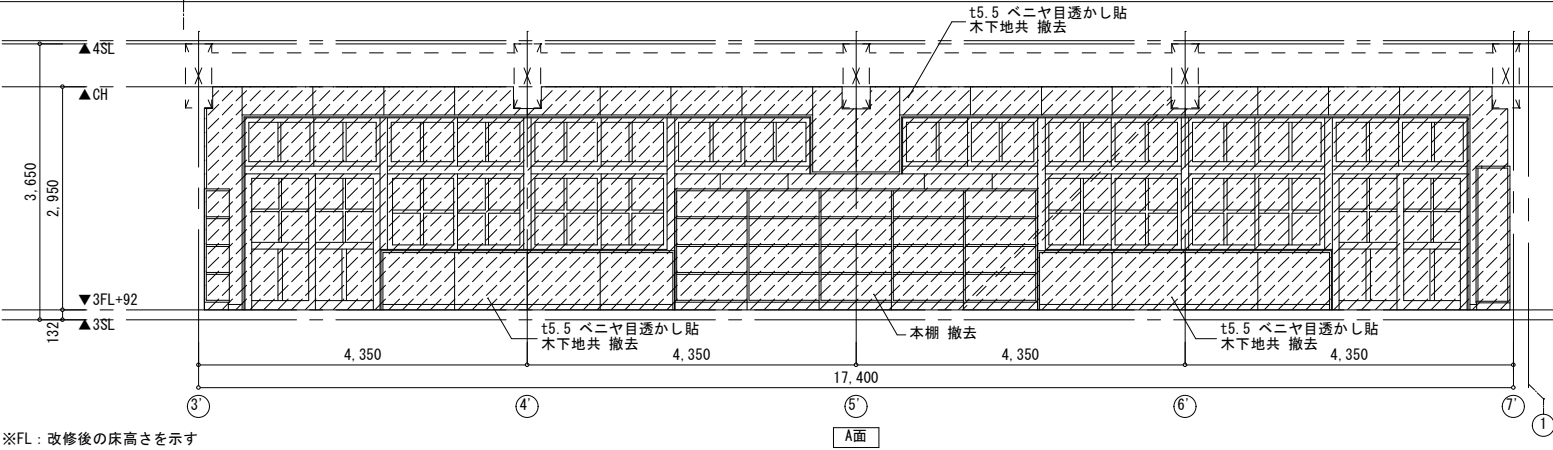
脱衣室 (男)

改修前 平面詳細図 第1図書室



室名	第1図書室	
天井	仕上	t=9.0 ジプトーン貼 (撤去)
	下地	軽天下地 (撤去)
壁	仕上	A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去
		B面 掲示板 ※木脚縁下地共撤去 木脚縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木脚縁下地共撤去
		C面 モルタル金コテ押え AEP塗装
		D面 掲示板 ※木脚縁下地共撤去
	梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装	
巾木	仕上	木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上	t=15.0 集成フローリング(サクラ) ※撤去 一部: t=55.0 畳敷 ※撤去 一部: t=2.0 ビニル床シート ※撤去
	下地	木床組下地、t=12.0 合板 ※撤去
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去	

改修前 展開図 第1図書室



※FL: 改修後の床高さを示す

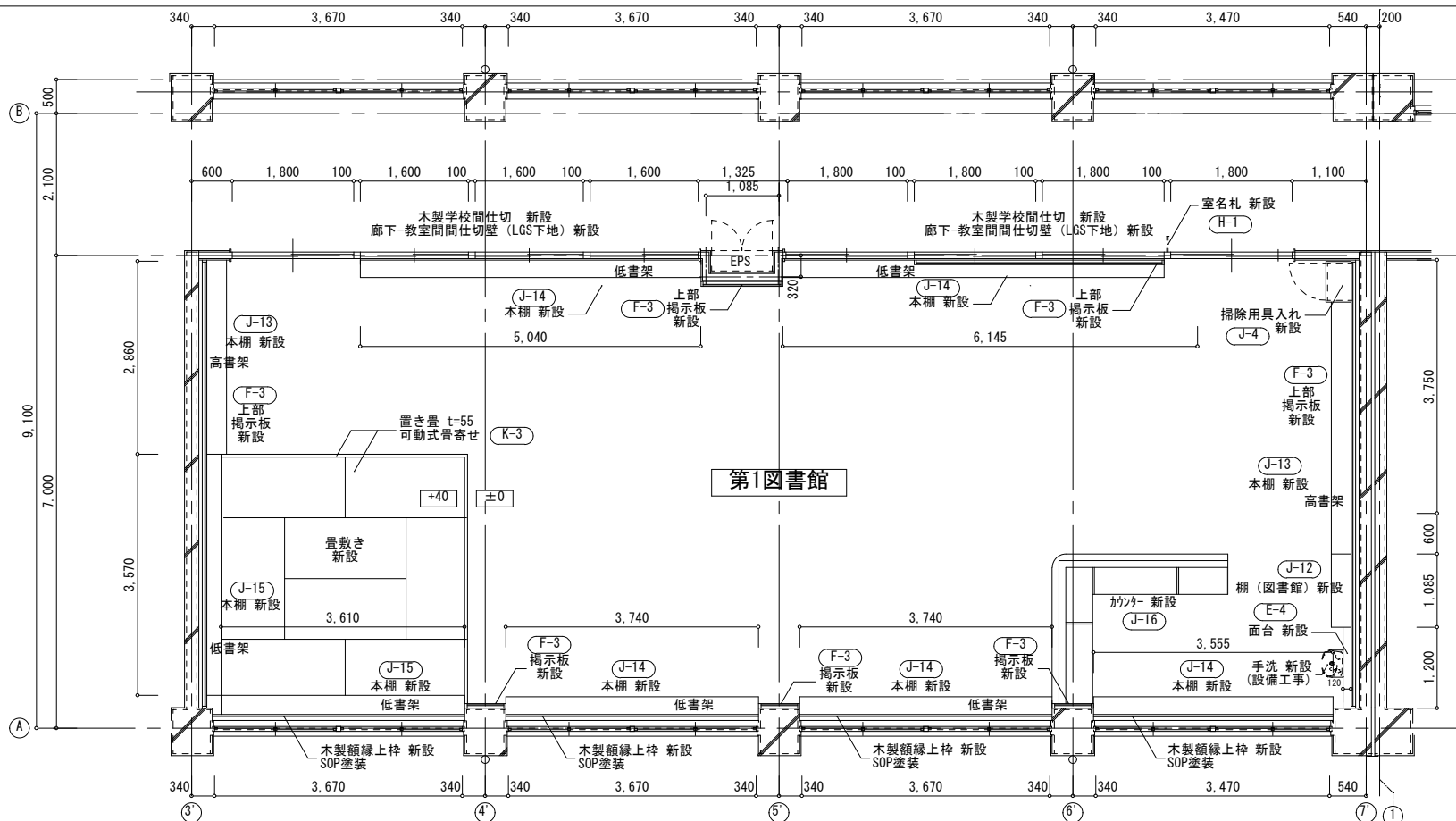
撤去部分を示す

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事  
第1図書室  
平面詳細図・展開図(改修前)  
鹿児島市建設局建築部建築課

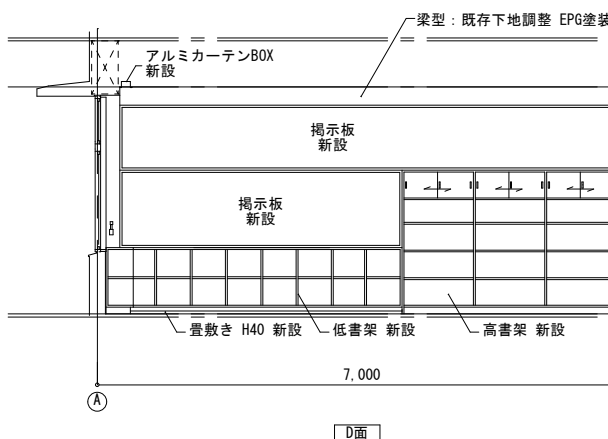
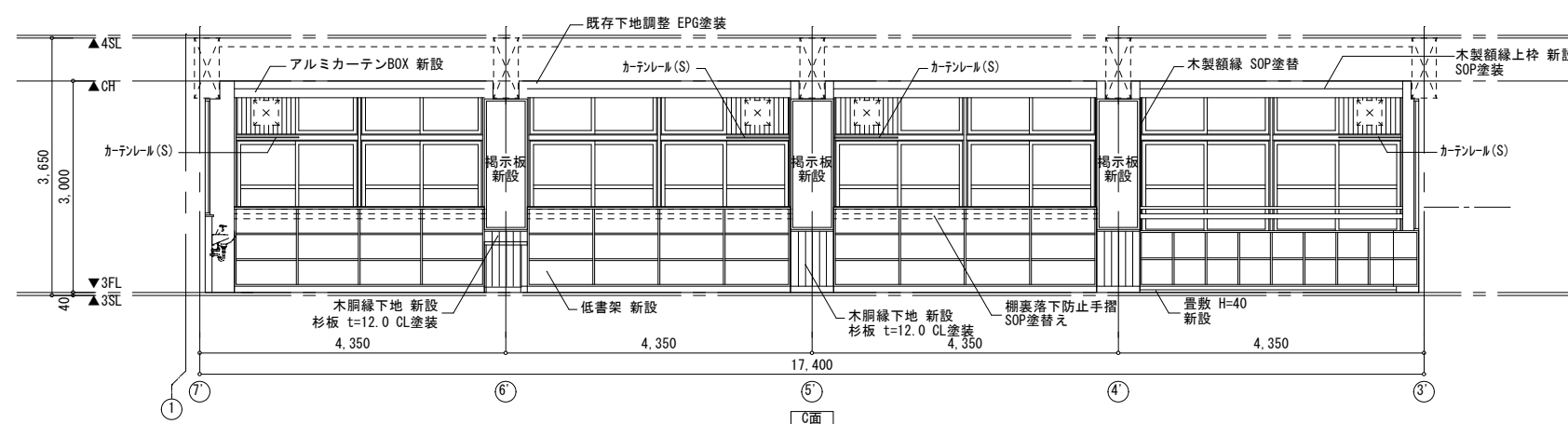
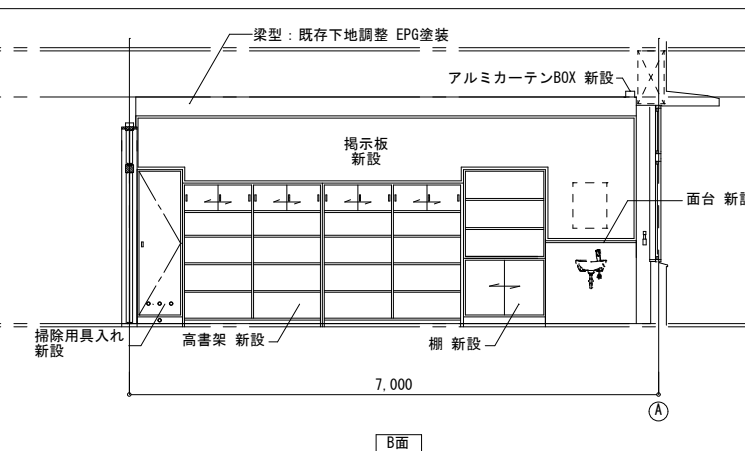
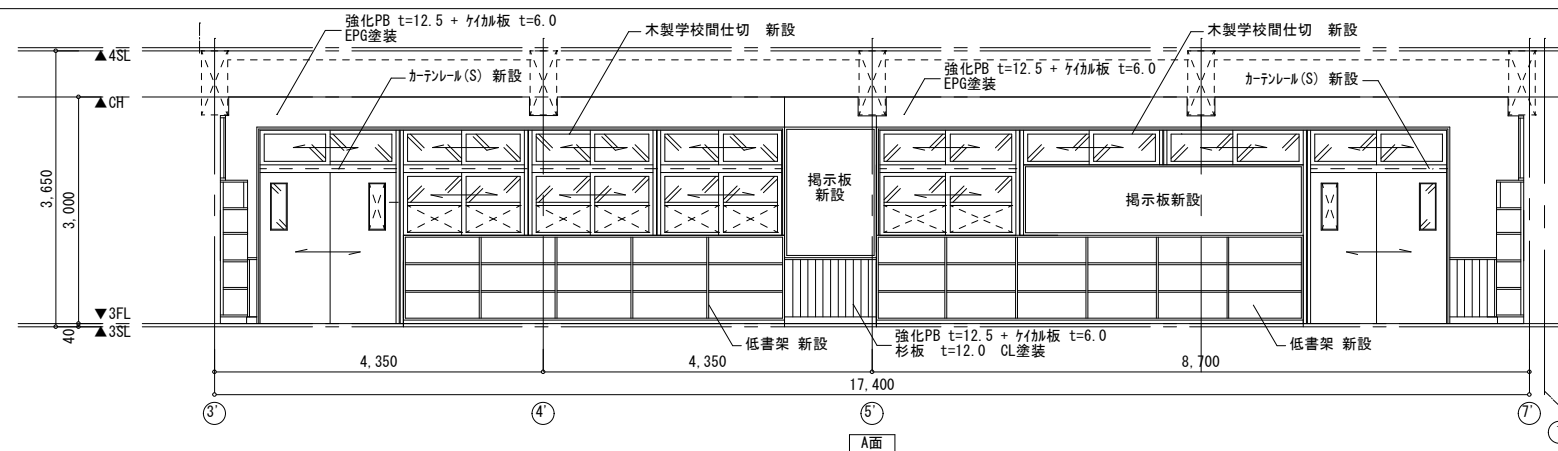


改修後 平面詳細図 第1図書館



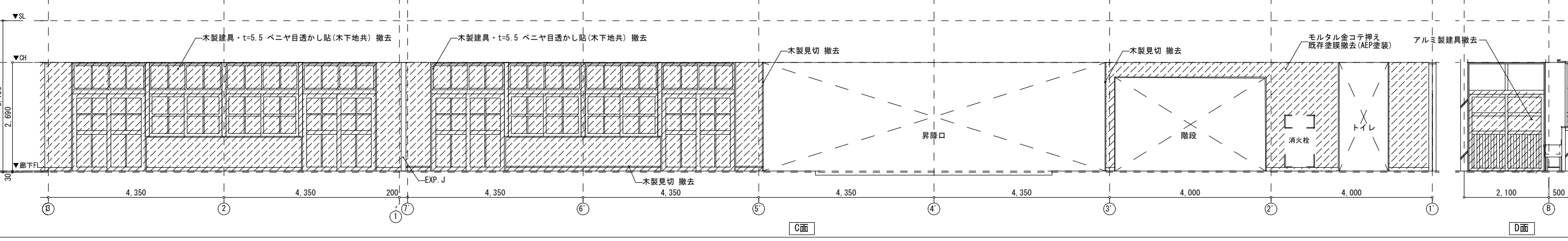
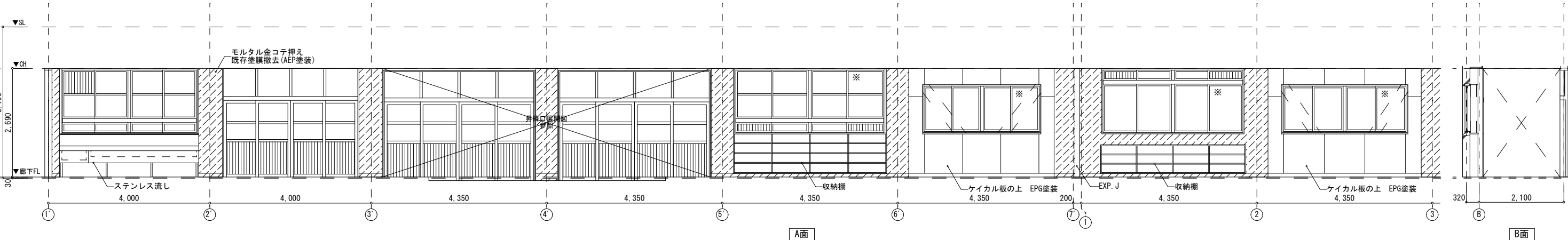
室名	第1図書館	
天井	仕上	化粧PB t=9.5 (準不燃)
	下地	LGS下地
壁	仕上	A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイ酸板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイ酸板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装
		B面 木胴縁新設 揭示板
		C面 揭示板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装
		D面 木胴縁新設 揭示板  梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装  梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=90 CL
床	仕上	ビニル床シート t=2.0 (木目調) 一部 t=55.0 畳敷
	下地	既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと	

改修後 展開図 第1図書館

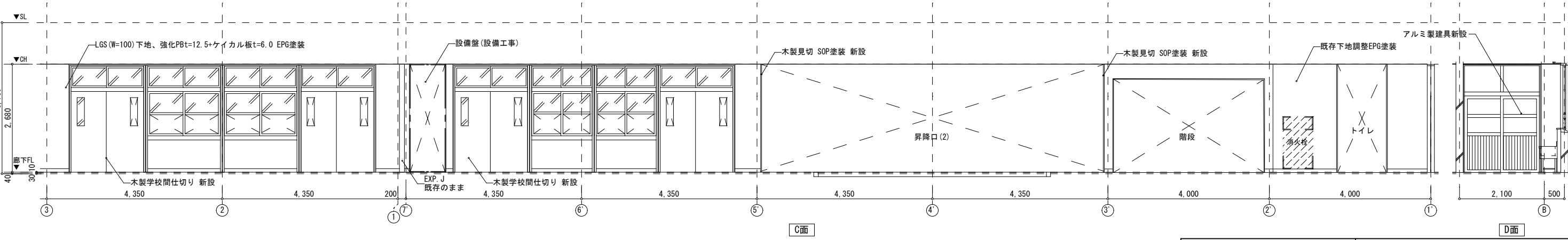
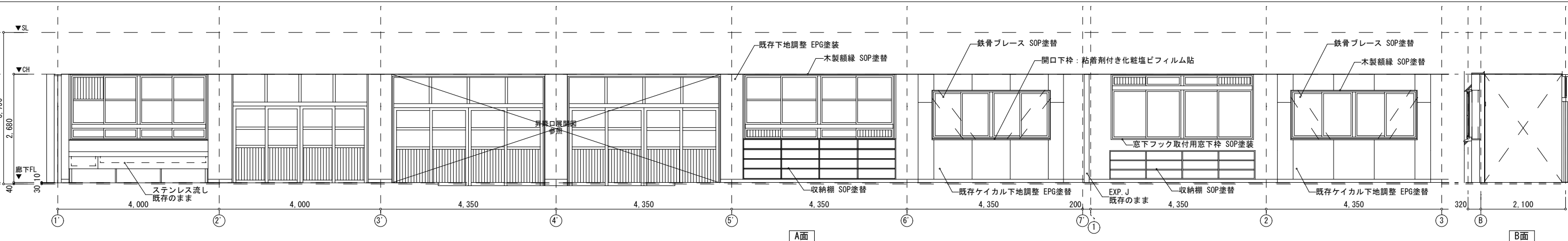


改修前 廊下展開図 S=1/100

※印については降灰フィルター枠撤去を示す。 注：AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

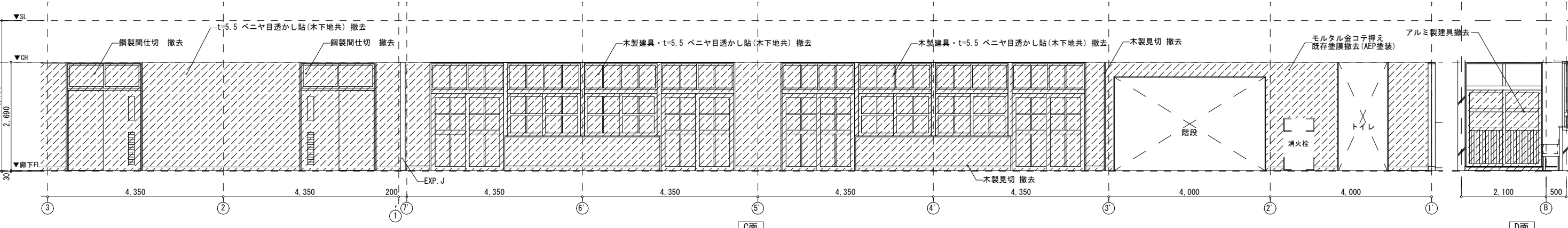
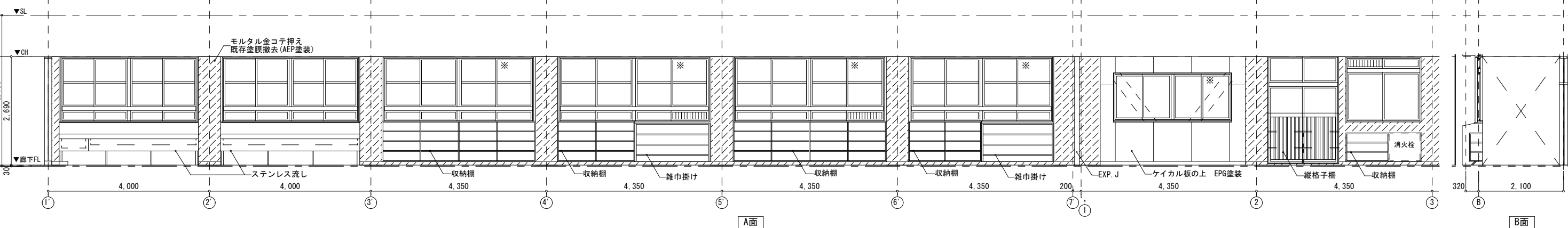


改修後 廊下展開図 S=1/100

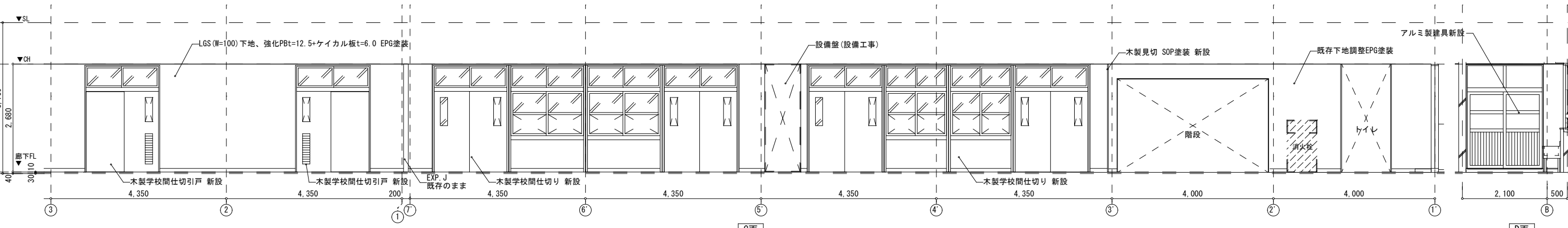
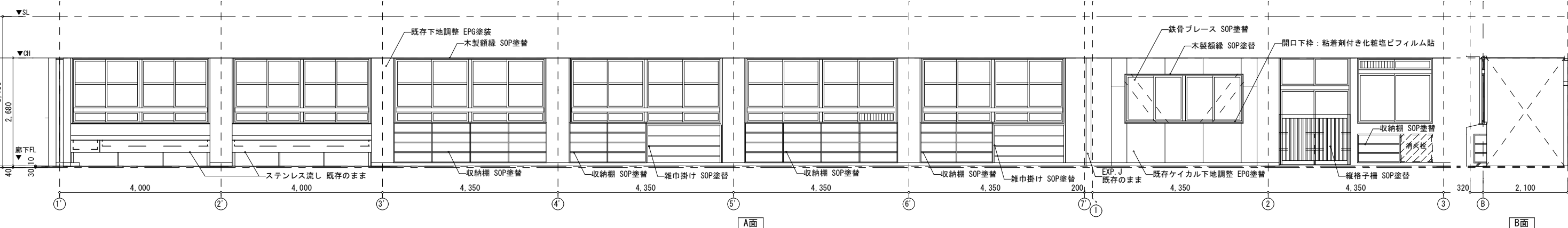


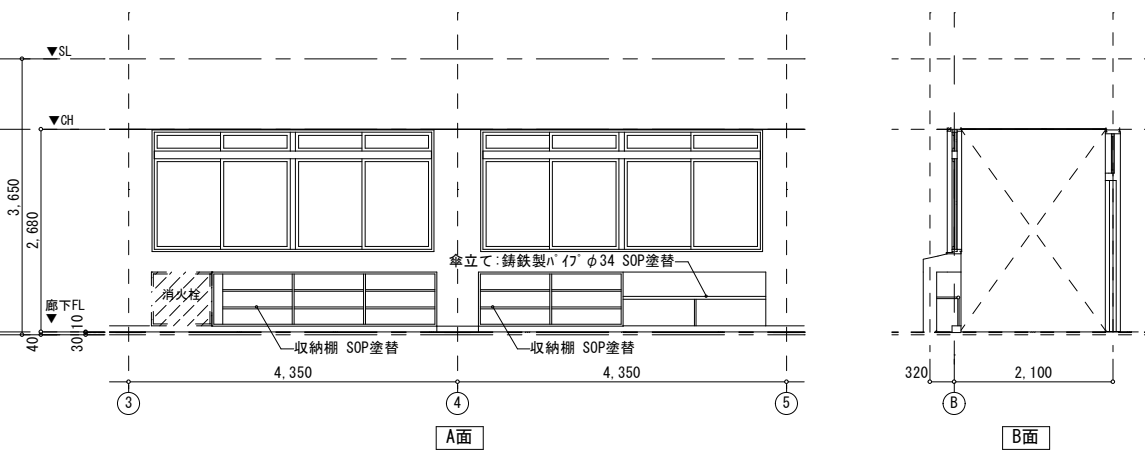
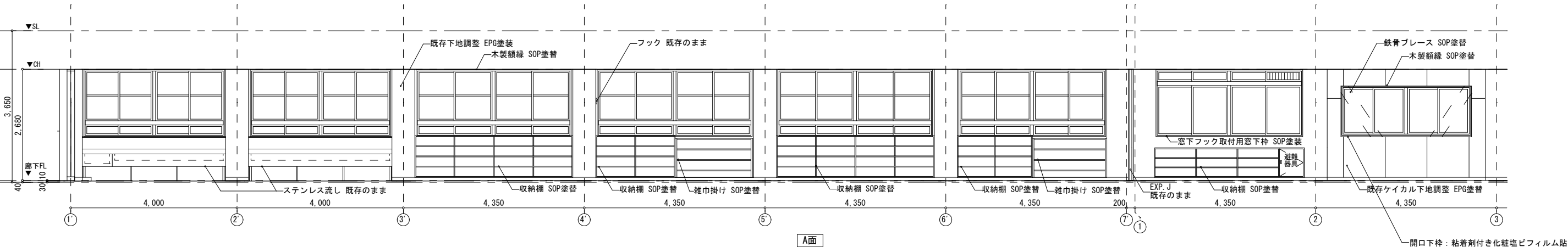
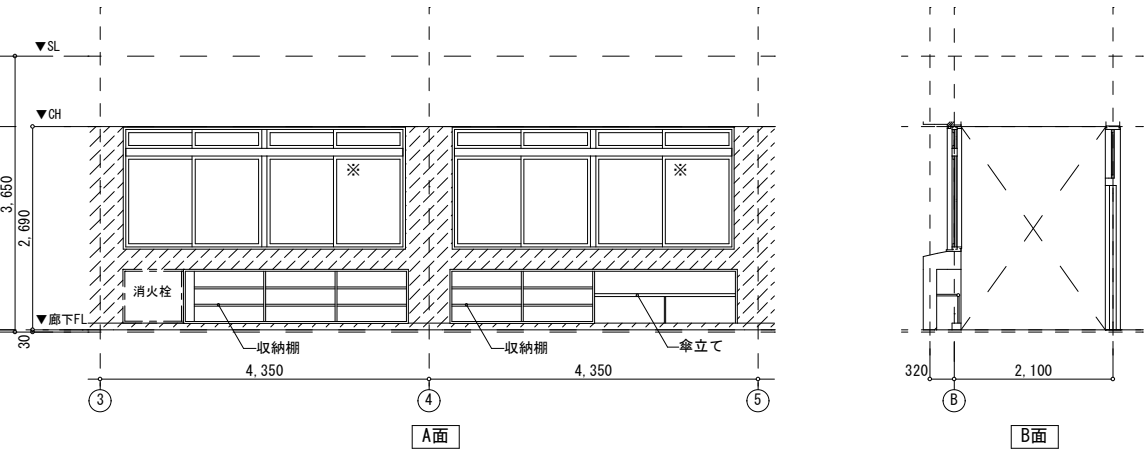
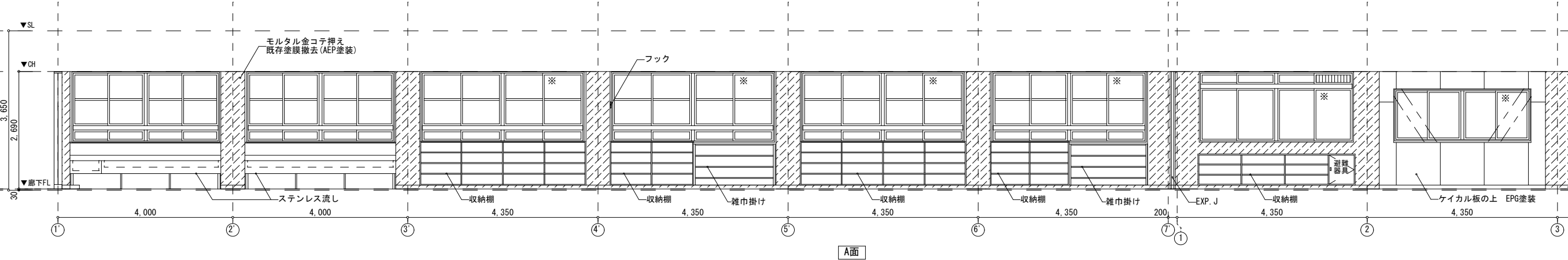
改修前 廊下展開図 S=1/100

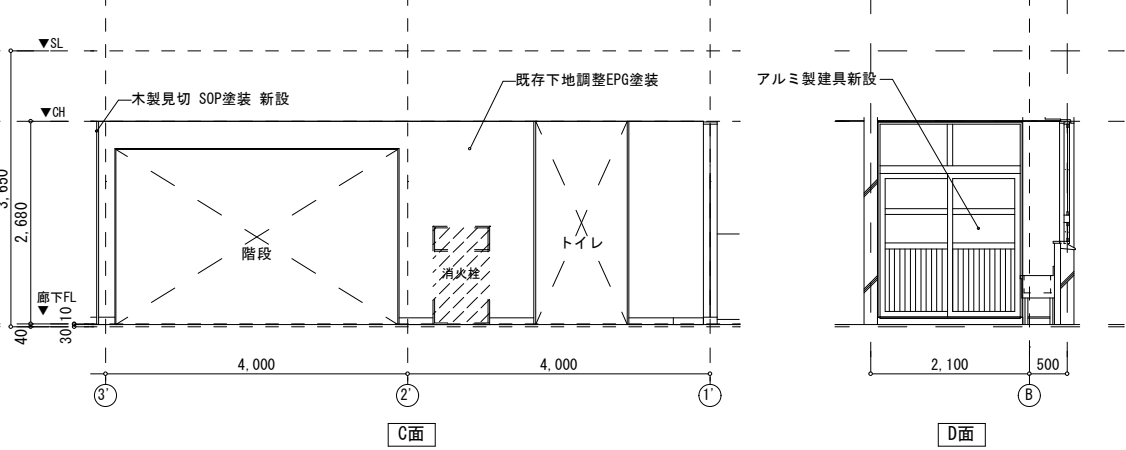
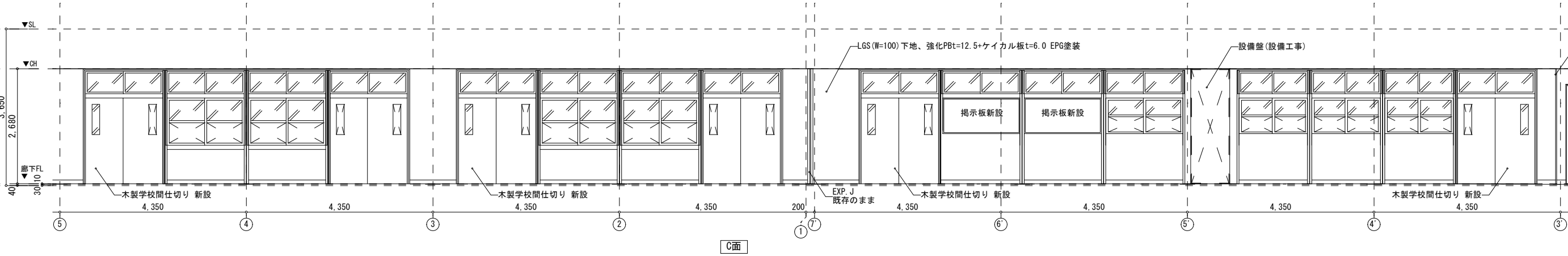
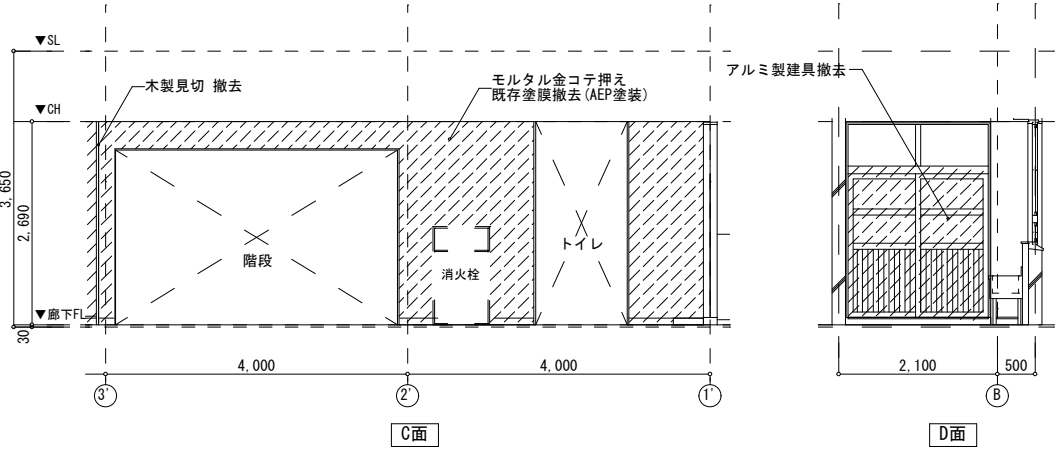
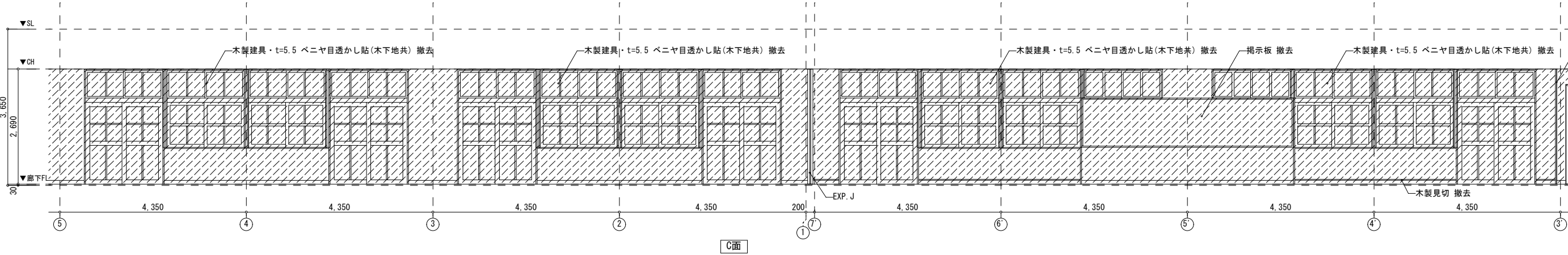
※印については降灰フィルター枠撤去を示す。 注：AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

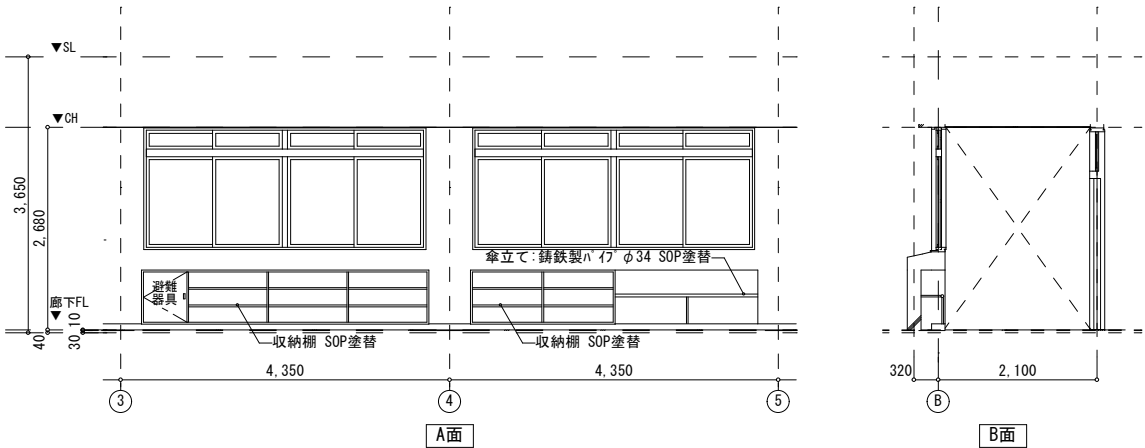
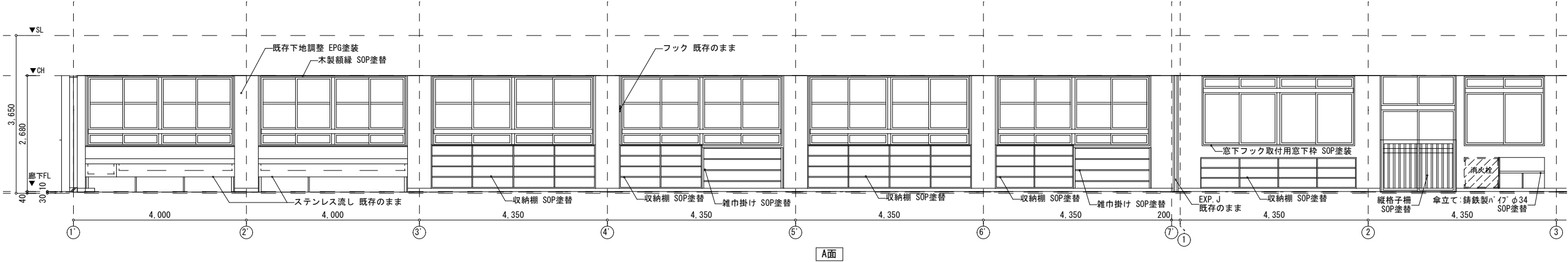
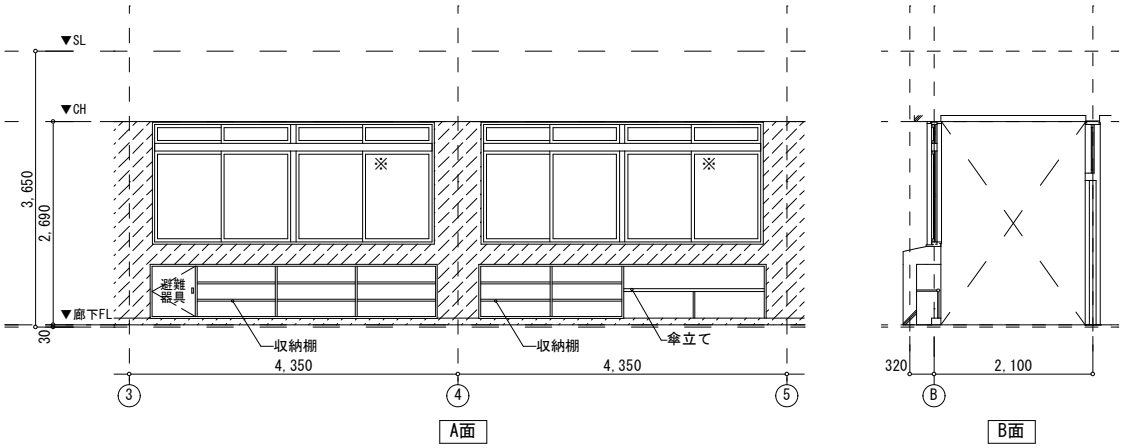
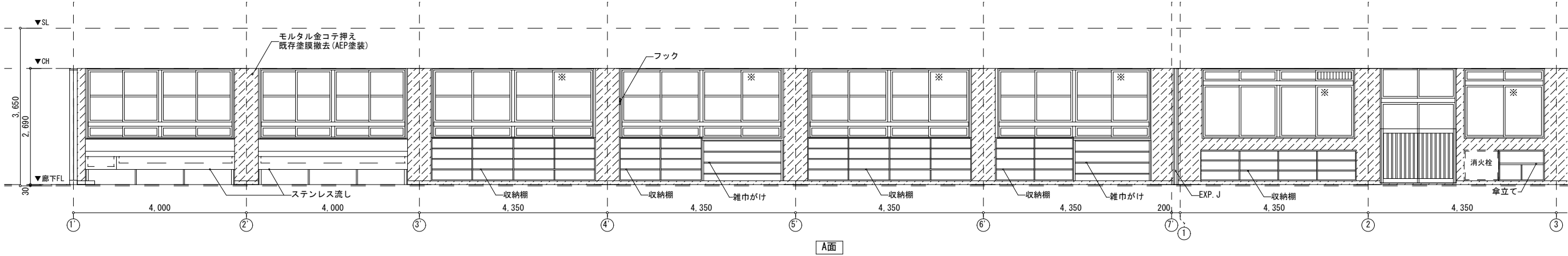


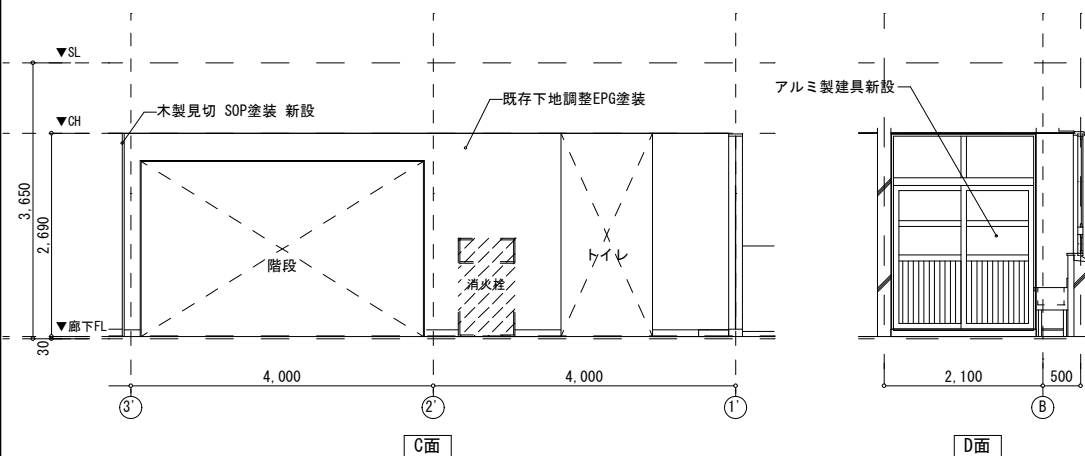
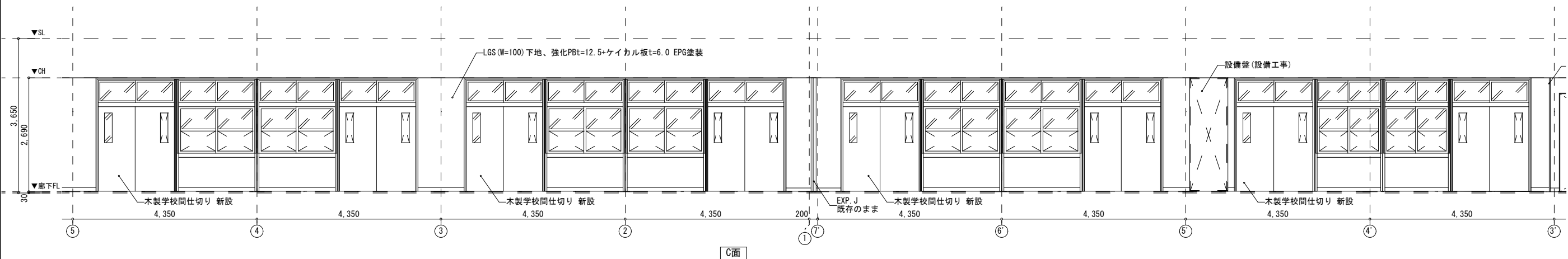
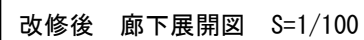
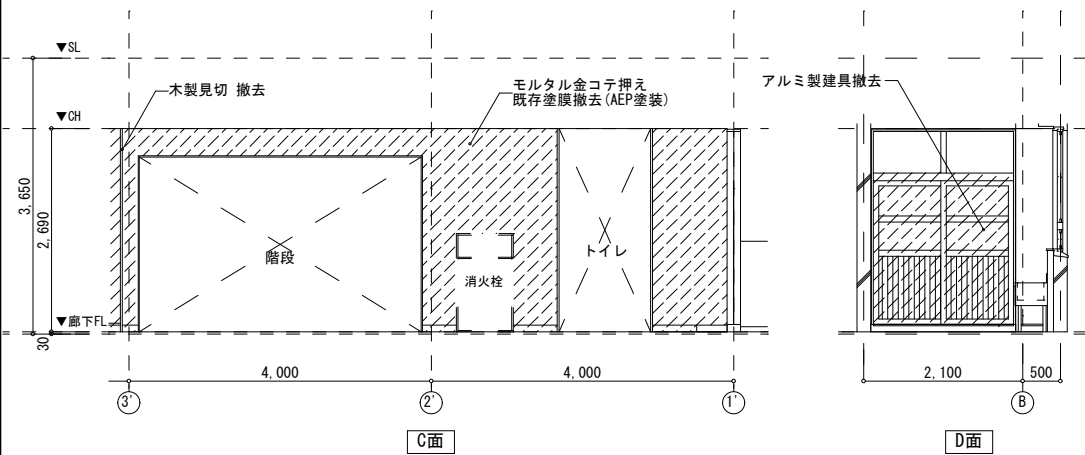
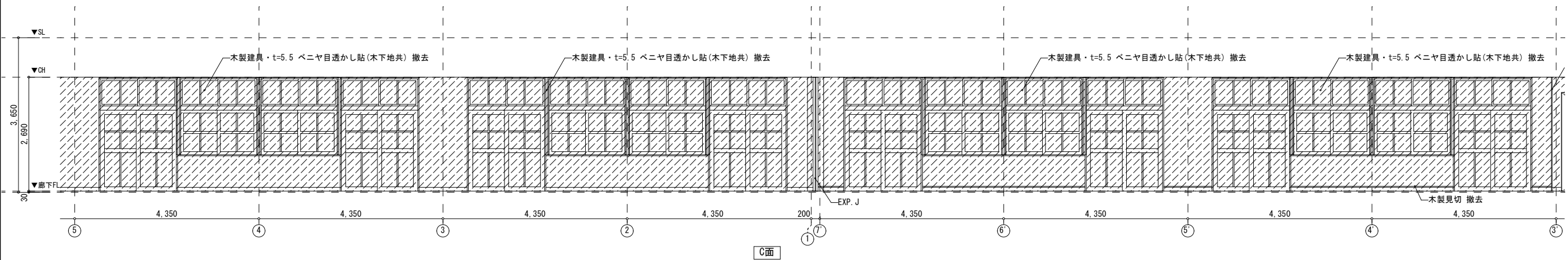
改修後 廊下展開図 S=1/100





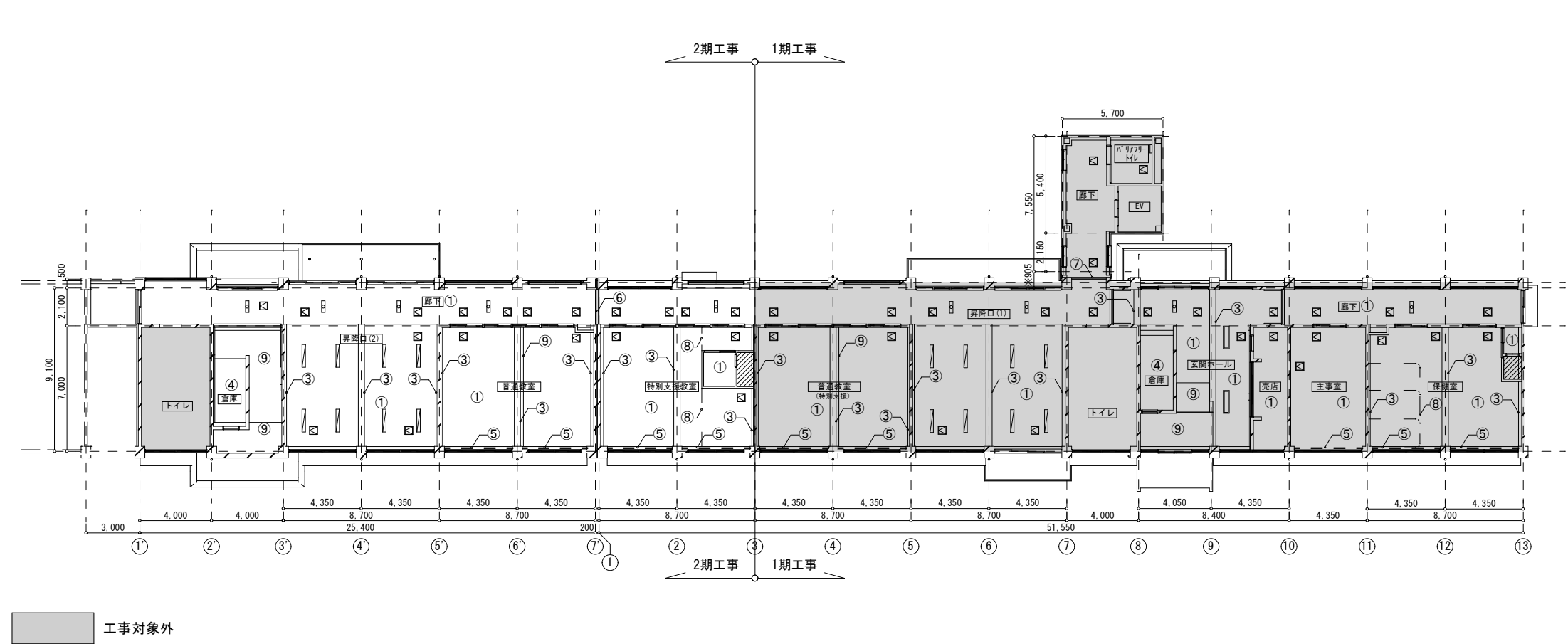








改修後 1階天井伏図 S=1/300

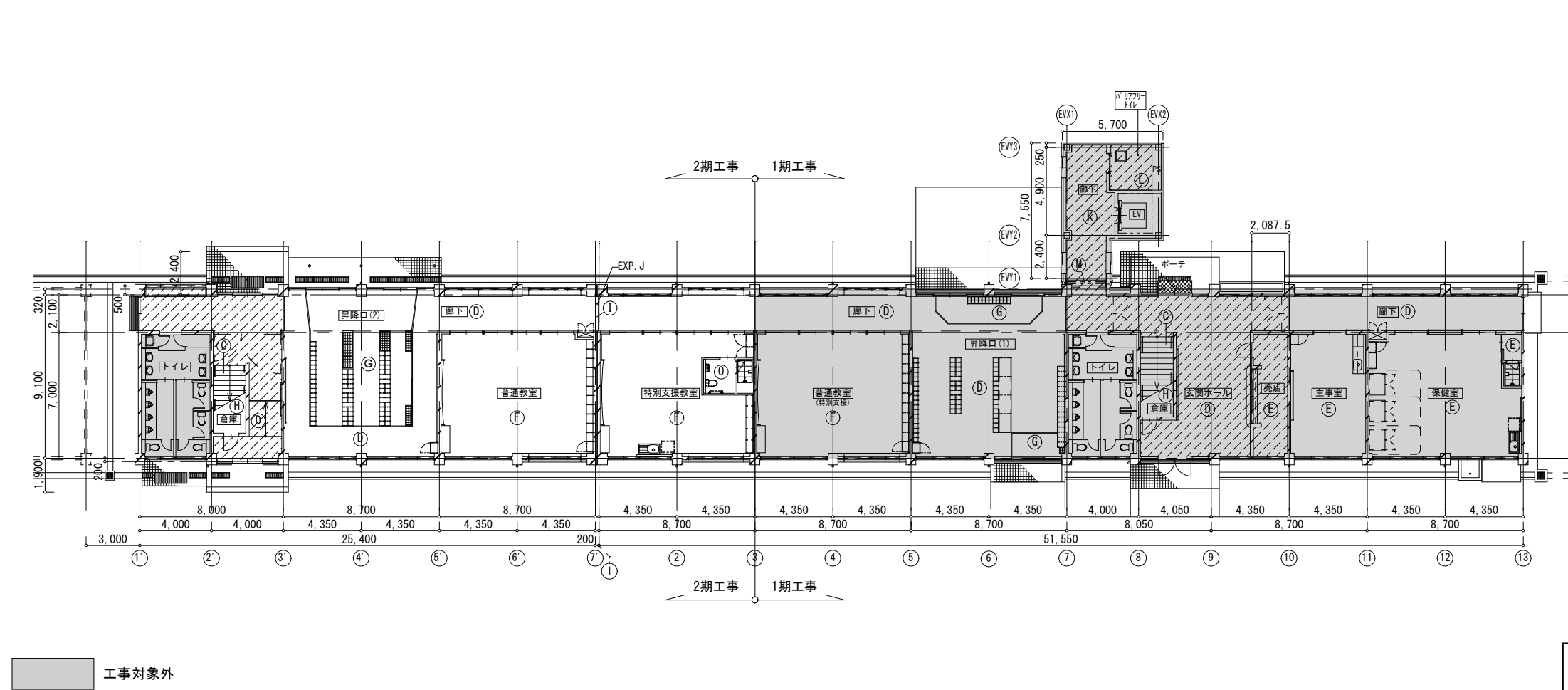


番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃) 下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩綿吸音板 t=9.0 下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装 下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま 下地 ----	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付) 下地 ----	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ----	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ----	
⑧	仕上 吊りカーテンレール 下地 ----	
⑨	仕上 カーテンレール 下地 ----	
⑩	仕上 EPG塗装吹付 下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
☒	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	19ヶ所
凡例 変図	壁点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	—
◻	埋込照明器具開口補強 650×190	5ヶ所
◻	埋込照明器具開口補強 1270×190	8ヶ所
◻	埋込照明器具開口補強 1270×330	—
☒	空調室内機開口補強 1000×1000	—

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。  
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

[既存天井点検口] 600角：1ヶ所 450角：18ヶ所

改修後 1階床伏図 S=1/300



番号	概要	備考
Ⓐ	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓑ	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓒ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓓ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓔ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル 下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
Ⓗ	仕上 既存のまま 下地 ----	
①	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ----	
Ⓙ	仕上 100角磁器質タイル 下地 既存タイル撤去下地調整	
Ⓚ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓛ	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓜ	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ----	
Ⓝ	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓤ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 土間コンクリート	
Ⓟ	仕上 一部土間コンクリート増し打ち 屋外用防滑性ビニル床シート 下地 防水モルタル下地	

◻：床下点検口を示す。

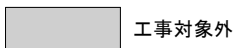
◻：FL=SL+30の範囲とする。

※その他特記なき限りFL=SL+40とする。  
※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事  
1階 床伏図・天井伏図(改修後)  
鹿児島市建設局建築部建築課  
A-52

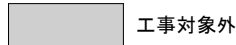
改修後 2階天井伏図 S=1/300



※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。  
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

[既存天井点検口] 450角：8ヶ所 撤去

## 改修後 2階床伏図 S=1/300

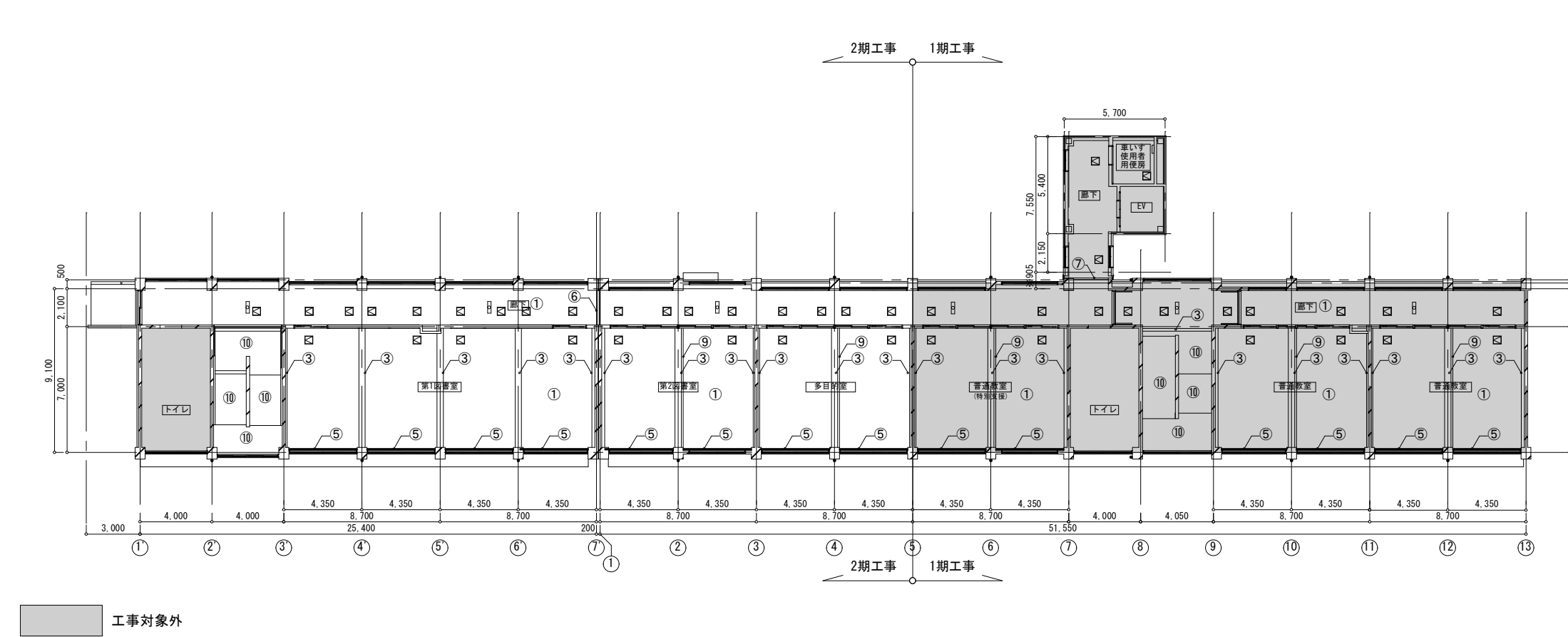


株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

2階 天井伏図・床伏図

鹿兒島市建設局建築部建築課

改修後 3階天井伏図 S=1/300

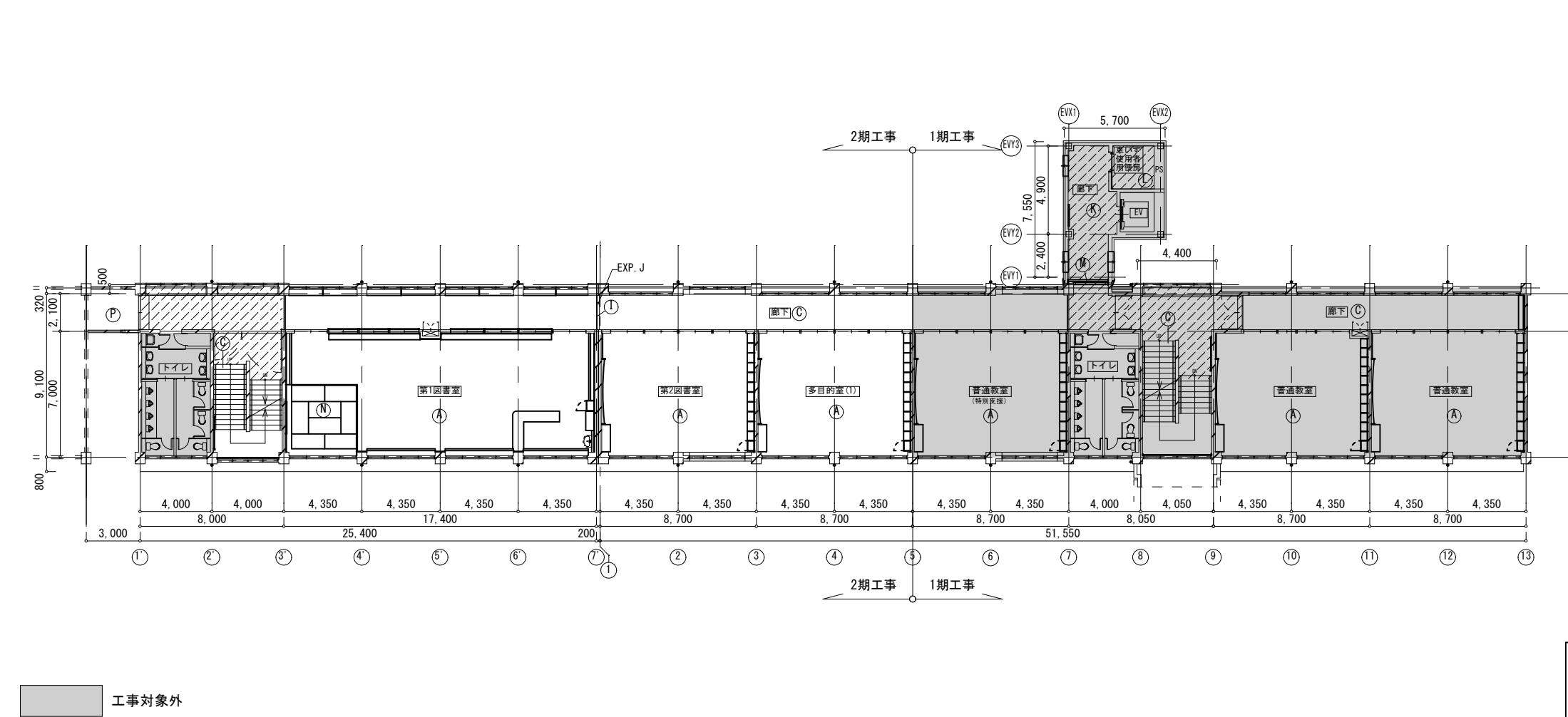


番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃) 下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩綿吸音板 t=9.0 下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装 下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま 下地 ----	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付) 下地 ----	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ----	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ----	
⑧	仕上 吊りカーテンレール 下地 ----	
⑨	仕上 カーテンレール 下地 ----	
⑩	仕上 EPG塗装吹付 下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
☒	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	25ヶ所
凡例 変図   ☒	壁点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	—
□	埋込照明器具開口補強 650×190	3ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×190	—
▨	埋込照明器具開口補強 1270×330	—
☒	空調室内機開口補強 1000×1000	—

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。  
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

〔既存天井点検口〕450角：11ヶ所 撤去

改修後 3階床伏図 S=1/300



番号	概要	備考
Ⓐ	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓑ	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓒ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓓ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓔ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル 下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
Ⓗ	仕上 既存のまま 下地 ----	
Ⓘ	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ----	
Ⓙ	仕上 100角磁器質タイル 下地 既存タイル撤去下地調整	
Ⓚ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓛ	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓜ	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ----	
Ⓝ	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓤ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 土間コンクリート	
Ⓟ	仕上 一部土間コンクリート増し打ち 屋外用防滑性ビニル床シート 下地 防水モルタル増し打ち	

☐ : 床下点検口を示す。

▨ : FL=SL+30の範囲とする。

※その他特記なき限りFL=SL+40とする。

※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。

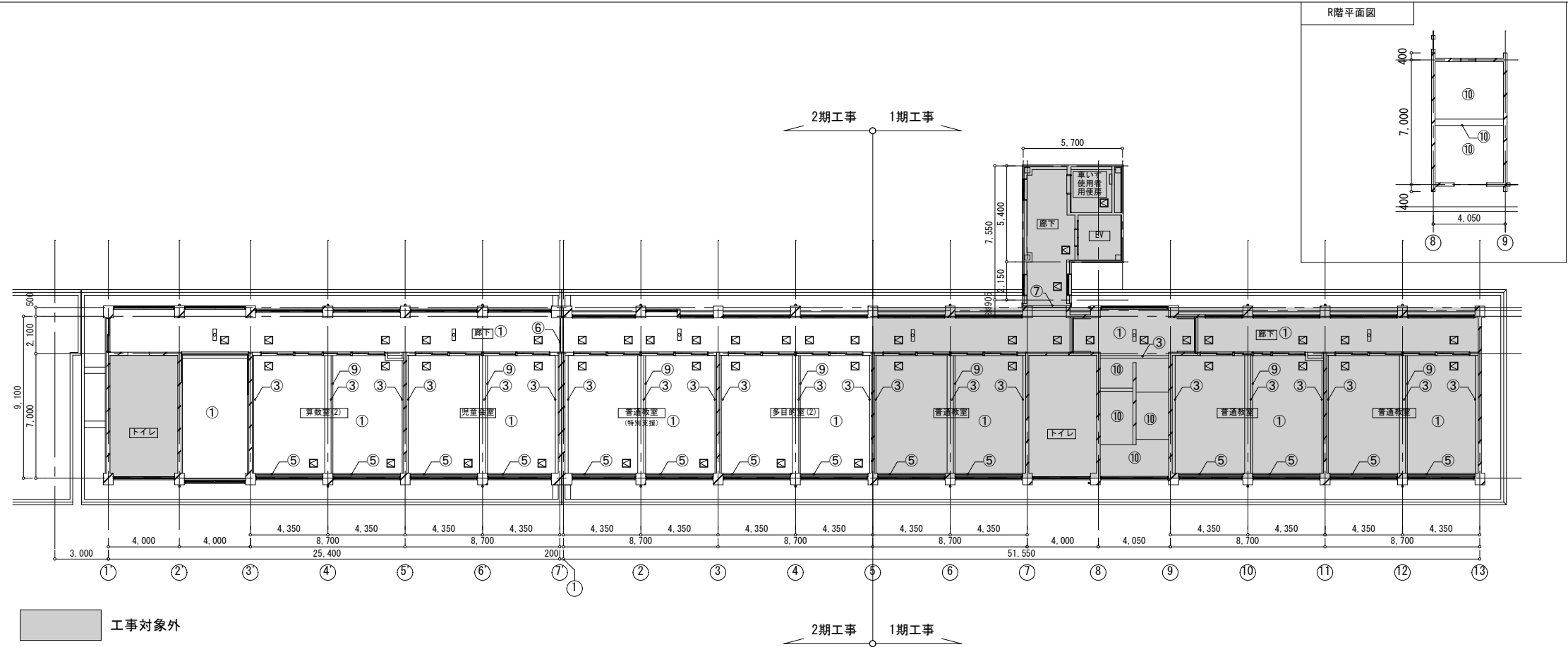
株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事

3階 天井伏図・床伏図  
(改修後)

鹿児島市建設局建築部建築課

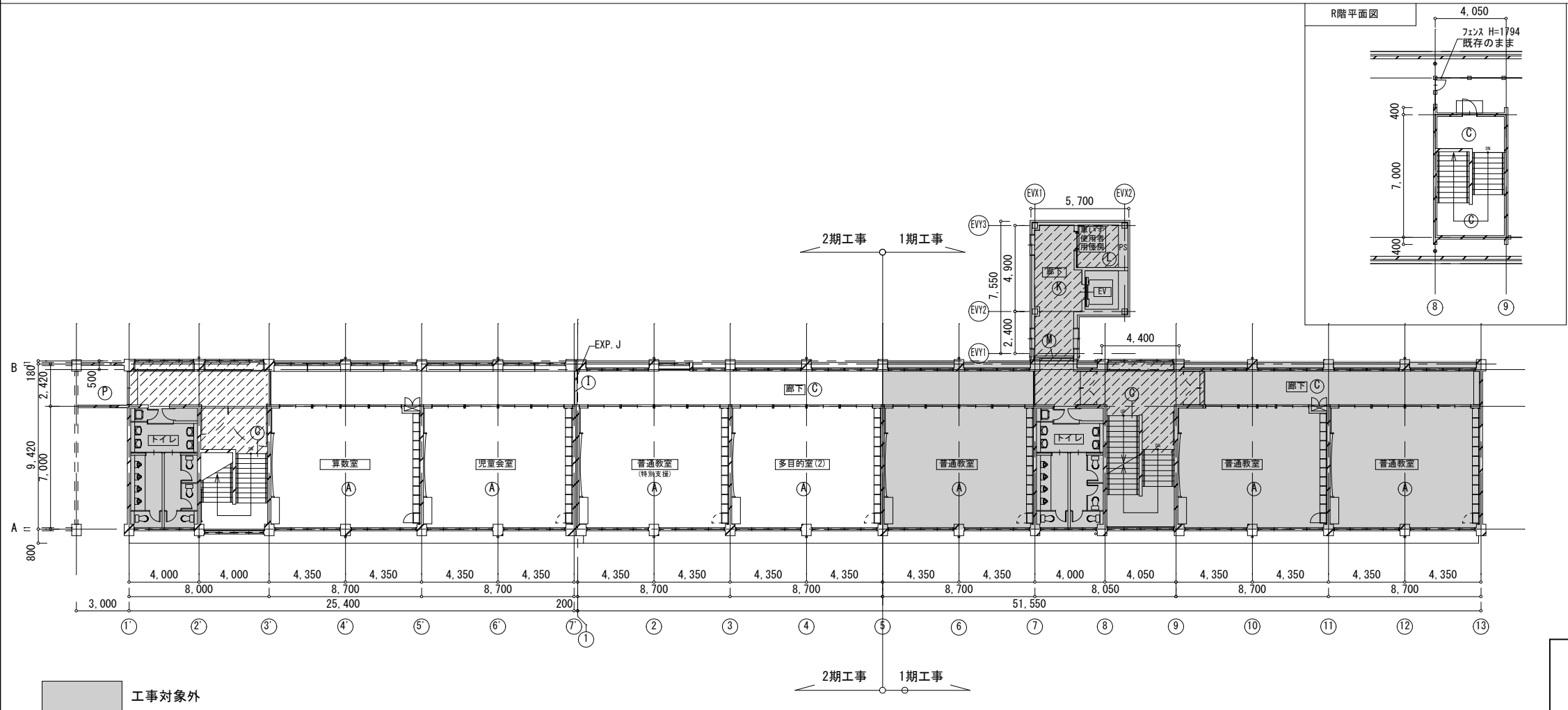
A-54



番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃) 下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩棉吸音板 t=9.0 下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装 下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま 下地 ---	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付) 下地 ---	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ---	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ---	
⑧	仕上 吊りカーテンレール 下地 ---	
⑨	仕上 カーテンレール 下地 ---	
⑩	仕上 EPG塗装吹付 下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
☒	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	29ヶ所
凡例 図面   ☒	壁点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	—
□	埋込照明器具開口補強 650×190	3ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×190	—
▨	埋込照明器具開口補強 1270×330	—
☒	空調室内機開口補強 1000×1000	—

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。  
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

〔既存天井点検口〕450角：6ヶ所 撤去

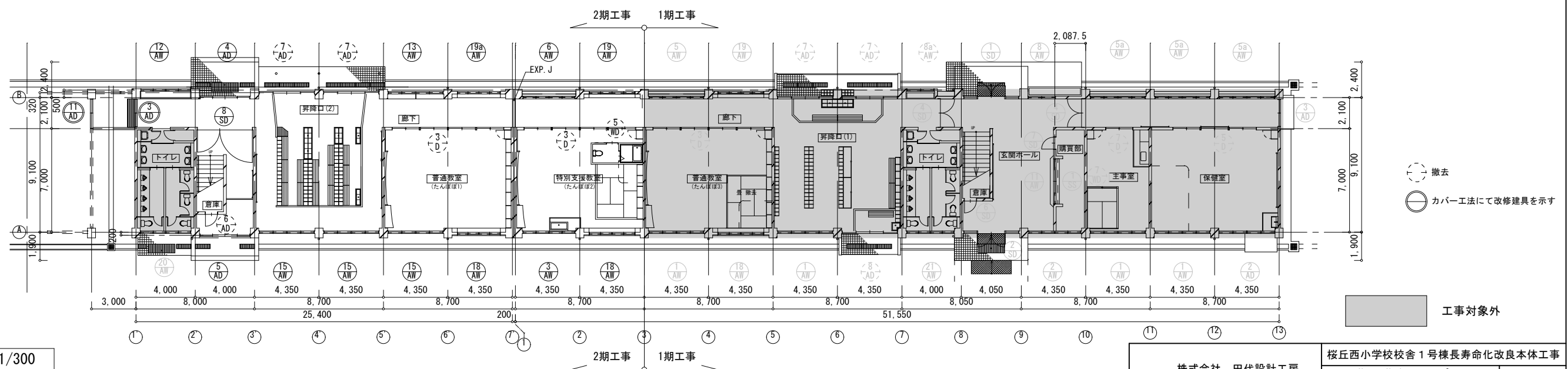
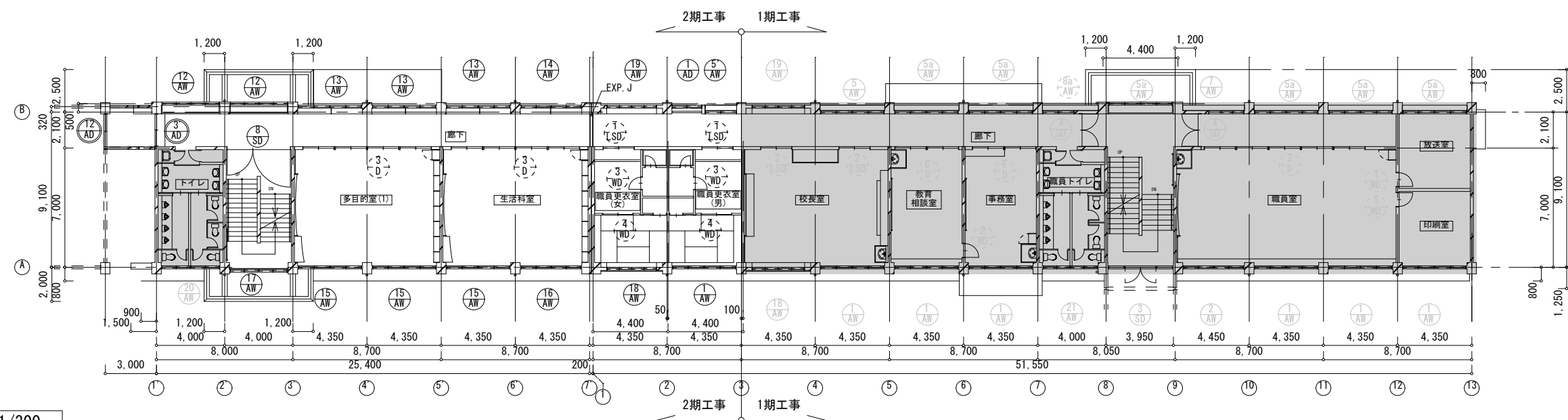
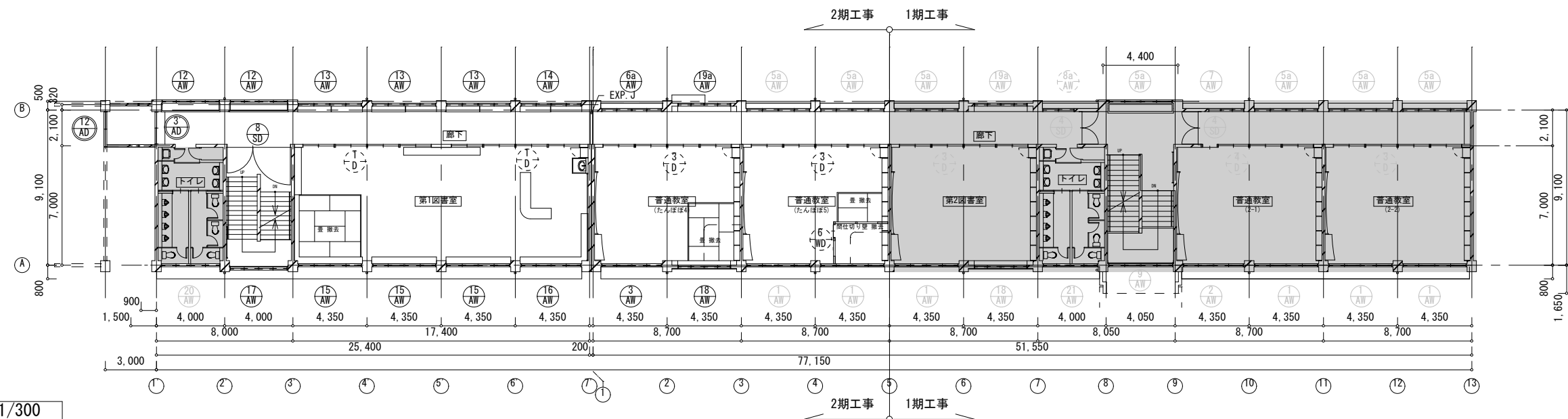


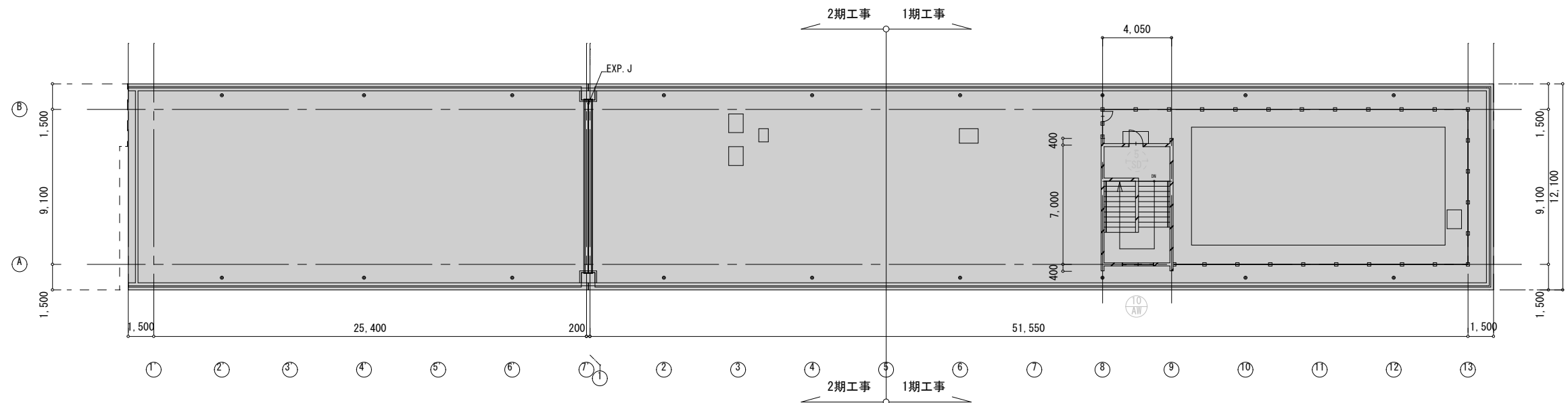
番号	概要	備考
Ⓐ	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓑ	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓒ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓓ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓔ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル 下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
Ⓗ	仕上 既存のまま 下地 ---	
Ⓘ	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ---	
Ⓙ	仕上 100角磁器質タイル 下地 既存タイル撤去下地調整	
Ⓚ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓛ	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓜ	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ---	
Ⓝ	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓤ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 土間コンクリート	
Ⓟ	仕上 一部土間コンクリート増し打ち 屋外用防滑性ビニル床シート 下地 防水モルタル下地	

☐：床下点検口を示す。

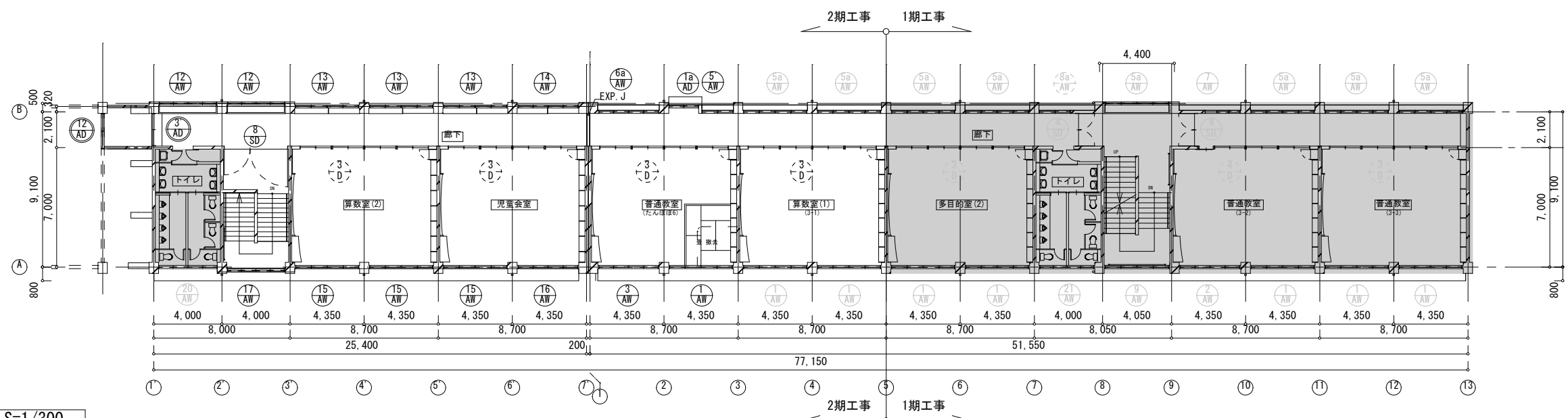
▨：FL=SL+30の範囲とする。

※その他特記なき限りFL=SL+40とする。  
※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。





R階平面図 S=1/300



4階平面図 S=1/300

X3-X5通りの外壁面のガラス交換については、1期工事で行う

- 撤去
- カバー工法にて改修建具を示す

工事対象外

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事		
4階・R階建具キープラン (改修前)		A-57
鹿児島市建設局建築部建築課		

記号・数量	<div><div>1AD</div><div>1aAD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>3AD</div><div>3'AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>4AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>5AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>6AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計																		
		(1期)	0	0	0	0	0	0			(1期)	1	0	0	0	0	1		(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0																			
		(2期)	0	1	0	(1)	0	2			(2期)	1	(1)	(1)	(1)	0	4		(2期)	1	0	0	0	0	1	(2期)	1	0	0	0	0	1	(2期)	1	0	0	0	0	1																			
姿 図・寸 法	<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替 AD-1: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 AD-1a: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※シリンダー差込栓錠、戸車取替</div> <div>※( )内はAD-1aを示す</div> <div><div><div></div></div><div>1,800</div><div>1,900 100 2,650 650</div></div>		※一部撤去新設 (カバー工法)						<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※シリンダー差込栓錠、戸車取替</div> <div><div><div></div></div><div>3,670</div><div>1,900 120 2,690 670</div></div>		※網入り透明ガラス t=6.8へ取替 ※シリンダー差込栓錠、戸車取替						<div>※撤去</div> <div><div><div></div></div><div>800</div><div>1,800</div></div>																																									
	引き違いランマ付引き違い戸								引き違いランマ付引き違い戸								ランマ付両袖FIX引き分け戸						ランマ付両袖FIX引き分け戸						片開き戸																													
形 式・数 量	引き違いランマ付引き違い戸								引き違いランマ付引き違い戸														ランマ付両袖FIX引き分け戸								ランマ付両袖FIX引き分け戸								片開き戸																			
建具見込・枠見込	100								100														100								100								100																			
仕 上	アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材														アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材																			
ガ ラ ス	透明ガラス t=5								透明ガラス t=5.0、(西側: 上段のみ網入透明ガラス t=6.8)														透明ガラス t=5.0								網入り透明ガラス t=6.8								アルミパネル t=3																			
金 物	付属金物一式、アングル、クレセント、シリンダー錠								付属金物一式、アングル、クレセント、シリンダー錠														付属金物一式、アングル、クレセント、シリンダー錠								付属金物一式、アングル、クレセント、シリンダー錠								県公立学校型付属金物一式																			
備 考	腰: アルミパネル								腰: アルミパネル														腰: アルミパネル																																			
記号・数量	<div><div>7AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>11AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>12AD</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>1AW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>3AW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計																		
		(1期)	2	0	0	0	0	2			(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	4	6	6	7	0	23	(1期)	0	0	0	0	0	0																			
		(2期)	2	0	0	0	0	2			(2期)	1	0	0	0	0	1		(2期)	0	1	1	1	0	3	(2期)	0	1	0	1	0	2	(2期)	1	0	1	1	0	3																			
姿 図・寸 法	<div>※撤去</div> <div><div><div></div></div><div>3,700</div><div>2,000 100 2,750 650</div></div>		※一部撤去新設 (カバー工法)						<div>※一部撤去新設 (カバー工法)</div> <div><div><div></div></div><div>1,830</div><div>1,900 100 2,610 610</div></div>		※一部撤去新設 (カバー工法)						<div>※一部撤去新設 (カバー工法)</div> <div><div><div></div></div><div>1,830</div><div>1,900 100 2,650 650</div></div>		※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※クレセント、戸車取替						<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※クレセント、戸車取替</div> <div><div><div></div></div><div>3,140</div><div>1,300 100 950 600 350</div></div>		※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※クレセント、戸車取替																															
	嵌め殺しランマ及び両袖付両引き戸 (280-8-50)								引き違いランマ付引き違い戸								引き違いランマ付引き違い戸						嵌め殺しランマ付 2連引き違い窓						嵌め殺しランマ付 2連引き違い窓																													
建具見込・枠見込	100								100														100								70								70																			
仕 上	アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材														アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材																			
ガ ラ ス	下段、アルミパネル t=3 上段、ランマ強化ガラスｽｸｰﾙﾊﾝﾄﾞﾙ t=4								上段: 網入透明ガラス t=6.8、ランマ: 透明ガラス t=3.0														上段: 網入透明ガラス t=6.8、ランマ: 透明ガラス t=3.0								透明ガラス t=5、アルミパネル t=3								透明ガラス t=5、アルミパネル t=3																			
金 物	属金物一式、3方ｱﾐﾈﾙ縁、引き戸、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠錠、大型ｸﾚｾﾝﾄ								付属金物一式、アングル、クレセント、シリンダー錠														付属金物一式、アングル、クレセント、シリンダー錠								付属金物一式、アングル、クレセント								付属金物一式、アングル、クレセント																			
備 考	ﾏｽﾀｰｷｰ付在来型ﾏｽﾀｰﾙ								腰: アルミパネル														腰: アルミパネル																																			
記号・数量	<div><div>5'AW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>6AW</div><div>6aAW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>12AW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>13AW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>14AW</div></div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計																		
		(1期)	0	0	0	0	0	0			(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0																			
		(2期)	0	1	0	1	0	2			(2期)	1	0	0	(1)	0	3		(2期)	1	2	2	2	0	7	(2期)	1	3	3	3	0	10	(2期)	0	1	1	1	0	3																			
姿 図・寸 法	<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替 2F: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 4F: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替</div> <div>2階のみアルミパネル</div> <div><div><div></div></div><div>1,800</div><div>1,200 100 1,550 250</div></div>		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 AW-6: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 AW-6a: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替						<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替 AW-6: 3.0(Low-E)+A6.0+3.0 AW-6a: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替</div> <div>AW-6のみアルミパネル</div> <div><div><div></div></div><div>3,470</div><div>1,200 100 1,550 250</div></div>		※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替						<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替</div> <div>1階 X1'-X2' のみアルミパネル</div> <div><div><div></div></div><div>3,320</div><div>1,200 350 1,550</div></div>		※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替						<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替</div> <div>1階 X5'-X6' のみアルミパネル 2階 X4'-X5'、X5'-X6' のみアルミパネル</div> <div><div><div></div></div><div>3,670</div><div>1,200 350 1,550</div></div>		※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替						<div>※アタッチメント付ペアガラスへ取替: 3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替</div> <div>2段2連引き違い窓</div> <div><div><div></div></div><div>3,470</div><div>1,200 350 1,550</div></div>		2段2連引き違い窓																							
	嵌め殺しランマ付 2連引き違い窓								嵌め殺しランマ付 2連引き違い窓								2段2連引き違い窓						2段2連引き違い窓						2段2連引き違い窓																													
建具見込・枠見込	70								70														70								70								70																			
仕 上	アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材														アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材								アルミニウム合金押出材																			
ガ ラ ス	透明ガラス t=5								透明ガラス t=5								透明ガラス t=3								透明ガラス t=3								透明ガラス t=3																									
金 物	付属金物一式、アングル、クレセント								付属金物一式、アングル、クレセント								戸車、クレセント、付属金物一式								戸車、クレセント、付属金物一式								戸車、クレセント、付属金物一式																									
備 考																																																										



記号・数量	<div>15 AW</div>	数量							<div>16 AW</div>	数量							<div>17 AW</div>	数量							<div>18 AW</div>	数量														
		1F	2F	3F	4F	RF	合計	1F		2F	3F	4F	RF	合計	1F	2F		3F	4F	RF	合計	1F	2F	3F		4F	RF	合計												
		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	1	1	1	0	0	3	
		(2期)	3	3	3	3	0	12		(2期)	0	1	1	1	0	3		(2期)	0	1	1	1	0	3		(2期)	0	1	1	1	0	3		(2期)	2	1	1	0	0	4

図・寸法	※アタッチメント付ペアガラスへ取替:3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※クレセント、戸車取替	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div> <div><div>700</div><div>1,300</div><div>2,000</div></div> <div><div>1,800</div><div>70</div><div>1,800</div><div>3,670</div></div>	アルミパネル位置 X通り 3'-4' 4'-5' 5'-6' 1F ② ① ② 2F ② ① ② 3F ② ① ② 4F ② ① ②
	2段2連引違い窓		
	建具見込・枠見込	70	
	仕上	アルミニウム合金押出材	
	ガラス	アルミパネル t=3(換気扇開口300角)、透明ガラス t=3	
金物	戸車、クレセント、付属金物一式		
備考			

図・寸法	※アタッチメント付ペアガラスへ取替:3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※クレセント、戸車取替	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>700</div><div>1,300</div><div>2,000</div></div> <div><div>1,700</div><div>70</div><div>1,700</div><div>3,470</div></div>	
	2段2連引違い窓		
	建具見込・枠見込	70	
	仕上	アルミニウム合金押出材	
	ガラス	アルミパネル t=3(換気扇開口300角)、透明ガラス t=3	
金物	戸車、クレセント、付属金物一式		
備考			

図・寸法	※網入り透明ガラス t=6.8へ取替 ※クレセント、戸車取替	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,300</div></div> <div><div>1,625</div><div>70</div><div>1,625</div><div>3,320</div></div>	
	2連引違い窓		
	建具見込・枠見込	70	
	仕上	アルミニウム合金押出材	
	ガラス	網入り型板ガラス t=6.8	
金物	戸車、クレセント、付属金物一式		
備考			

図・寸法	※アタッチメント付ペアガラスへ取替:3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※クレセント、戸車取替	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>550</div><div>1,000</div><div>1,650</div></div> <div><div>3,000</div></div>	1階 X2-X3通りのみ
	2段2連引違い窓		
	建具見込・枠見込	70	
	仕上	アルミニウム合金押出材	
	ガラス	透明ガラス t=5、アルミパネル t=3	
金物	付属金物一式、アングル、クレセント		
備考			

記号・数量	<div>19 AW</div>	<div>19a AW</div>	数量						<div>20 AW</div>	数量						<div>8 SD</div>	数量						<div>1 LSD</div>	数量								
			1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計			
			(1期)	1	1	(1)	0	0		2(1)	(1期)	0	0	0	0		0	0	(1期)	0	0	0		0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0
			(2期)	1(1)	1	(1)	0	0	4	(2期)	0	1	1	1	0	3		(2期)	1	1	1	1	0	4		(2期)	0	2	0	0	0	2

図・寸法	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 AW-19:3.0(Low-E)+A6.0+3.0 AW-19a:3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ※クレセント、戸車取替	※( )内はAW-19aを示す	※既存のまま	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,200</div></div> <div><div>3,000</div></div>	
	2連引違い窓		1F-アルミ引き違い窓	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>600</div><div>1,300</div><div>2,000</div></div> <div><div>1,635</div><div>70</div><div>1,635</div><div>3,340</div></div>	
	建具見込・枠見込	70	70	70	
	仕上	アルミニウム合金押出材	アルミニウム合金押出材	アルミニウム合金押出材	
	ガラス	透明ガラス t=3	アルミパネル t=3(換気扇開口300角) 戸板ガラス t=3 目隠しフィルム貼り	アルミパネル t=3(換気扇開口300角) 戸板ガラス t=3 目隠しフィルム貼り	
金物	戸車、クレセント、付属金物一式	戸車、クレセント、外れ止め防止、付属金物一式	戸車、クレセント、外れ止め防止、付属金物一式		
備考		既存木製額縁(SOP)塗替え	既存木製額縁(SOP)塗替え		

図・寸法	※既存流用(SOP塗装)	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>2,300</div></div> <div><div>1,500</div><div>2,200</div><div>3,700</div></div>			
	潜り戸付親子両開き戸		1F-アルミ引き違い窓	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,590</div><div>1,100</div><div>1,0390</div></div> <div><div>1,635</div><div>70</div><div>1,635</div><div>3,340</div></div>	
	100		70	70	
	スチール t=1.6 SOP		アルミニウム合金押出材	アルミニウム合金押出材	
	付属金物一式、防火戸用フロアーヒンジ、ケースハンドル 煙感連動装置( )ヒューズ装置、電磁リリース装置(別途)		アルミパネル t=3(換気扇開口300角) 戸板ガラス t=3 目隠しフィルム貼り	アルミパネル t=3(換気扇開口300角) 戸板ガラス t=3 目隠しフィルム貼り	
付属金物一式、防火戸用フロアーヒンジ、ケースハンドル 煙感連動装置( )ヒューズ装置、電磁リリース装置(別途)		戸車、クレセント、外れ止め防止、付属金物一式	戸車、クレセント、外れ止め防止、付属金物一式		

図・寸法	※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>560</div><div>80</div><div>2,000</div></div> <div><div>1,860</div></div>			
	ランマ付片引き戸		1F-アルミ引き違い窓	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,590</div><div>1,100</div><div>1,0390</div></div> <div><div>1,635</div><div>70</div><div>1,635</div><div>3,340</div></div>	
	80		70	70	
	溶融亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装) 心材: ハンコ7 厚3 スリ板ガラス(セーリング)		アルミニウム合金押出材	アルミニウム合金押出材	
	引手、戸車、ステンレスフッサーレール厚2mm、SL鎌錠 換気グリ ルセット外付属金物一式、マスター合せ		アルミパネル t=3(換気扇開口300角) 戸板ガラス t=3 目隠しフィルム貼り	アルミパネル t=3(換気扇開口300角) 戸板ガラス t=3 目隠しフィルム貼り	
付属金物一式、防火戸用フロアーヒンジ、ケースハンドル 煙感連動装置( )ヒューズ装置、電磁リリース装置(別途)		戸車、クレセント、外れ止め防止、付属金物一式	戸車、クレセント、外れ止め防止、付属金物一式		

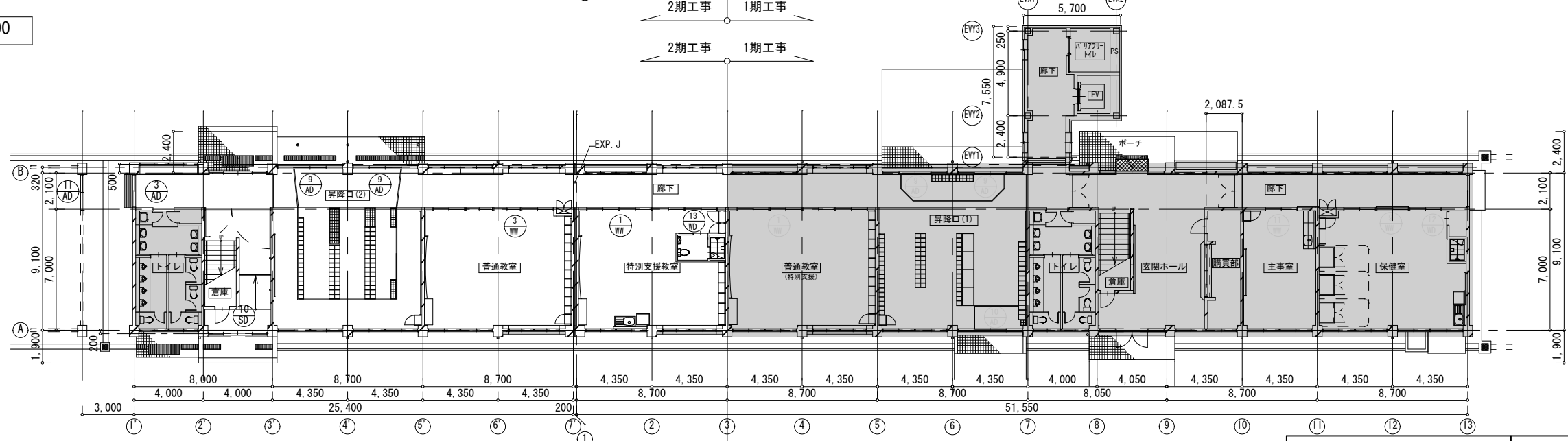
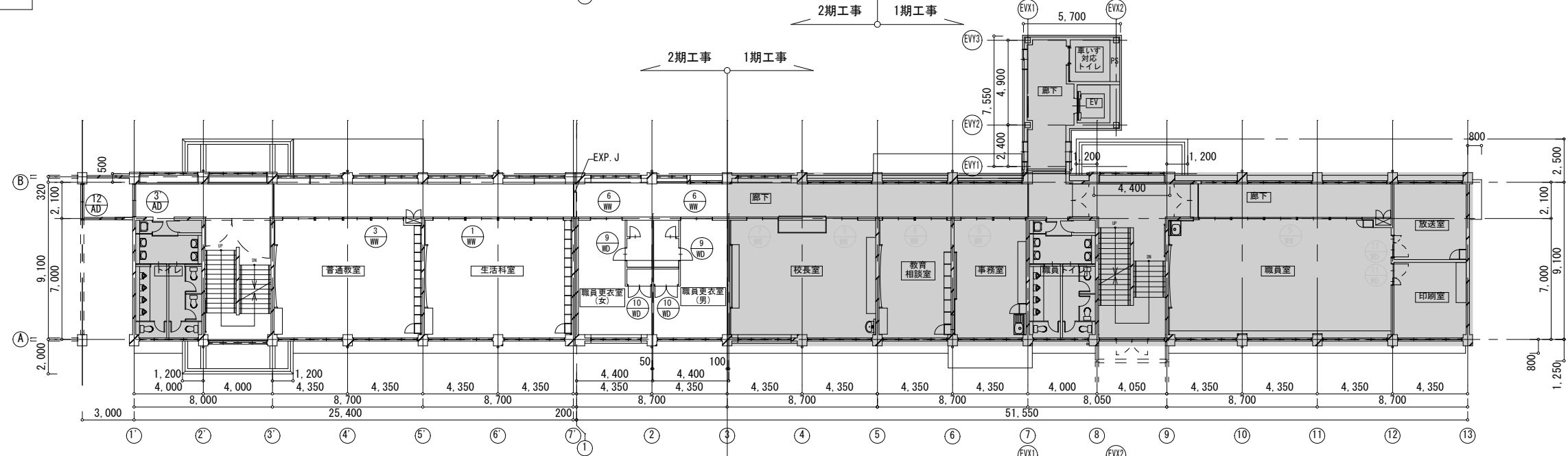
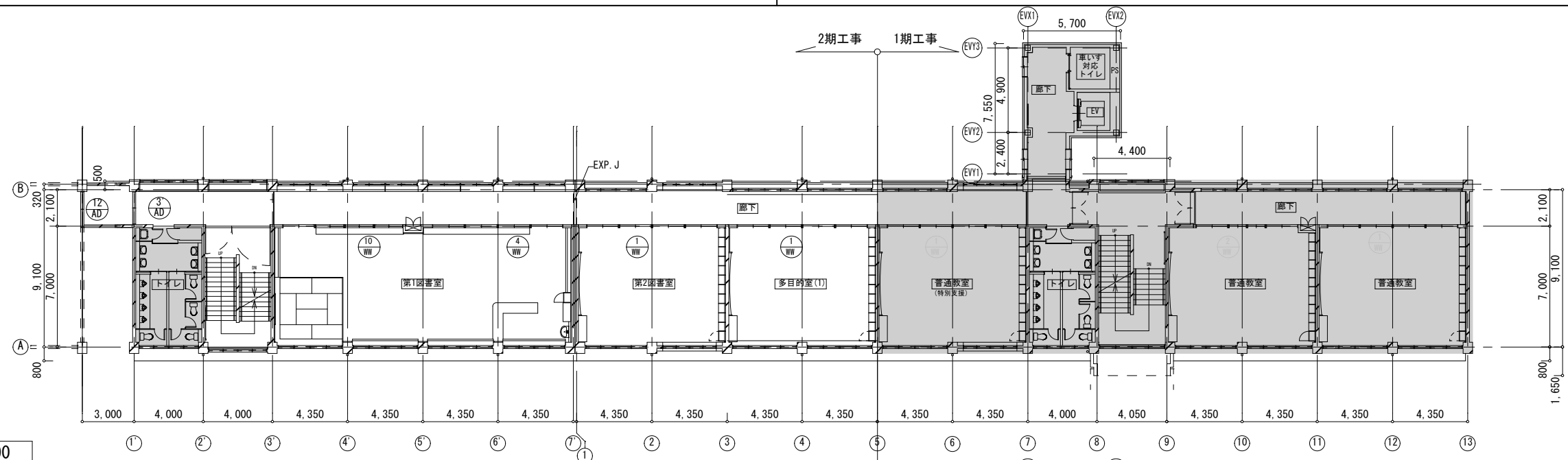
記号・数量	<div>3 WD</div>	数量						<div>4 WD</div>	数量						<div>5 WD</div>	数量						<div>6 WD</div>	数量													
		1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計		1F	2F	3F	4F	RF	合計	
		(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0	(1期)	0	0	0	0	0	0
		(2期)	0	2	0	0	0	2	(2期)	0	2	0	0	0	2	(2期)	1	0	0	0	0	1	(2期)	0	0	1	0	0	1	(2期)	0	0	1	0	0	1

図・寸法	※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>2,000</div></div> <div><div>700</div></div>			
	片開き戸(両面フラッシュ)		※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,800</div></div> <div><div>1,750</div><div>1,160</div><div>900</div></div>	
	36		36		
	木製: メラミン化粧合板		木製 更衣室側: メラミン化粧合板 休憩室側: CL塗り		
	t=3.0 型板ガラス		t=3.0 型板ガラス		
引手、戸車、外付属金物一式		引手、戸車、外付属金物一式、			

図・寸法	※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,900</div></div> <div><div>775</div></div>			
	片引き戸(両面フラッシュ)		※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,900</div></div> <div><div>750</div></div>	
	30		36		
	木製 両面: メラミン合板		木製 両面: プリント合板製		
	t=40 型板ガラス		引手、戸車、外付属金物一式		
引手、戸車、外付属金物一式					

図・寸法	※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,900</div></div> <div><div>750</div></div>			
	片引き戸(両面フラッシュ)※アウトセット		※撤去	<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div> <div><div>1,900</div></div> <div><div>750</div></div>	
	36		36		
	木製 両面: プリント合板製		木製 両面: プリント合板製		
	t=40 型板ガラス		引手、戸車、外付属金物一式		
引手、戸車、外付属金物一式					





工事対象外

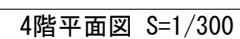
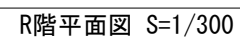
株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

1階～3階建具キープラン（改修後）

鹿兒島市建設局建築部建築課

- 6 1



工事対象外

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事
-------------------------

4階・R階建具キープラン（改修後）

鹿兒島市建設局建築部建築課

A - 6 2

記号・数量	<div>3AD</div> <div>3'AD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9AD</div> 昇降口(2)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>11AD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>12AD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計			
		(1期)	-1	0	0	0	0	1		(1期)	-2	0	0	0	0	2		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0	(1期)	-0	0	0	0	0		0	0	(1期)	-0	0	0	0	0	0	0
		(2期)	1	(1)	(1)	(1)	0	4		(2期)	2	0	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1		(2期)	0	1	1	1	0	3		(2期)	1	0	0	0	0	1			

窓 図・寸 法	※扉・欄間・無目・下枠 新設（カバー工法）※（ ）内はAD-3'を示す																※扉・欄間・無目・下枠 新設（カバー工法）																※扉・欄間・無目・下枠 新設（カバー工法）																																															
	引き違いランマ付引き違い戸																両袖ランマFIX引分戸																引き違いランマ付引き違い戸																引き違いランマ付引き違い戸																片開き戸															
	100																100																100																100																85															
	アルミシルバー																アルミシルバー																アルミシルバー																アルミシルバー																スチール(扉：溶融亜鉛メッキ鋼板焼付塗装品) (枠：溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装)															
	ランマ：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0 下段：アルミハネルt=3 上段：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0																ランマ：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+強化ガラス t=4.0 下段：アルミハネルt=3 上段：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+強化ガラス t=4.0																ランマ：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0 下段：アルミハネルt=3 上段：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0																ランマ：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0 下段：アルミハネルt=3 上段：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0																SUS丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シリンドー本締め錠、付属金物一式															

記号・数量	<div>1WW</div> 普通教室・特別支援教室・児童会室・多目的室・第2図書室生活科室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>3WW</div> 普通教室・算数室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>4WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>4WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	
		(1期)	-1	0	2	2	0	5		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0	0
		(2期)	1	1	2	3	0	7		(2期)	1	1	0	1	0	3		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	0	1	0	0	1	

窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装、(教室側)杉羽目板 t=12.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装、(教室側)杉羽目板 t=12.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装																															
	透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																															

記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WD</div> 職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13WD</div> 特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0						
		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1

窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付片引き戸																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																片開きフラッシュドア																両開きフラッシュドア																片引き戸															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																扉：36																扉：36																36															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 トイレ側：メラミン化粧板 教室側：CL塗り															
	スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)															

記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WD</div> 職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13WD</div> 特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0						
		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1

窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付片引き戸																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																片開きフラッシュドア																両開きフラッシュドア																片引き戸															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																扉：36																扉：36																36															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 トイレ側：メラミン化粧板 教室側：CL塗り															
	スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)															

記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WD</div> 職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13WD</div> 特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0						
		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1

窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付片引き戸																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																片開きフラッシュドア																両開きフラッシュドア																片引き戸															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																扉：36																扉：36																36															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 トイレ側：メラミン化粧板 教室側：CL塗り															
	スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)															

記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WD</div> 職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13WD</div> 特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0						
		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1

窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付片引き戸																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																片開きフラッシュドア																両開きフラッシュドア																片引き戸															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																扉：36																扉：36																36															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 トイレ側：メラミン化粧板 教室側：CL塗り															
	スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)															

記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WD</div> 職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13WD</div> 特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0						
		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1

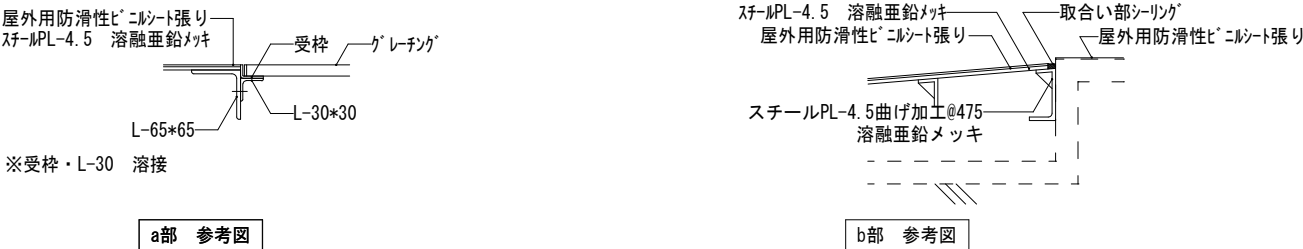
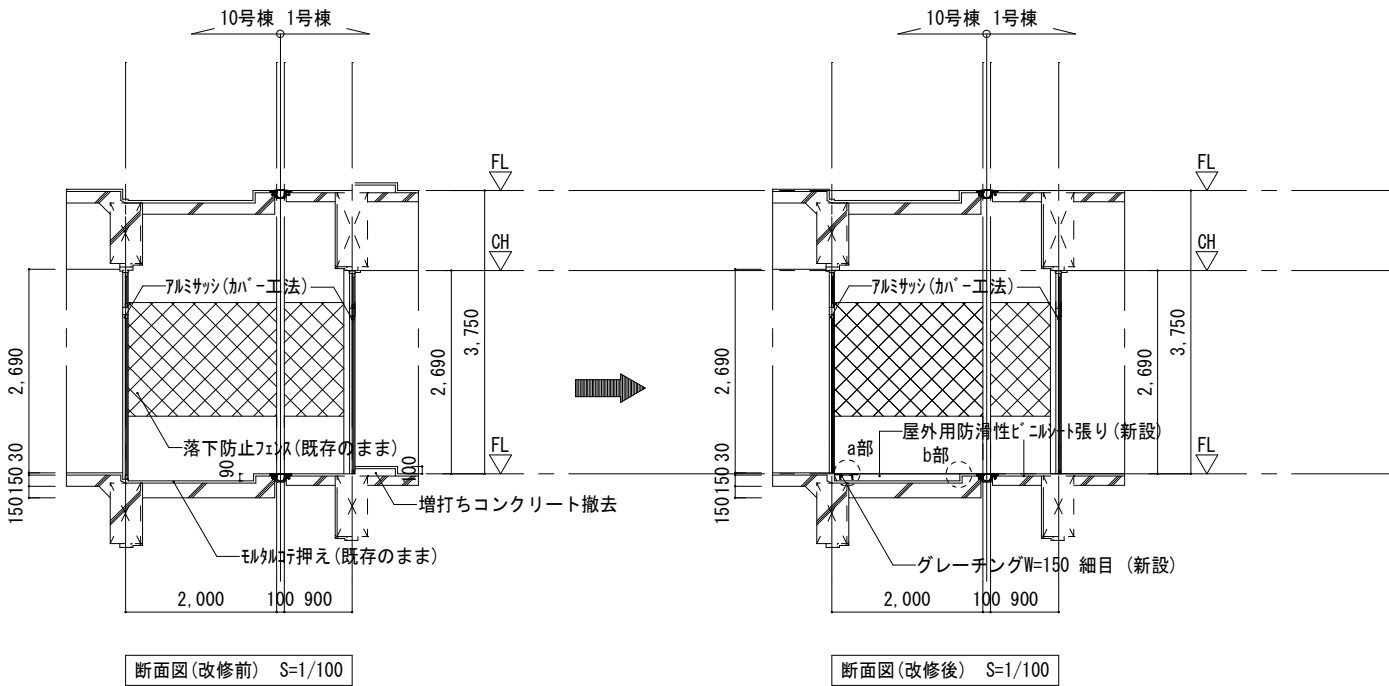
窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付片引き戸																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																片開きフラッシュドア																両開きフラッシュドア																片引き戸															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																扉：36																扉：36																36															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 トイレ側：メラミン化粧板 教室側：CL塗り															
	スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)															

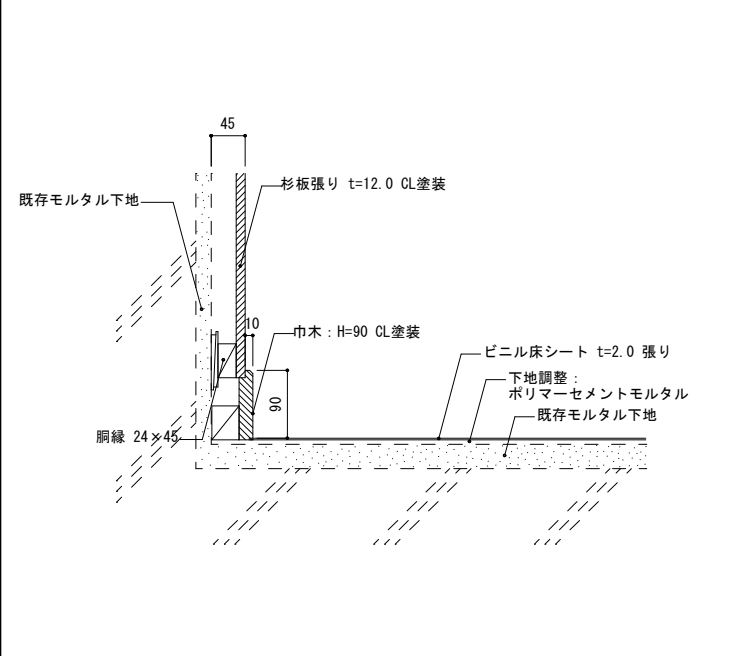
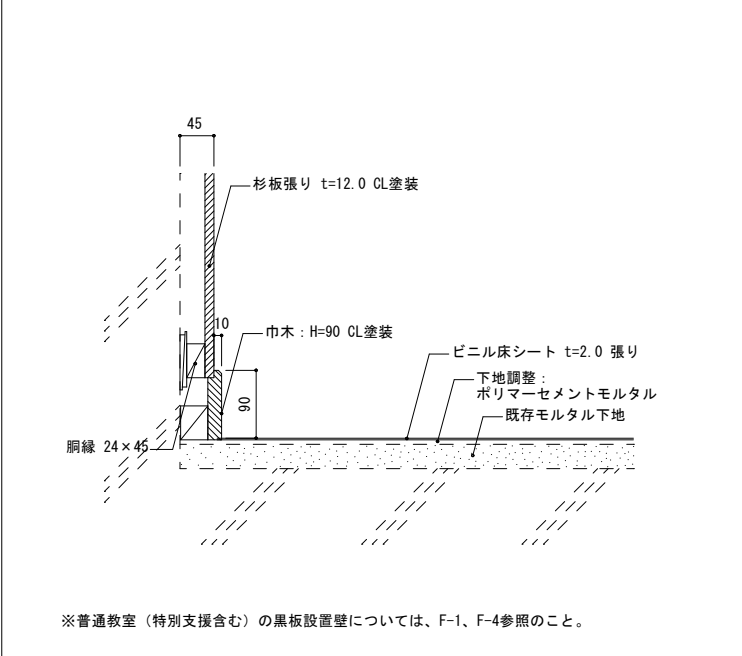
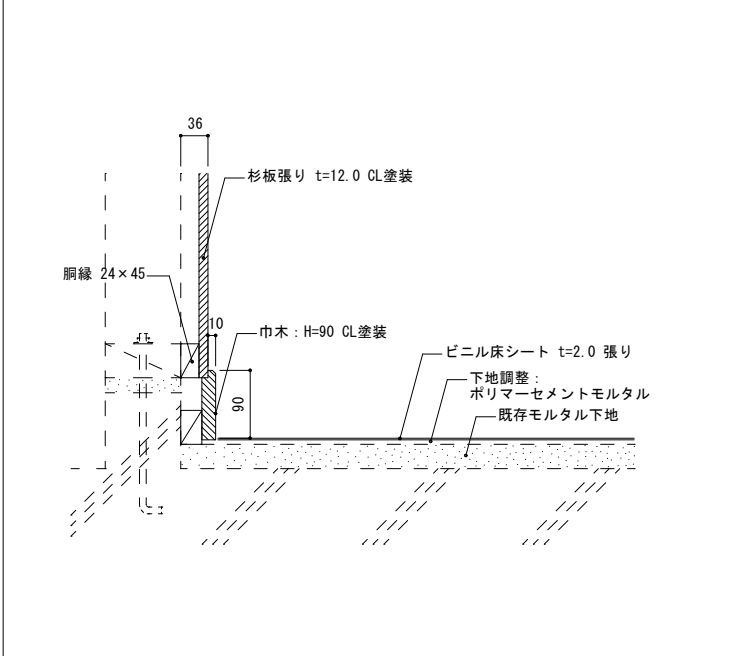
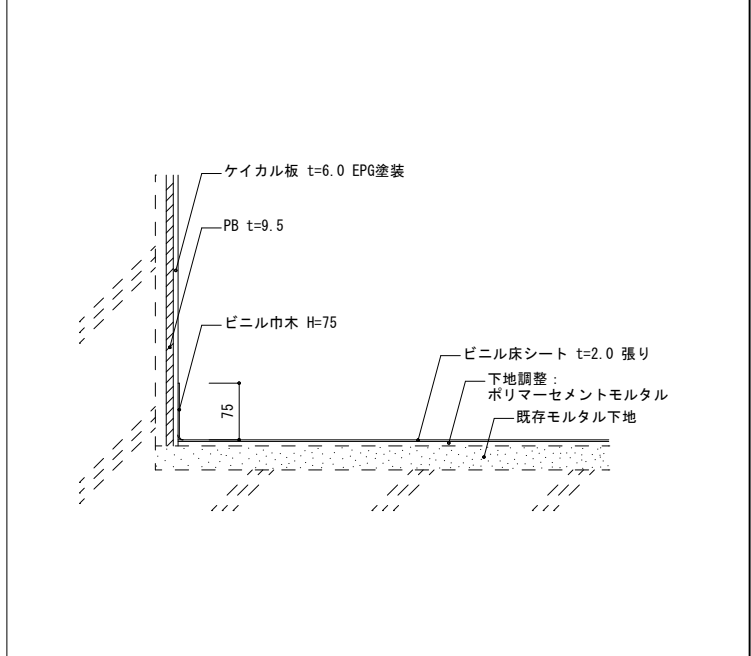
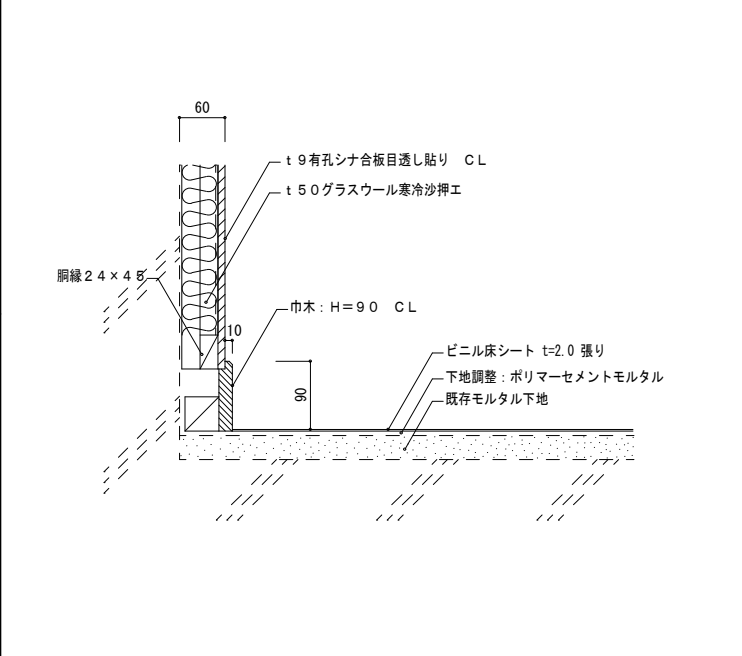
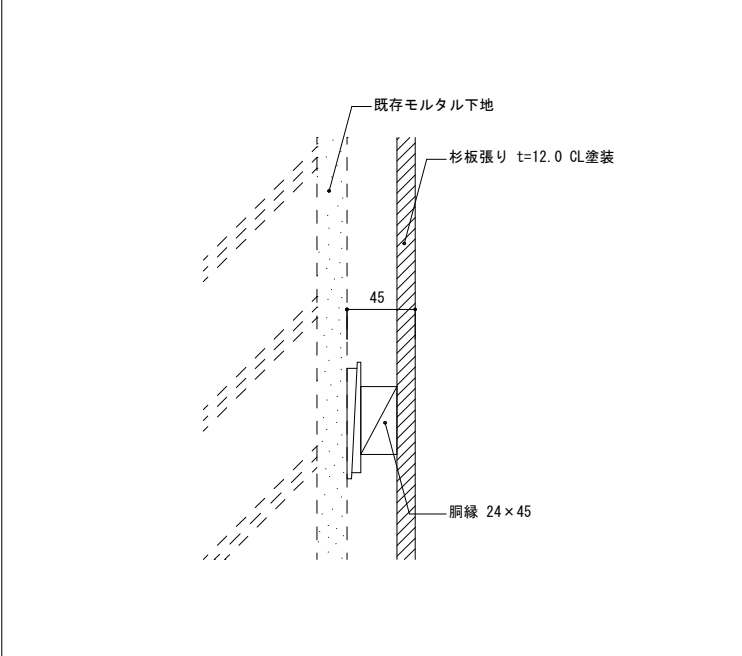
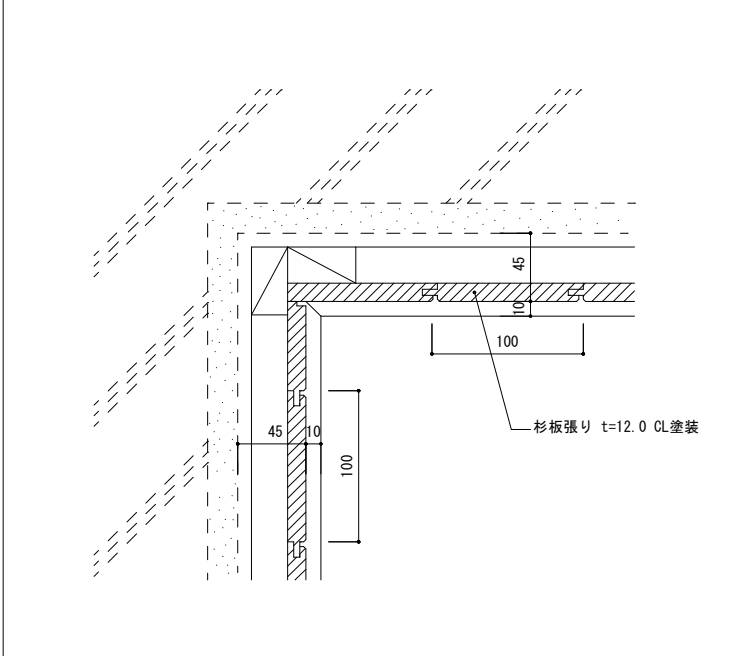
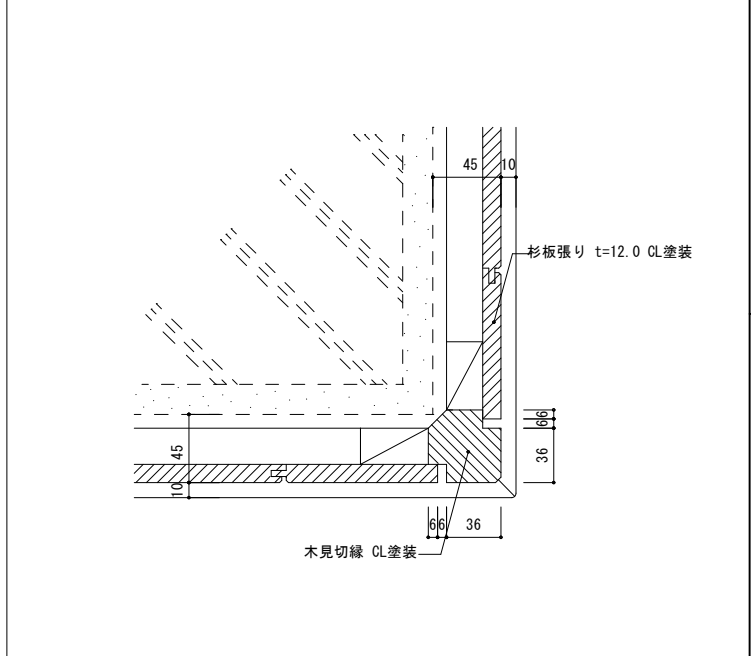
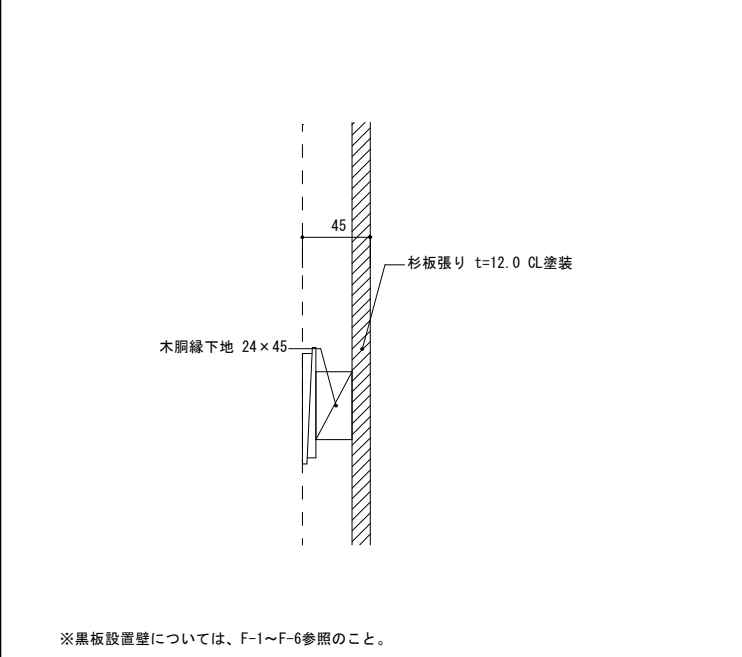
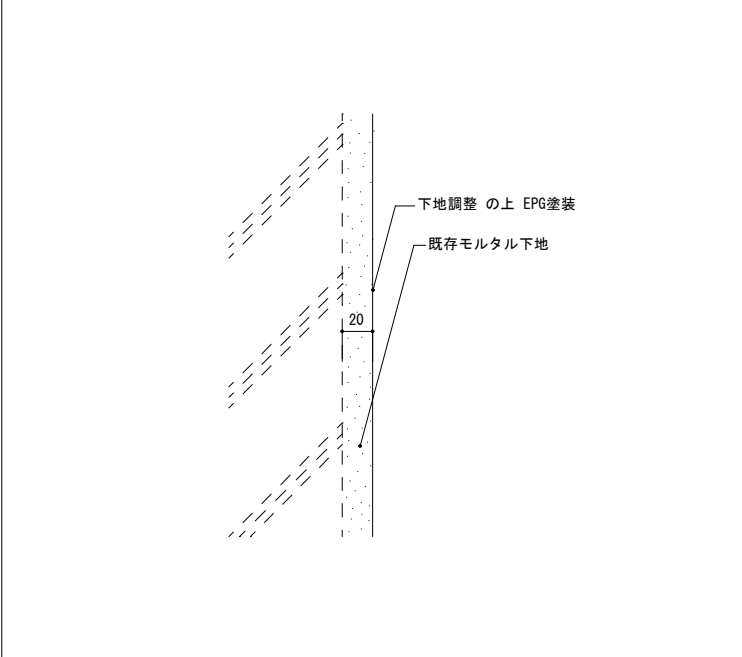
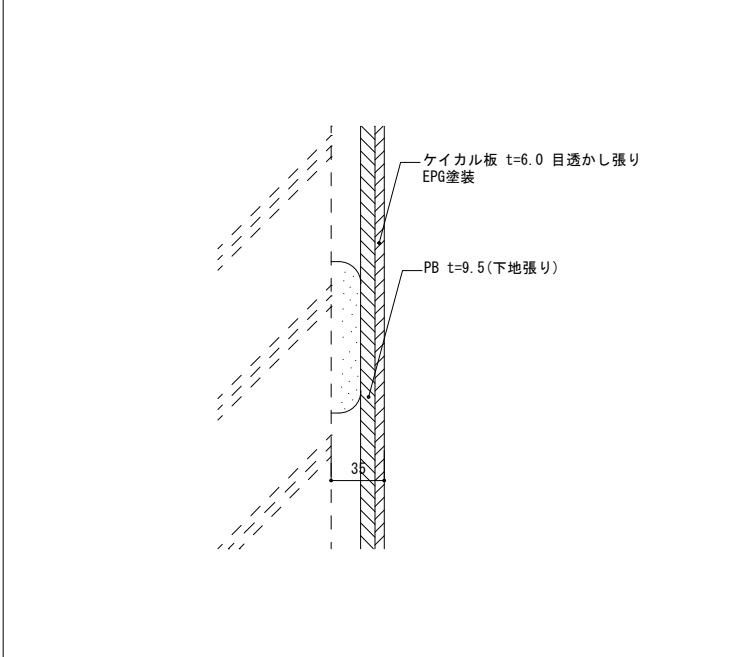
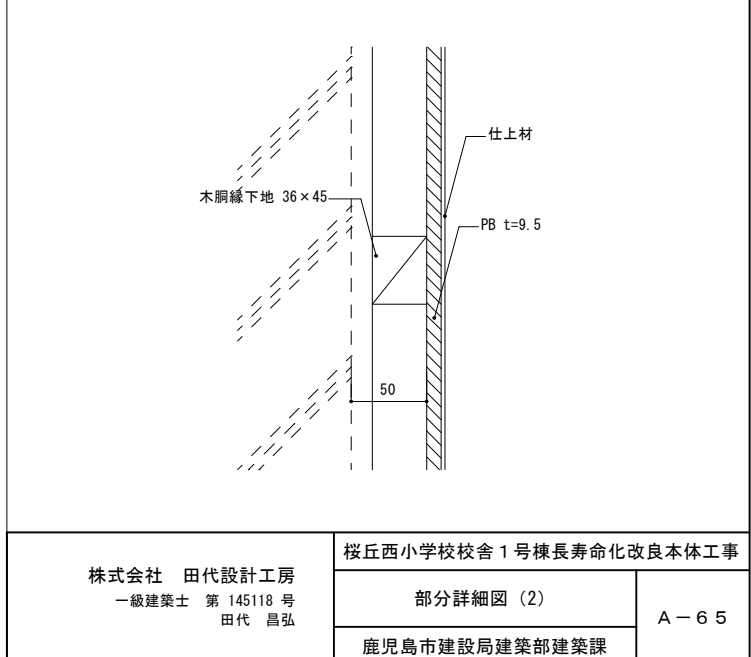
記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WD</div> 職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13WD</div> 特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		(1期)	-0	0	0	0	0	0		0						
		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	0	2	0	0	0	2		(2期)	1	0	0	0	0	1

窓 図・寸 法	スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																スリガラス t=3.0を示す																															
	ランマ付片引き戸																ランマ付引き違い戸+ランマ付き引き違い腰高窓																片開きフラッシュドア																両開きフラッシュドア																片引き戸															
	枠見込：157、窓：33、引戸：36																枠見込：157、窓：33、引戸：36																扉：36																扉：36																36															
	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																木製 トイレ側：メラミン化粧板 教室側：CL塗り															
	スリガラス t=3.0																透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)																厚3 スリガラス(シリング)															

記号・数量	<div>6WW</div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10WW</div> 第1図書館	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9WD</div> 職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F</
-------	----------------------	----	----	----	----	----	----	----	-----------------------	----	----	----	----	----	----	----	---------------------------	----	----	------

A-2	床シート張り（既存ビニル床シート撤去）	S=1/10	A-3	床シート張り（既存集成フローリング木床組下地撤去）	S=1/10	A-4	床シート張り（既存集成フローリングt12構造用合板下地撤去）	S=1/10	A-5	床シート張り（昇降口2 人研ぎ上り框）	S=1/10
<div>現況</div> <div></div> <div>改修後</div> <div></div>			<div>第一図書室</div> <div>現況</div> <div></div> <div>改修後</div> <div></div>			<div>現況</div> <div></div> <div>改修後</div> <div></div>			<div>現況</div> <div></div> <div>改修後</div> <div></div>		
A-7	ステンレス床見切縁	S=1/10	A-8	ステンレスノンスリップ	S=1/4	A-12 段差解消 S=1/100 S=1/10					
<div>防火扉周り</div> <div></div>			<div></div>			<div></div>					
A-9	床シート張り（床モザイクタイル撤去）	S=1/10	A-10	床シート張り（脱衣室）	S=1/10	<div>断面図(改修前) S=1/100</div> <div></div> <div>断面図(改修後) S=1/100</div> <div></div>					
<div>現況</div> <div></div> <div>改修後</div> <div></div>			<div></div> <div></div>			<div>屋外用防滑性ビニルシート張り</div> <div></div>					
						<div>※受枠・L-30 溶接</div> <div>a部 参考図</div>			<div>※受枠・L-30 溶接</div> <div>b部 参考図</div>		
						株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘			桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事 部分詳細図 (1) 鹿児島市建設局建築部建築課 A-6 4		



B-1	木製巾木（既存モルタル下地+杉板張り壁）	S=1/10	B-2	木製巾木（既存R0壁・木胴縁下地+杉板張り壁）	S=1/10	B-3	木製巾木（既存木間仕切壁・木胴縁下地+杉板張り壁）	S=1/10	B-4	ビニル巾木（壁PB t=9.5）（直張工法）	S=1/10
											
※普通教室（特別支援含む）の黒板設置壁については、F-1、F-4参照のこと。											
B-5	木製巾木（RC下地+有孔シナ合板張り壁）	1/10	C-1	既存モルタル下地 杉板 t=12.0張り	S=1/5	C-2	既存モルタル下地 杉板 t=12.0張り 入隅部分	S=1/5	C-3	既存モルタル下地 杉板 t=12.0張り 出隅部分	S=1/5
											
C-4	木胴縁下地 杉板 t=12.0張り	S=1/5	C-5	モルタル金コテ押え 既存下地調整 EPG塗装	S=1/5	C-6	PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装（直張工法）	S=1/5	C-7	木胴縁下地 PB t=9.5	S=1/5
											
※黒板設置壁については、F-1～F-6参照のこと。									<div>株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘</div> <div>桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事</div> <div>部分詳細図（2）</div> <div>鹿児島市建設局建築部建築課</div> <div>A－6 5</div>		



C-8	LGS下地 強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装	S=1/5	C-9	杉板 t=12.0張り 腰見切り	S=1/5	C-10	壁t9.0 有孔シナ合板張り(放送室)	S=1/5	C-11	LGS下地 強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装、木製建具穴埋め	S=1/5
<div>※スラブ下まで達すること。</div> <div><div><div>ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 強化PB t=12.5</div><div>12.5 100 12.5 6</div><div>LGS下地 (W=100型)</div></div></div>			<div><div>既存下地調整 の上 EPG塗装</div><div>木見切縁 CL塗装</div><div>25</div><div>45 10</div><div>FL+860</div><div>t=12.0 杉板張り(本実張り) CL塗装</div></div>			<div><div>t 9 有孔シナ合板 CL t 5 0 グラスウール寒冷沙押エ</div><div>鋼線 2 4 × 4 5</div><div>60</div></div>			<div>※スラブ下まで達すること。</div> <div><div>ケイカル板 t=6.0 強化PB t=12.5</div><div>ケイカル板 t=6.0 強化PB t=12.5</div><div>LGS下地 (W=100型) t=100ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24kg/m3) 充填</div><div>※校長室・職員更衣室間は、既存LGS下地 (W=65型) t=65ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24kg/m3) 充填 (防火上主要な間仕切壁)</div></div>		
C-12	廊下-教室間 間仕切壁 (防火上主要間仕切壁)	S=1/6	C-13	廊下-教室間 間仕切壁上部納まり (防火上主要間仕切壁)	S=1/6						
<div><div><div>ケイ酸カルシウム板 t=6.0 継目処理 の上 EPG塗装 (見え掛り部のみ塗装) 強化PB t=12.5</div><div>見切り材 : 杉 CL塗装</div><div>LGS W=100</div><div>FL+770</div><div>強化PB t=12.5 ケイ酸カルシウム板 t=6.0 杉板 t=12.0 CL塗装</div><div>ケイ酸カルシウム板 t=6.0 継目処理 の上 EPG塗装 強化PB t=12.5</div><div>杉板 t=12.0 CL塗装 ケイ酸カルシウム板 t=6.0 強化PB t=12.5</div><div>木製巾木 H=90 CL塗装</div><div>木製巾木 H=90 CL塗装</div><div>教室側</div><div>廊下側</div><div>床に不陸が生じる場合はシーリング打ち (認定仕様による)</div></div></div>						<div><div>金属拡張アンカー M8 @900程度</div><div>シーリング(認定仕様による)</div><div>C-100×50×20×2.3 @455</div><div>鋼製通気パイプ φ75 梁スパン毎に1ヶ所(最上階のみ)</div><div>C-100×50×20×2.3 @455</div><div>ケイ酸カルシウム板 t=6.0 強化PB t=12.5</div><div>強化PB t=12.5 ケイ酸カルシウム板 t=6.0</div><div>※通気パイプについては最上階のみ</div></div>					
<div>株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘</div>						<div>桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事 部分詳細図 (3) 鹿児島市建設局建築部建築課</div>					
						<div>A - 6 6</div>					

D-1		アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設)		S=1/10	D-2		アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設)		S=1/10												
<div>現況 ※X1' ~X7' 通り</div>					<div>改修後</div>																
D-3		アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠SOP塗装)		S=1/10	D-4		アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設)		S=1/10												
<div>現況 ※放送室</div>					<div>改修後</div>																
<div>現況 ※主事室、印刷室、事務室（1期工事） ※職員更衣室（2期工事）</div>					<div>改修後</div>																
D-5		天井下がり部分		S=1/10	D-6		天井見切縁（壁ボード仕上の場合）		S=1/5												
2期：昇降口 H=320					<table><tr><td colspan="2">株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘</td><td colspan="2">桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>部分詳細図（4）</td><td>A-67</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>鹿児島市建設局建築部建築課</td><td></td></tr></table>					株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事				部分詳細図（4）	A-67			鹿児島市建設局建築部建築課	
株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事																			
		部分詳細図（4）	A-67																		
		鹿児島市建設局建築部建築課																			

E-1流し台 (BLタイプ)

S=1/3S=1/30

※職員室

シーリングの範囲を示す。

流し台立上り

90

800

900

正面図 S=1/30

側面図 S=1/30

550

90

800

▽：シーリングを示す。

部分詳細図 S=1/3

指定仕上げ材

流し台立上り

▽：シーリングを示す。

E-2流し台+コンロ台 (BLタイプ)

S=1/3S=1/30

※主事室

コンロ台バックガード (BL同等品以上)

シーリングの範囲を示す。

コンロ台設置

流し台立上り

90

800

750

1,450

正面図 S=1/30

側面図 S=1/30

550

90

800

▽：シーリングを示す。

部分詳細図 S=1/3

指定仕上げ材

流し台立上り

▽：シーリングを示す。

E-3流し台 (BLタイプ)

S=1/3S=1/30

※特別支援教室

部分詳細図 S=1/3

指定仕上げ材

流し台立上り

▽：シーリングを示す。

シーリングの範囲を示す。

流し台立上り

90

800

1,200

正面図 S=1/30

側面図 S=1/30

550

90

800

▽：シーリングを示す。

E-4ライニング面台

S=1/20

階	室名 (改修後)	H	L	数量
1階	特別支援教室	1,100	1,960	1
1階	特別支援教室 (H/L)	1,200	1,900	1
2階	第1図書室	1,100	1,200	1

ライニング面台  
メラミンポストフォーム

120

20

H

メラミン不燃化粧板

耐水合板 t=12.0

LGS下地 W=100

▽：シーリングを示す

※設備工事による衛生器具取付下地補強完了後、  
耐水合板を施工すること。

ライニング面台  
メラミンポストフォーム

120

20

H

メラミン不燃化粧板

耐水合板 t=12.0

LGS下地 W=100

▽：シーリングを示す

※背面開口部額縁より立ち上がる場合

E-5足洗い場

S=1/30

室名	D	W	H	数量
保健室	1,300	1,150	100	1

足洗い場

1,000

150

1,000

150

モルタル下地 50角タイル張り  
コンクリート (D10 @200 (縦横))

モルタル下地  
50角タイル張り

1,000

150

コンクリート  
(D10 @200 (縦横))

100

株式会社 田代設計工房

一級建築士 第 145118 号

田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事

部分詳細図 (5)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-68

F-1

曲面黒板（既存張替え）

※表面材張替え

S=1/6

S=1/10

参考図

※ 50以上

※ 80～170

桟: SOP塗替え

押縁新設

既存表面材の上に張替え

※ 130～230

桟: SOP塗替え、粉落とし穴埋・穴あけ共

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

※ 50以上

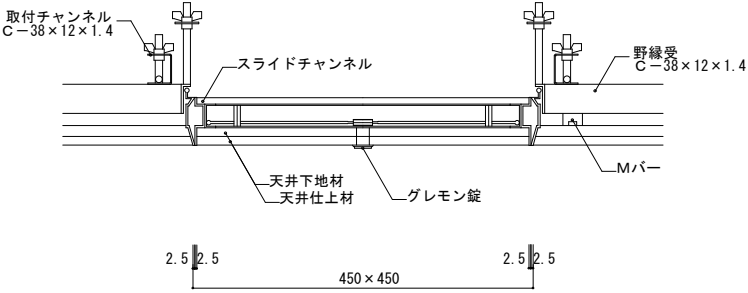
※ 50以上

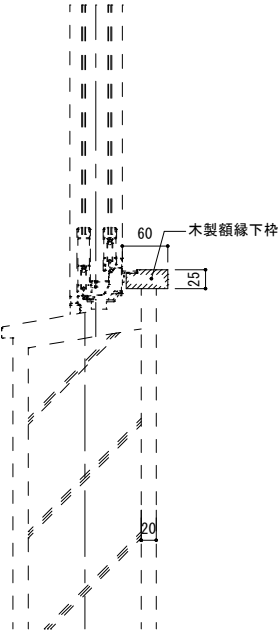
※ 50以上

※ 50以上

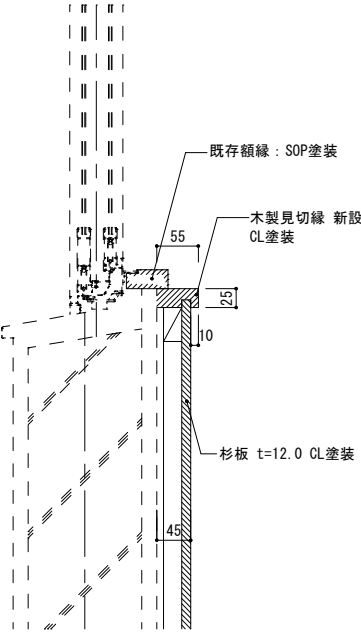
<

参考図

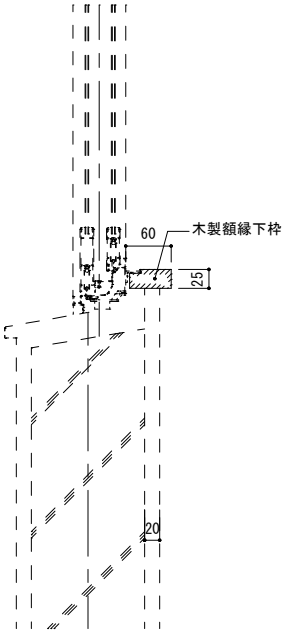




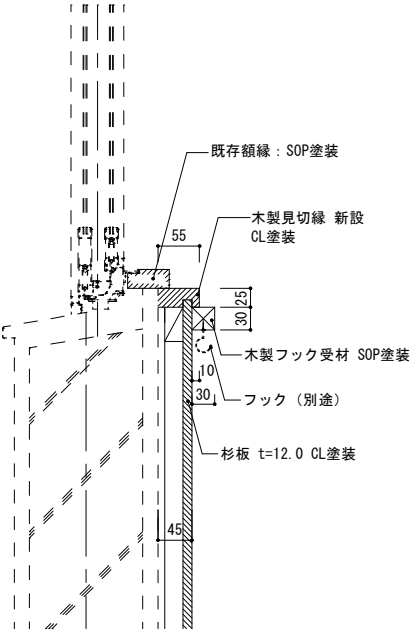
改修前



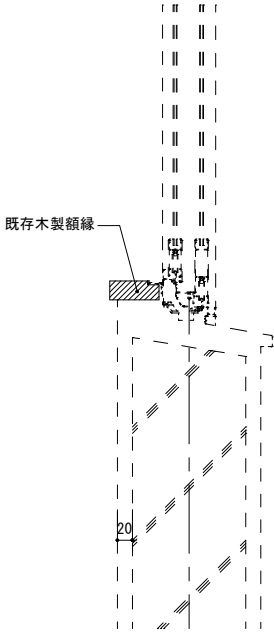
改修前



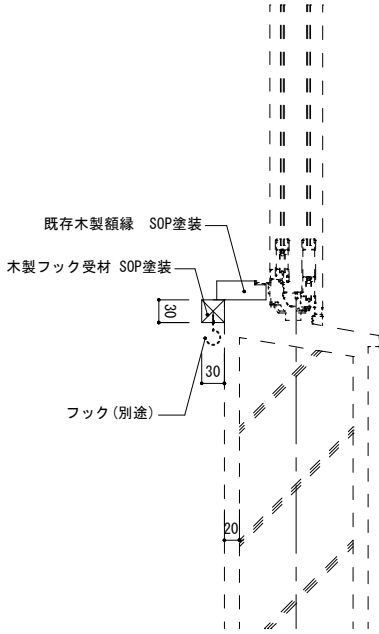
改修前  
※普通教室



改修後  
※普通教室



改修前



改修後

※木製額縁下枠の手すり支柱干渉部分は額縁くり抜き加工のこと

室名札

平付型

表示ケース アクリル樹脂（透明）

表示板(73×257) 塩ビ（乳白）1.0mm

支持具 アルミ（シルバー）

265

取付長穴（15×4）

80

突出型（スイングタイプ）

ブラケット：アルミ型材 アルマイト仕上

本体：ポリカーボネイト成形品

表示基板：樹脂板 t1(258x73)

78.1

254

299

工事

取付文字を含む。文字はカットティングシート張りとし、色は監督員の指示による。字体は丸ゴシック。

檜板・無節・OL塗装（木材コーナーは面取りとする。）

各室1ヶ所の取付とし、取付場所は監督員の指示により最終決定のこと。

各ピクトサインカットティングシートの内容については、監督員の指示により最終決定のこと。

I-1

児童用ロッカー（特別支援）

S=1/3

S=1/30

I-2

整理棚（特別支援）

S=1/3

S=1/30

ポリ合板張り

15 8 R=6 25

小口縁取：木製 OL塗装

A 小口納まり詳細図 S=1/3

ポリ合板張り（ランバーコア下地）

25 612 25 612 25 612 25 612 25 612 25

3,210

塩ビ製通気孔 φ50(防虫網付)

室名

D

W

H

数量

特別支援教室

490

3,210

1,200

1

40 450 40 450 490 75 25

ポリ合板張り（ランバーコア下地）

A部分

ポリ合板フラッシュ

t=25

341 25 341 25 342 25

1,200

ポリ合板張り t=4.0

40×25

ポリ合板 t=4.0

40×25

70×25

片開きフラッシュドア

ポリ合板フラッシュ

1,900 2,040 25

折曲げ加工

30×30

9045

底板：ステンレス板(SUS304) t=1.0(水平に取り外し可)

先端丸面加工

T1合板 t=4.0

フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（3個）、マグネットキャッチ（2ヶ所、金属ケース入）  
アームストッパー（厚側：貫通ボルト止め）

室名

D

W

H

数量

特別支援教室

490

700

2,040

1

片開きフラッシュドア

ポリ合板フラッシュ

建具あきは4周2mmあきとする

戸当り

マグネットキャッチ

建具縁 4周共

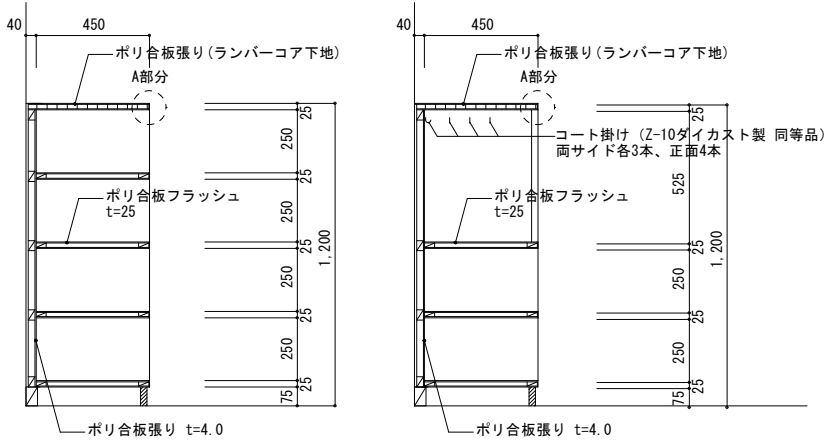
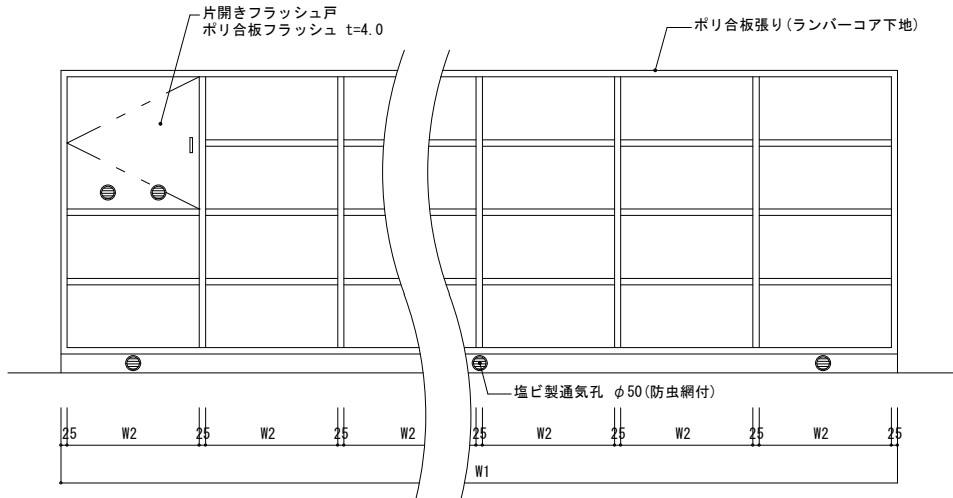
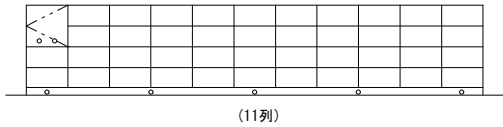
マグネットキャッチ

戸当り

塩ビ製通気孔 φ50(防虫網付)

650 700 25

小口は全て面取りとする	底板：ステンレス板(SUS304) t=1.0（取り外し可）	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）2ヶ所	塩ビ製換気孔50φ（防虫網付）4ヶ所		部分詳細図（8）	A-71
木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）	木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）		鹿児島市建設局建築部建築課	



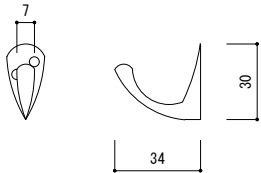
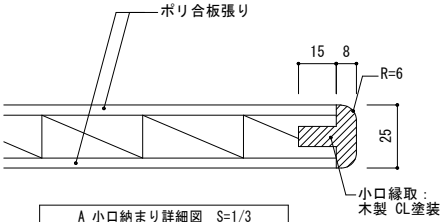
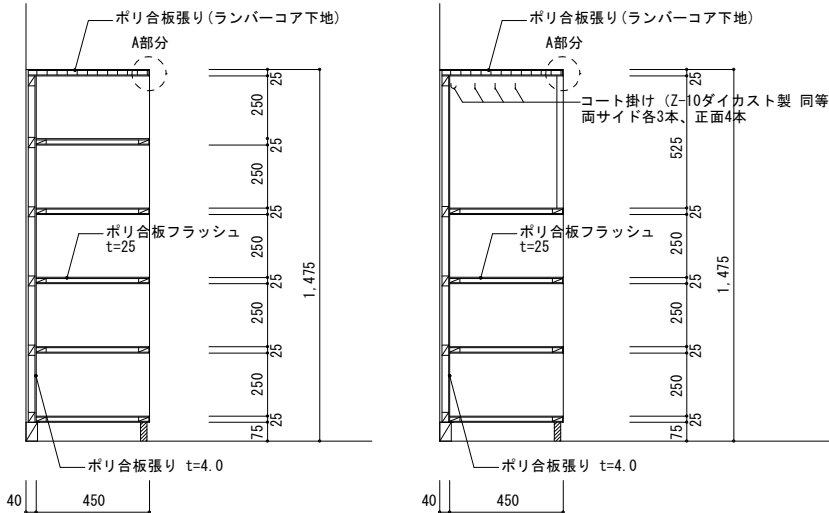
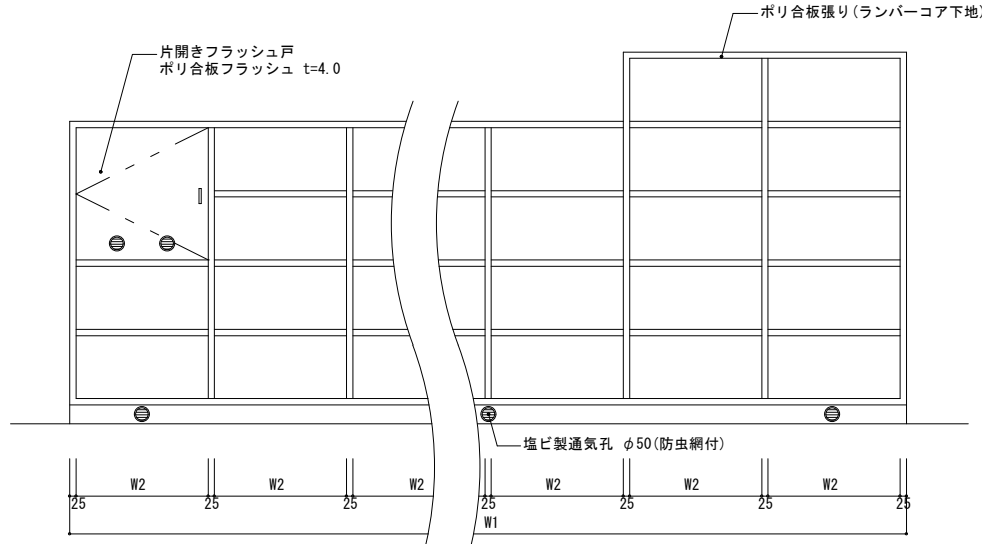
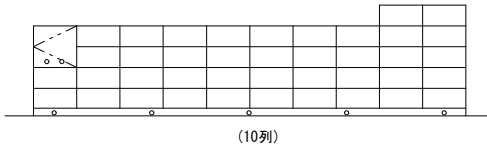
室名	列	W1	W2	D	H	数量
生活科室	11	6,037	521.54	490	1,200	1
第2図書室	11	6,037	521.54	490	1,200	1
多目的室(1)(2)	11	6,037	521.54	490	1,200	2
児童会室	11	6,037	521.54	490	1,200	1
普通教室	11	6,037	521.54	490	1,200	1

小口は全て面取りとする

フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（2個）、マグネットキャッチ（1ヶ所、金属ケース入）、コート掛け（両サイド各3本、正面4本）

塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）5ヶ所

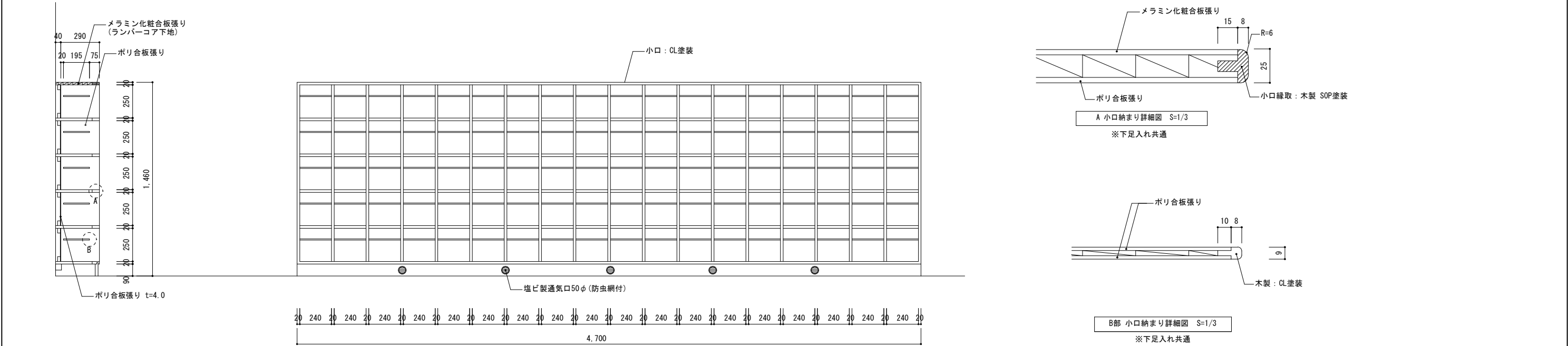
木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）





J-3	教師用ロッカー	S=1/3	S=1/30	J-4	掃除用具入	S=1/3	S=1/30
<p>塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）1ヶ所、戸車、アルミVレール、彫込引手、差込栓錠</p> <p>木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）</p>				<p>フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（3個）、マグネットキャッチ（2ヶ所、金属ケース入）</p> <p>アームストッパー（扉側：貫通ボルト止め）、ステンレスパイプ：25.4φ SUS304 2ヶ所、ステンレス製折釘：6個</p> <p>底板：厚0.4 ステンレス板（取り外し可）、塩ビ製換気孔50φ（防虫網付）4ヶ所（600）5ヶ所（1,035）</p> <p>木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）</p>			
J-5	児童用下足入れ	S=1/3	S=1/30				
<p>小口は全て面取りとする</p> <p>塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）4ヶ所</p>				<p>株式会社 田代設計工房 一級建築士 第145118号 田代 昌弘</p> <p>桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事</p> <p>部分詳細図（10）</p> <p>鹿児島市建設局建築部建築課</p> <p>A-73</p>			

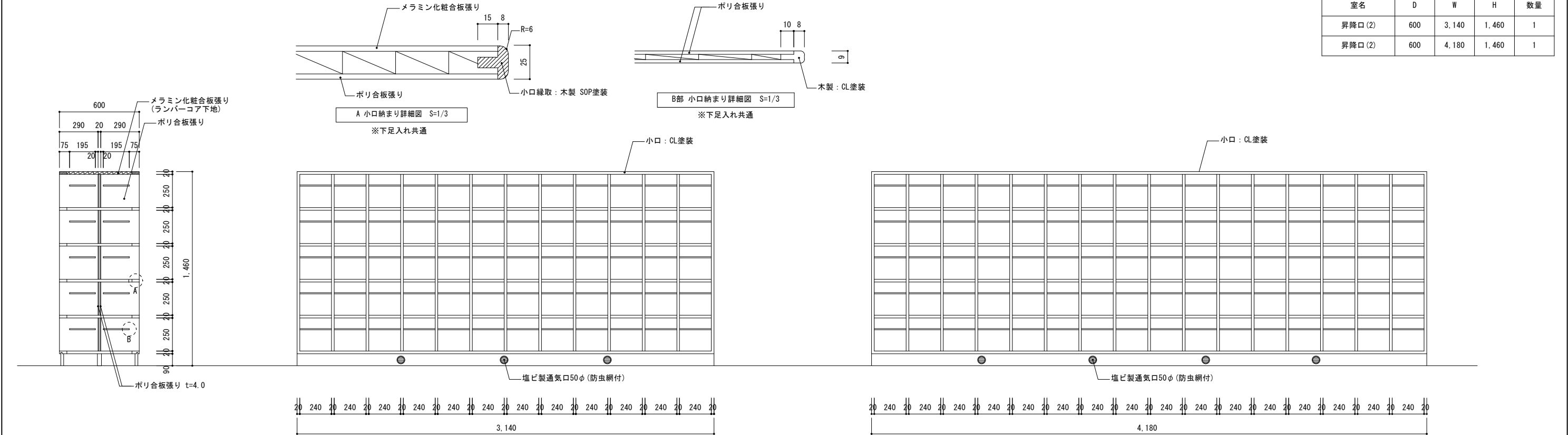
室名	D	W	H	数量
昇降口 (2)	330	4,700	1,460	1



小口は全て面取りとする

塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付） 5ヶ所

室名	D	W	H	数量
昇降口 (2)	600	3,140	1,460	1
昇降口 (2)	600	4,180	1,460	1



室名	D	W	H	数量
校長室	540	4,420	2,040	1

両開きフラッシュ戸：見込24 t4.0ポリ合板張、片面 t4.0 T1合板張り 取手（裏まで通すこと）、丁番、マグネットキャッチ1ヶ所（金属ケース入）、φ12ステンレスダボ、アームストッパー

引違いフラッシュ戸：見込24 t4.0ポリ合板張、片面 t4 T1合板張り、引手、戸車、差込栓錠、φ12ステンレスダボ

引違いアクリル戸：見込24 t3.0透明アクリル板、引手、戸車、差込栓錠

片開きフラッシュ戸：見込24 t4.0ポリ合板張、片面 t4.0 T1合板張り、取手（裏まで通すこと）、丁番、マグネットキャッチ2ヶ所（金属ケース入）、アームストッパー

塩ビ製通気孔：（防虫網付）15ヶ所

掃除具入：25.4φステンレスパイプSUS304 2ヶ所、ステンレス製折釘 4個、底板：t0.4ステンレス板（取り外し可）

ロッカー：27.2φステンレスパイプSUS304

室名	D	W	H	数量
校長室	540	3,670	860	1

戸車、アルミVレール、彫込引手、差込栓錠

塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）2ヶ所

木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部は素地のまま。棚板のレール部分まで塗装を行うこと）

戸車、アルミVレール、彫込引手、シリンダー錠

小口は全て面取りとする

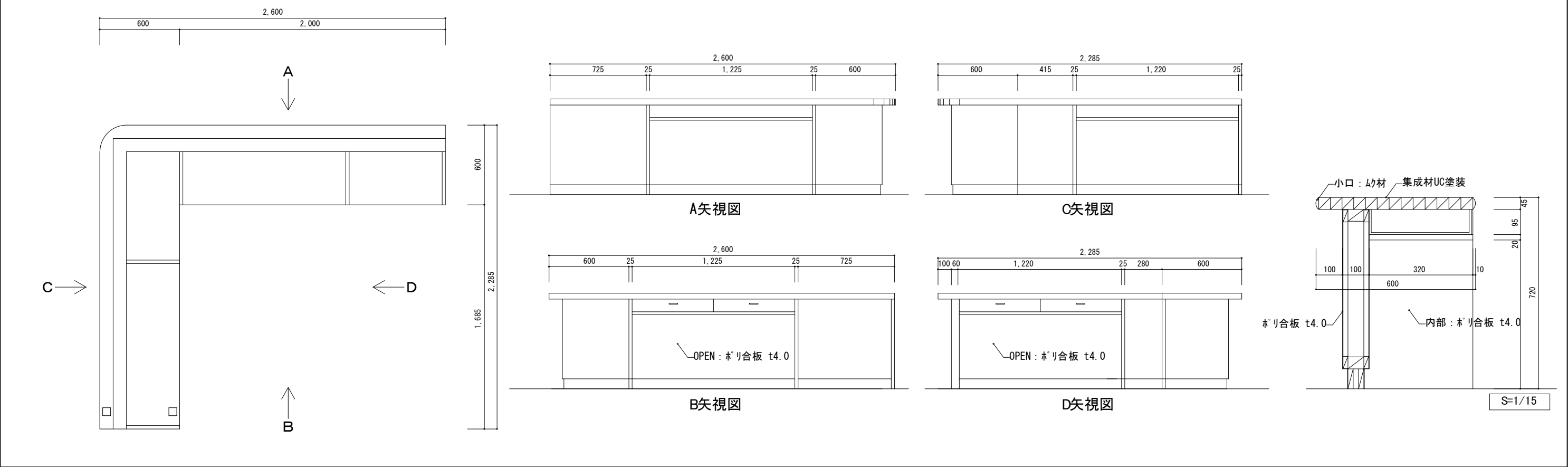
塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）1ヶ所

株式会社 田代設計工房  
一級建築士 第 145118 号  
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改本体工事  
部分詳細図（12）  
鹿児島市建設局建築部建築課

A-75

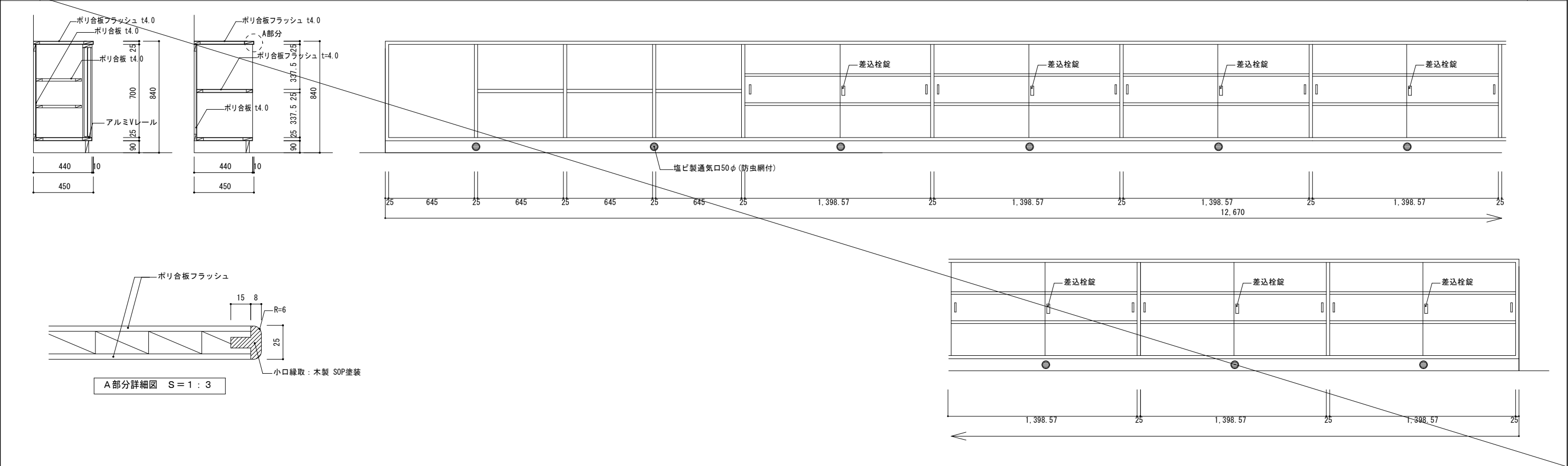




カウンター天板：集成材UC塗装

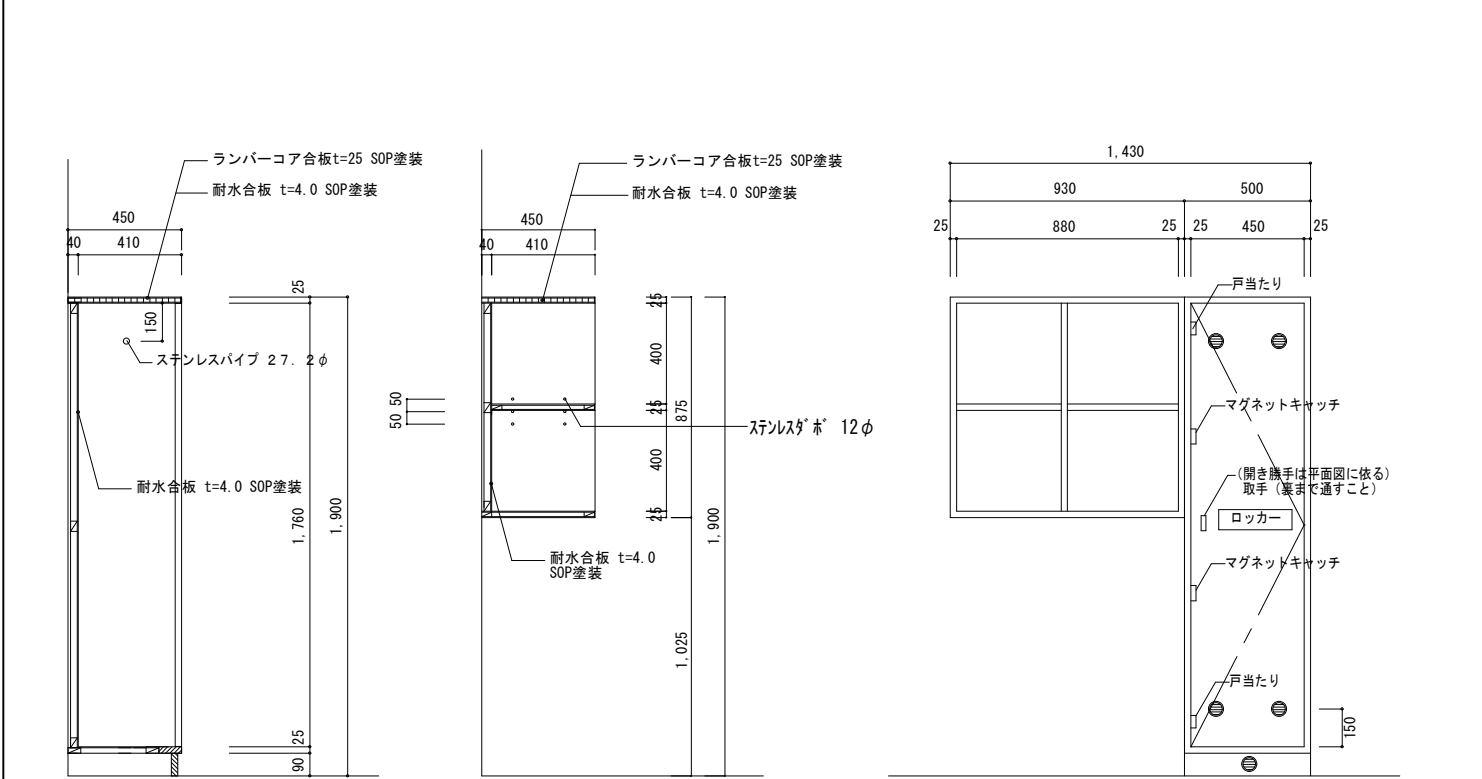
引出し：取っ手、スライドレール

6' 通りはコンセントを設置するため家具設置の際は監督員と協議すること

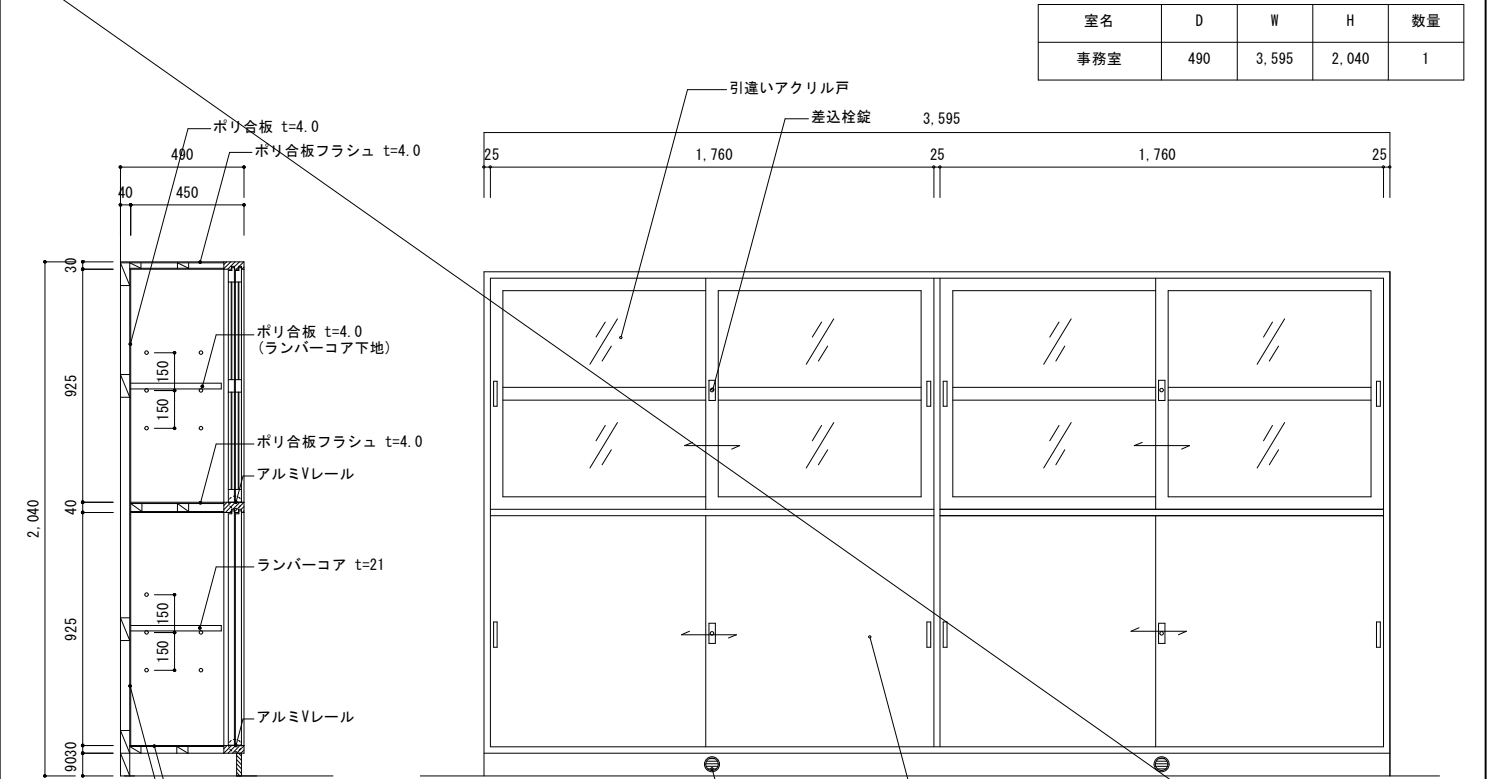


戸車、アルミVレール、彫込引手、差込栓錠	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良改本体工事	
小口は全て面取りとする		部分詳細図 (14)	A-77
塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 9ヶ所		鹿児島市建設局建築部建築課	
木部見え掛りは全てポリ合板張りとする (内部は素地のまま。棚板のレール部分まで塗装を行うこと)			

室名	D	W	H	数量
事務室	490	3,595	2,040	1



ランバーコア合板 t=25 SOP 塗装  
耐水合板 t=4.0 SOP 塗装  
ステンレスパイプ 27.2φ  
耐水合板 t=4.0 SOP 塗装  
ランバーコア合板 t=25 SOP 塗装  
耐水合板 t=4.0 SOP 塗装  
ステンレスパイプ 12φ  
耐水合板 t=4.0 SOP 塗装  
戸当たり  
マグネットキャッチ  
(開き勝手は平面図に依る)  
取手 (裏まで通すこと)  
ロッカー  
マグネットキャッチ  
戸当たり



ポリ合板 t=4.0  
ポリ合板フラッシュ t=4.0  
ポリ合板 t=4.0 (ランバーコア下地)  
ポリ合板フラッシュ t=4.0  
アルミVレール  
ランバーコア t=21  
アルミVレール  
T1合板 t=4.0  
引違いアクリル戸  
差込栓錠  
塩ビ製通気孔 φ50 (防虫網付)  
引違いフラッシュ戸  
ポリ合板フラッシュ t=4.0

フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（3個）、マグネットキャッチ（2ヶ所、金属ケース入）

アームストッパー（扉側：貫通ボルト止め）、ステンレスパイプ：25.4φ 1ヶ所

塩ビ製換気孔50φ（防虫網付）5ヶ所

小口は全て面取りとする。木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）

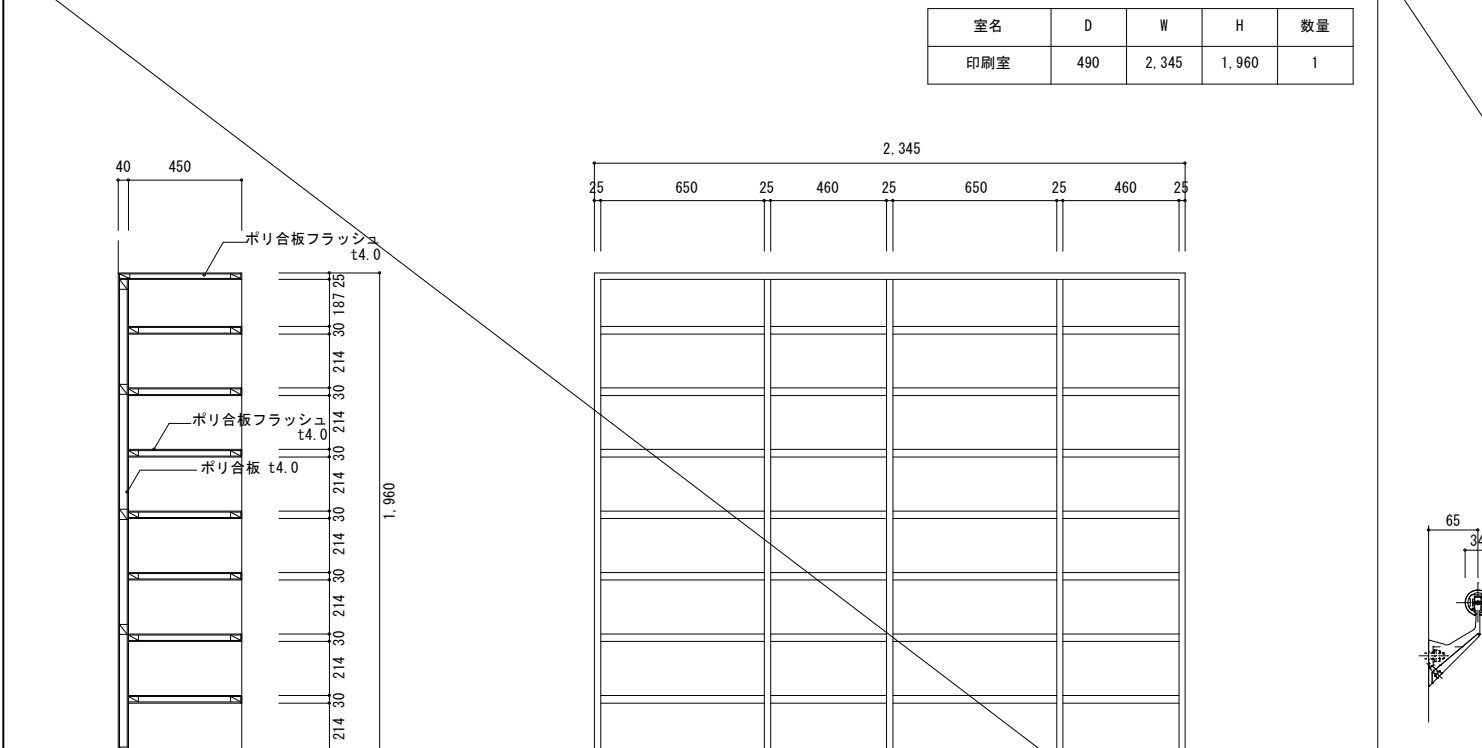
引違いフラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、引手、戸車、アルミVレール、φ12ステンレスダボ、差込栓錠

引違いアクリル戸：見込24 厚3.0透明アクリル板、引手、戸車、φ12ステンレスダボ、差込栓錠

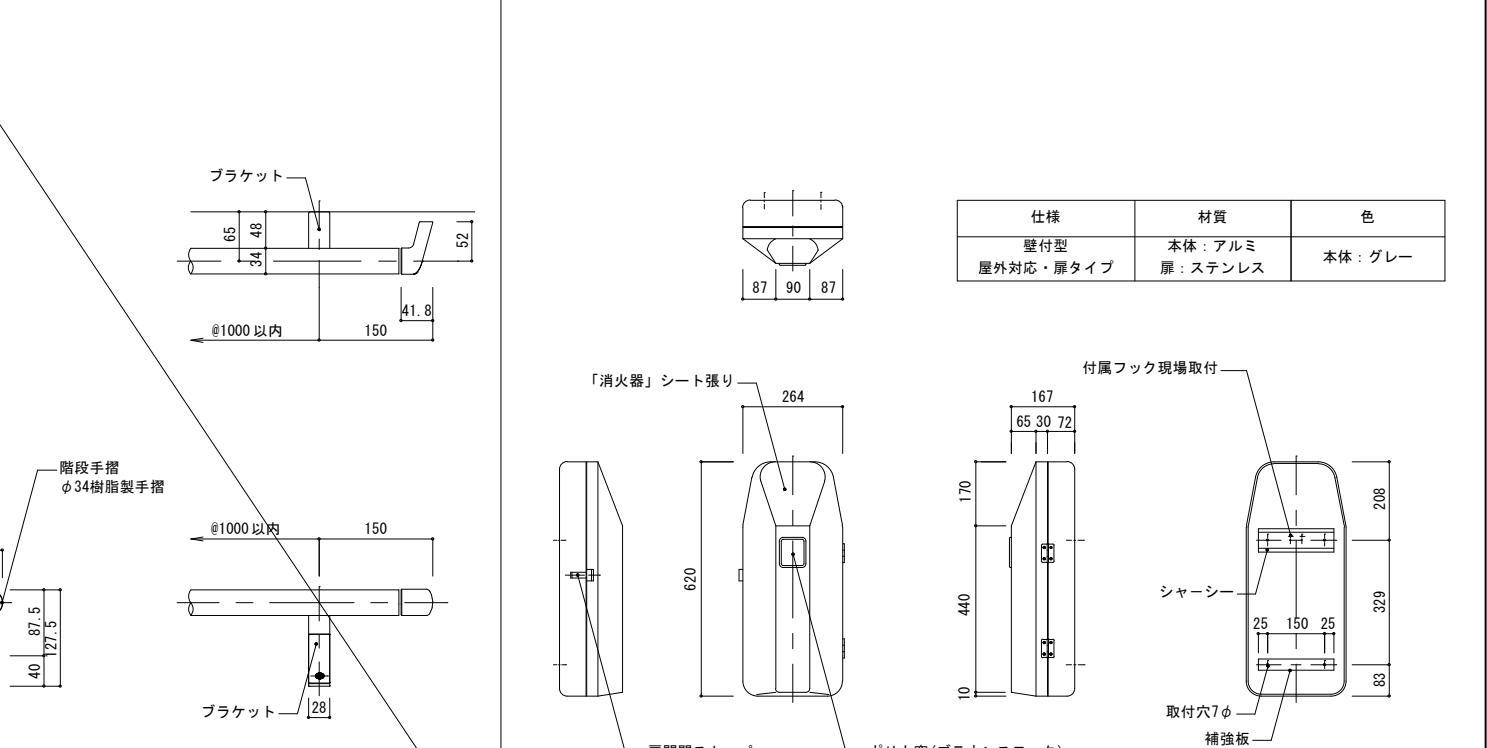
塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）2ヶ所

※木部見え掛りは全てポリ合板張りとする

室名	D	W	H	数量
印刷室	490	2,345	1,960	1



ポリ合板フラッシュ t=4.0  
ポリ合板フラッシュ t=4.0  
ポリ合板 t=4.0  
階段手摺  
φ34樹脂製手摺  
ブラケット  
@1000以内  
150  
41.8  
52  
65  
34  
48  
127.5  
40  
87.5  
28  
264  
620  
170  
440  
10  
167  
65 30 72  
208  
329  
83  
25 150 25  
取付穴7φ  
補強板  
(内部詳細)



仕様  
壁付型  
屋外対応・扉タイプ  
材質  
本体：アルミ  
扉：ステンレス  
色  
本体：グレー

「消火器」シート張り  
付属フック現場取付  
シャーシー  
取付穴7φ  
補強板  
(内部詳細)

